

「第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」策定のための

【高齢者実態調査】報告書

令和5年7月

八 潮 市

目 次

第1章 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査の方法	1
3 回収結果	2
4 報告書の見方	2

第2章 調査結果の分析

I 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	3
1 回答者の属性	3
(1) 性別	3
(2) 年齢	3
(3) 認定状況	4
(4) 日常生活圏域	4
(5) 調査票記入者	4
2 家族や生活状況について	5
(1) 家族構成	5
(2) 介護・介助の必要性	6
(2-1) 介護・介助が必要になった原因	7
(2-2) 主な介護・介助者	9
(3) 経済的にみた暮らし向き	10
(4) 住まいの形態	11
3 からだを動かすことについて	12
(1) 階段を手すりや壁を伝わらずに昇れるか	12
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか	13
(3) 15分くらい続けて歩いているか	14
(4) 転倒経験	15
(5) 転倒に対する不安	16
(6) 外出の頻度	17
(7) 昨年と比べて外出の回数は減っているか	18
(8) 外出を控えているか	19
(8-1) 外出を控えている理由	20
(9) 外出する際の移動手段	21
4 食べることについて	22
(1) 身長、体重	22
(2) 固いものが食べにくくなったか	23
(3) お茶や汁物等でむせることの有無	23

(4)	口の渇きが気になるか	24
(5)	歯磨きを毎日しているか	24
(6)	歯の数と入れ歯の利用状況	25
(7)	噛み合わせの状況	26
(7-1)	毎日手入れをしているか	27
(8)	6か月間で2～3kg以上の体重減少の有無	27
(9)	誰かと食事をともにする機会があるか	28
5	毎日の生活について	29
(1)	物忘れが多いと感じるか	29
(2)	自分で電話番号を調べて電話をかけているか	29
(3)	日付が分からなくなることがあるか	30
(4)	バスや電車で1人で外出しているか	30
(5)	日用品の買い物をしているか	31
(6)	自分で食事の用意をしているか	31
(7)	請求書の支払いをしているか	32
(8)	預貯金の出し入れをしているか	32
(9)	年金などの書類が書けるか	33
(10)	新聞を読んでいるか	33
(11)	本や雑誌を読んでいるか	34
(12)	健康についての記事や番組に関心があるか	34
(13)	友人の家を訪ねているか	35
(14)	家族や友人の相談に乗っているか	35
(15)	病人を見舞うことができるか	36
(16)	若い人に自分から話しかけることがあるか	36
(17)	趣味はあるか	37
(18)	生きがいはあるか	37
6	地域での活動について	38
(1)	会やグループ、仕事に参加しているか	38
(2)	有志による活動で地域づくりに参加したいか	43
(3)	有志による活動で地域づくりに運営役で参加したいか	44
7	たすけあいについて	45
(1)	心配事や愚痴を聞いてくれる人	45
(2)	心配事や愚痴を聞いてあげている人	46
(3)	病気で短期間寝込んだときに看病してくれる人	47
(4)	看病や世話をしあげている人	48
(5)	家族や友人・知人以外で相談する相手	49
(6)	友人・知人と会う頻度	50
(7)	1か月間に会った友人・知人の人数	51
(8)	よく会う友人・知人の間柄	52

8	健康について	53
	(1) 自身の健康感	53
	(2) 主観的幸福感	54
	(3) 気分が沈んだり、憂鬱になることがあるか	55
	(4) どうしても物事に興味がわかなくなったか	55
	(5) 飲酒状況	56
	(6) 喫煙状況	57
	(7) 治療中の病気	58
9	認知症にかかる相談窓口の把握について	60
	(1) 認知症の症状のある人の有無	60
	(2) 認知症に関する相談窓口の認知	61
10	市の高齢者施策等について	62
	(1) 地域包括支援センターの認知	62
	(1-1) 地域包括支援センターの利用の有無	63
	(2) 高齢者虐待の相談窓口の認知	64
	(3) 高齢者ふれあいの家の認知	65
	(3-1) 高齢者ふれあいの家の利用の有無	65
	(4) 高齢者在宅福祉サービスの利用状況・利用意向	66
	(5) 高齢者在宅福祉サービスの情報の入手先	67
	(6) 認知症総合施策の認知	68
	(7) 長寿祝金の支給年齢	69
11	今後の意向や要望について	70
	(1) 健康維持や介護予防のために取り組んでいること	70
	(2) 介護予防事業・フレイルチェック事業の認知	71
	(2-1) 介護予防事業・フレイルチェック事業に参加していない理由	72
	(3) 介護予防事業・フレイルチェック事業の情報の入手先	73
	(4) 介護保険のサービス水準と保険料の関係	74
	(5) 在宅生活の継続が困難になった場合の対応	75
	(6) 誰に介護をしてほしいか	76
	(7) 在宅生活の継続のために重要なもの	77
	(8) 高齢者保健福祉施策について市が重点を置くべき事項	78
12	医療と介護の連携について	79
	(1) 特定健診（健康診査）の認知	79
	(1-1) 特定健診（健康診査）の受診状況	80
	(2) 認知症検診の認知	81
	(2-1) 認知症検診の受診状況	82
	(2-2) 認知症検診を受診しない理由	83
	(3) かかりつけ医の有無	84
	(4) かかりつけ歯科医の有無	85

(5) 歯科検診の受診状況	86
(6) 終末期の家族に過ごしてほしい場所	87
(7) 終末期に過ごしたい場所	88
(7-1) 自宅で最期まで療養できると思うか	89
(7-2) 自宅での療養が難しい理由	90
(8) 終末期についての家族との話し合いの有無	91
(9) エンディングノートの認知	92
(9-1) エンディングノートの所持	93
(9-2) エンディングノートの所在の通知状況	94
(9-3) エンディングノートの見直しの有無	95
13 生活機能評価	96
(1) 機能別のリスク該当者の状況	96
(2) 日常生活	103
(3) 社会参加	104
II 在宅介護実態調査	106
1 回答者の属性	106
(1) 性別	106
(2) 年齢	106
(3) 認定状況	107
(4) 日常生活圏域	107
(5) 調査票記入者	107
2 あて名の本人について【A票】	108
(1) 世帯類型	108
(2) 家族・親族からの介護の頻度	109
(3) 主な介護者の続柄	110
(4) 主な介護者の性別	111
(5) 主な介護者の年齢	112
(6) 主な介護者が行っている介護の内容	113
(7) 介護離職の有無	114
(8) 現在利用している介護保険外サービス	115
(9) 在宅生活継続のために必要なサービス	116
(10) 施設等への入所・入居の検討状況	117
(11) 現在抱えている傷病	118
(12) 訪問診療の利用状況	119
(13) 介護保険サービスの利用状況	120
(14) 介護保険サービスを利用していない理由	121
2 主な介護者について【B票】	122
(1) 主な介護者の就労状況・勤務形態	122

(2) 介護をするにあたっての働き方の調整	123
(3) 勤め先からの支援で効果があると思うもの	124
(4) 今後の仕事と介護の両立の見通し	125
(5) 現在の生活を継続する上で特に不安なこと	126
III 介護人材実態調査	127
1 事業所票の結果	127
(1) サービス種別	127
(2) 職員数	127
(3) 開設時期	128
(4) 採用者数・離職者数	128
(5) 採用者・離職者の内訳	129
2 職員票の結果	130
(1) 事業所で提供するサービス種別【訪問系調査票】	130
(2) 資格取得・研修修了状況	130
(3) 職員の属性	131
(4) 現在の事業所に勤務する直前の職場のサービス種別	133
(5) 現在の事業所に勤務する直前の職場の場所・法人	134
(6) 訪問介護のサービス提供時間【訪問系調査票】	135
IV 居所変更実態調査	136
(1) サービス種別	136
(2) 施設等の概要	136
(3) 入所・入居者の要介護度	137
(4) 医療措置を受けている人の状況	137
(5) 過去1年間の新規入居・入所者	138
(6) 入居・入所前の居場所	138
(7) 過去1年間の退去者	139
(8) 退去者の要介護度	139
(9) 退居者の退去先	140
(10) 退去理由	140
V 在宅生活改善調査	141
1 事業所票の結果	141
(1) 事業所に所属するケアマネジャーの人数及び利用者数	141
(2) 自宅等から居場所を変更した利用者数（要介護度）	141
(3) 自宅等から居場所を変更した利用者数（行き先）	142
2 利用者票の結果	143
(1) 現在のサービス利用では生活の維持が難しくなっている利用者の状況	143

(2) 在宅生活の維持が難しくなっている理由	145
(3) 在宅生活の維持が難しい状況を改善するためのサービス	148
資料編	151

❖ 第1章 調査の概要 ❖

1 調査の目的

この調査は、令和6年度から8年度までを計画期間とする「第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定に向けて、高齢者の生活実態と意向、支援サービスの必要性、在宅介護の実態等を把握するために実施しました。

2 調査の方法

(1) 高齢者を対象とした調査

	介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査	在宅介護実態調査
調査対象	市内在住の要介護認定を受けていない 満65歳以上の男女 ①一般高齢者：2,200人 ②事業対象者、要支援高齢者：803人	市内在住の満65歳以上の男女で、要 介護1～5認定者（施設居住者を除 く）：1,200人
抽出方法	①住民基本台帳に基づく無作為抽出 ②全数調査 ※基準日：令和5年1月31日	無作為抽出 ※基準日：令和5年1月31日
調査方法	郵送配布・郵送回収	
調査期間	令和5年3月6日～31日	

(2) 事業者を対象とした調査

	介護人材実態調査	居所変更実態調査	在宅生活改善調査
調査対象	市内所在の事業所のうち、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護付き有料老人ホーム、軽費老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、認知症対応型共同生活介護、訪問介護、通所介護、通所リハビリテーション、短期入所生活介護、短期入所療養介護、小規模多機能型居宅介護、通所型サービスのいずれかを実施している事業所と、当該事業所で従事している職員	市内所在の事業所のうち、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護付き有料老人ホーム、軽費老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、認知症対応型共同生活介護のいずれかを実施している事業所	市内所在の事業所のうち、居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護のいずれかを実施している事業所と、当該事業所で従事している職員
調査方法	郵送配布・郵送回収		
調査期間	令和5年3月6日～31日		

3 回収結果

	配布数	有効回収数	有効回収率
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	3,003	1,970	65.6%
在宅介護実態調査	1,200	694	57.8%
介護人材実態調査	48	41	85.4%
居所変更実態調査	19	17	89.5%
在宅生活改善調査	18	15	83.3%

4 報告書の見方

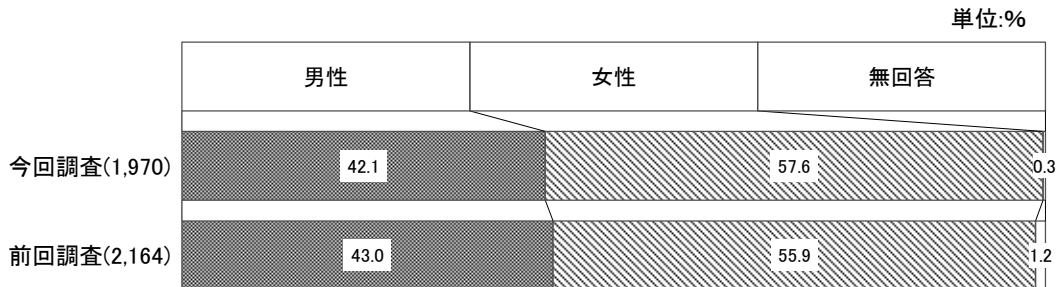
- ・調査結果の数値は、原則として回答率（％）で表記しています。
- ・表では、対象者の人数は実数、回答は割合（％）（小数第一位まで）として表記してあります。各項目で第1位～第3位の回答には、網掛けをつけています。表中に「－」と表示してあるのは、回答者がいなかった場合です。
- ・回答率（％）は、小数第二位を四捨五入により端数処理しています。そのため、属性ごとの回答比率の合計が、合計欄の数値と一致しないことがあります。
- ・回答率（％）は、その設問の回答者数を基数として算出しています。そのため、複数回答の場合、選択肢ごとの割合を合計すると100.0%を超えることがあります。
- ・各設問において、性別や年代など基本属性に「無回答」があるため、全体の数値と各項目の数値の合計が一致しないことがあります。
- ・図・表の中で、アンケート調査票の選択肢の文章が長い場合、要約して短く表現している場合があります。
- ・回答者数が極端に少ないものについては、分析対象から外している場合があります。ただし、その場合でも調査結果には参考値として掲載しています。

❖ 第2章 調査結果の分析 ❖

I 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

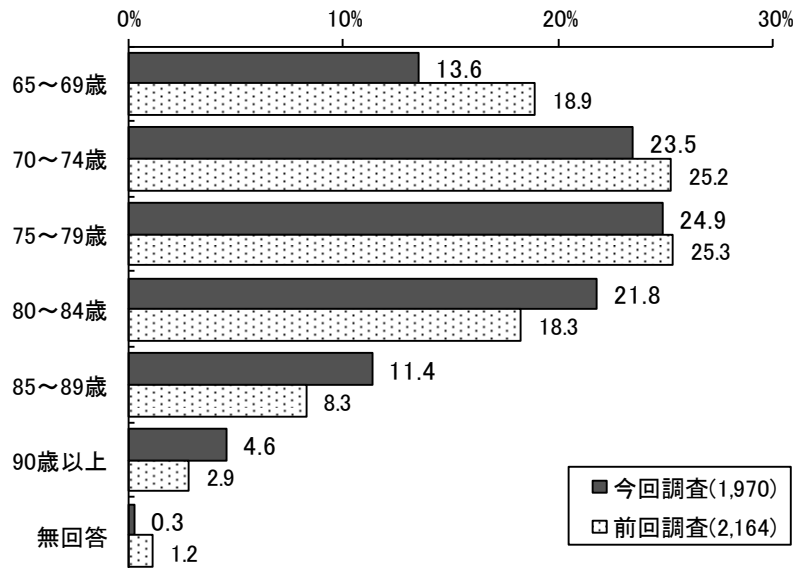
1 回答者の属性

(1) 性別



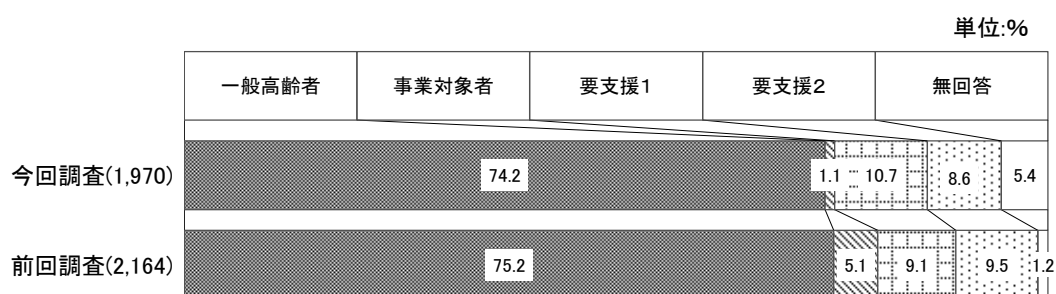
「男性」が42.1%、「女性」が57.6%です。

(2) 年齢



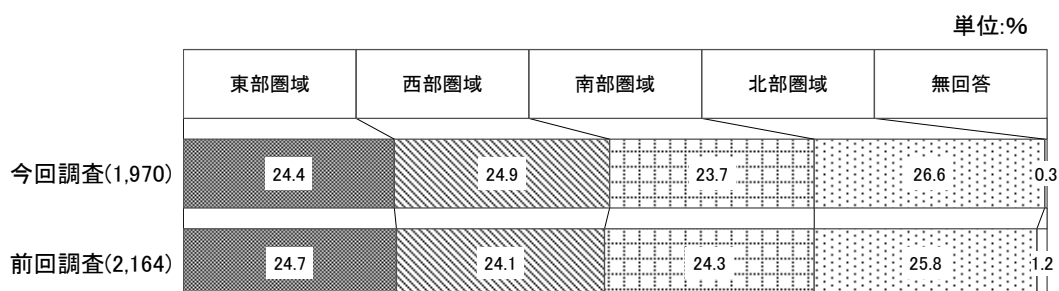
「75～79歳」が24.9%で最も多く、「70～74歳」が23.5%、「80～84歳」が21.8%で続きます。74歳以下の高齢者が4割弱、75歳以上の高齢者が6割強となっています。

(3) 認定状況



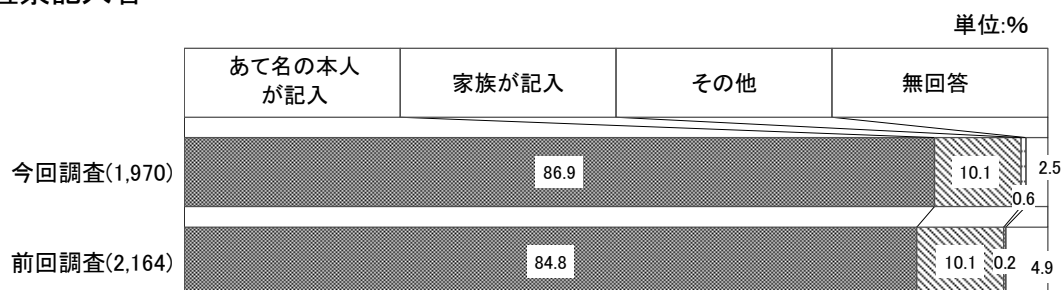
介護認定を受けていない「一般高齢者」が74.2%で最も多く、「事業対象者」が1.1%、「要支援1」が10.7%、「要支援2」が8.6%です。

(4) 日常生活圏域



「東部圏域」が24.4%、「西部圏域」が24.9%、「南部圏域」が23.7%、「北部圏域」が26.6%となっています。

(5) 調査票記入者

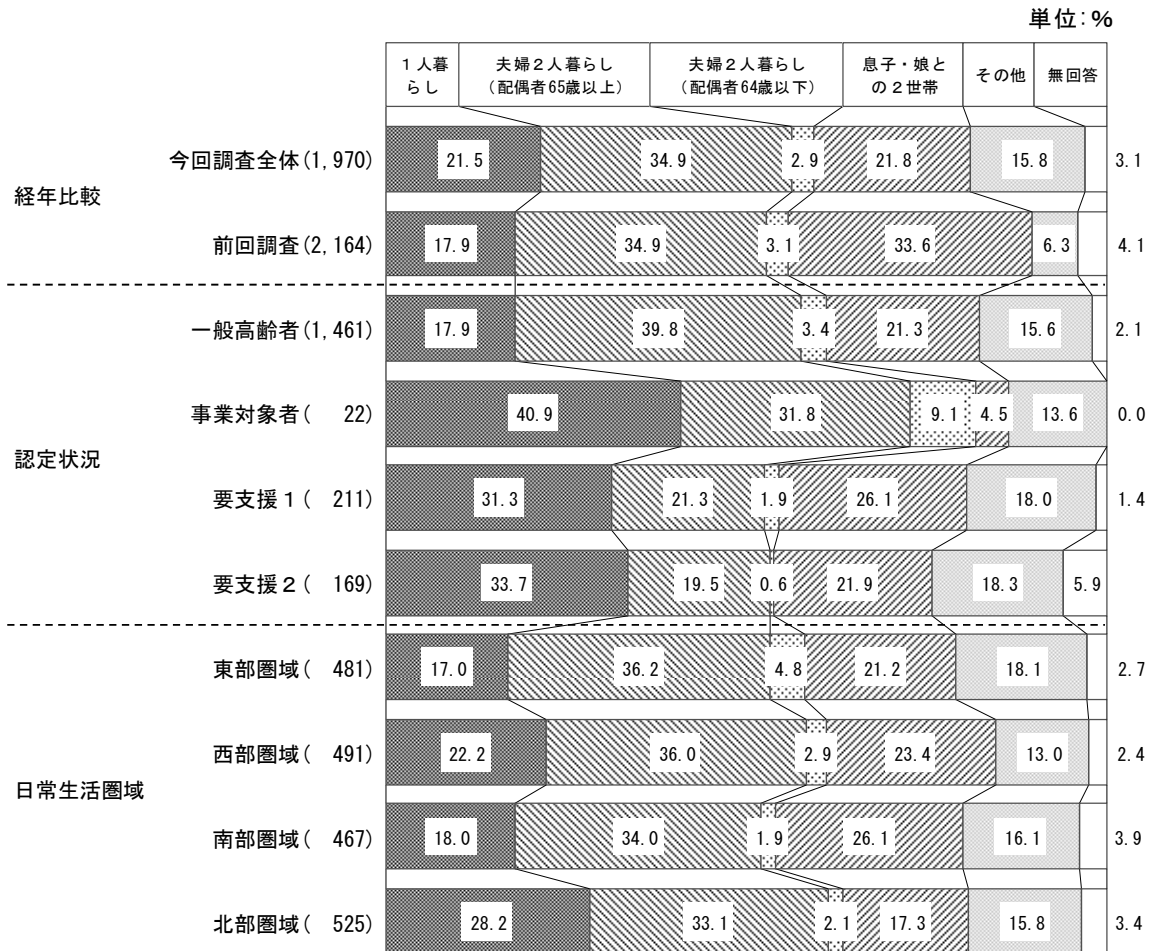


「あて名の本人が記入」が86.9%を占めており、「家族が記入」は10.1%です。

2 家族や生活状況について

(1) 家族構成

家族構成をお教えてください



「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が34.9%で最も多く、「息子・娘との2世帯」が21.8%、「1人暮らし」が21.5%で続きます。

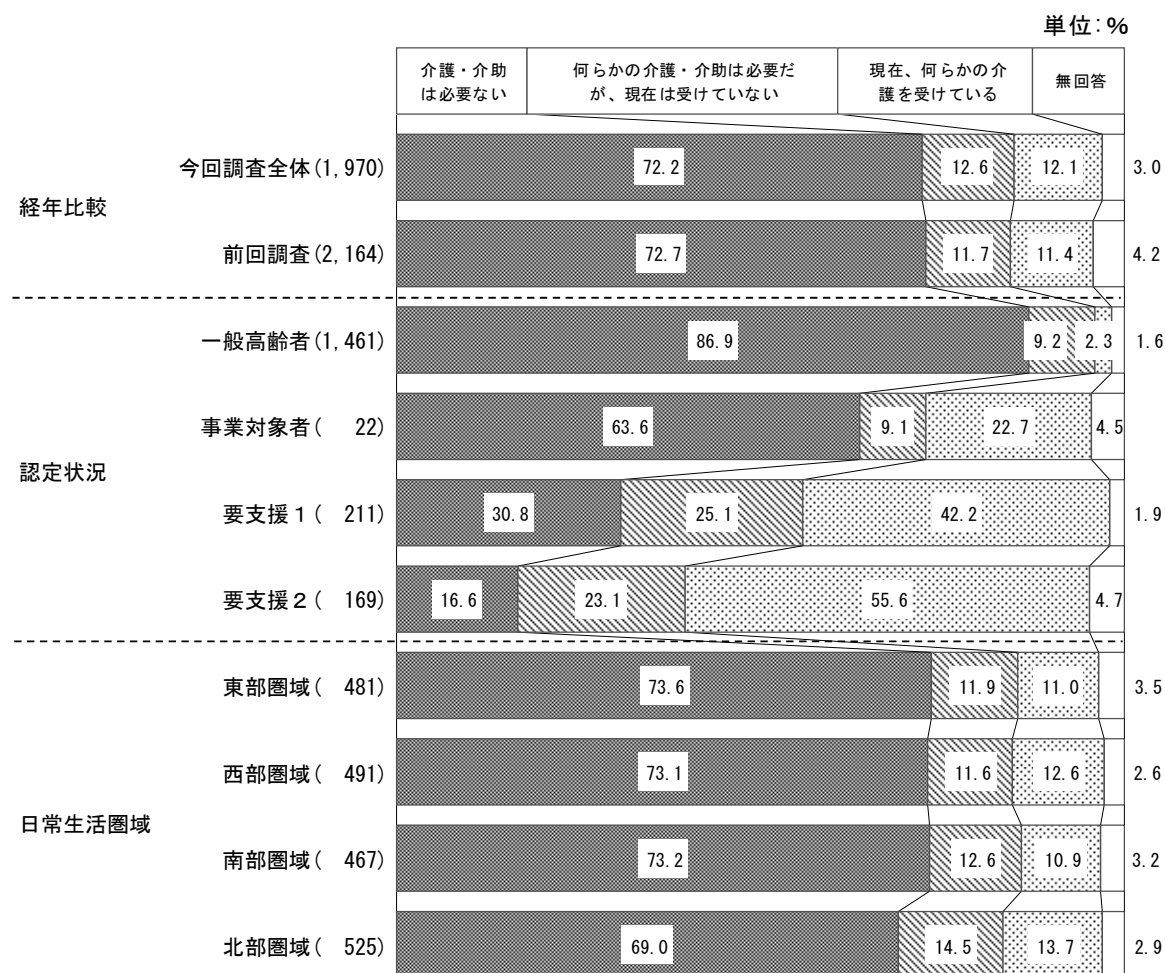
前回調査と比較すると、今回調査の「息子・娘との2世帯」（21.8%）は前回調査（33.6%）を11ポイント下回っています。

認定状況別に見ると、要支援1と要支援2では「1人暮らし」が3割強であり、一般高齢者の割合を13ポイント以上上回っています。

日常生活圏域別に見ると、北部圏域では「1人暮らし」が28.2%であり、他の圏域の割合を6ポイント以上上回っています。

(2) 介護・介助の必要性

あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか



「介護・介助は必要ない」が72.2%で最も多く、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が12.6%、「現在、何らかの介護を受けている」が12.1%で続きます。

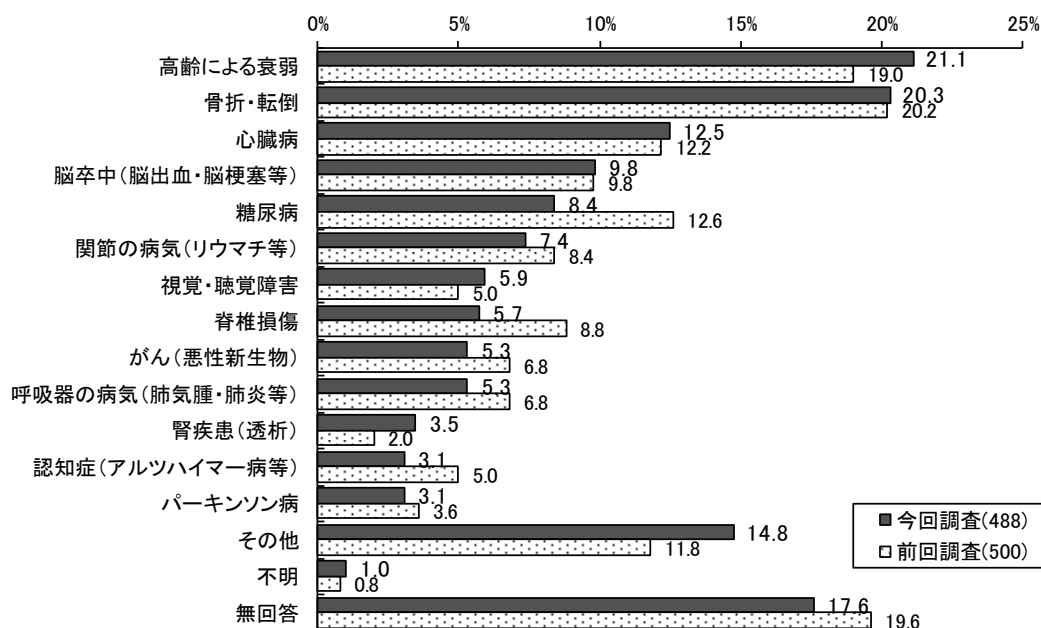
認定状況別に見ると、一般高齢者は「介護・介助は必要ない」が86.9%を占めているのに対し、要支援1と要支援2では「現在、何らかの介護を受けている」が「介護・介助は必要ない」を上回っており、要支援2の「現在、何らかの介護を受けている」は55.6%となっています。

日常生活圏域別に見ると、北部圏域では「介護・介助は必要ない」が7割を下回っています。

(2-1) 介護・介助が必要になった原因

【(2)で「介護・介助は必要ない」以外を選択した高齢者に対する設問】

介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（いくつでも）



普段の生活で何らかの介護・介助を必要としている高齢者に対して、介護・介助が必要になった原因を調査したところ、「高齢による衰弱」(21.1%)、「骨折・転倒」(20.3%)がともに多く、「心臓病」が12.5%、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」が9.8%で続きます。

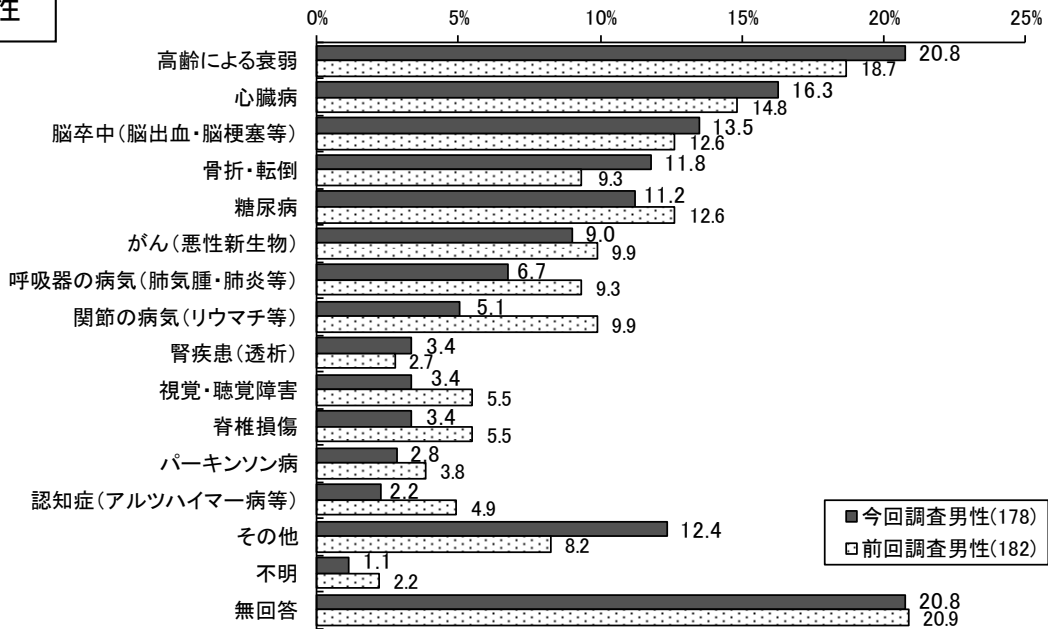
前回調査では「骨折・転倒」(20.2%)が「高齢による衰弱」(19.0%)を上回っていましたが、今回調査では両者の順位が入れ替わっています。

	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	がん(悪性新生物)	呼吸器の病気(肺炎腫・肺炎等)	関節の病気(リウマチ等)	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	糖尿病	腎疾患(透析)	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
全体(488)	9.8	12.5	5.3	5.3	7.4	3.1	3.1	8.4	3.5	5.9	20.3	5.7	21.1	14.8	1.0	17.6
男性(178)	13.5	16.3	9.0	6.7	5.1	2.2	2.8	11.2	3.4	3.4	11.8	3.4	20.8	12.4	1.1	20.8
女性(309)	7.8	10.4	3.2	4.5	8.7	3.6	3.2	6.8	3.6	7.4	24.9	7.1	21.4	16.2	1.0	15.9
東部圏域(110)	9.1	15.5	9.1	4.5	8.2	5.5	5.5	10.0	2.7	7.3	20.9	5.5	25.5	14.5	2.7	16.4
西部圏域(119)	7.6	10.1	5.9	5.0	10.1	1.7	4.2	5.9	4.2	6.7	16.0	5.0	21.0	19.3	0.8	15.1
南部圏域(110)	13.6	10.0	2.7	3.6	5.5	2.7	0.9	10.9	3.6	7.3	20.9	6.4	20.9	13.6	-	20.0
北部圏域(148)	9.5	14.2	4.1	7.4	6.1	2.7	2.0	7.4	3.4	3.4	22.3	6.1	18.2	12.2	0.7	18.9

男女別に見ると、男性は「心臓病」が16.3%、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」が13.5%、「がん(悪性新生物)」が9.0%であり、女性の割合をそれぞれ5ポイント上回っています。一方、女性は「骨折・転倒」が「高齢による衰弱」を上回って最も多い回答となっているとともに、男性の割合を13ポイント上回っています。

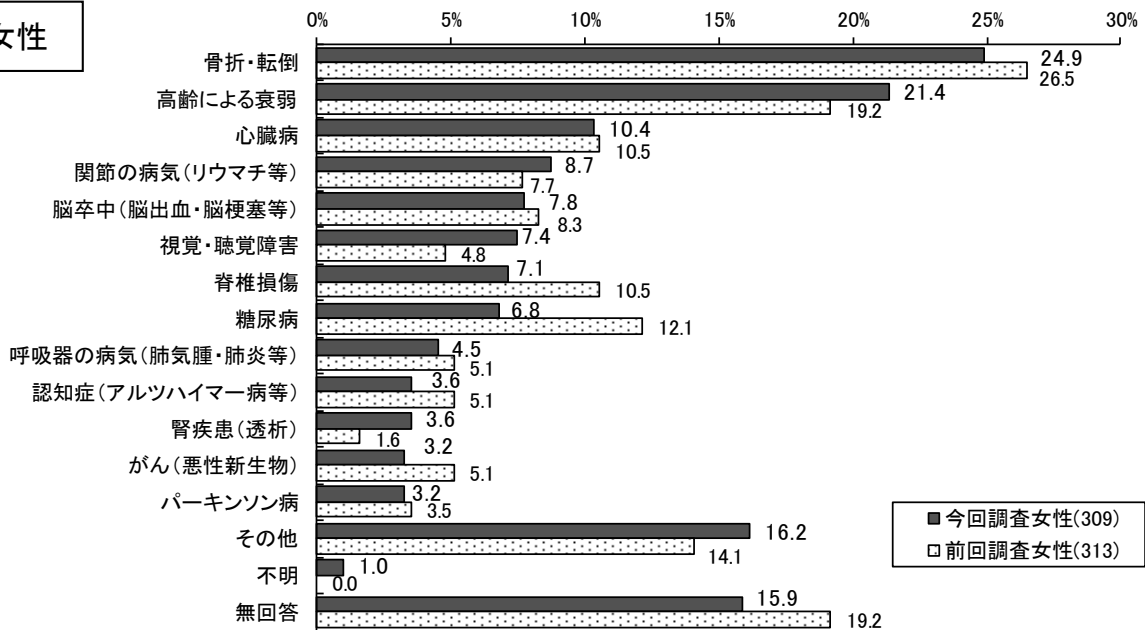
日常生活圏域別に見ると、北部圏域では「骨折・転倒」が「高齢による衰弱」を上回って最も多い回答となっています。

男性



男性の回答を前回調査と比較すると、前回調査・今回調査とも最も多い回答が「高齢による衰弱」、次いで多い回答が「心臓病」となっていますが、第3位の回答は前回調査の「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」「糖尿病」(それぞれ12.6%)が今回調査では「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」(13.5%)に変化しており、今回調査の「糖尿病」は第5位の回答となっています。

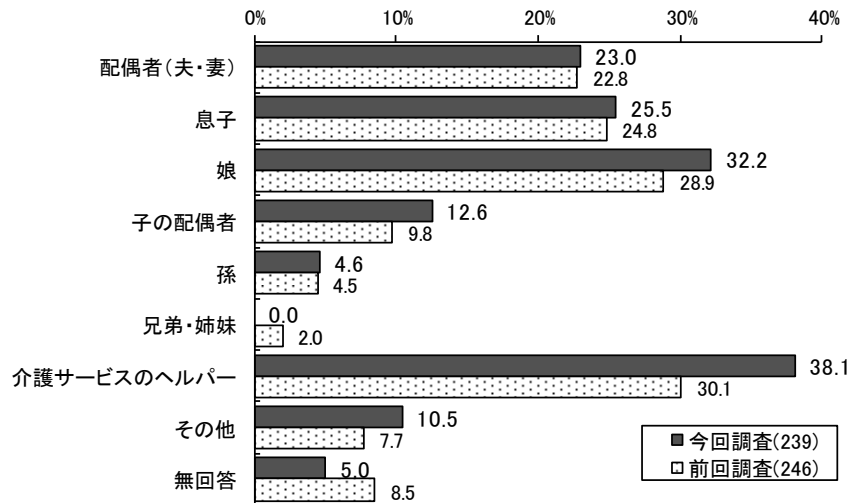
女性



女性の回答を前回調査と比較すると、前回調査・今回調査とも最も多い回答が「骨折・転倒」、次いで多い回答が「高齢による衰弱」となっていますが、第3位の回答は前回調査の「糖尿病」(12.1%)が今回調査では「心臓病」(10.4%)に変化しています。今回調査の「糖尿病」(6.8%)は前回調査(12.1%)を5ポイント下回っています。

(2-2) 主な介護・介助者

【(2)で「介護・介助は必要ない」以外を選択した高齢者に対する設問】
主にどなたの介護、介助を受けていますか(いくつでも)



普段の生活で何らかの介護・介助を必要としている高齢者に対して、主な介護・介助者が誰であるかを調査したところ、「介護サービスのヘルパー」が38.1%で最も多く、「娘」が32.2%、「息子」が25.5%、「配偶者(夫・妻)」が23.0%で続きます。

前回調査と比較すると、今回調査の「介護サービスのヘルパー」(38.1%)は前回調査(30.1%)を8ポイント上回っています。

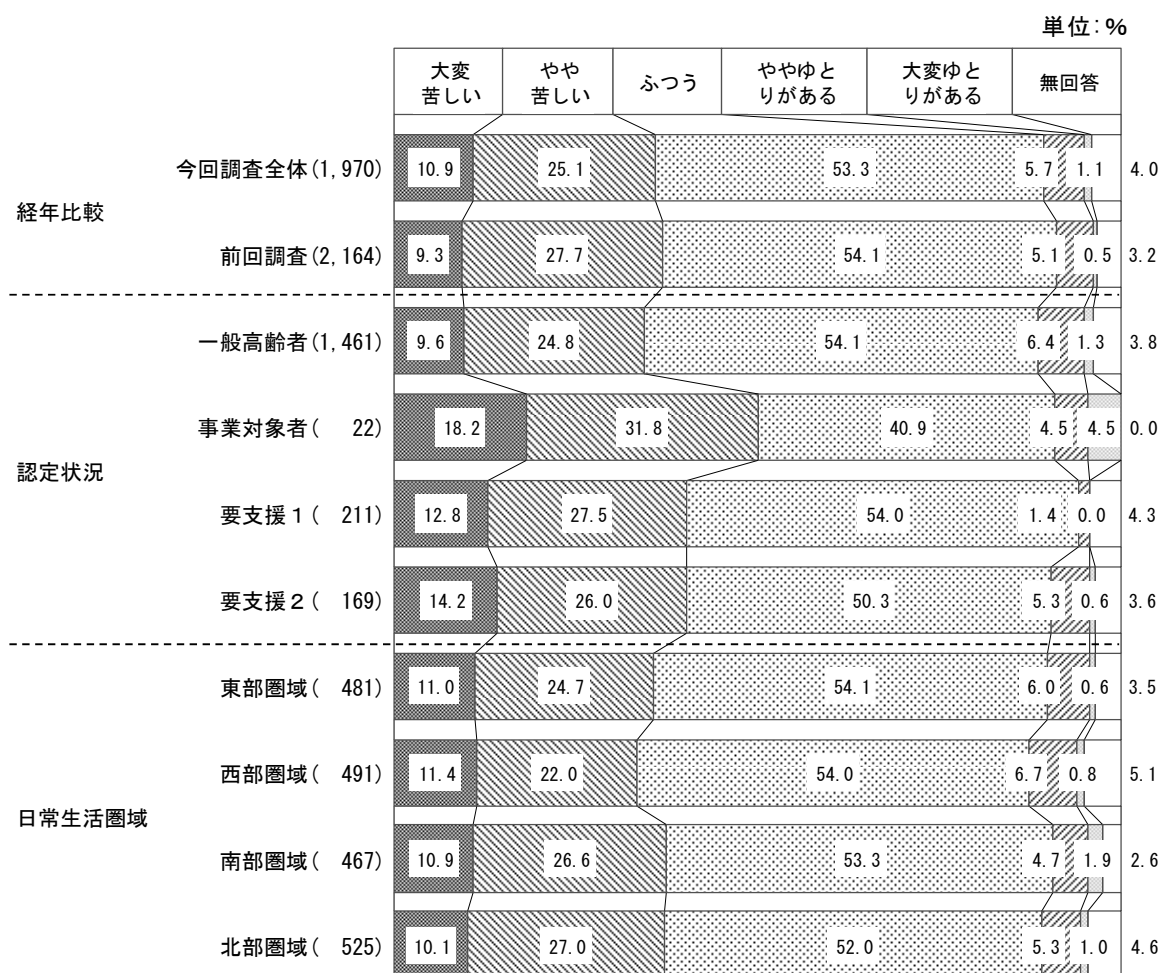
	配偶者(夫・妻)	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	介護サービスのヘルパー	その他	無回答
全体(239)	23.0	25.5	32.2	12.6	4.6	-	38.1	10.5	5.0
男性(84)	31.0	16.7	25.0	9.5	4.8	-	45.2	9.5	6.0
女性(154)	18.8	30.5	36.4	14.3	4.5	-	34.4	11.0	3.9
一般高齢者(33)	39.4	42.4	30.3	18.2	12.1	-	6.1	-	3.0
事業対象者(5)	-	40.0	60.0	40.0	20.0	-	20.0	20.0	20.0
要支援1(89)	20.2	23.6	30.3	9.0	3.4	-	40.4	15.7	3.4
要支援2(94)	20.2	24.5	31.9	12.8	3.2	-	42.6	10.6	6.4
東部圏域(53)	30.2	17.0	37.7	13.2	7.5	-	22.6	11.3	3.8
西部圏域(62)	22.6	32.3	25.8	8.1	1.6	-	45.2	11.3	1.6
南部圏域(51)	25.5	29.4	23.5	19.6	5.9	-	35.3	13.7	9.8
北部圏域(72)	16.7	23.6	40.3	11.1	4.2	-	45.8	6.9	4.2

男女別に見ると、男性は「介護サービスのヘルパー」が45.2%、「配偶者(夫・妻)」が31.0%であり、女性の割合を10ポイント以上上回っています。女性は「娘」が「介護サービスのヘルパー」を上回って最も多い回答となっているほか、「息子」が30.5%であり、男性の割合を13ポイント上回っています。

日常生活圏域別に見ると、北部圏域と西部圏域では「介護サービスのヘルパー」が4割台半ばであり、他の圏域の割合を9ポイント以上上回っています。また、北部圏域と東部圏域では「娘」が4割前後であり、他の圏域の割合を11ポイント以上上回っています。

(3) 経済的にみた暮らし向き

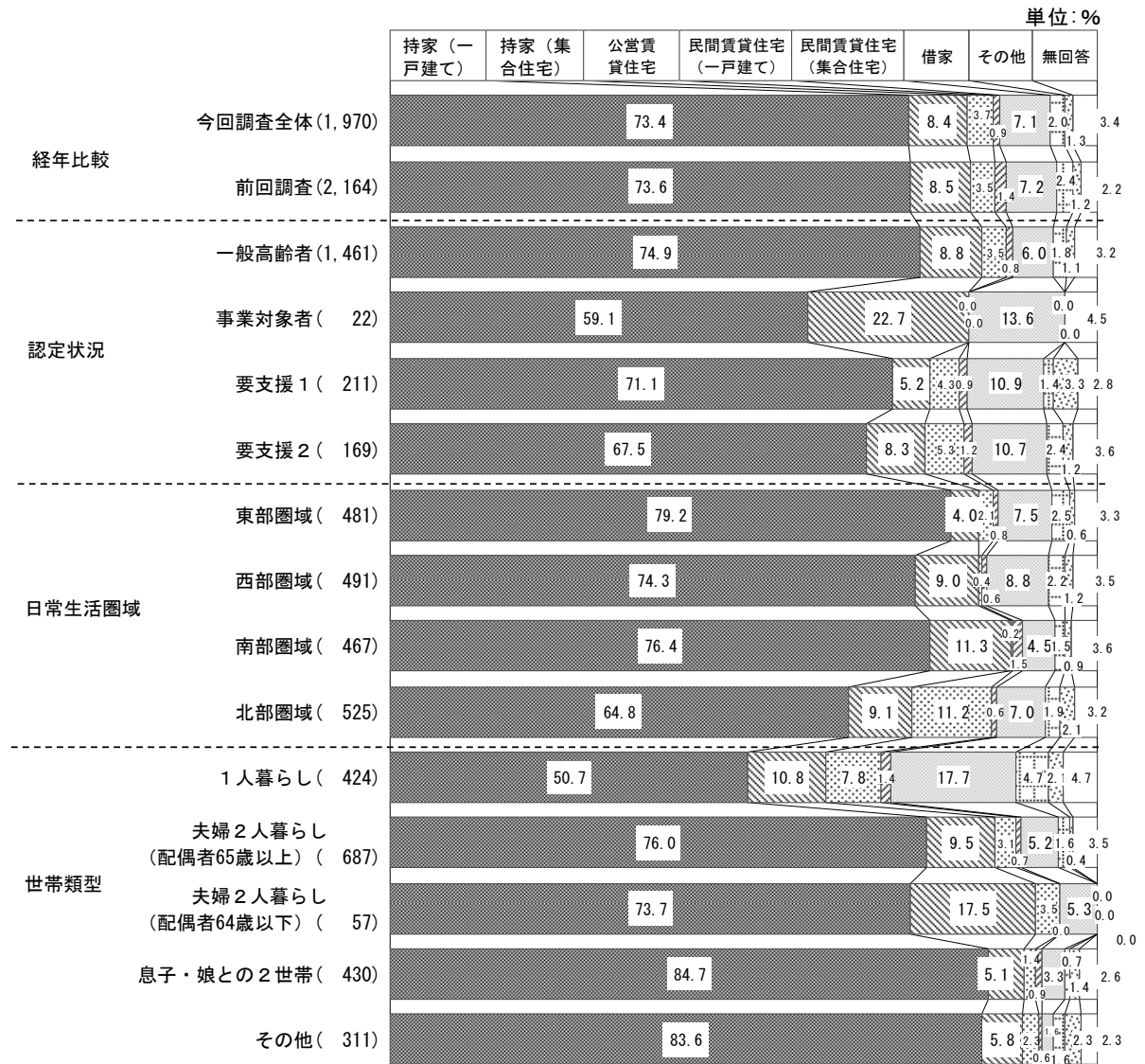
現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか



“苦しい”（「大変苦しい」と「やや苦しい」の合計）が36.0%、「ふつう」が53.3% “ゆとりがある”（「ややゆとりがある」と「大変ゆとりがある」の合計）が6.8%となっています。

(4) 住まいの形態

お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか



「持家（一戸建て）」が73.4%で最も多く、「持家（集合住宅）」が8.4%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が7.1%、「公営賃貸住宅」が3.7%で続きます。

認定状況別に見ると、一般高齢者と要支援1では「持ち家（一戸建て）」が7割強であるのに対し、要支援2では67.5%となっています。

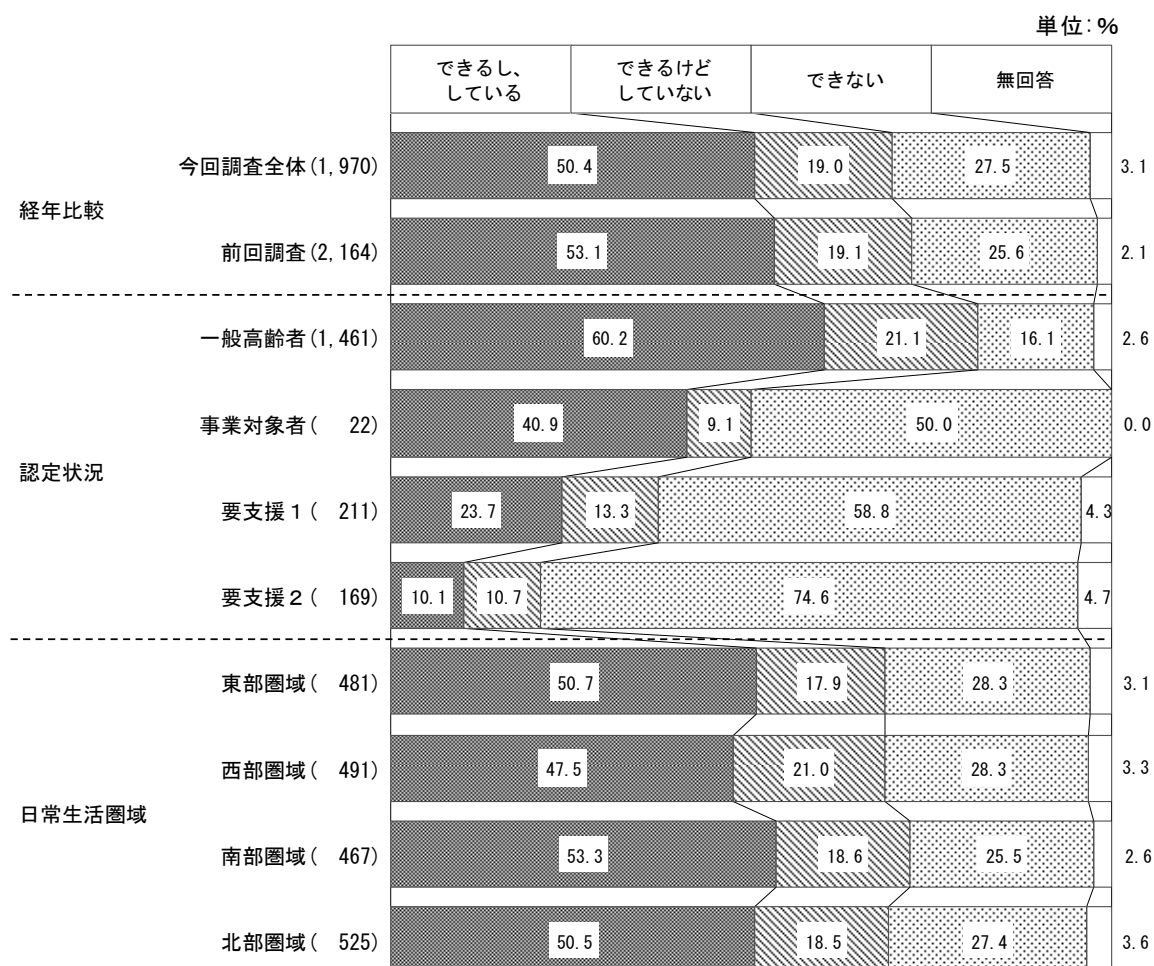
日常生活圏域別に見ると、北部圏域では「公営賃貸住宅」が11.2%であり、他の圏域の割合を9ポイント以上上回っています。

世帯類型別に見ると、1人暮らしでは「持ち家（一戸建て）」の割合が50.7%にとどまる一方、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が17.7%で他のタイプの割合を12ポイント以上上回っています。また、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）では「持家（集合住宅）」が17.5%であり、他のタイプの割合を6ポイント以上上回っています。

3 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁を伝わらずに昇れるか

階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか



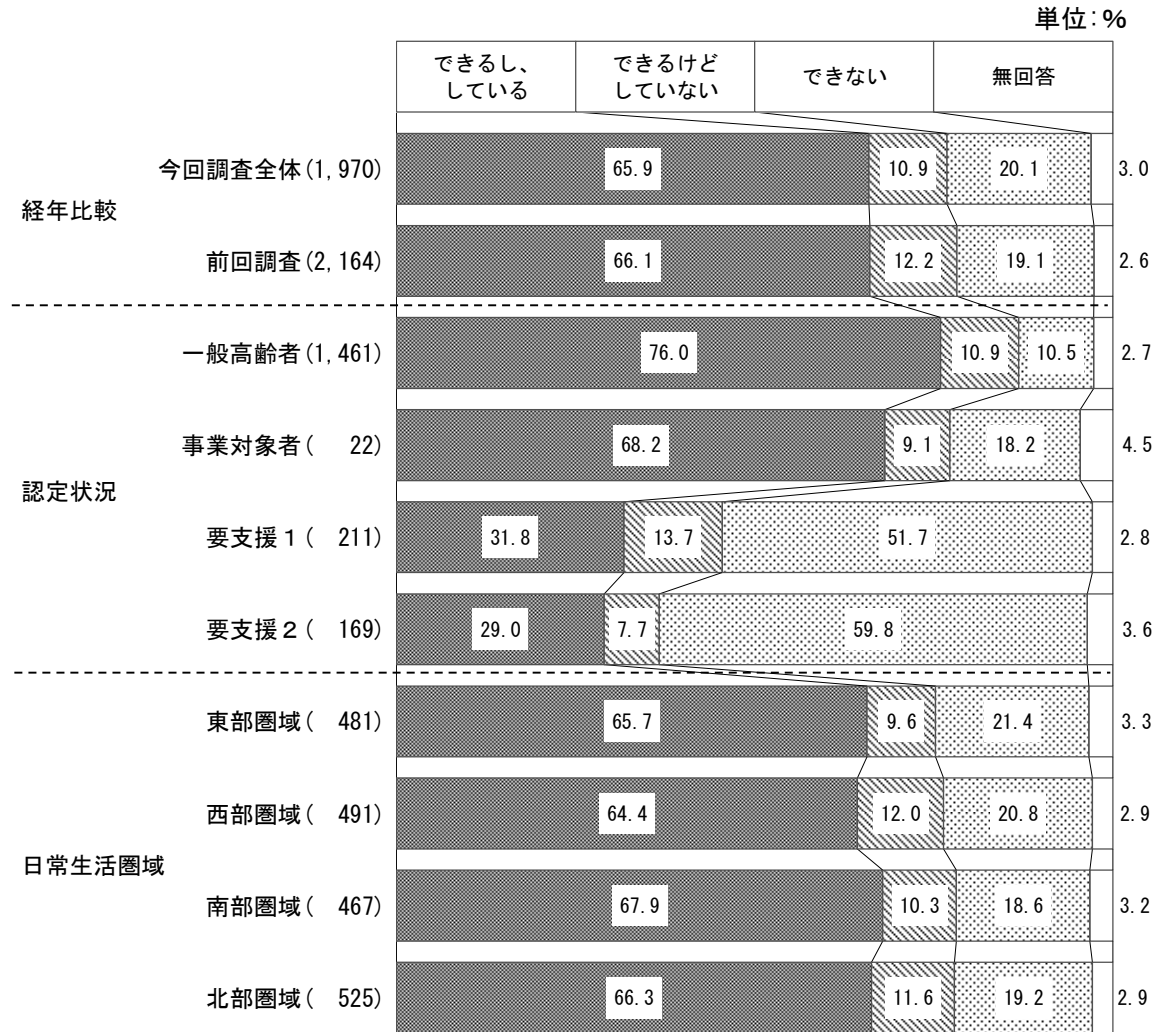
「できるし、している」が50.4%で最も多く、「できない」が27.5%、「できるけどしていない」が19.0%で続きます。

認定状況別に見ると、一般高齢者は「できるし、している」が60.2%を占めているのに対し、要支援1と要支援2では「できない」が「できるし、している」を上回っており、要支援2の「できない」は74.6%となっています。

日常生活圏域別に見ると、西部圏域では「できるし、している」が5割を下回っています。

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

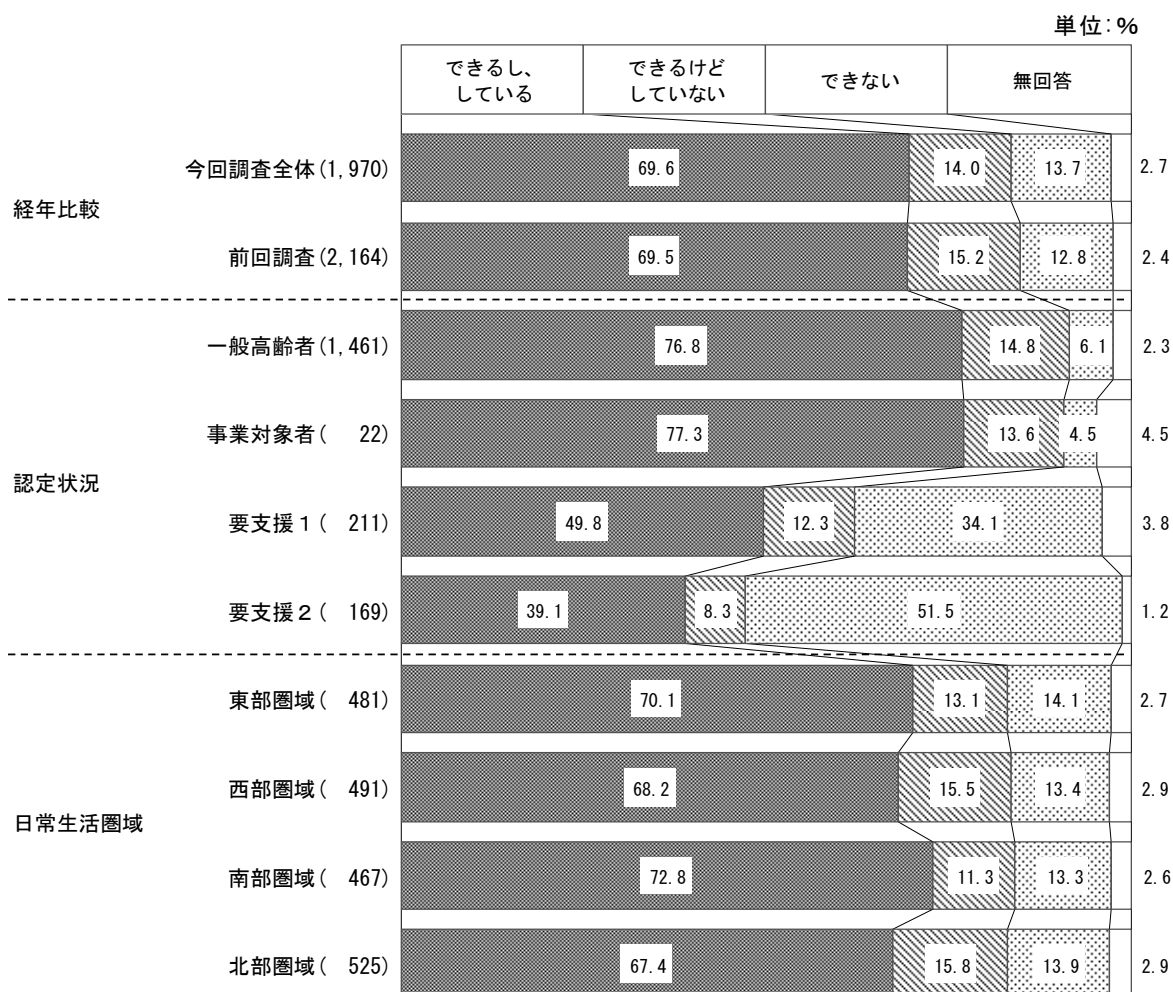


「できるし、している」が65.9%で最も多く、「できない」が20.1%、「できるけどしていない」が10.9%で続きます。

認定状況別に見ると、一般高齢者は「できるし、している」が76.0%を占めているのに対し、要支援1と要支援2では「できない」が5割台で「できるし、している」を上回っています。

(3) 15分くらい続けて歩いているか

15分位続けて歩いていますか

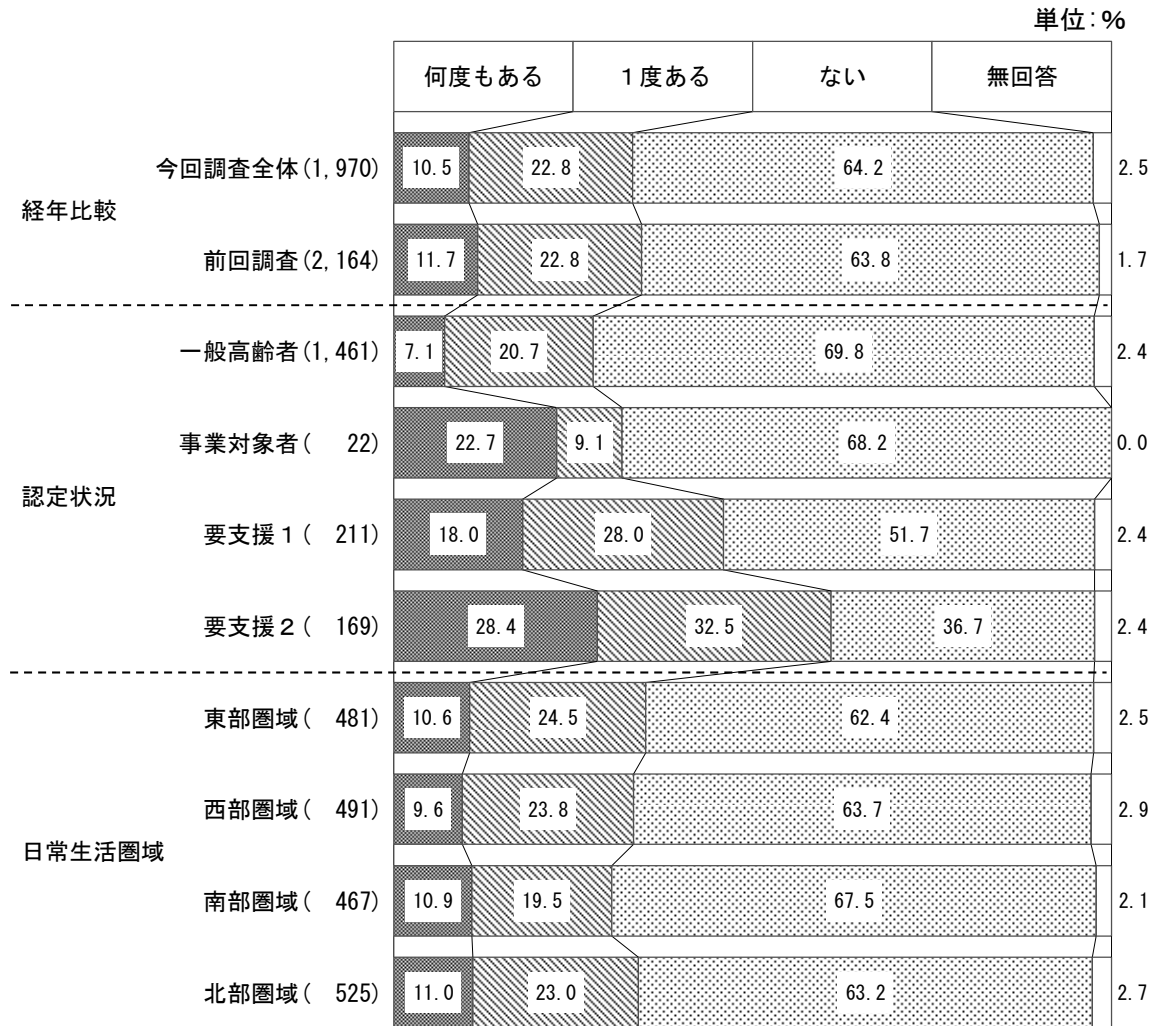


「できるし、している」が69.6%で最も多く、「できるけどしていない」が14.0%、「できない」が13.7%で続きます。

認定状況別に見ると、一般高齢者は「できるし、している」が76.8%を占めているのに対し、要支援2では「できない」が51.5%で「できるし、している」を上回っています。

(4) 転倒経験

過去1年間に転んだ経験がありますか

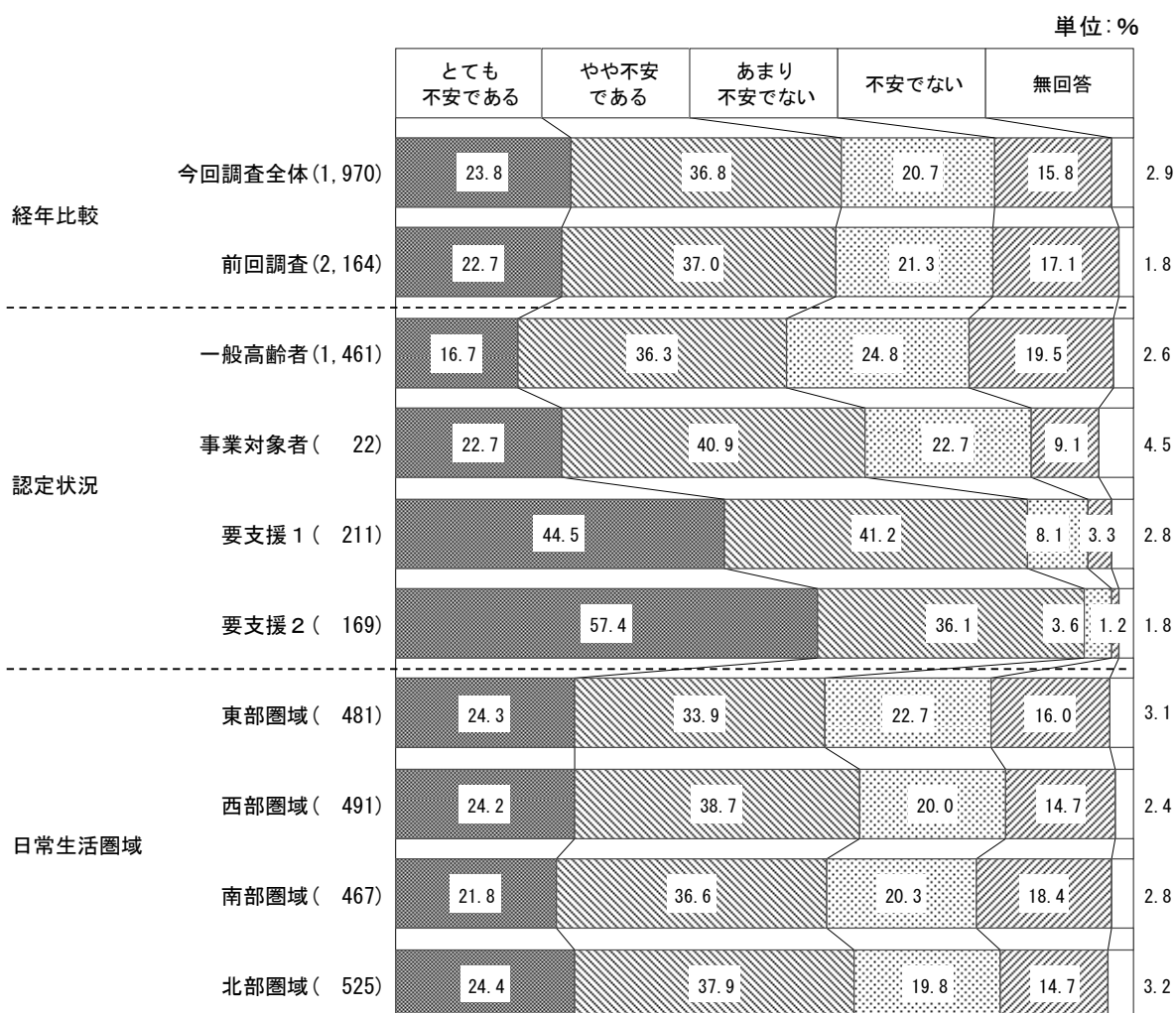


「ない」が64.2%で最も多く、「1度ある」が22.8%、「何度もある」が10.5%で続きます。全体の3人に1人に転倒経験があるということがわかります。

認定状況別に見ると、一般高齢者は「ない」が69.8%を占めているのに対し、要支援1では51.7%、要支援2では36.7%にとどまっています。転倒経験があるという回答は、要支援2で6割に達しています。

(5) 転倒に対する不安

転倒に対する不安は大きいですか

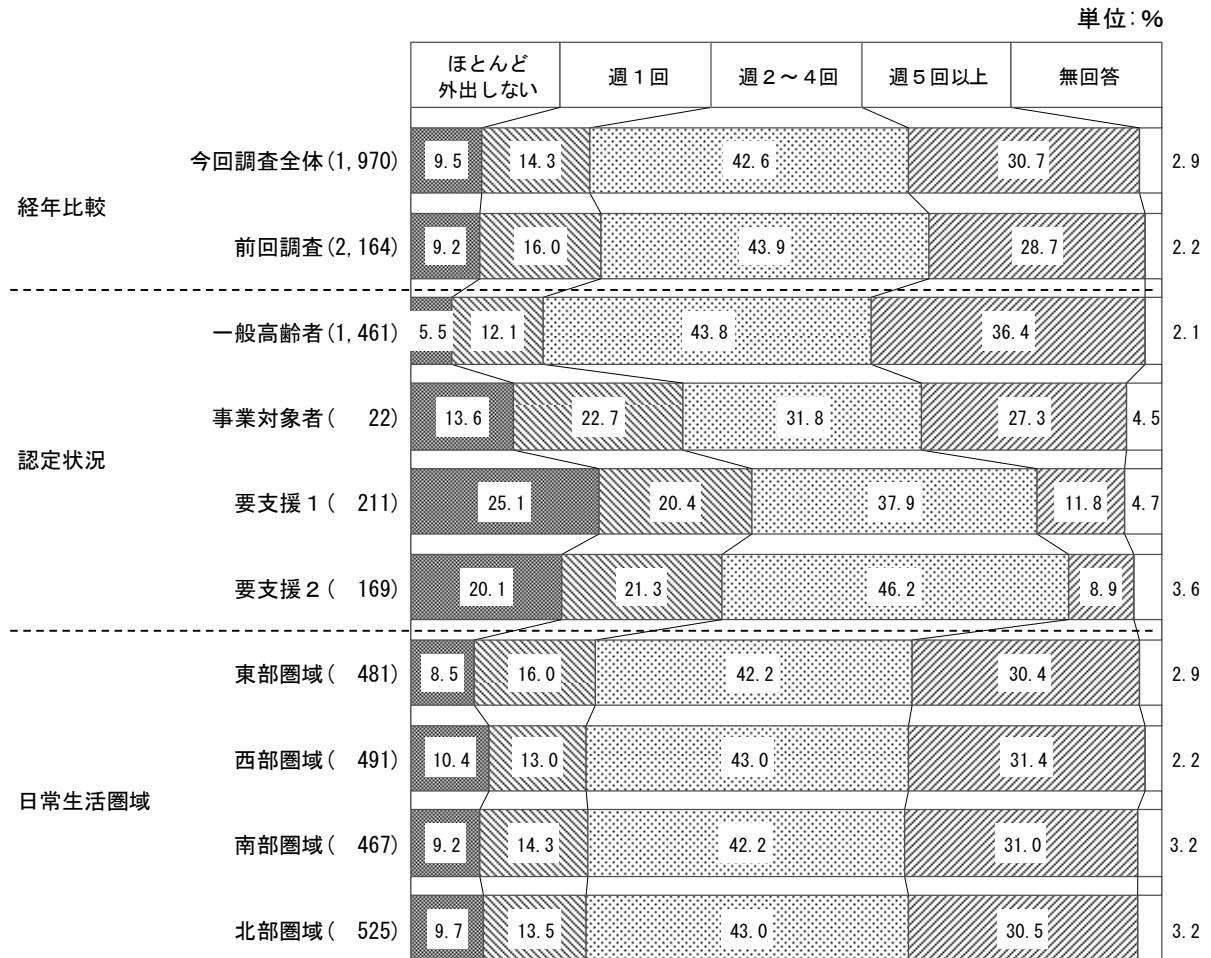


“不安である”（「とても不安である」と「やや不安である」の合計）が60.6%、“不安でない”（「あまり不安でない」と「不安でない」の合計）が36.5%となっています。

認定状況別に見ると、要支援1と要支援2では“不安である”が9割前後を占めており、特に要支援2では「とても不安である」が57.4%と多くなっています。

(6) 外出の頻度

週に1回以上は外出していますか



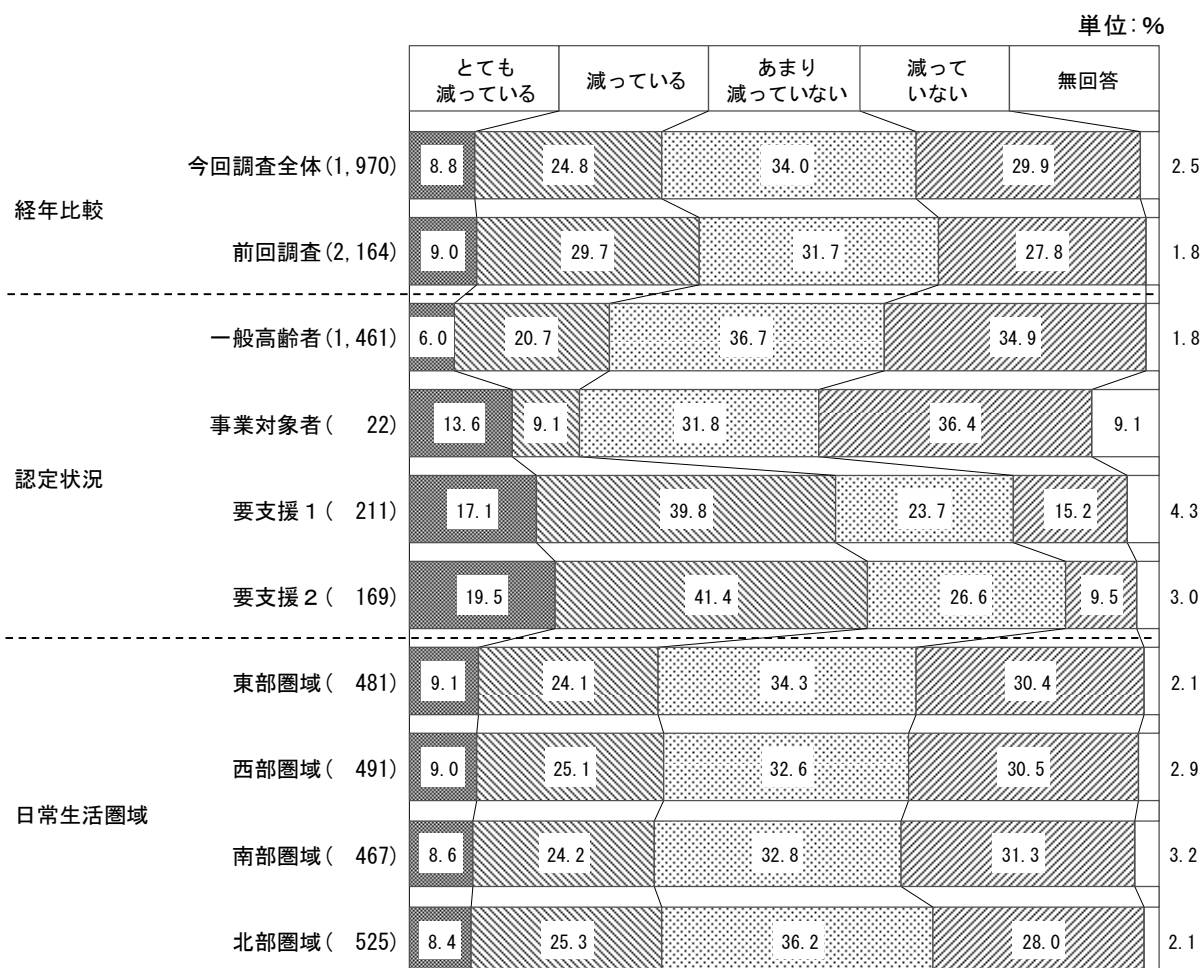
「週2~4回」が42.6%で最も多く、「週5回以上」が30.7%、「週1回」が14.3%で続きます。「ほとんど外出しない」は9.5%です。

認定状況別に見ると、一般高齢者は「週5回以上」が36.4%であるのに対し、要支援1と要支援2では1割前後にとどまっています。一方、一般高齢者は「ほとんど外出しない」が5.5%であるのに対し、要支援1と要支援2では2割台となっています。

日常生活圏域別に見ると、西部圏域では「ほとんど外出しない」が1割に達しています。

(7) 昨年と比べて外出の回数は減っているか

昨年と比べて外出の回数が減っていますか



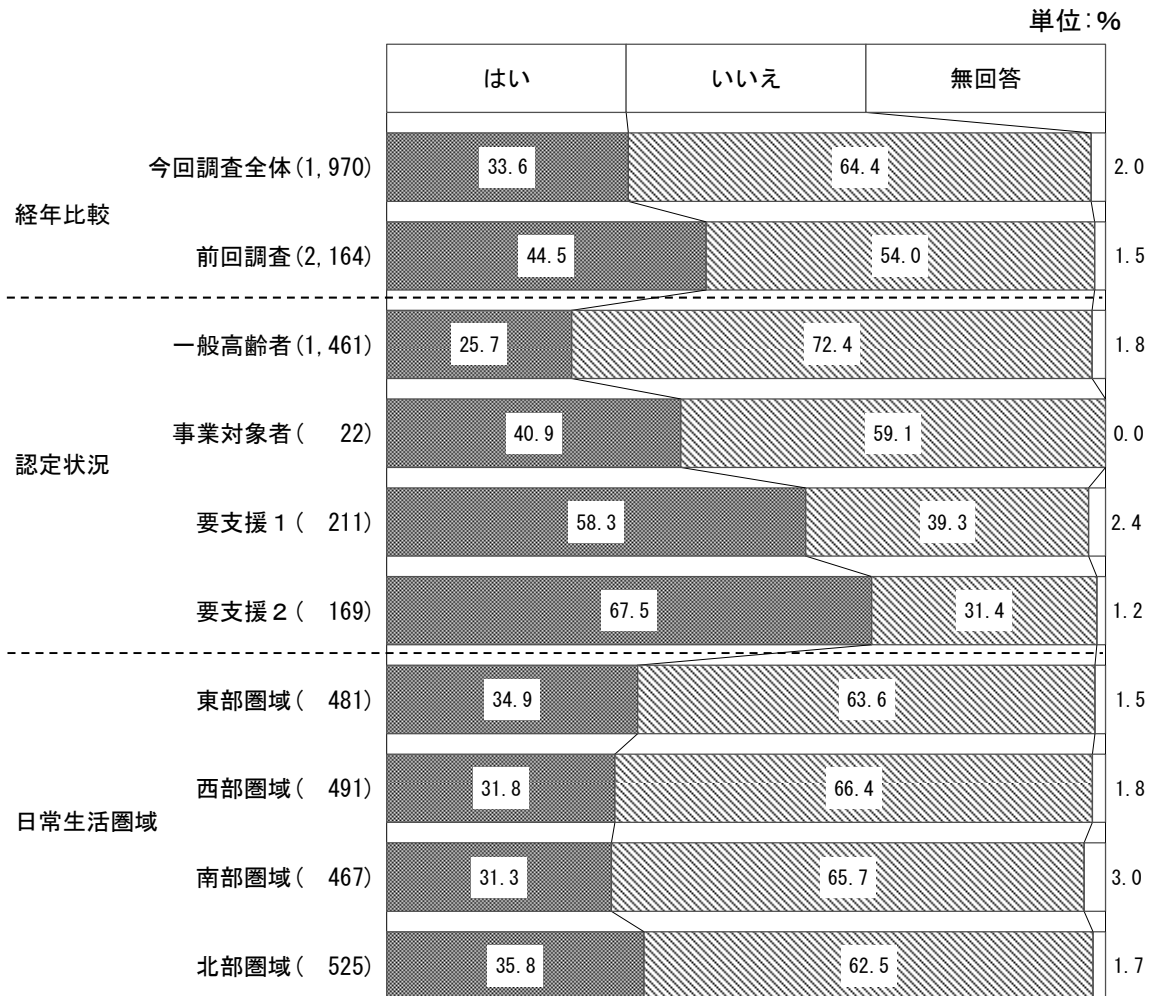
“減っている”（「とても減っている」と「減っている」の合計）が33.6%、“減っていない”（「あまり減っていない」と「減っていない」の合計）が63.9%となっています。

前回調査では“減っている”が38.7%であり、前回調査から今回調査にかけて外出が減っていると回答する人の割合が5ポイント減少していることがわかります。

認定状況別に見ると、要支援1と要支援2では“減っている”が6割前後を占めており、“減っていない”を上回っています。

(8) 外出を控えているか

外出を控えていますか



「はい」が33.6%、「いいえ」が64.4%です。

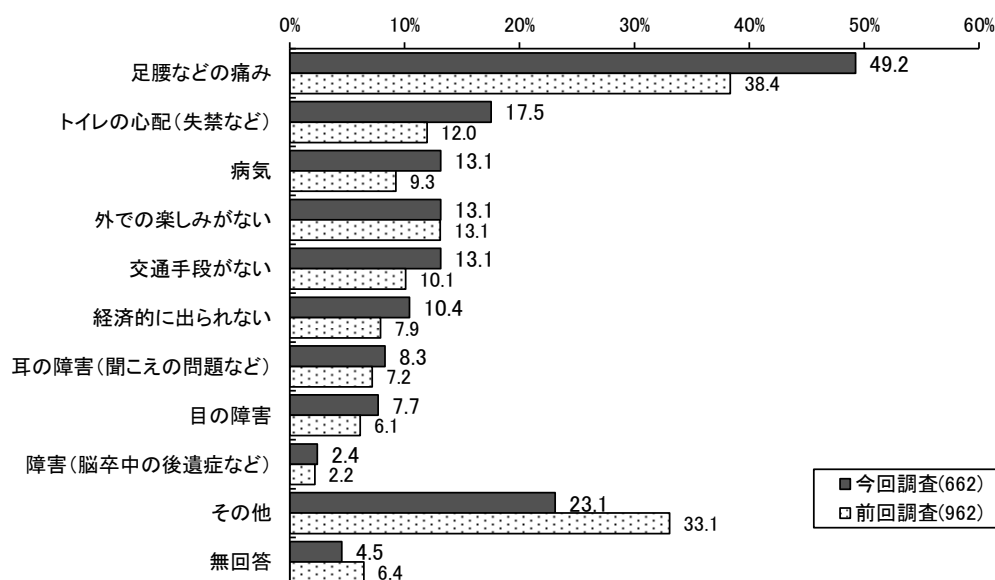
前回調査では「はい」が44.5%、「いいえ」が54.0%であり、前回調査から今回調査にかけて外出を控えていると回答する人の割合が10ポイント減少していることがわかります。

認定状況別に見ると、一般高齢者は「いいえ」が72.4%を占めているのに対し、要支援1と要支援2では「はい」が「いいえ」を上回っており、要支援2の「はい」は67.5%となっています。

(8-1) 外出を控えている理由

【(8)で「はい」(外出を控えている)を選択した高齢者に対する設問】

外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも)



外出を控えている高齢者に対して、その理由を調査したところ、「足腰などの痛み」が49.2%で最も多く、「トイレの心配(失禁など)」が17.5%、「病気」「外での楽しみがない」「交通手段がない」がそれぞれ13.1%で続きます。

前回調査と比較すると、今回調査の「足腰などの痛み」(49.2%)は前回調査(38.4%)を10ポイント上回っているほか、今回調査の「トイレの心配(失禁など)」(17.5%)は前回調査(12.0%)を5ポイント上回っています。

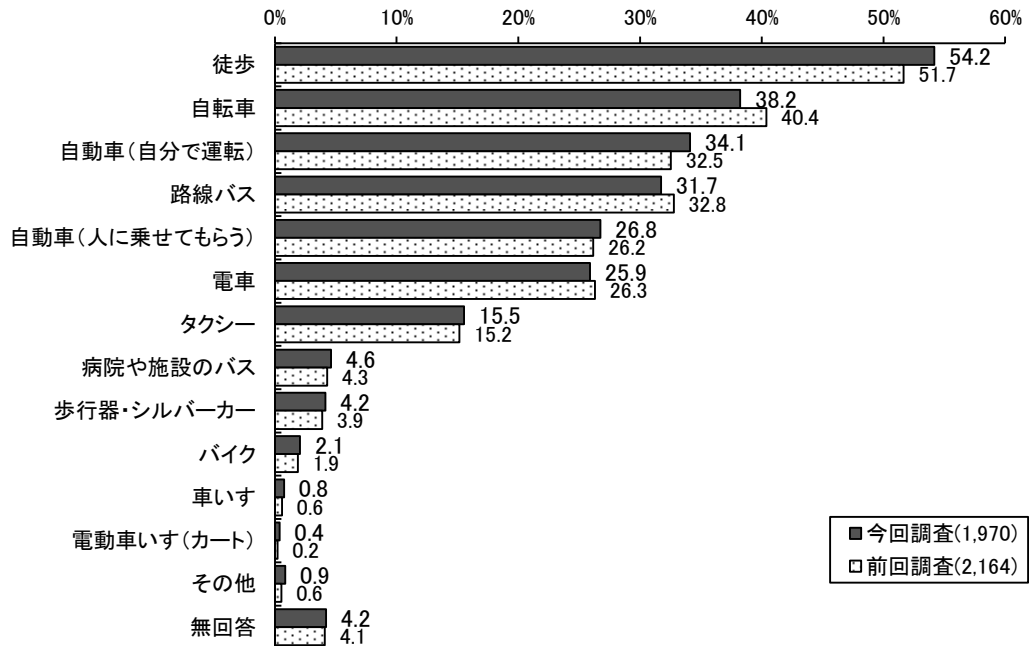
	病気	後遺症(脳卒中)	足腰などの痛み	トイレの心配(失禁など)	耳の障害(聞こえの問題など)	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	無回答
全体(662)	13.1	2.4	49.2	17.5	8.3	7.7	13.1	10.4	13.1	23.1	4.5
一般高齢者(376)	8.5	1.9	38.8	15.4	6.4	5.9	14.1	11.2	9.6	30.9	4.5
事業対象者(9)	11.1	11.1	22.2	22.2	33.3	-	11.1	11.1	-	22.2	-
要支援1(123)	19.5	3.3	67.5	20.3	5.7	8.1	11.4	8.1	17.1	11.4	3.3
要支援2(114)	19.3	2.6	65.8	21.1	13.2	14.0	13.2	9.6	21.1	14.0	5.3
東部圏域(168)	10.7	2.4	57.1	19.0	7.1	8.3	14.3	8.9	14.3	21.4	3.0
西部圏域(156)	17.3	3.8	42.3	18.6	11.5	7.7	14.1	9.6	9.6	19.2	5.1
南部圏域(146)	13.7	1.4	43.8	14.4	8.9	8.9	9.6	12.3	19.9	24.0	5.5
北部圏域(188)	11.7	2.1	51.6	17.6	6.4	6.4	14.4	11.2	9.6	27.1	4.8

認定状況別に見ると、要支援1と要支援2では「足腰などの痛み」が7割弱を占めており、一般高齢者の割合を大幅に上回っています。また、要支援1と要支援2では「交通手段がない」が2割前後、「病気」が2割弱であり、一般高齢者の割合を7ポイント以上上回っています。

日常生活圏域別に見ると、東部圏域では「足腰などの痛み」が57.1%、南部圏域では「交通手段がない」が19.9%であり、他の圏域の割合を5ポイント以上上回っています。

(9) 外出する際の移動手段

外出する際の移動手段は何ですか（いくつでも）



「徒歩」が 54.2%で最も多く、「自転車」が 38.2%、「自動車（自分で運転）」が 34.1%、「路線バス」が 31.7%で続きます。

	徒歩	自転車	バイク	自動車(自分で運転)	自動車(人に乗せてもらう)	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす(カート)	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
全体(1,970)	54.2	38.2	2.1	34.1	26.8	25.9	31.7	4.6	0.8	0.4	4.2	15.5	0.9	4.2
一般高齢者(1,461)	58.0	44.6	2.6	42.4	23.1	30.6	33.5	2.1	0.1	0.1	0.8	9.7	0.1	4.4
事業対象者(22)	63.6	22.7	-	27.3	22.7	18.2	18.2	4.5	-	-	4.5	22.7	4.5	-
要支援1(211)	46.0	20.4	-	8.5	40.3	13.7	29.9	10.0	2.4	1.4	10.0	36.5	2.8	1.9
要支援2(169)	37.9	13.0	-	3.6	46.2	7.7	23.7	15.4	4.7	1.8	24.3	35.5	3.6	3.0
東部圏域(481)	50.5	38.7	2.7	38.3	25.2	25.2	25.4	3.1	1.5	0.4	4.2	14.8	0.8	4.0
西部圏域(491)	54.2	40.3	1.0	32.4	27.1	25.5	33.4	4.9	0.4	-	4.5	14.9	0.2	4.9
南部圏域(467)	60.6	37.9	3.0	31.5	27.4	28.5	32.3	6.4	0.9	0.9	3.9	17.6	1.5	2.8
北部圏域(525)	51.8	36.4	1.7	34.3	27.2	25.0	35.6	4.0	0.4	0.4	4.2	14.9	1.0	5.1

認定状況別に見ると、要支援2では「自動車（人に乗せてもらう）」が「徒歩」を上回って最も多い回答となっています。一般高齢者では「自動車（自分で運転）」が 42.4%であり、要支援1・要支援2の割合を大幅に上回っています。一方、要支援1と要支援2では「自動車（人に乗せてもらう）」が4割台、「タクシー」が4割弱であり、一般高齢者の割合を17ポイント以上上回っています。

日常生活圏域別に見ると、南部圏域では「徒歩」が 60.6%であり、他の圏域の割合を6ポイント以上上回っています。また、東部圏域では「路線バス」が 25.4%であり、他の圏域の割合を6ポイント以上上回っています。

4 食べることについて

(1) 身長、体重

各回答者の身長・体重からBMIを算出し、その結果を「やせ」「標準」「肥満」で区分しました。

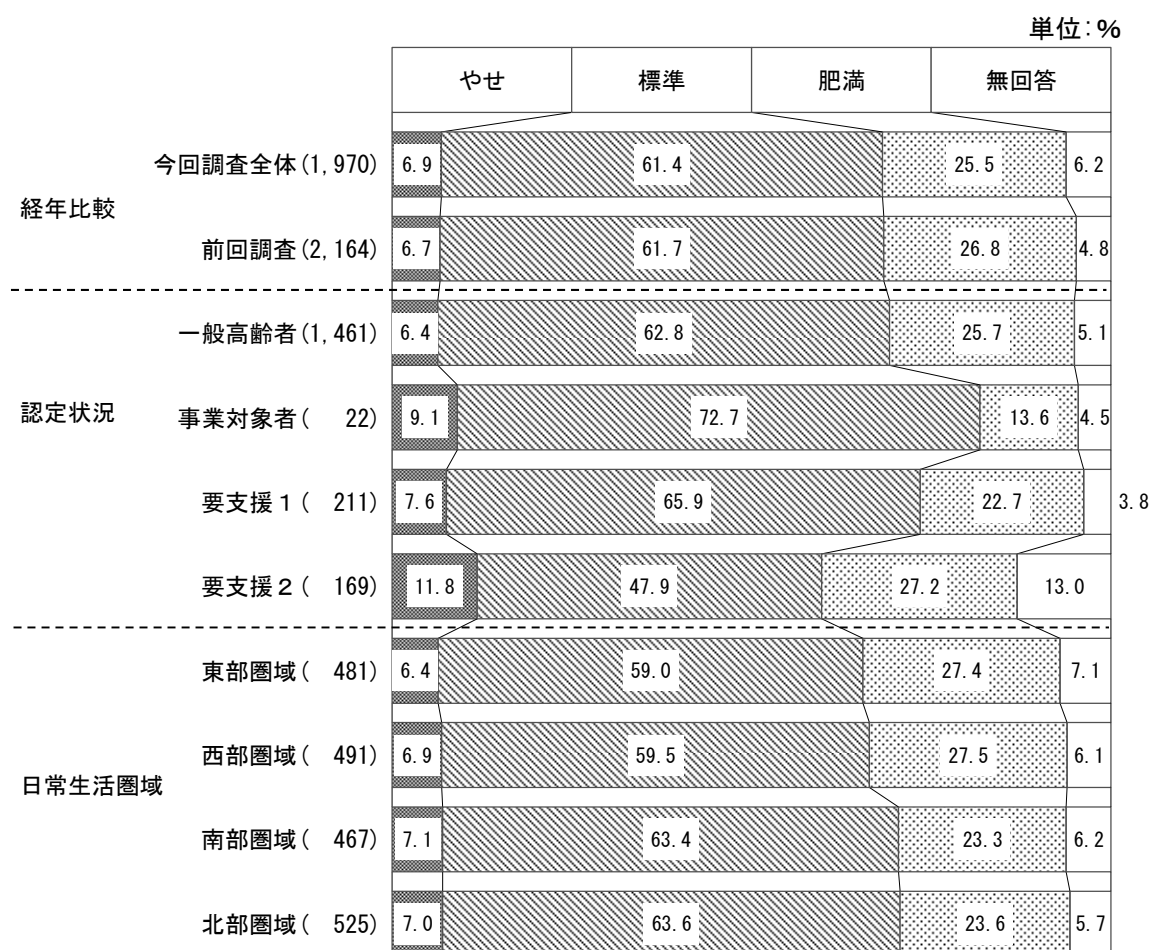
※ BMI (Body Mass Index) とは、身長と体重から算出される肥満度を表す指標です。

【計算式】 $BMI = \text{体重 (kg)} \div \text{身長 (m)} \div \text{身長 (m)}$

やせ：18.5 未満

標準：18.5 以上 25.0 未満

肥満：25.0 以上

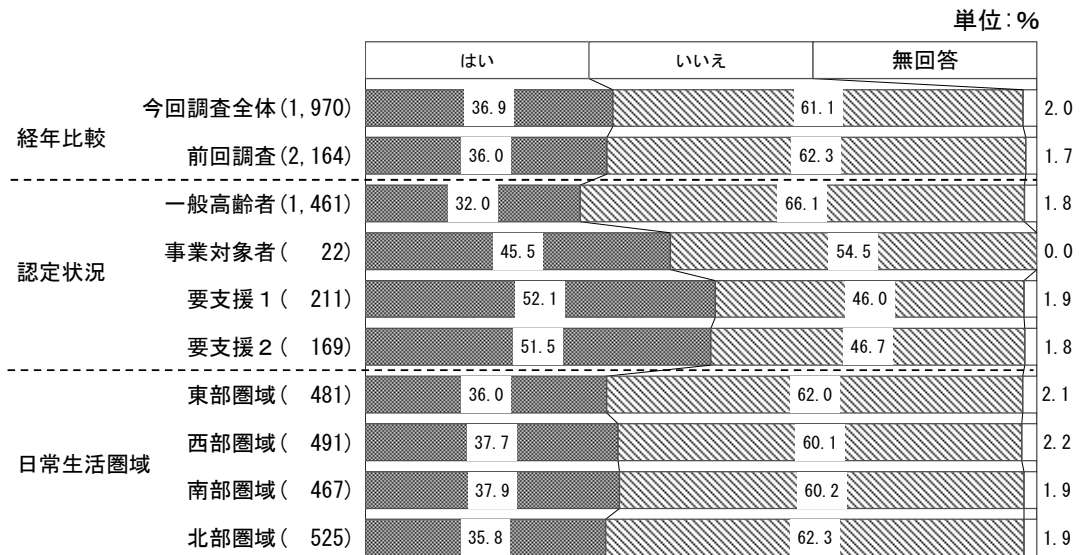


「標準」が61.4%で最も多く、「肥満」が25.5%、「やせ」が6.9%で続きます。

認定状況別に見ると、要支援2では「やせ」が1割強、「標準」が5割弱となっています。

(2) 固いものが食べにくくなったか

半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

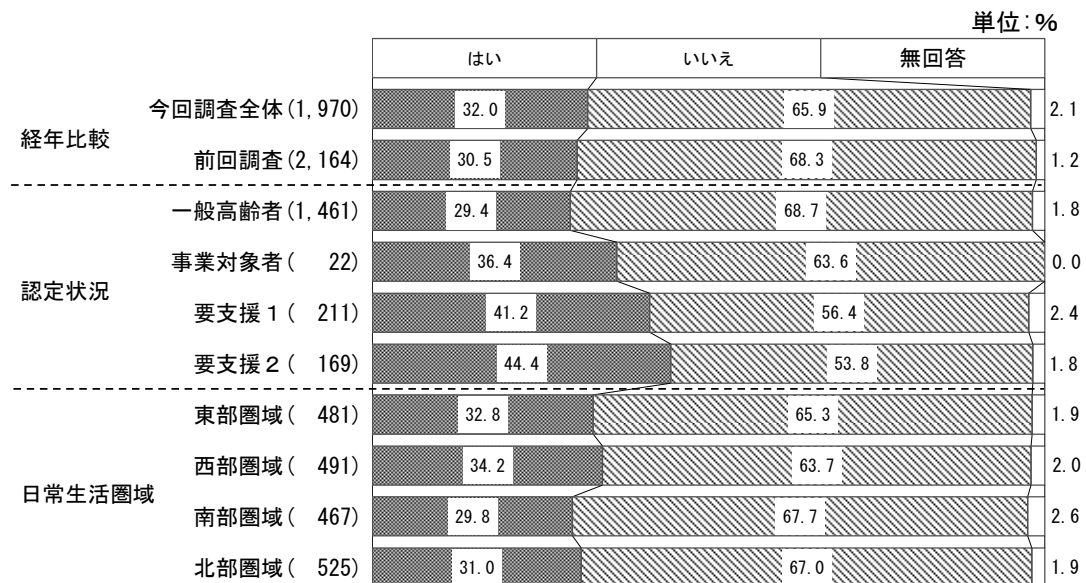


「はい」が36.9%、「いいえ」が61.1%です。

認定状況別に見ると、要支援1と要支援2では「はい」が5割強で「いいえ」を上回っています。

(3) お茶や汁物等でむせることの有無

お茶や汁物等でむせることがありますか

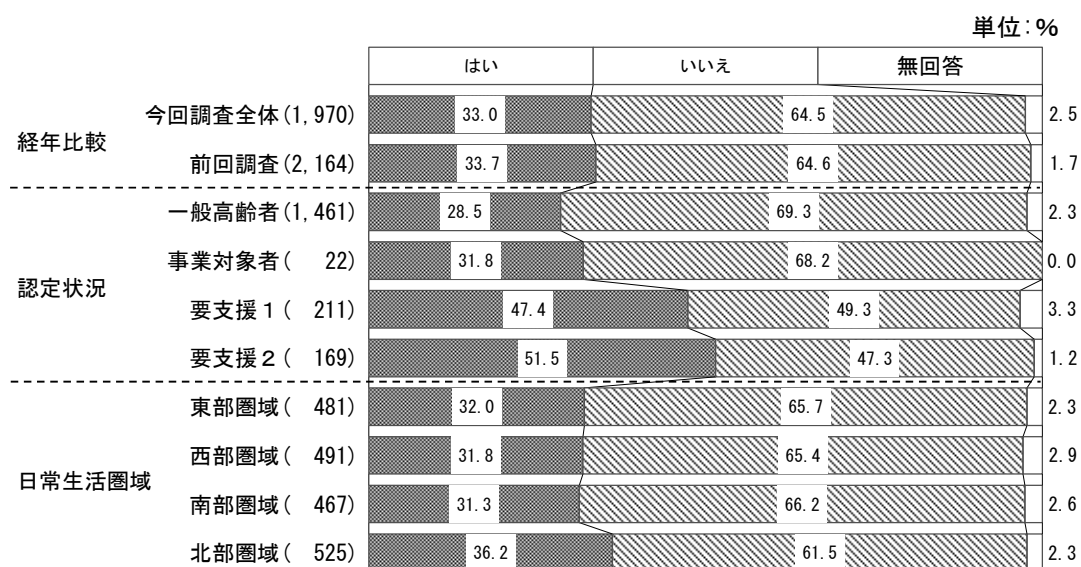


「はい」が32.0%、「いいえ」が65.9%です。

認定状況別に見ると、要支援1と要支援2では「はい」が4割強となっています。

(4) 口の渇きが気になるか

口の渇きが気になりますか

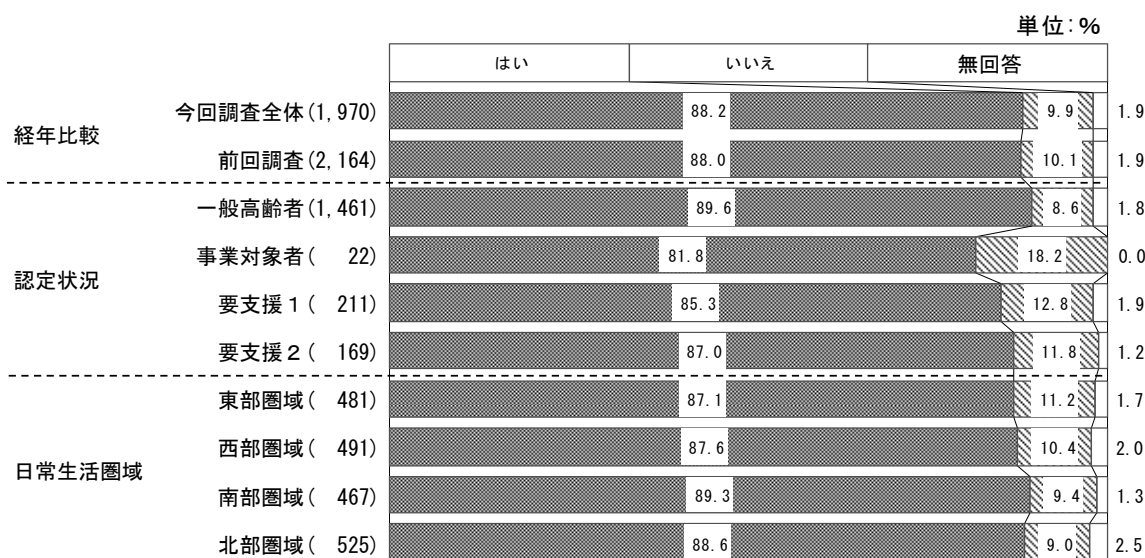


「はい」が33.0%、「いいえ」が64.5%です。

認定状況別に見ると、要支援1と要支援2では「はい」が5割前後であり、要支援2では「はい」が「いいえ」を上回っています。

(5) 歯磨きを毎日しているか

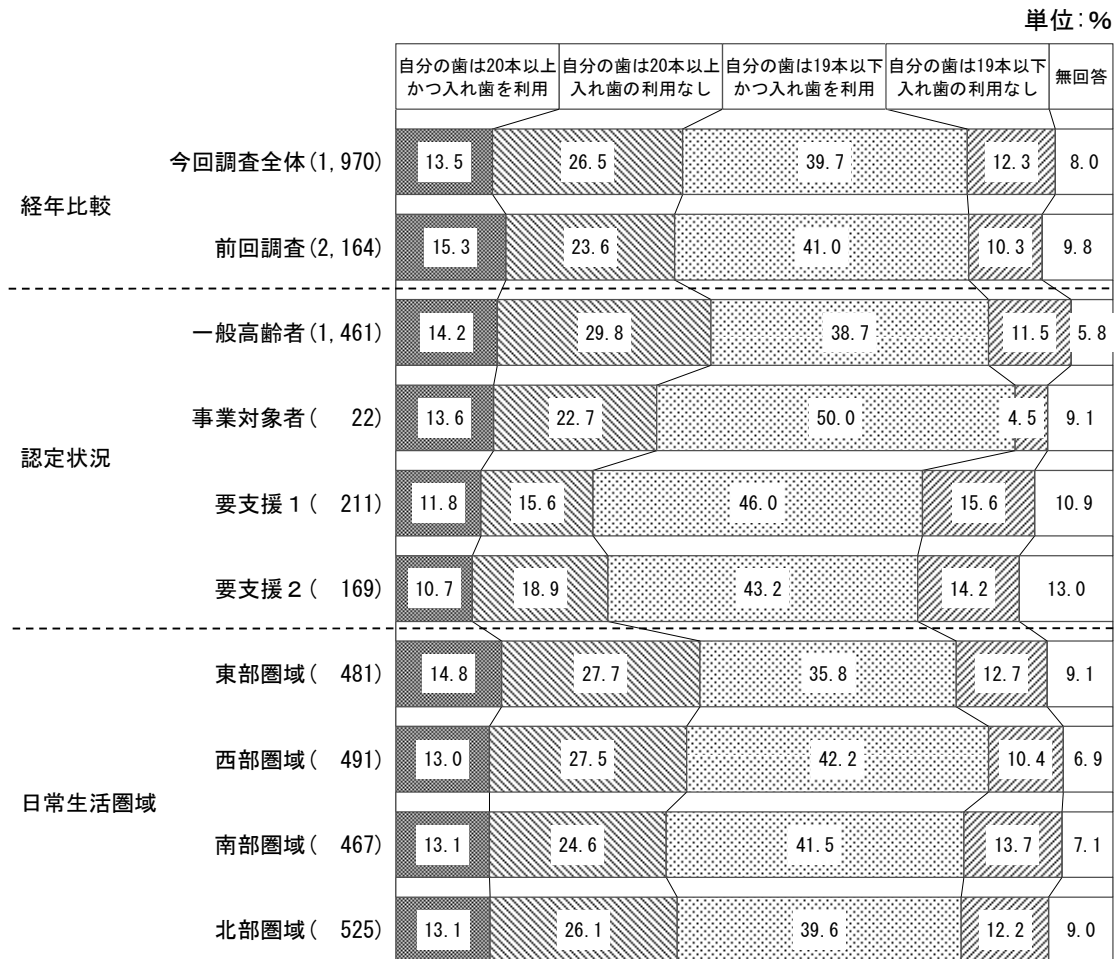
歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか



「はい」が88.2%、「いいえ」が9.9%です。

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況

歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください
 (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)



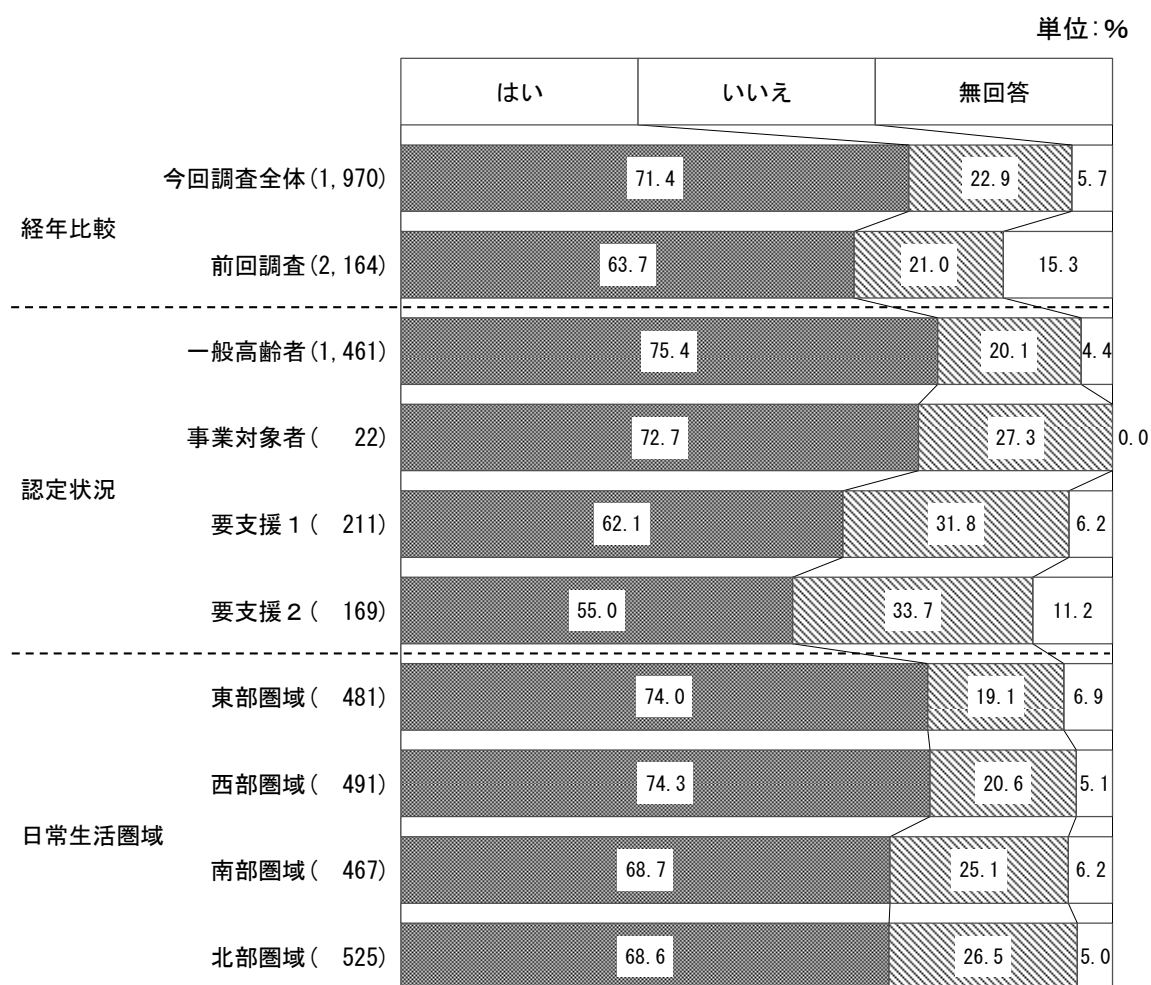
「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が39.7%で最も多く、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が26.5%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が13.5%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が12.3%で続きます。

自分の歯が20本以上あるという回答は4割、入れ歯を利用しているという回答は5割強となっています。

認定状況別に見ると、一般高齢者では自分の歯が20本以上あるという回答が4割強であるのに対し、要支援1と要支援2では3割弱にとどまっています。また、要支援1と要支援2では「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が4割台となっています。

(7) 噛み合わせの状況

噛み合わせは良いですか



「はい」が71.4%、「いいえ」が22.9%です。

前回調査と比較すると、今回調査の「はい」(71.4%)は前回調査(63.7%)を7ポイント上回っています。

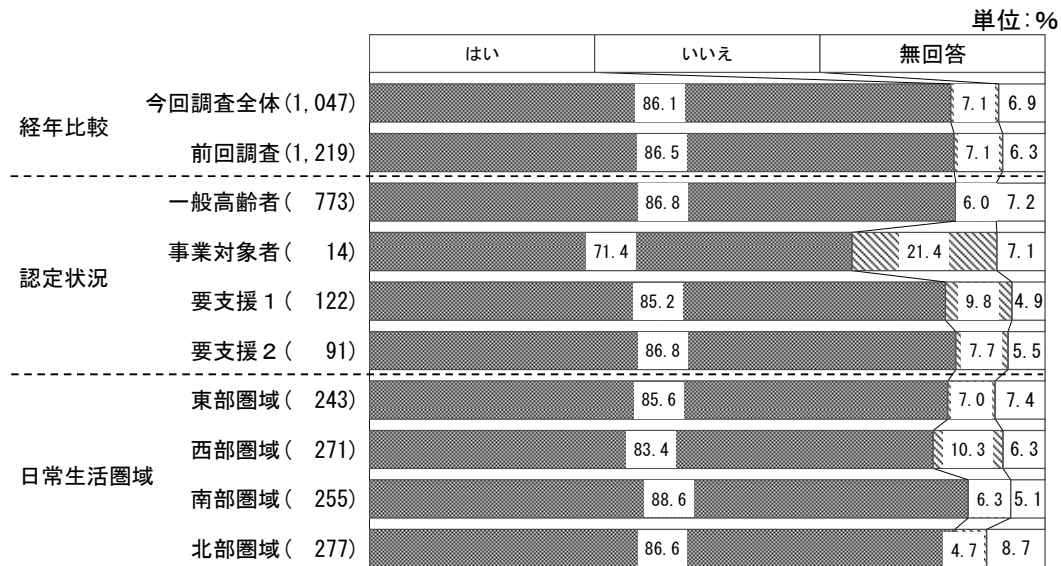
認定状況別に見ると、一般高齢者は「はい」が75.4%を占めているのに対し、要支援1では62.1%、要支援2では55.0%となっています。

日常生活圏域別に見ると、東部圏域と西部圏域では「はい」が7割強となっており、他の圏域の割合を5ポイント上回っています。

(7-1) 毎日手入れをしているか

【(6)で「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」を選択した高齢者に対する設問】

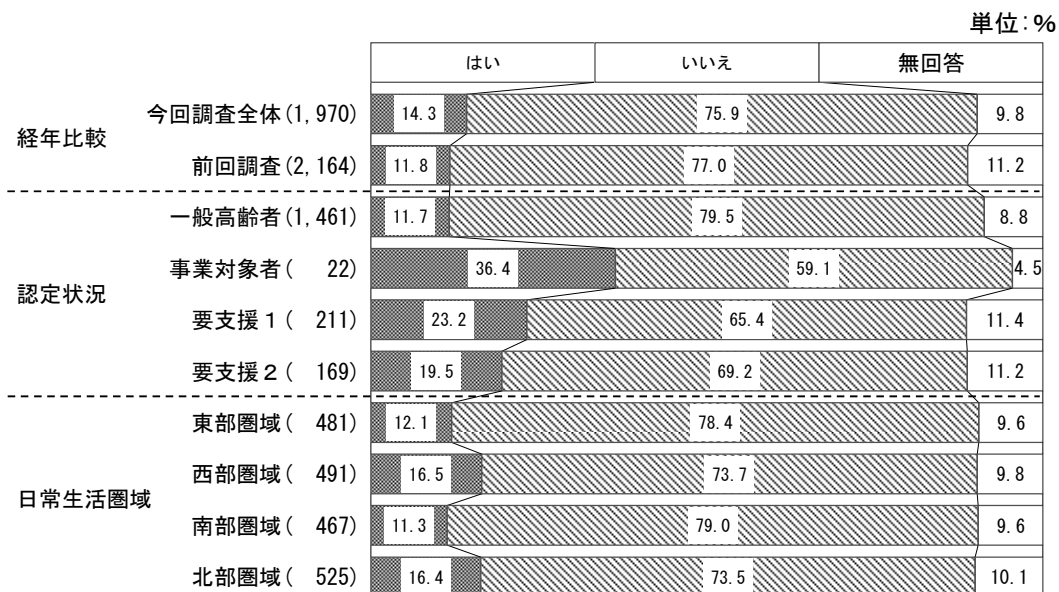
毎日入れ歯の手入れをしていますか



入れ歯を利用している高齢者に対して、毎日入れ歯の手入れをしているかどうかを調査したところ、「はい」が86.1%、「いいえ」が7.1%です。

(8) 6か月間で2～3kg以上の体重減少の有無

6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

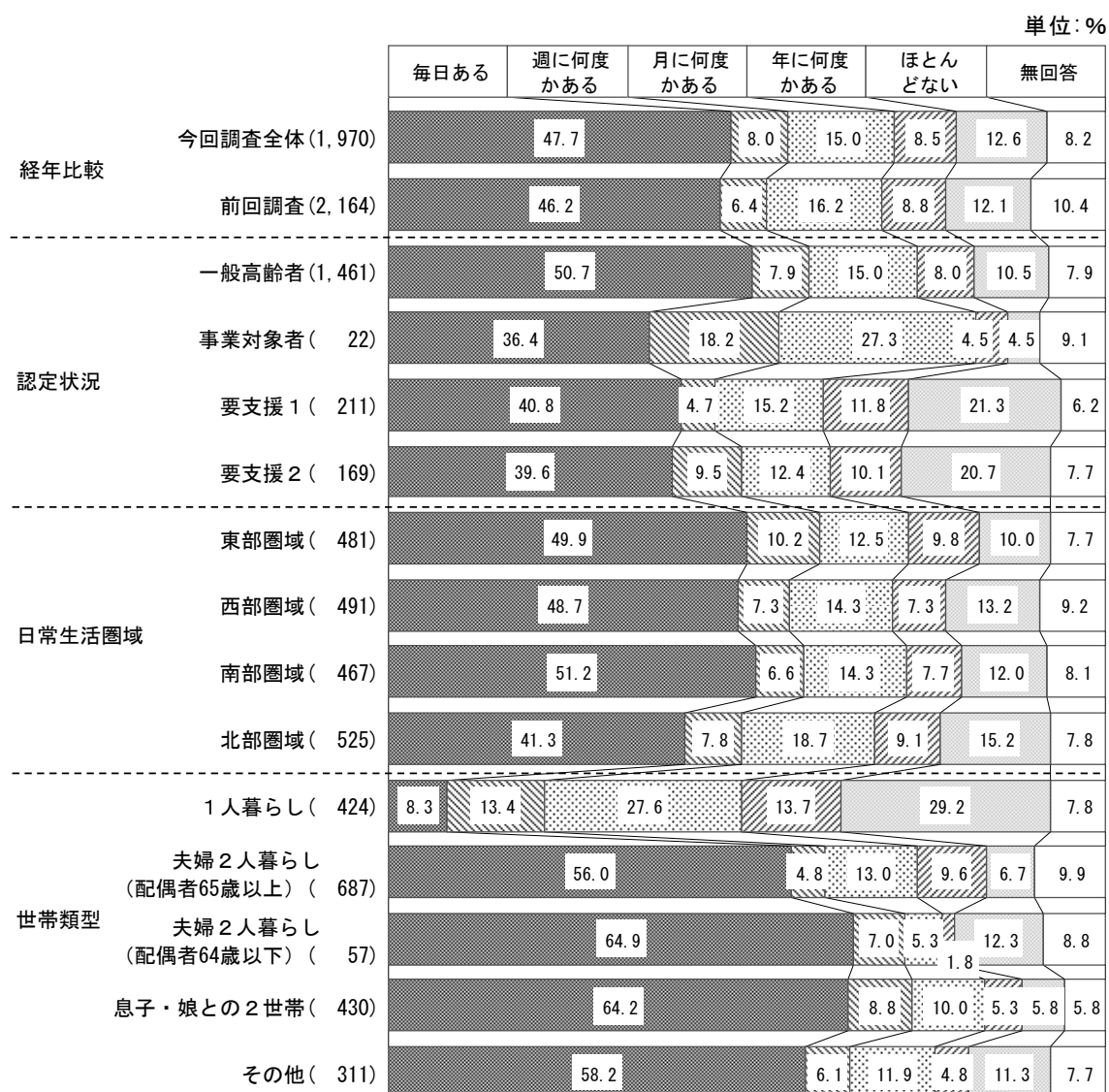


「はい」が14.3%、「いいえ」が75.9%です。

認定状況別に見ると、一般高齢者は「はい」が11.7%であるのに対し、要支援1と要支援2では2割前後となっています。

(9) 誰かと食事をとにもする機会があるか

どなたかと食事をとにもする機会がありますか



「毎日ある」が47.7%で最も多く、「月に何度かある」が15.0%、「ほとんどない」が12.6%、「年に何度かある」が8.5%で続きます。

認定状況別に見ると、一般高齢者は「毎日ある」が50.7%であるのに対し、要支援1と要支援2では4割前後となっています。

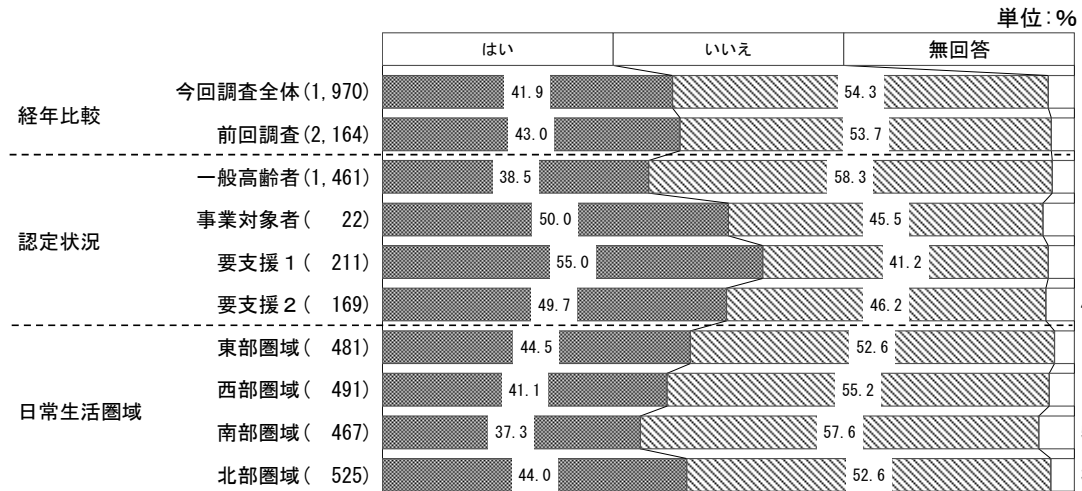
日常生活圏域別に見ると、北部圏域では「毎日ある」が41.3%であり、他の圏域の割合を7ポイント以上下回っています。

世帯類型別に見ると、1人暮らしでは「ほとんどない」が29.2%、「月に何度かある」が27.6%であり、他のタイプの割合を14ポイント以上上回っています。

5 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じるか

物忘れが多いと感じますか



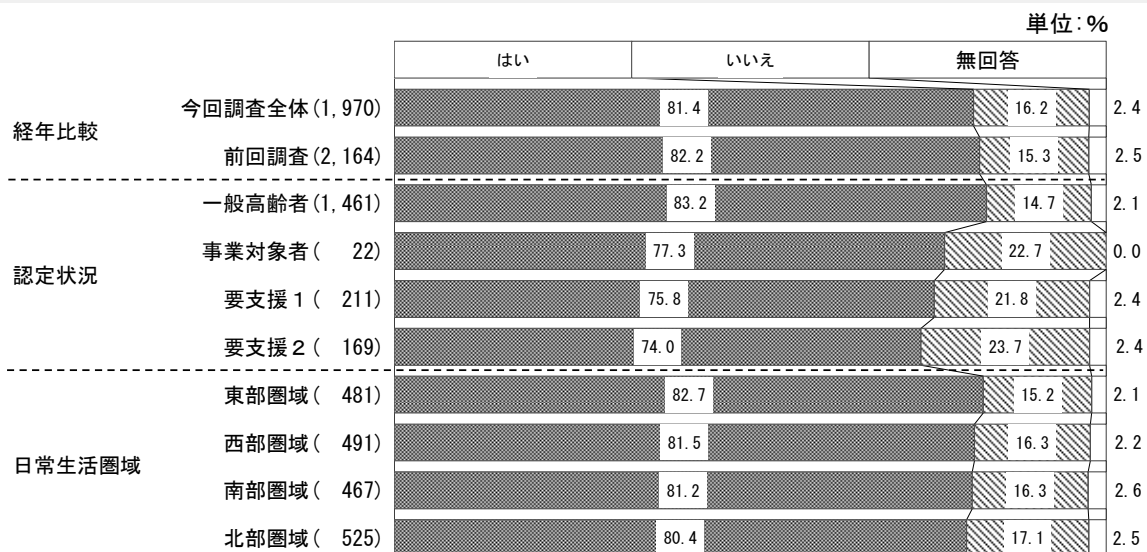
「はい」が41.9%、「いいえ」が54.3%です。

認定状況別に見ると、要支援1では「はい」が55.0%、要支援2では49.7%であり、いずれも「いいえ」の割合を上回っています。

日常生活圏域別に見ると、南部圏域では「はい」が3割台にとどまっています。

(2) 自分で電話番号を調べて電話をかけているか

自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

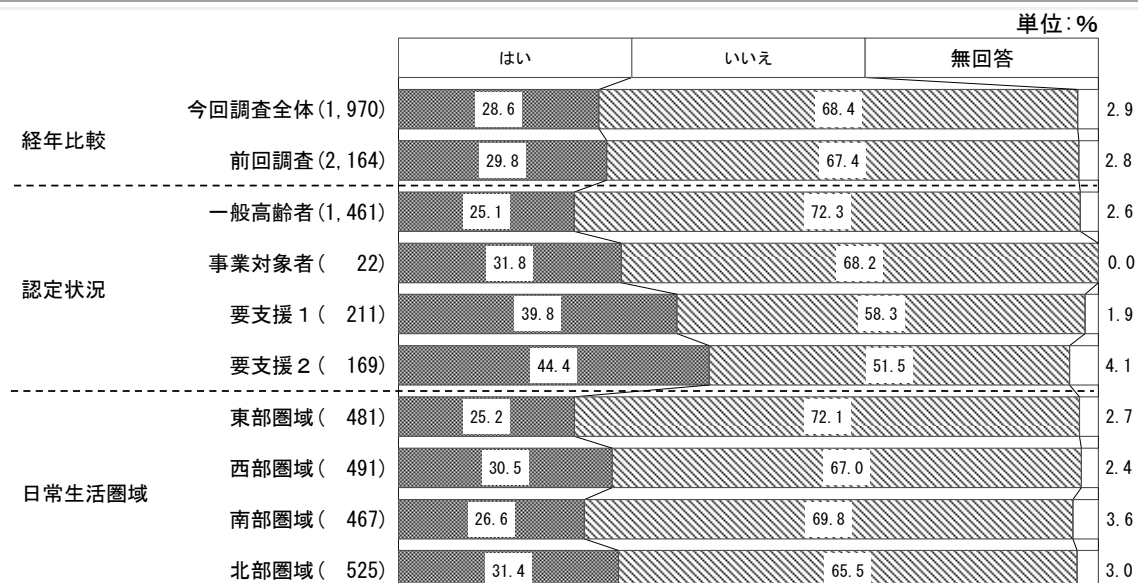


「はい」が81.4%、「いいえ」が16.2%です。

認定状況別に見ると、要支援1と要支援2では「いいえ」が2割強となっており、一般高齢者の割合を7ポイント以上上回っています。

(3) 日付が分からなくなることがあるか

今日が何月何日かわからない時がありますか



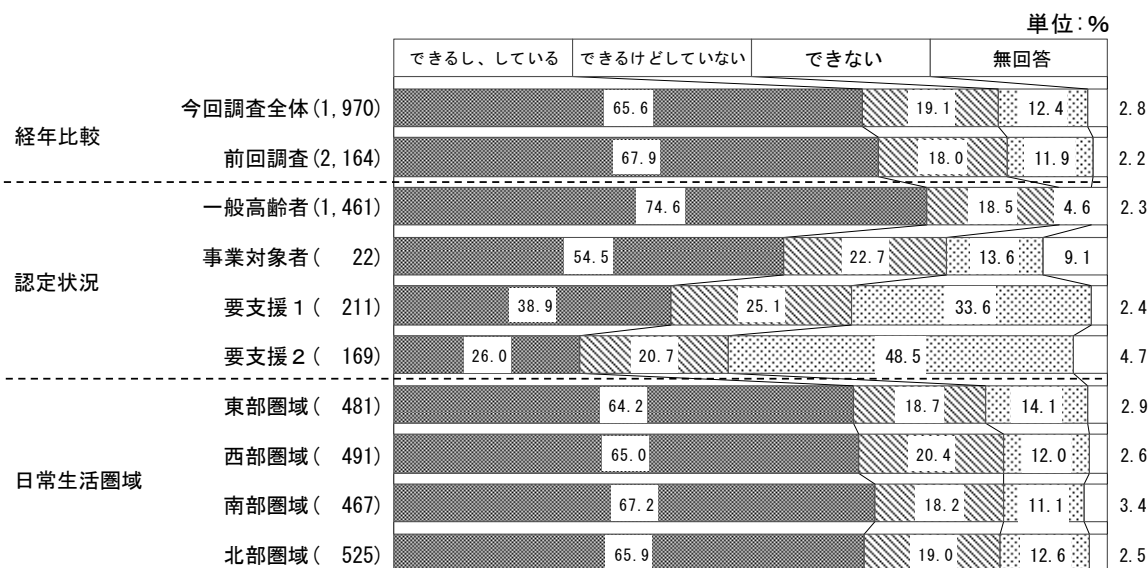
「はい」が28.6%、「いいえ」が68.4%です。

認定状況別に見ると、要支援1と要支援2では「はい」が4割前後となっています。

日常生活圏域別に見ると、西部圏域と北部圏域では「はい」が3割強となっています。

(4) バスや電車で1人で外出しているか

バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）

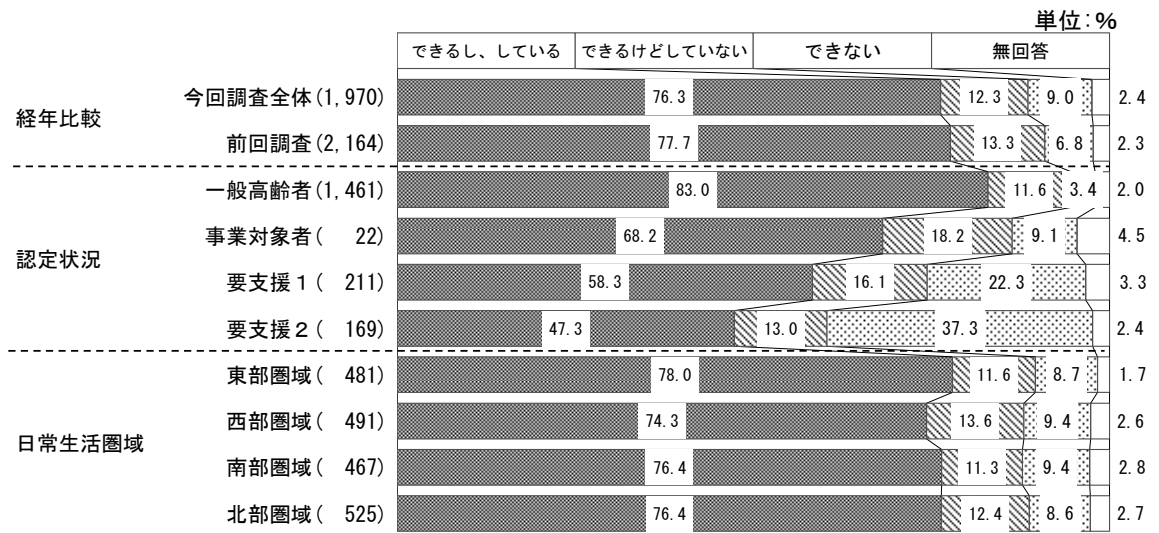


「できるし、している」が65.6%で最も多く、「できるけどしていない」が19.1%、「できない」が12.4%で続きます。

認定状況別に見ると、一般高齢者は「できるし、している」が74.6%を占めているのに対し、要支援2では「できない」が「できるし、している」を上回っています。

(5) 日用品の買い物をしているか

自分で食品・日用品の買物をしていますか

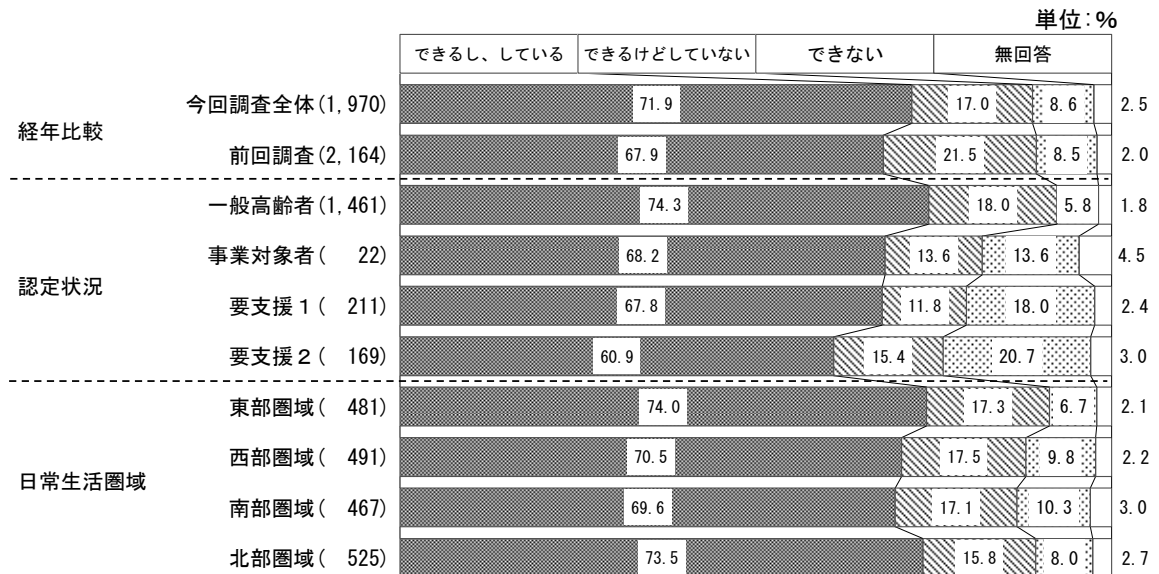


「できるし、している」が76.3%で最も多く、「できるけどしていない」が12.3%、「できない」が9.0%で続きます。

認定状況別に見ると、一般高齢者は「できるし、している」が83.0%を占めているのに対し、要支援1では58.3%、要支援2では47.3%となっています。

(6) 自分で食事の用意をしているか

自分で食事の用意をしていますか

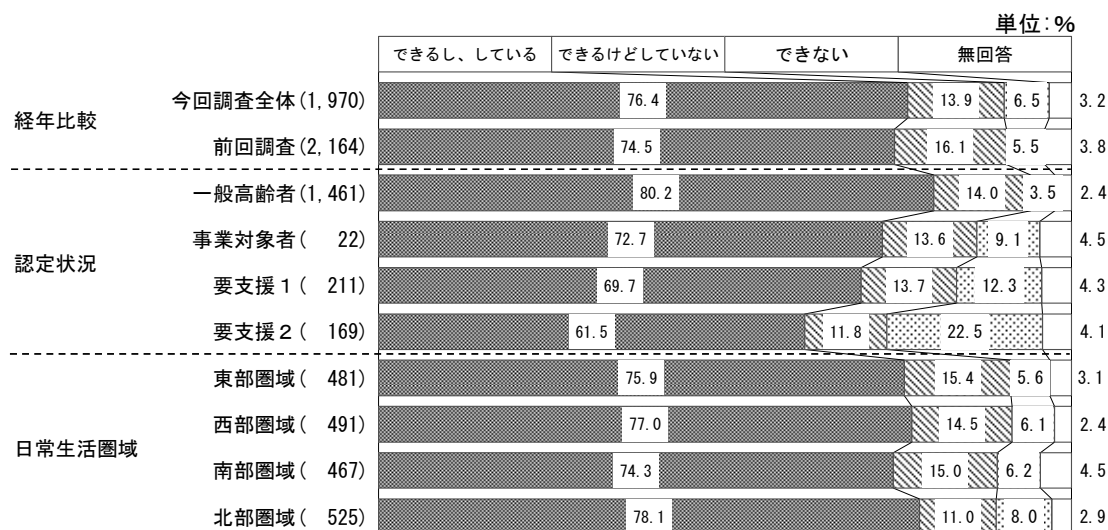


「できるし、している」が71.9%で最も多く、「できるけどしていない」が17.0%、「できない」が8.6%で続きます。

認定状況別に見ると、要支援1と要支援2では「できるし、している」が6割台、「できない」が2割前後となっています。

(7) 請求書の支払いをしているか

自分で請求書の支払いをしていますか

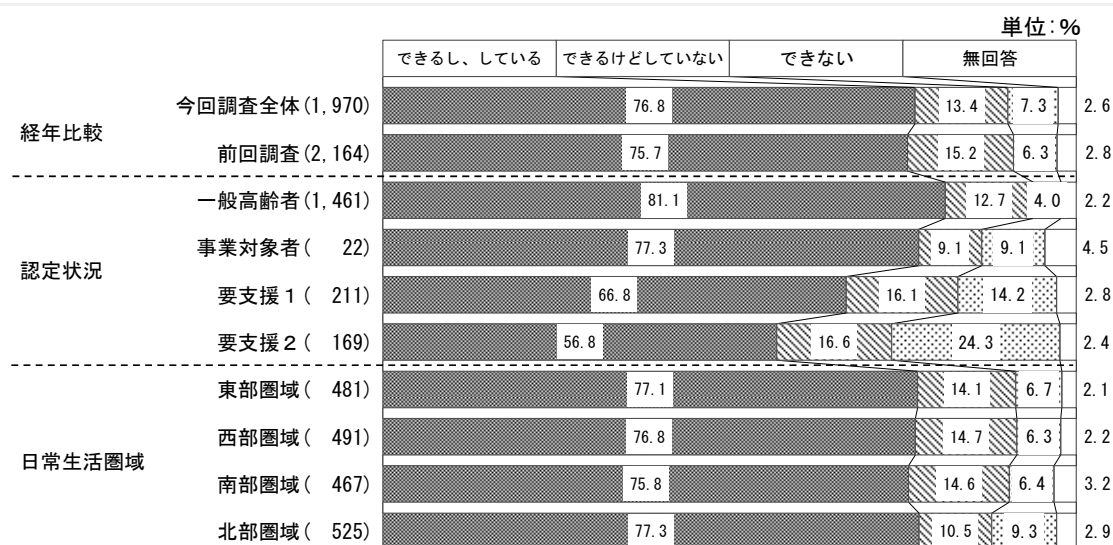


「できるし、している」が76.4%で最も多く、「できるけどしていない」が13.9%、「できない」が6.5%で続きます。

認定状況別に見ると、一般高齢者は「できるし、している」が80.2%であるのに対し、要支援1と要支援2では6割台であり、要支援2の「できない」は22.5%となっています。

(8) 預貯金の出し入れをしているか

自分で預貯金の出し入れをしていますか

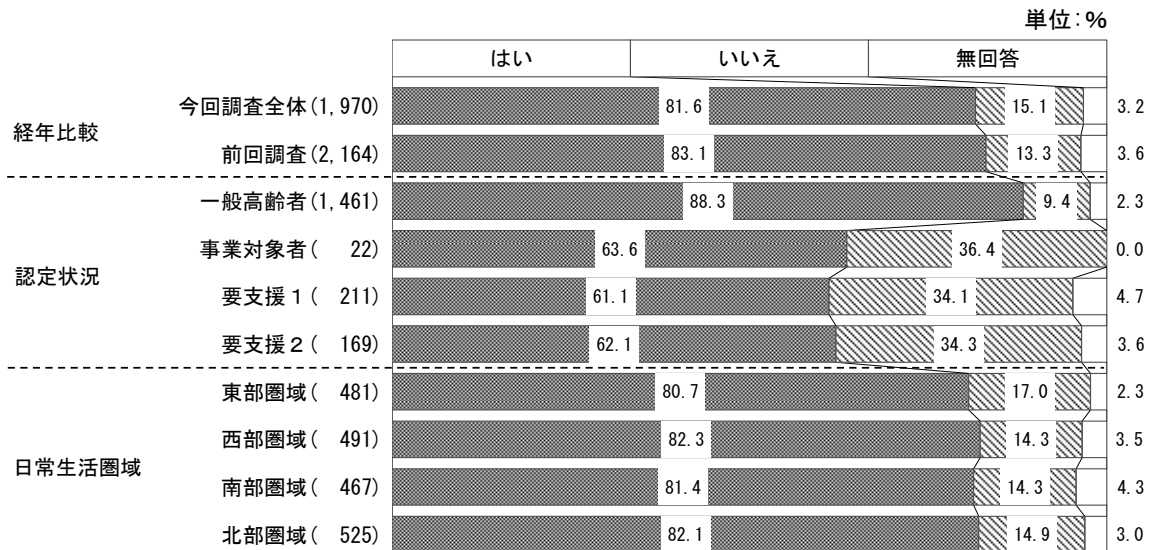


「できるし、している」が76.8%で最も多く、「できるけどしていない」が13.4%、「できない」が7.3%で続きます。

認定状況別に見ると、一般高齢者は「できるし、している」が81.1%であるのに対し、要支援1と要支援2では5～6割台であり、要支援2の「できない」は24.3%となっています。

(9) 年金などの書類が書けるか

年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか

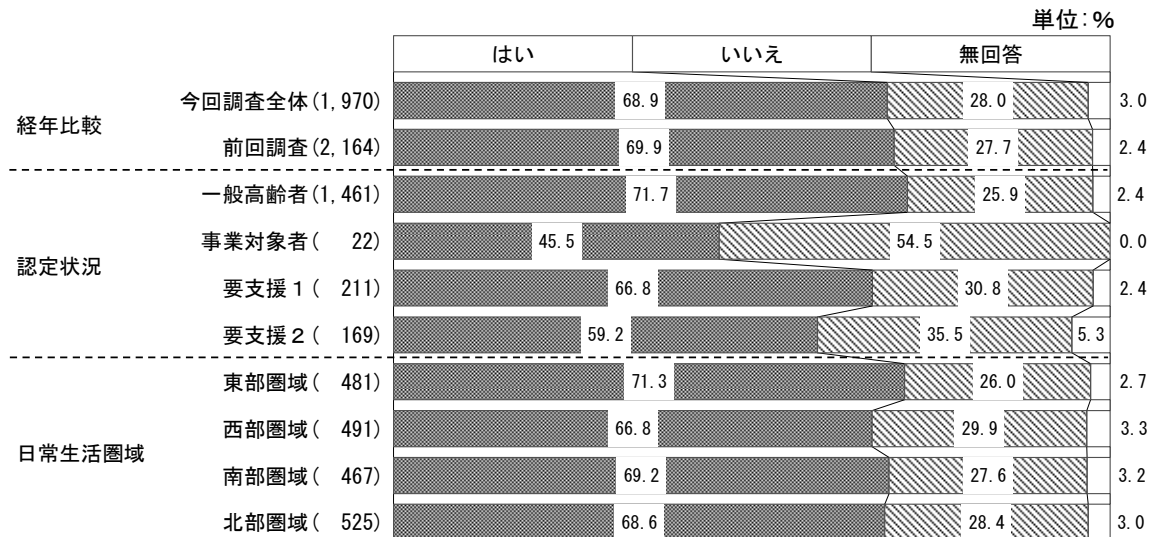


「はい」が81.6%、「いいえ」が15.1%です。

認定状況別に見ると、一般高齢者は「はい」が88.3%を占めているのに対し、要支援1と要支援2では「はい」が6割強、「いいえ」が3割強となっています。

(10) 新聞を読んでいるか

新聞を読んでいますか



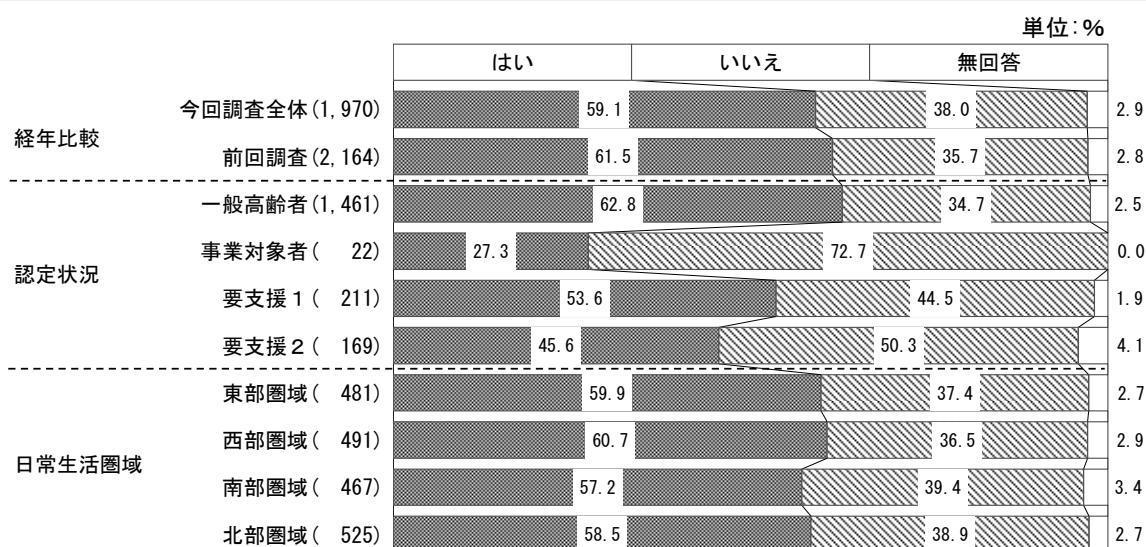
「はい」が68.9%、「いいえ」が28.0%です。

認定状況別に見ると、一般高齢者と要支援1では「はい」が7割前後であるのに対し、要支援2では59.2%となっています。

日常生活圏域別に見ると、東部圏域では「はい」が7割強となっています。

(11) 本や雑誌を読んでいるか

本や雑誌を読んでいますか

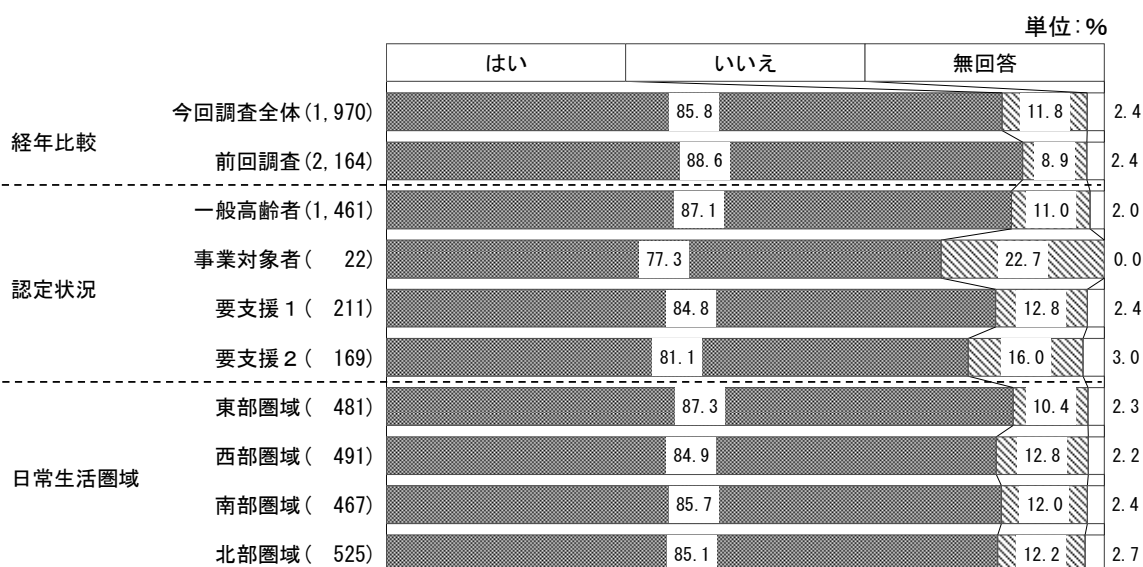


「はい」が59.1%、「いいえ」が38.0%です。

認定状況別に見ると、要支援2では「いいえ」が50.3%であり、「いいえ」が「はい」を上回っています。

(12) 健康についての記事や番組に関心があるか

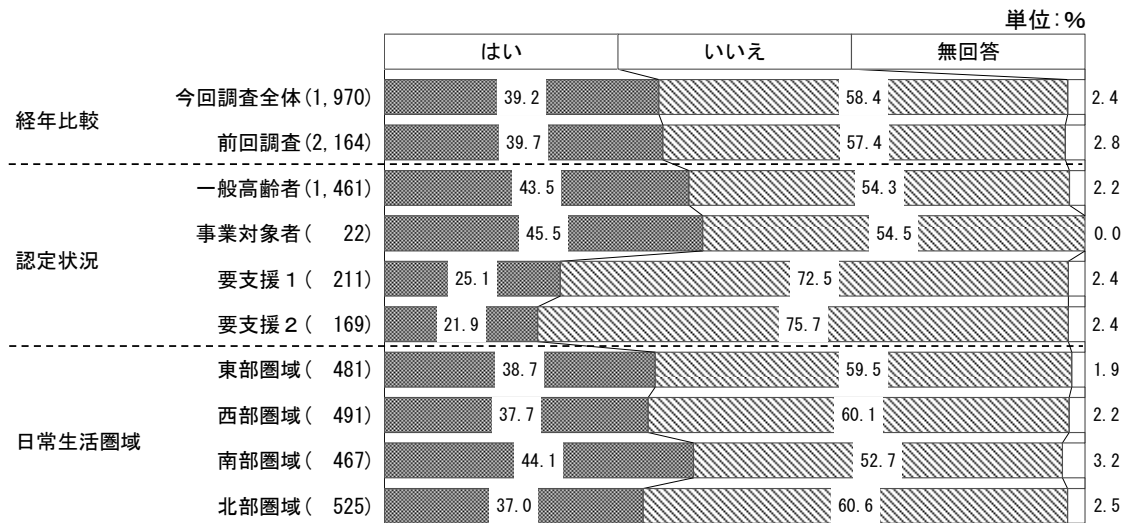
健康についての記事や番組に関心がありますか



「はい」が85.8%、「いいえ」が11.8%です。

(13) 友人の家を訪ねているか

友人の家を訪ねていますか



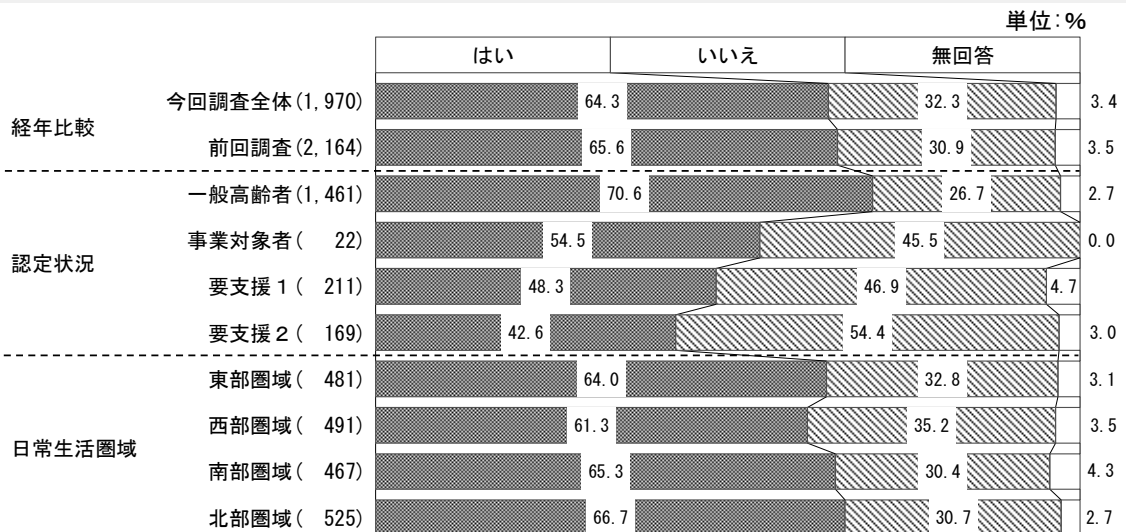
「はい」が39.2%、「いいえ」が58.4%です。

認定状況別に見ると、一般高齢者では「はい」が43.5%であるのに対し、要支援1と要支援2では「はい」が2割台、「いいえ」が7割台となっています。

日常生活圏域別に見ると、南部圏域では「はい」が44.1%であり、他の圏域の割合を5ポイント以上上回っています。

(14) 家族や友人の相談に乗っているか

家族や友人の相談にのっていますか

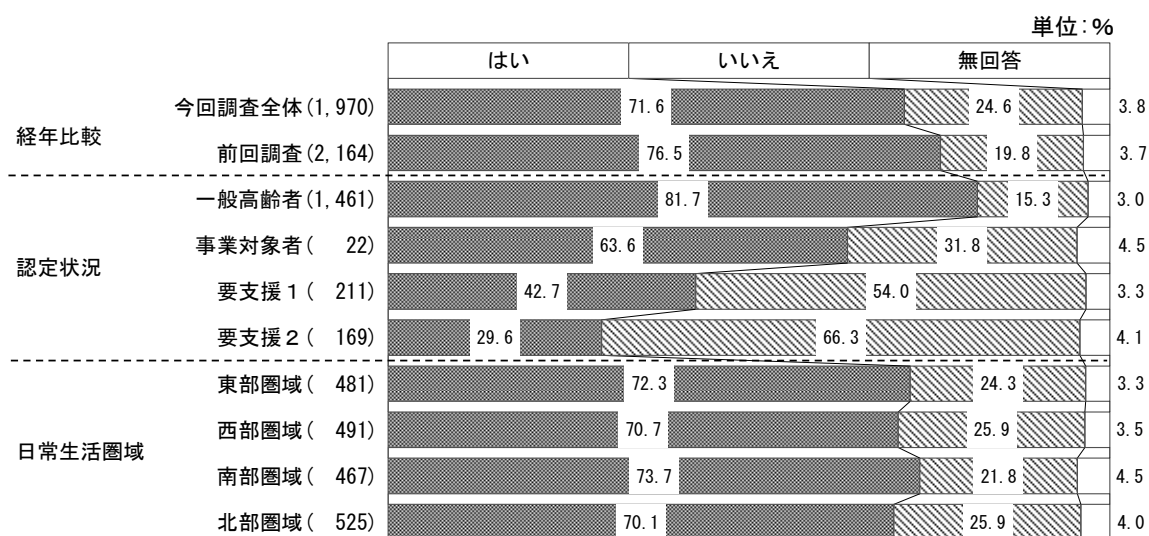


「はい」が64.3%、「いいえ」が32.3%です。

認定状況別に見ると、一般高齢者は「はい」が70.6%を占めているのに対し、要支援1では「はい」「いいえ」がいずれも5割弱、要支援2では「いいえ」が54.4%で「はい」を上回っています。

(15) 病人を見舞うことができるか

病人を見舞うことができますか

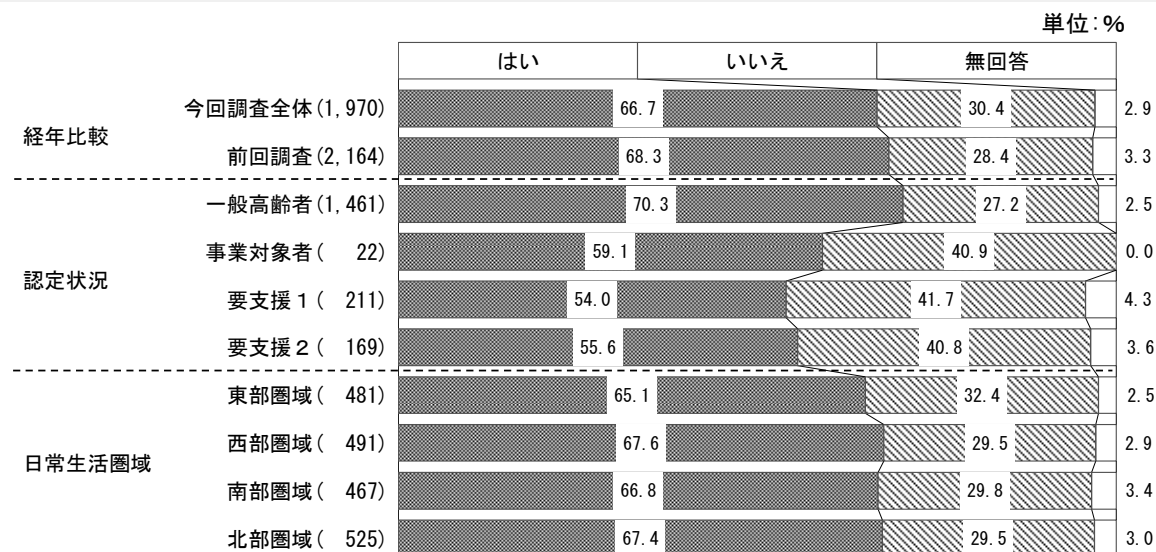


「はい」が71.6%、「いいえ」が24.6%です。

認定状況別に見ると、一般高齢者は「はい」が81.7%であるのに対し、要支援1と要支援2では「いいえ」が「はい」を上回っており、要支援2の「いいえ」は66.3%です。

(16) 若い人に自分から話しかけることがあるか

若い人に自分から話しかけることがありますか

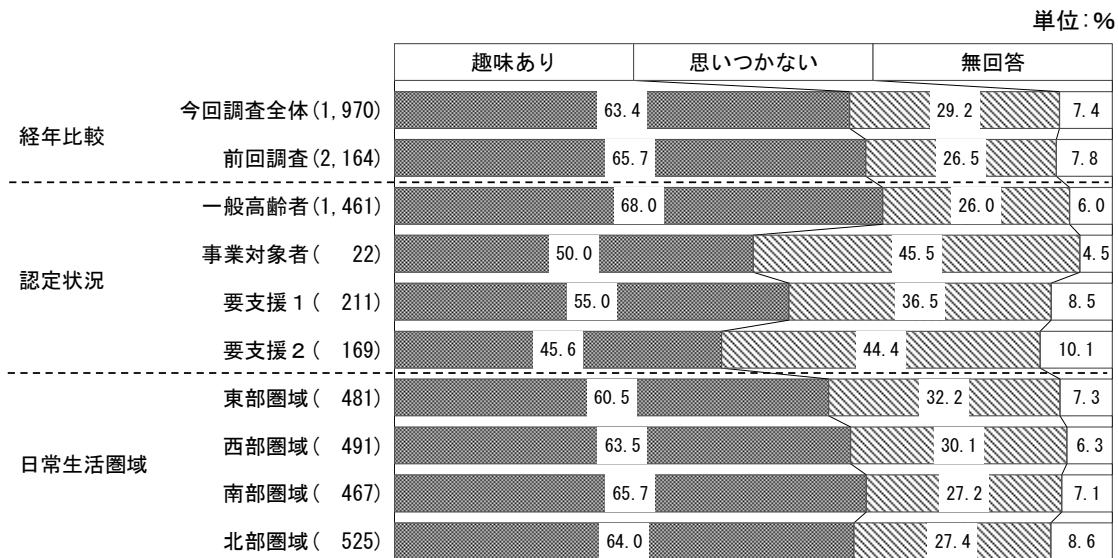


「はい」が66.7%、「いいえ」が30.4%です。

認定状況別に見ると、一般高齢者は「はい」が70.3%を占めているのに対し、要支援1と要支援2では「はい」が5割台、「いいえ」が4割強となっています。

(17) 趣味はあるか

趣味はありますか

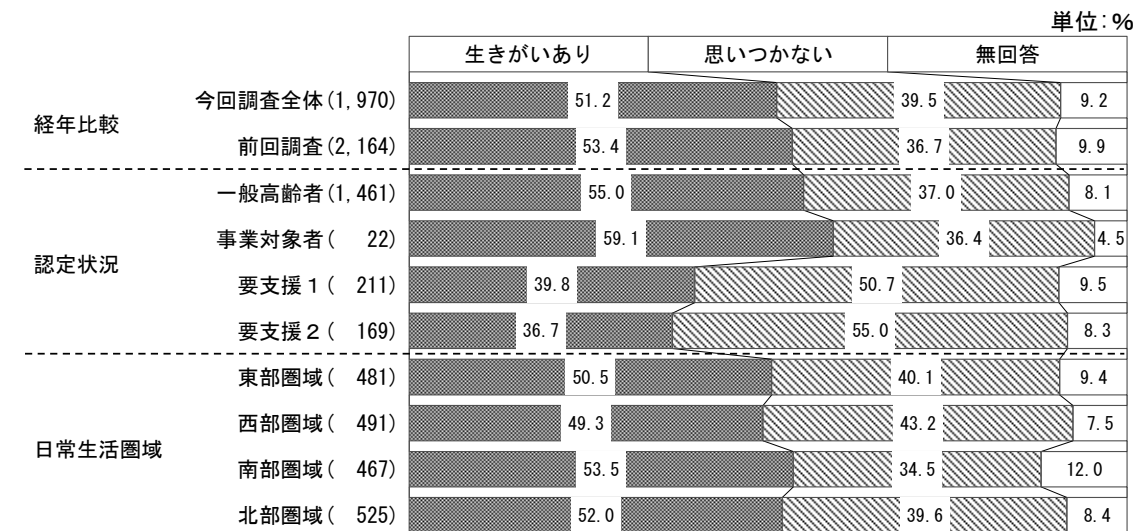


「趣味あり」が63.4%、「思いつかない」が29.2%です。

認定状況別に見ると、一般高齢者は「趣味あり」が68.0%を占めているのに対し、要支援2では「趣味あり」が45.6%、「思いつかない」が44.4%で両者の差が小さくなっています。

(18) 生きがいはあるか

生きがいはありますか



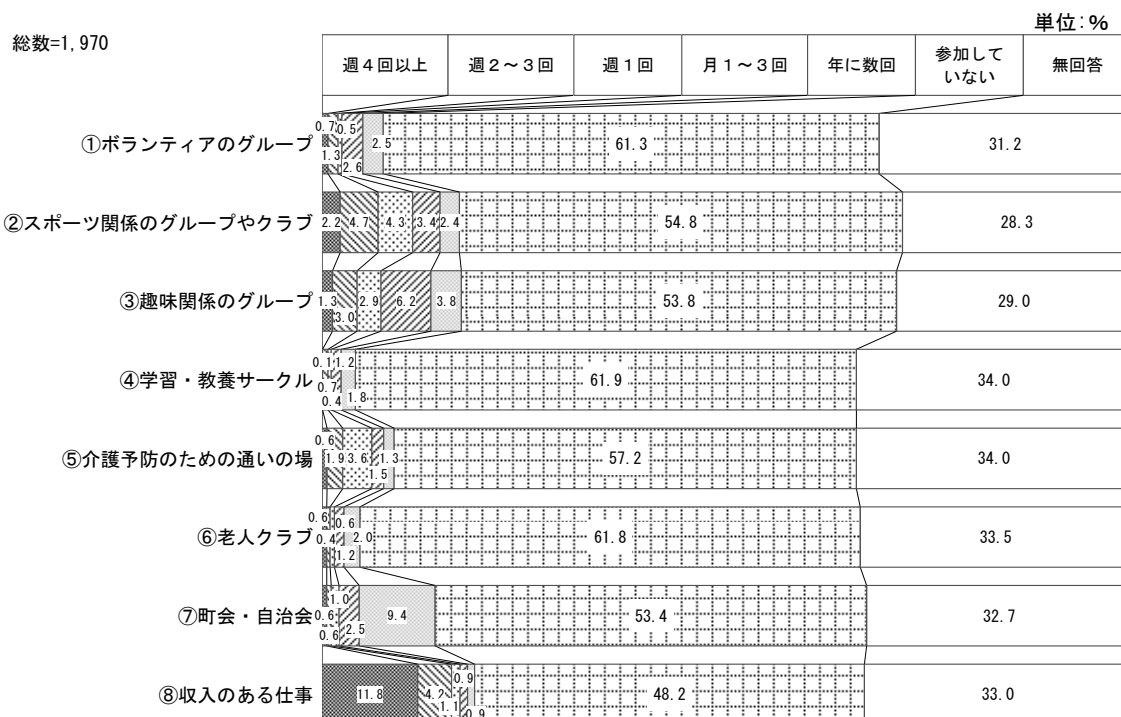
「生きがいあり」が51.2%、「思いつかない」が39.5%です。

認定状況別に見ると、一般高齢者は「生きがいあり」が55.0%であるのに対し、要支援1と要支援2では「生きがいあり」が4割弱、「思いつかない」が5割台となっており、「思いつかない」が「生きがいあり」を上回っています。

6 地域での活動について

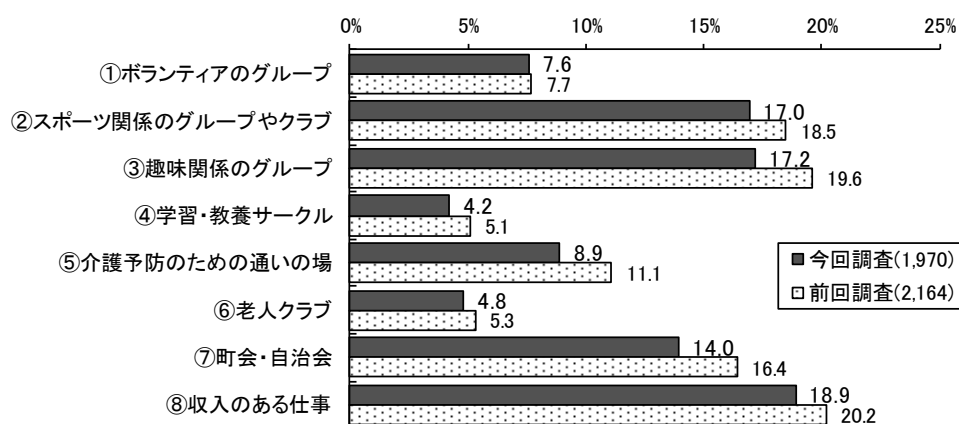
(1) 会やグループ、仕事に参加しているか

以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか



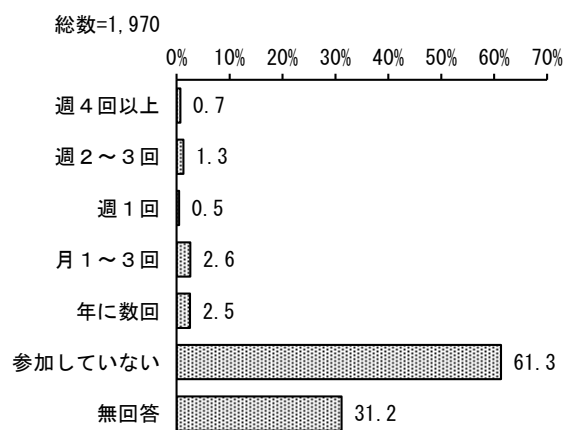
①～⑧の会やグループ等への参加状況については、いずれも「参加していない」が多数を占めています。「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回」を合わせた“参加している”の割合は、「②スポーツ関係のグループやクラブ」「③趣味関係のグループ」「⑧収入のある仕事」で2割弱となっています。

前回調査と比較すると、①～⑧のいずれについても、前回調査から今回調査にかけて“参加している”の割合が減少しています。



第2章 調査結果の分析【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

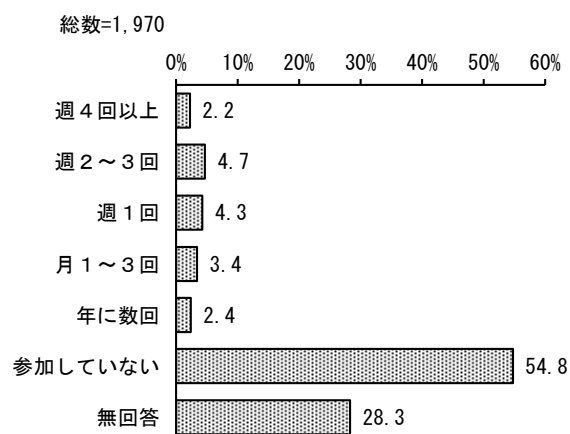
① ボランティアのグループ



	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	無回答
今回調査全体(1,970)	0.7	1.3	0.5	2.6	2.5	61.3	31.2
前回調査(2,164)	1.0	1.1	1.0	2.5	2.2	57.5	34.8
一般高齢者(1,461)	1.0	1.2	0.5	3.0	3.2	61.9	29.2
事業対象者(22)	-	-	-	4.5	-	63.6	31.8
要支援1(211)	-	0.9	0.5	1.9	1.4	64.5	30.8
要支援2(169)	-	3.0	0.6	1.2	-	61.5	33.7
東部圏域(481)	0.4	0.8	0.6	2.3	2.3	64.4	29.1
西部圏域(491)	0.4	1.2	0.2	3.7	2.6	61.9	29.9
南部圏域(467)	0.2	1.1	0.6	2.8	2.6	60.4	32.3
北部圏域(525)	1.7	1.9	0.4	1.7	2.7	58.5	33.1

活動に参加しているのは7.6%であり、「参加していない」が61.3%です。

② スポーツ関係のグループやクラブ

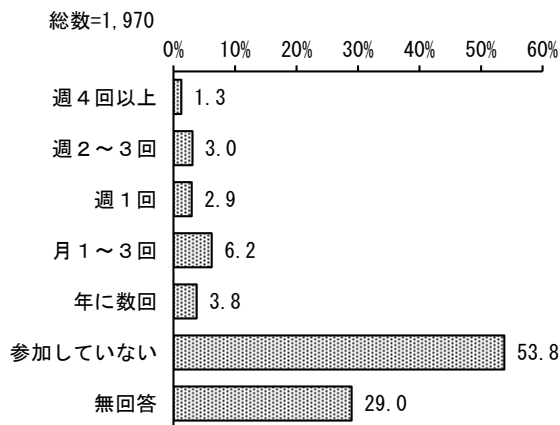


	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	無回答
今回調査全体(1,970)	2.2	4.7	4.3	3.4	2.4	54.8	28.3
前回調査(2,164)	2.4	5.8	4.8	3.3	2.3	50.6	30.8
一般高齢者(1,461)	2.6	5.5	4.5	4.2	2.5	54.9	25.7
事業対象者(22)	4.5	-	4.5	-	4.5	54.5	31.8
要支援1(211)	1.4	0.5	3.3	1.4	1.9	59.7	31.8
要支援2(169)	0.6	4.1	3.6	0.6	1.2	56.8	33.1
東部圏域(481)	2.1	3.1	4.0	2.9	3.3	57.6	27.0
西部圏域(491)	3.3	4.5	3.9	3.1	2.4	56.4	26.5
南部圏域(467)	2.1	5.8	5.6	3.6	2.1	51.6	29.1
北部圏域(525)	1.5	5.3	3.8	4.0	1.7	53.3	30.3

活動に参加しているのは17.0%であり、「参加していない」が54.8%です。

認定状況別に見ると、一般高齢者で活動に参加しているのは19.3%であるのに対し、要支援1では8.5%、要支援2では10.1%となっています。

③ 趣味関係のグループ

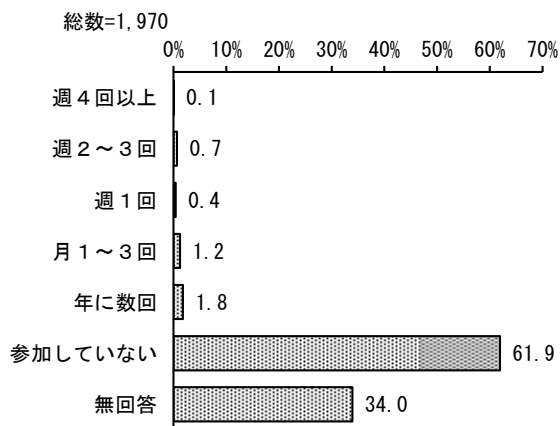


	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	無回答
今回調査全体(1,970)	1.3	3.0	2.9	6.2	3.8	53.8	29.0
前回調査(2,164)	1.3	3.1	3.6	7.8	3.8	49.2	31.2
一般高齢者(1,461)	1.4	3.7	3.3	7.0	4.2	53.7	26.6
事業対象者(22)	-	-	4.5	9.1	-	59.1	27.3
要支援1(211)	0.5	1.9	2.4	4.7	1.4	59.2	29.9
要支援2(169)	-	0.6	1.2	1.8	3.0	57.4	36.1
東部圏域(481)	1.0	1.7	3.5	5.0	3.7	56.5	28.5
西部圏域(491)	1.8	3.1	3.5	6.9	4.3	54.2	26.3
南部圏域(467)	1.5	5.1	1.9	7.5	2.8	53.3	27.8
北部圏域(525)	0.8	2.5	2.9	5.5	4.2	51.2	33.0

活動に参加しているのは17.2%であり、「参加していない」が53.8%です。

認定状況別に見ると、一般高齢者で活動に参加しているのは19.6%であるのに対し、要支援1では10.9%、要支援2では6.6%となっています。

④ 学習・教養サークル

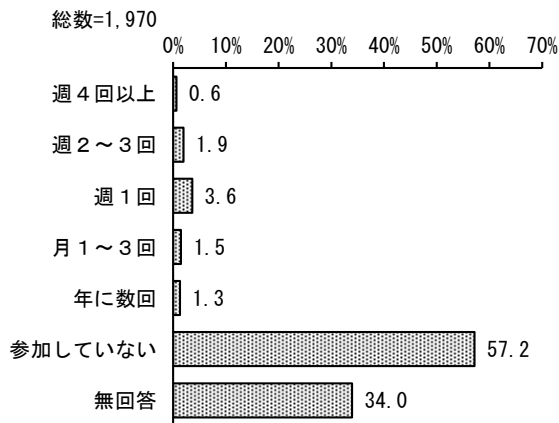


	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	無回答
今回調査全体(1,970)	0.1	0.7	0.4	1.2	1.8	61.9	34.0
前回調査(2,164)	0.2	0.5	1.1	1.7	1.7	58.2	36.6
一般高齢者(1,461)	0.1	0.5	0.4	1.4	2.2	63.2	32.2
事業対象者(22)	-	-	-	-	-	63.6	36.4
要支援1(211)	-	0.5	0.9	0.9	0.5	63.5	33.6
要支援2(169)	-	1.8	-	0.6	0.6	61.5	35.5
東部圏域(481)	-	0.4	0.4	0.8	2.1	64.7	31.6
西部圏域(491)	-	0.6	0.4	1.4	2.2	62.1	33.2
南部圏域(467)	-	1.1	0.4	0.9	1.7	61.0	34.9
北部圏域(525)	0.2	0.6	0.4	1.7	1.1	60.0	36.0

活動に参加しているのは4.2%であり、「参加していない」が61.9%です。

第2章 調査結果の分析【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

⑤ 介護予防のための通いの場



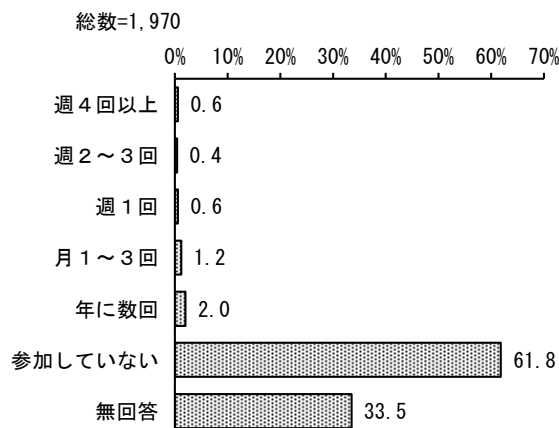
	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	無回答
今回調査全体(1,970)	0.6	1.9	3.6	1.5	1.3	57.2	34.0
前回調査(2,164)	1.3	1.8	3.6	2.4	2.1	50.4	38.4
一般高齢者(1,461)	0.7	0.8	2.7	1.6	1.3	60.0	32.9
事業対象者(22)	-	-	4.5	-	-	59.1	36.4
要支援1(211)	0.5	2.4	7.1	0.9	1.9	57.3	29.9
要支援2(169)	0.6	10.7	7.1	1.2	1.2	46.7	32.5
東部圏域(481)	0.4	1.0	4.4	1.5	1.2	58.0	33.5
西部圏域(491)	0.2	1.8	3.7	1.4	1.2	57.8	33.8
南部圏域(467)	0.9	2.8	3.0	1.5	1.3	58.0	32.5
北部圏域(525)	1.0	2.1	3.4	1.5	1.3	54.9	35.8

活動に参加しているのは8.9%であり、「参加していない」が57.2%です。

前回調査と比較すると、今回調査の「参加していない」(57.2%)は前回調査(50.4%)を6ポイント上回っています。

認定状況別に見ると、一般高齢者で活動に参加しているのは7.1%であるのに対し、要支援1では12.8%、要支援2では20.8%となっています。

⑥ 老人クラブ

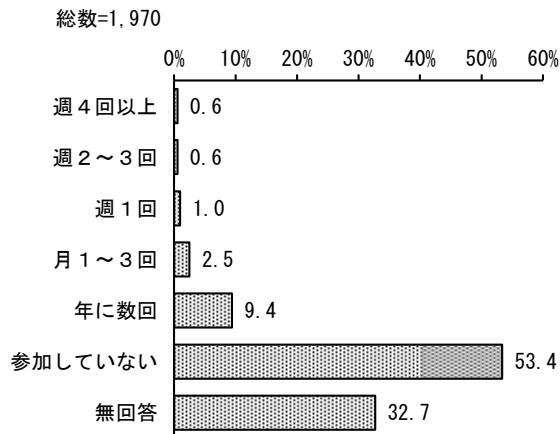


	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	無回答
今回調査全体(1,970)	0.6	0.4	0.6	1.2	2.0	61.8	33.5
前回調査(2,164)	0.3	0.3	0.5	2.4	1.9	56.5	38.2
一般高齢者(1,461)	0.5	0.3	0.5	1.2	2.1	64.0	31.4
事業対象者(22)	-	4.5	-	-	-	63.6	31.8
要支援1(211)	0.5	0.5	-	0.9	2.8	62.1	33.2
要支援2(169)	1.2	0.6	0.6	1.8	1.2	56.8	37.9
東部圏域(481)	0.2	-	0.2	1.7	1.5	63.8	32.6
西部圏域(491)	1.0	-	0.6	1.0	2.2	62.5	32.6
南部圏域(467)	0.4	0.4	1.1	1.3	1.9	61.9	33.0
北部圏域(525)	0.6	1.1	0.4	0.8	2.3	59.2	35.6

活動に参加しているのは4.8%であり、「参加していない」が61.8%です。

前回調査と比較すると、今回調査の「参加していない」(61.8%)は前回調査(56.5%)を5ポイント上回っています。

⑦ 町会・自治会



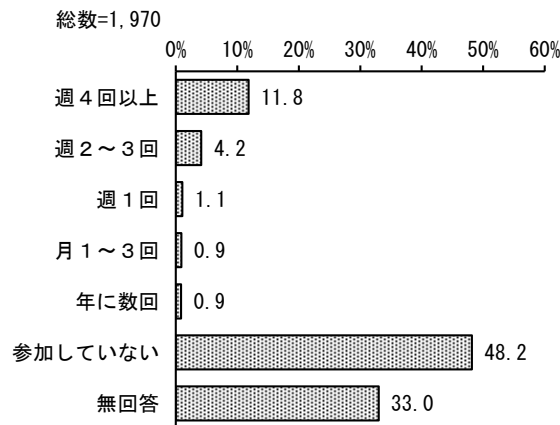
	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	無回答
今回調査全体(1,970)	0.6	0.6	1.0	2.5	9.4	53.4	32.7
前回調査(2,164)	0.6	0.7	0.8	3.0	11.3	47.2	36.4
一般高齢者(1,461)	0.7	0.5	1.0	3.0	11.4	53.2	30.3
事業対象者(22)	4.5	-	-	-	-	59.1	36.4
要支援1(211)	-	1.4	1.4	0.9	6.6	59.7	29.9
要支援2(169)	-	0.6	1.2	1.8	0.6	55.6	40.2
東部圏域(481)	0.4	0.6	0.2	1.2	8.1	57.4	32.0
西部圏域(491)	0.8	0.6	1.2	2.0	8.6	54.8	32.0
南部圏域(467)	0.4	0.6	1.3	3.6	8.6	53.1	32.3
北部圏域(525)	0.6	0.4	1.1	3.0	12.2	48.4	34.3

活動に参加しているのは14.1%であり、「参加していない」が53.4%です。

前回調査と比較すると、今回調査の「参加していない」(53.4%)は前回調査(47.2%)を6ポイント上回っています。

認定状況別に見ると、一般高齢者で活動に参加しているのは16.6%であるのに対し、要支援1では10.3%、要支援2では4.2%となっています。

⑧ 収入のある仕事



	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	無回答
今回調査全体(1,970)	11.8	4.2	1.1	0.9	0.9	48.2	33.0
前回調査(2,164)	11.6	5.2	0.7	1.2	1.3	43.6	36.2
一般高齢者(1,461)	15.1	5.5	1.2	1.2	1.1	46.3	29.8
事業対象者(22)	9.1	4.5	4.5	4.5	-	45.5	31.8
要支援1(211)	1.4	-	1.4	-	0.5	61.6	35.1
要支援2(169)	-	-	-	-	-	58.0	42.0
東部圏域(481)	10.6	3.1	0.8	0.6	0.8	50.9	33.1
西部圏域(491)	12.4	4.5	0.6	1.8	0.4	47.5	32.8
南部圏域(467)	13.1	5.4	1.7	0.6	0.6	46.7	31.9
北部圏域(525)	11.2	3.8	1.1	0.6	1.5	47.6	34.1

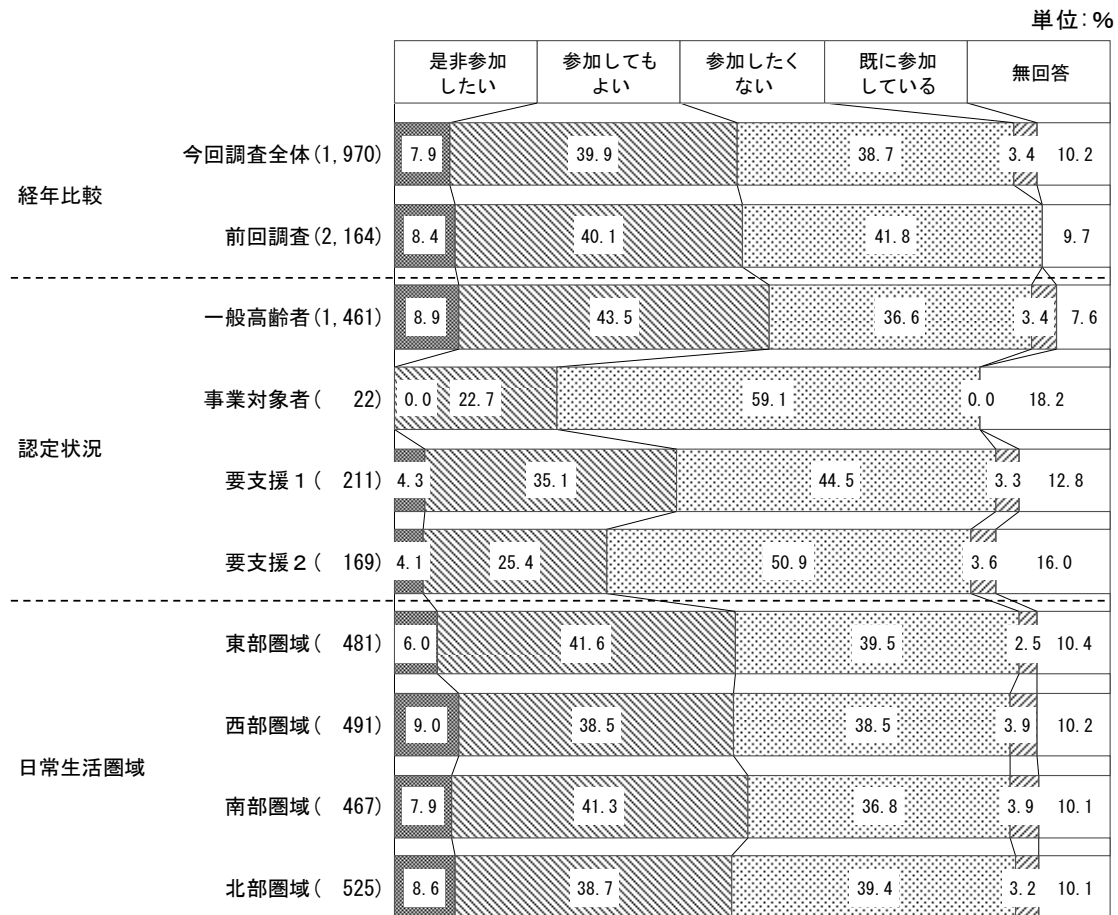
活動に参加しているのは18.9%であり、「参加していない」が48.2%です。

認定状況別に見ると、一般高齢者で活動に参加しているのは24.1%であるのに対し、要支援1では3.3%、要支援2では0%となっています。

日常生活圏域別に見ると、南部圏域では活動に参加している割合が2割強となっています。

(2) 有志による活動で地域づくりに参加したいか

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

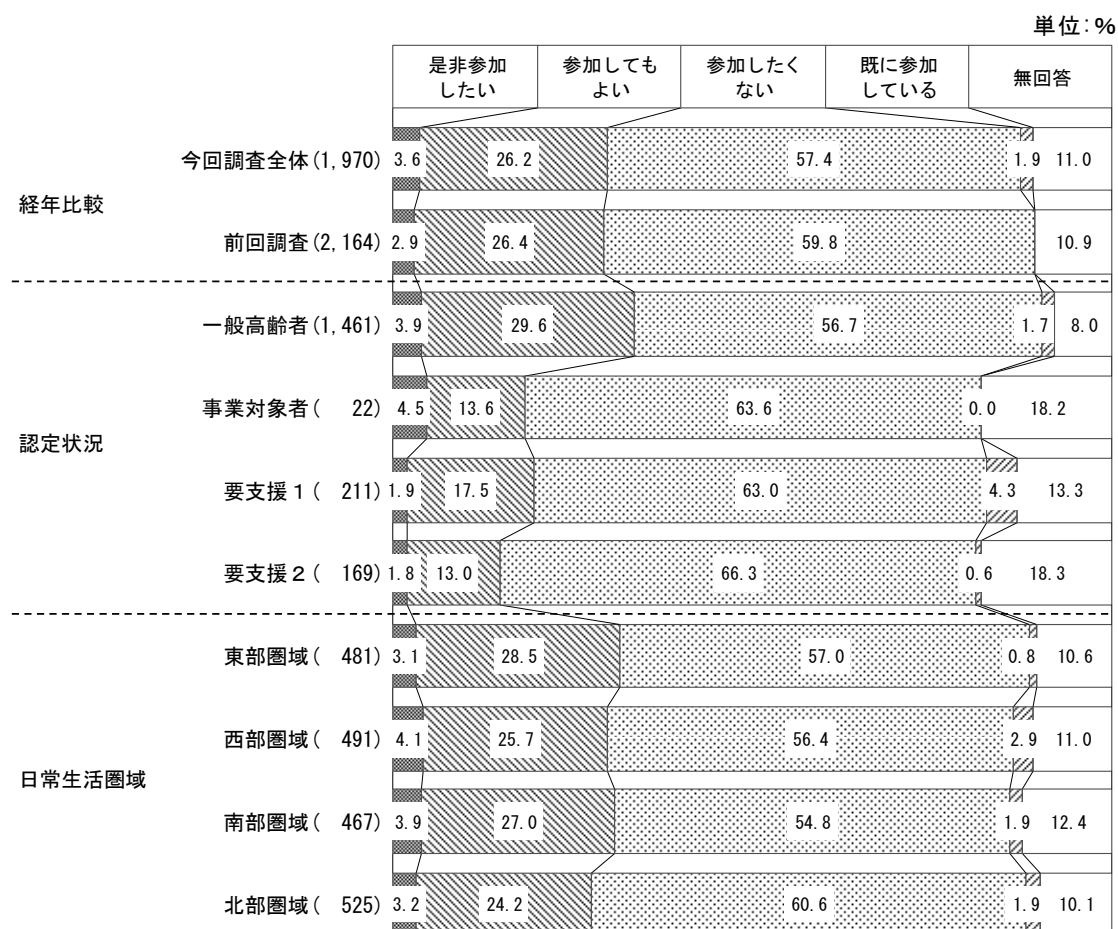


「是非参加したい」が7.9%、「参加してもよい」が39.9%であり、全体の5割弱が活動への参加を肯定的にとらえていることが分かります。「参加したくない」は38.7%です。

認定状況別に見ると、一般高齢者は「是非参加したい」「参加してもよい」の合計が52.4%であるのに対し、要支援1では39.4%、要支援2では29.5%となっています。要支援1と要支援2では「参加したくない」が「是非参加したい」「参加してもよい」の合計を上回っています。

(3) 有志による活動で地域づくりに運営役で参加したいか

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか



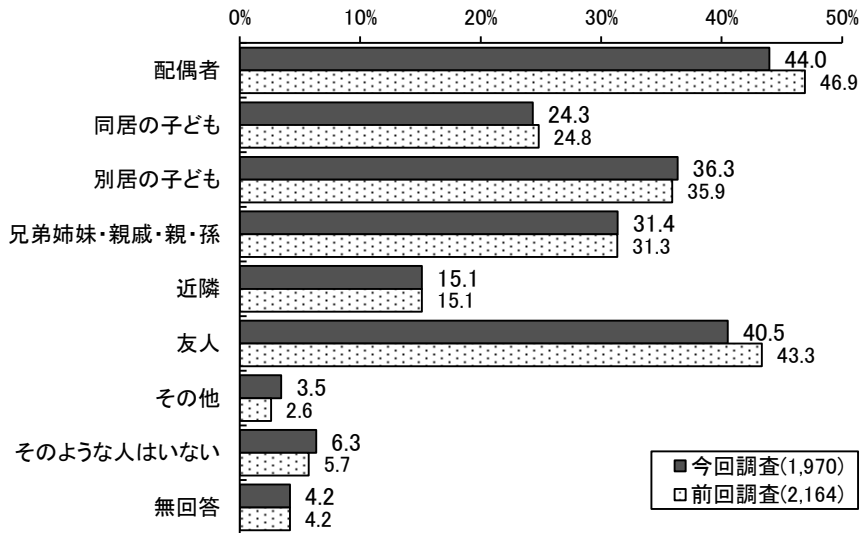
「参加したくない」が57.4%で最も多く、「参加してもよい」が26.2%、「是非参加したい」が3.6%となっています。

認定状況別に見ると、一般高齢者は「是非参加したい」「参加してもよい」の合計が33.5%であるのに対し、要支援1では19.4%、要支援2では14.8%となっています。

7 たすけあいについて

(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人

あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）



「配偶者」が44.0%で最も多く、「友人」が40.5%、「別居の子ども」が36.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が31.4%で続きます。

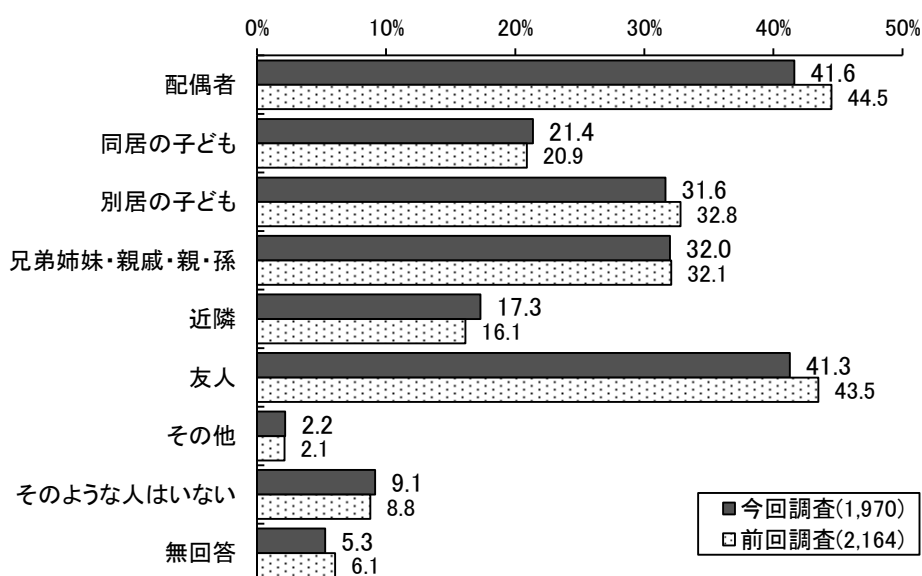
	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親	近隣	友人	その他	いない	そのような人は	無回答
全体(1,970)	44.0	24.3	36.3	31.4	15.1	40.5	3.5	6.3	4.2	
一般高齢者(1,461)	51.2	24.6	38.5	32.7	15.5	43.8	3.1	5.5	3.0	
事業対象者(22)	22.7	18.2	40.9	31.8	4.5	27.3	4.5	9.1	9.1	
要支援1(211)	25.6	27.5	30.3	29.4	18.0	30.3	2.8	9.0	3.8	
要支援2(169)	21.3	20.7	31.4	23.7	14.8	33.7	6.5	8.3	7.1	
東部圏域(481)	49.1	26.2	38.7	30.6	15.2	39.5	3.5	4.2	3.7	
西部圏域(491)	39.9	23.8	33.6	31.2	14.9	39.3	3.5	8.4	3.9	
南部圏域(467)	46.9	24.0	34.7	31.9	15.0	43.7	2.6	5.8	4.9	
北部圏域(525)	40.4	23.4	38.5	32.0	15.2	40.0	4.2	6.9	4.2	

認定状況別に見ると、要支援1では「別居の子ども」「友人」が、要支援2では「友人」が「配偶者」を上回って最も多い回答となっています。一般高齢者では「配偶者」が51.2%、「友人」が43.8%、「別居の子ども」が38.5%であり、要支援1・要支援2の割合を7ポイント以上上回っています。

日常生活圏域別に見ると、東部圏域と南部圏域では「配偶者」が5割弱であり、他の圏域の割合を6ポイント以上上回っています。

(2) 心配事や愚痴を聞いてあげている人

反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）



「配偶者」(41.6%)、「友人」(41.3%) がともに多く、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が32.0%、「別居の子ども」が31.6%で続きます。

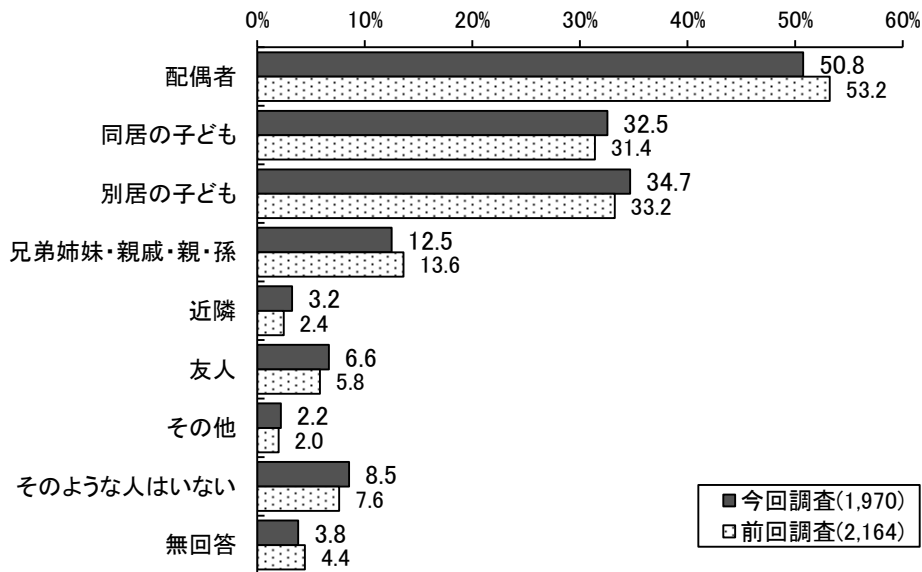
	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親	近隣	友人	その他	いそのような人は	無回答
全体(1,970)	41.6	21.4	31.6	32.0	17.3	41.3	2.2	9.1	5.3
一般高齢者(1,461)	48.8	22.7	33.9	34.8	18.7	44.3	2.1	7.5	3.6
事業対象者(22)	31.8	9.1	22.7	27.3	9.1	27.3	-	13.6	9.1
要支援1(211)	23.7	21.8	26.5	23.2	12.8	30.8	2.8	14.2	7.6
要支援2(169)	16.0	16.6	24.9	21.9	15.4	32.5	3.0	16.0	8.9
東部圏域(481)	44.3	23.1	35.1	32.4	15.8	40.5	2.3	5.6	4.6
西部圏域(491)	36.9	20.8	29.7	33.0	16.7	40.3	3.5	11.4	5.5
南部圏域(467)	45.0	21.4	30.2	30.0	17.8	44.5	0.9	8.1	5.4
北部圏域(525)	40.6	20.2	31.4	32.6	18.9	40.2	2.1	11.0	5.7

認定状況別に見ると、要支援1と要支援2では「友人」が「配偶者」を上回って最も多い回答となっています。一般高齢者では「配偶者」が48.8%、「友人」が44.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が34.8%、「別居の子ども」が33.9%であり、要支援1・要支援2の割合を7ポイント以上上回っています。

日常生活圏域別に見ると、西部圏域では「友人」が40.3%であり、「配偶者」(36.9%)を上回って最も多い回答となっています。

(3) 病気で短期間寝込んだときに看病してくれる人

あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）



「配偶者」が50.8%で最も多く、「別居の子ども」が34.7%、「同居の子ども」が32.5%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が12.5%で続きます。

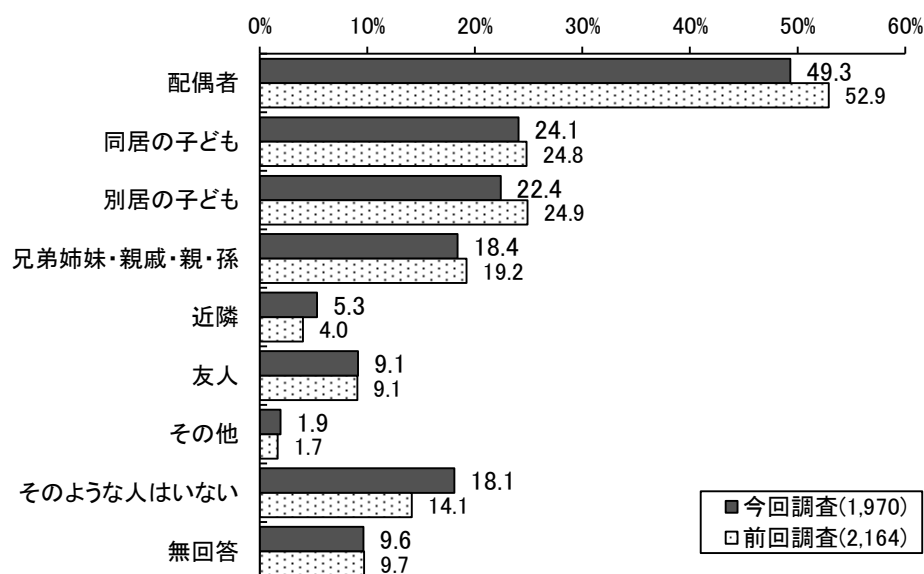
	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親	近隣	友人	その他	いそのような人は	無回答
全体(1,970)	50.8	32.5	34.7	12.5	3.2	6.6	2.2	8.5	3.8
一般高齢者(1,461)	58.2	31.7	35.5	12.4	3.1	6.8	1.8	7.5	2.9
事業対象者(22)	31.8	18.2	59.1	18.2	4.5	4.5	4.5	9.1	4.5
要支援1(211)	31.3	35.1	32.7	12.3	4.3	5.7	4.3	12.8	2.8
要支援2(169)	27.2	37.3	30.2	8.3	2.4	5.3	3.6	10.7	7.7
東部圏域(481)	53.0	33.7	36.0	11.9	3.5	7.1	2.3	6.2	4.8
西部圏域(491)	47.9	33.6	33.2	13.0	3.3	5.5	2.4	8.6	3.1
南部圏域(467)	54.8	33.8	32.1	13.1	2.6	6.9	0.6	9.4	4.3
北部圏域(525)	48.0	29.3	37.5	12.2	3.4	7.2	3.2	9.5	3.2

認定状況別に見ると、要支援1と要支援2では「同居の子ども」が「配偶者」を上回って最も多い回答となっています。一般高齢者では「配偶者」が58.2%であり、要支援1・要支援2の割合を26ポイント以上上回っています。

日常生活圏域別に見ると、東部圏域と南部圏域では「配偶者」が5割強であり、他の圏域の割合を5ポイント以上上回っています。

(4) 看病や世話をしている人

反対に、看病や世話をしあける人（いくつでも）



「配偶者」が49.3%で最も多く、「同居の子ども」が24.1%、「別居の子ども」が22.4%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が18.4%で続きます。

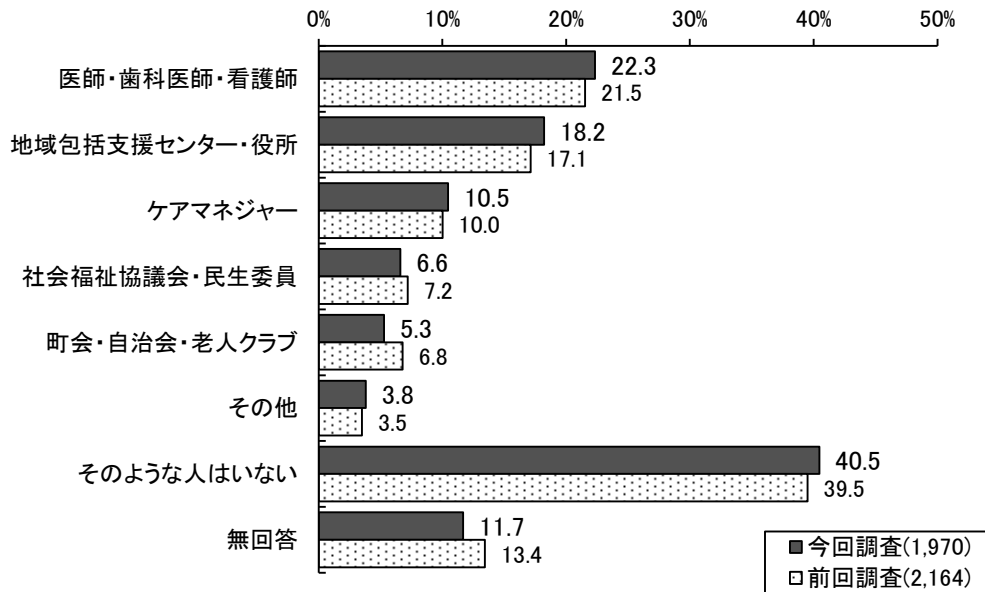
	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体(1,970)	49.3	24.1	22.4	18.4	5.3	9.1	1.9	18.1	9.6
一般高齢者(1,461)	57.6	26.6	26.8	21.3	5.9	10.0	1.2	13.6	6.5
事業対象者(22)	27.3	13.6	13.6	13.6	4.5	4.5	-	22.7	22.7
要支援1(211)	25.6	19.4	10.0	8.5	4.7	4.7	2.8	34.1	15.6
要支援2(169)	24.3	13.0	6.5	5.3	2.4	5.9	5.9	36.7	16.0
東部圏域(481)	52.8	26.2	23.7	17.0	6.4	10.4	1.9	15.6	8.7
西部圏域(491)	48.3	24.6	20.8	18.3	4.7	7.5	1.6	18.5	8.8
南部圏域(467)	50.3	24.0	22.7	19.5	5.1	8.6	1.9	17.1	10.5
北部圏域(525)	46.1	21.7	22.5	18.9	5.1	10.1	2.3	20.6	10.7

認定状況別に見ると、要支援1と要支援2では「そのような人はいない」が「配偶者」を上回って最も多い回答となっており、一般高齢者の「そのような人はいない」の割合を20ポイント以上上回っています。一般高齢者では「配偶者」が57.6%であり、要支援1・要支援2の割合を32ポイント以上上回っています。

日常生活圏域別に見ると、東部圏域と南部圏域では「配偶者」が5割に達しているほか、北部圏域では「そのような人はいない」が2割に達しています。

(5) 家族や友人・知人以外で相談する相手

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも）



「医師・歯科医師・看護師」が22.3%で最も多く、「地域包括支援センター・役所」が18.2%、「ケアマネジャー」が10.5%、「社会福祉協議会・民生委員」が6.6%で続きます。なお、「そのような人はいない」は40.5%です。

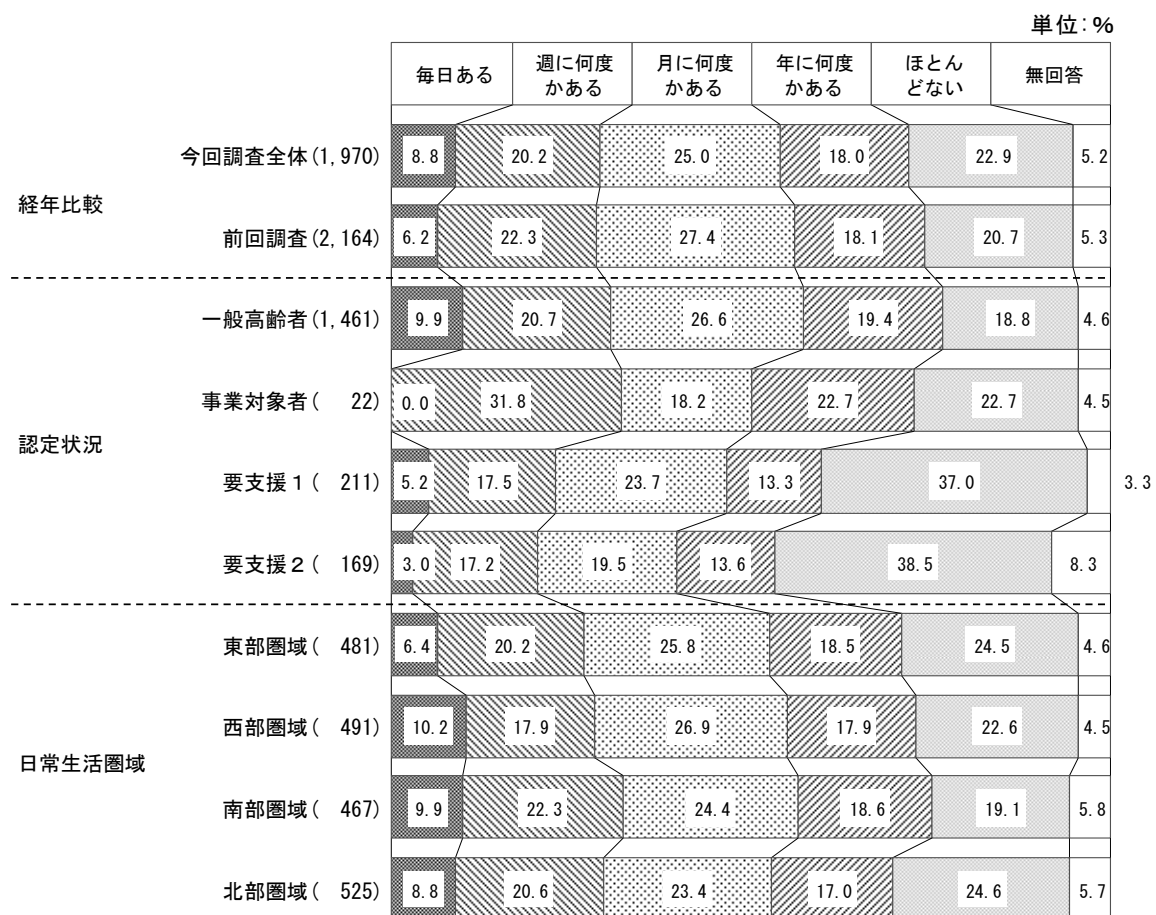
	老人クラブ・自治会・	町会・民生委員	社会福祉協議会	ケアマネジャー	医師・看護師・歯科医師	地域包括支援センター	その他	そのような人はいない	無回答
全体(1,970)	5.3	6.6	10.5	22.3	18.2	3.8	40.5	11.7	
一般高齢者(1,461)	5.8	5.6	3.9	22.6	13.8	3.8	46.5	11.1	
事業対象者(22)	13.6	18.2	13.6	31.8	27.3	-	27.3	9.1	
要支援1(211)	2.4	11.4	29.4	24.2	37.4	1.9	25.1	10.9	
要支援2(169)	4.1	7.1	43.2	22.5	37.3	4.7	16.6	6.5	
東部圏域(481)	4.0	4.8	10.6	19.5	16.4	2.3	45.7	10.8	
西部圏域(491)	4.7	6.1	10.4	23.2	18.3	4.7	39.5	12.2	
南部圏域(467)	5.4	6.0	7.7	22.7	19.5	3.4	39.2	12.6	
北部圏域(525)	7.0	9.3	12.8	23.8	18.7	4.8	37.5	11.2	

認定状況別に見ると、要支援1では「地域包括支援センター・役所」が、要支援2では「ケアマネジャー」が「そのような人はいない」を上回って最も多い回答となっています。

日常生活圏域別に見ると、東部圏域では「そのような人はいない」が45.7%であり、他の圏域の割合を6ポイント以上上回っています。

(6) 友人・知人と会う頻度

友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。

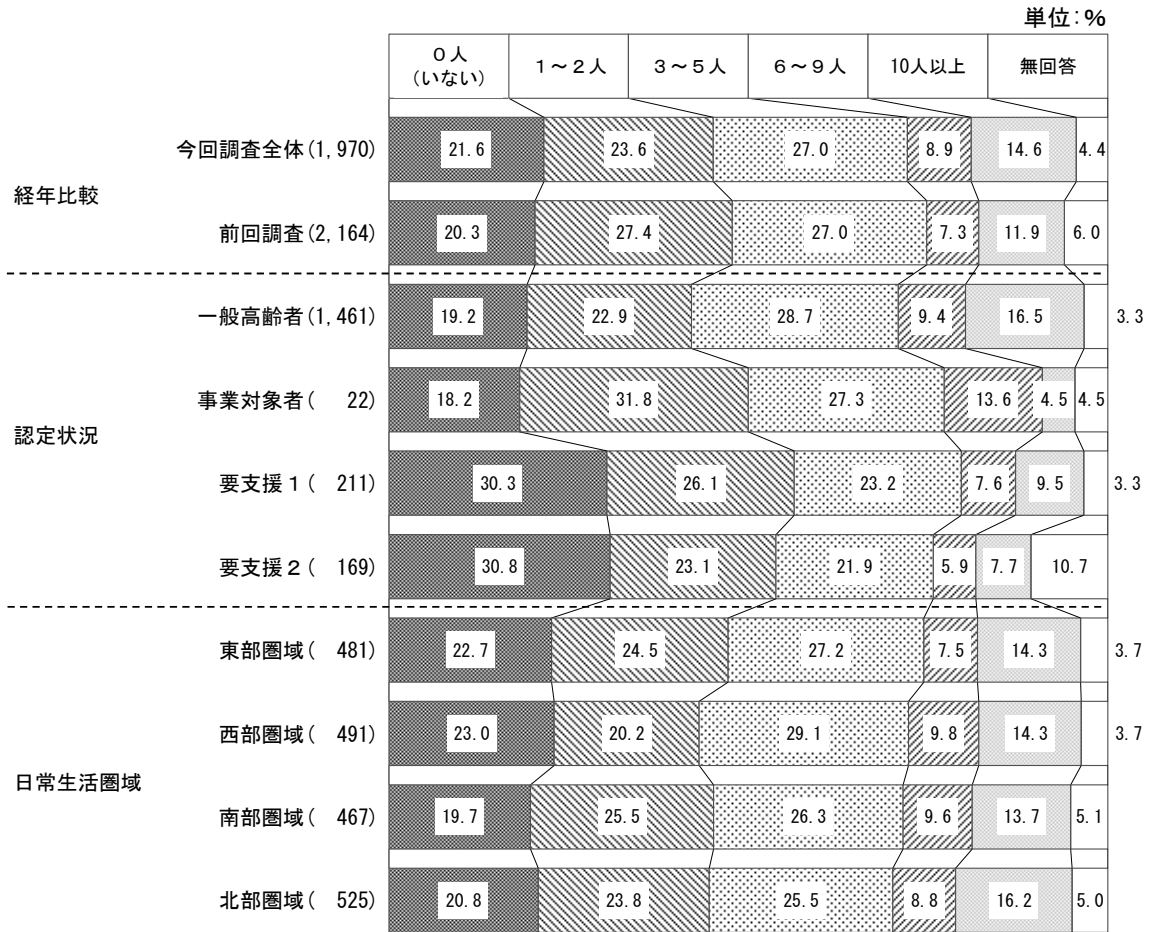


「月に何度かある」が25.0%で最も多く、「ほとんどない」が22.9%、「週に何度かある」が20.2%、「年に何度かある」が18.0%で続きます。

認定状況別に見ると、一般高齢者は「ほとんどない」が18.8%であるのに対し、要支援1と要支援2では「ほとんどない」が4割弱となっています。

(7) 1か月に会った友人・知人の人数

この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。
同じ人には何度会っても1人と数えることとします。

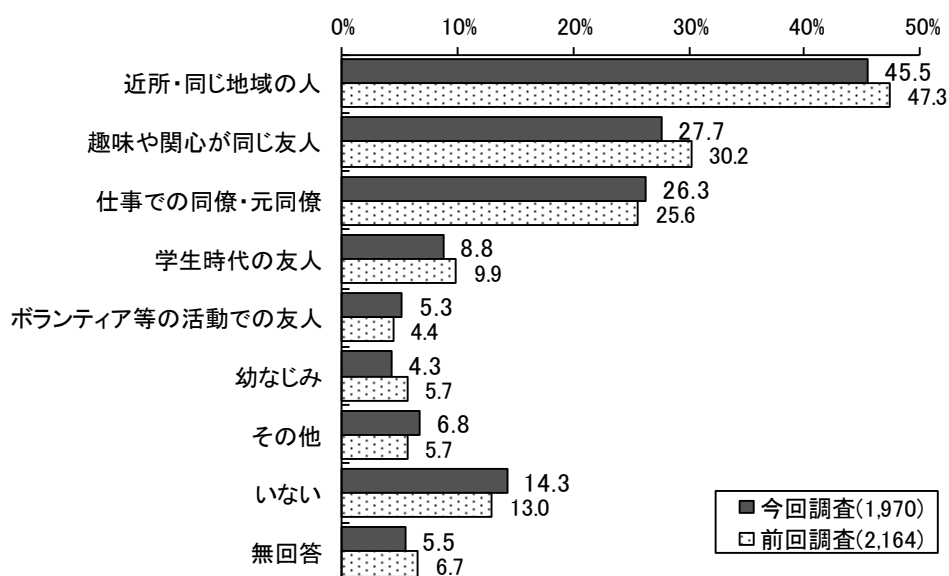


「3～5人」が27.0%で最も多く、「1～2人」が23.6%、「0人(いない)」が21.6%、「10人以上」が14.6%で続きます。

認定状況別に見ると、一般高齢者は「0人(いない)」が19.2%であるのに対し、要支援1と要支援2では「0人(いない)」が3割強となっています。

(8) よく会う友人・知人の間柄

よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)



「近所・同じ地域の人」が45.5%で最も多く、「趣味や関心が同じ友人」が27.7%、「仕事での同僚・元同僚」が26.3%、「学生時代の友人」が8.8%で続きます。「いない」は14.3%です。

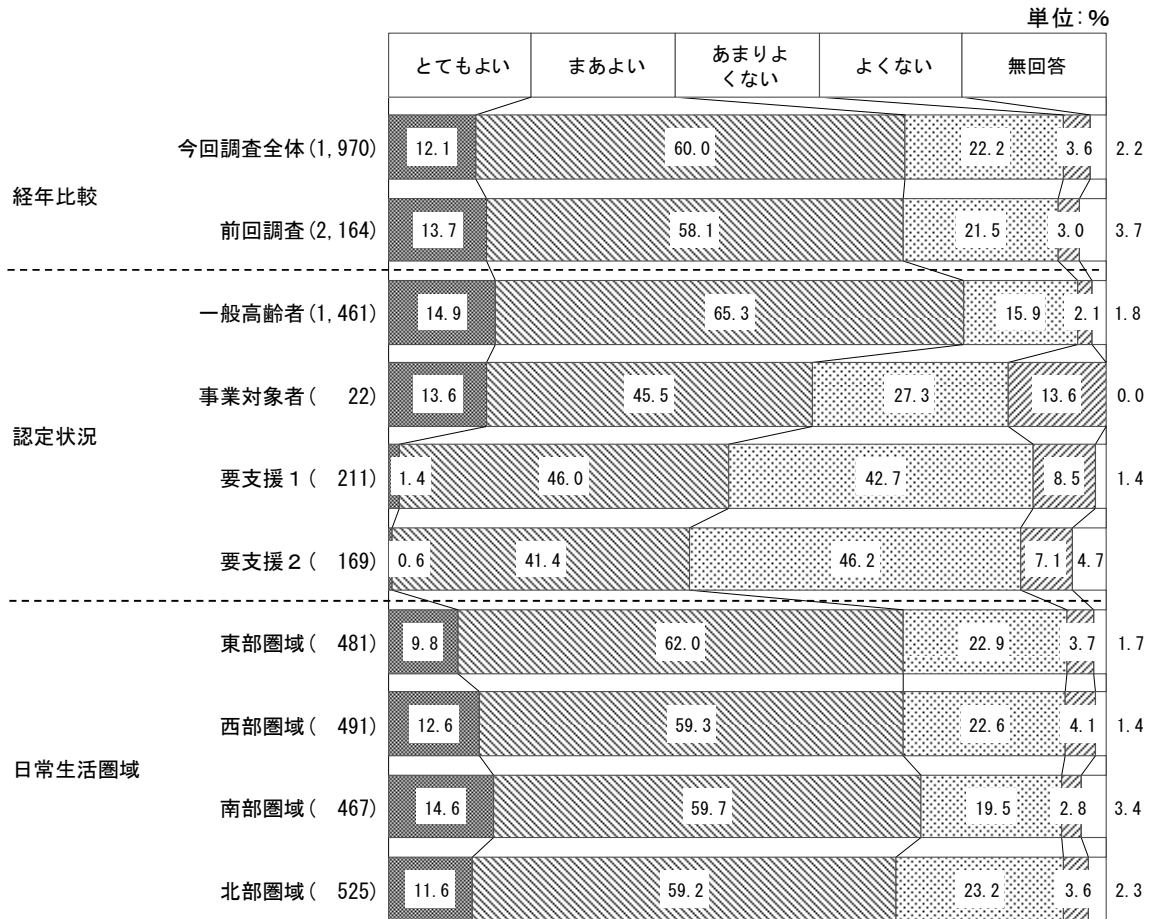
	の近所・同じ地域	幼なじみ	学生時代の友人	元仕事での同僚・	じ趣味や関心が同	のボランティア等の友人等	その他	いない	無回答
全体(1,970)	45.5	4.3	8.8	26.3	27.7	5.3	6.8	14.3	5.5
一般高齢者(1,461)	45.8	5.1	10.3	31.3	31.8	5.7	5.7	11.7	4.1
事業対象者(22)	45.5	-	9.1	13.6	18.2	4.5	13.6	18.2	4.5
要支援1(211)	45.0	1.9	4.3	12.3	17.5	3.3	10.0	23.7	4.7
要支援2(169)	45.6	3.0	4.1	7.7	11.2	5.9	10.1	22.5	12.4
東部圏域(481)	46.2	3.5	7.9	25.2	25.2	3.7	7.1	14.3	5.2
西部圏域(491)	42.4	5.7	8.8	25.9	28.1	6.5	8.1	14.9	5.5
南部圏域(467)	44.5	4.9	9.9	29.3	28.3	5.4	4.9	13.3	6.0
北部圏域(525)	49.0	3.2	8.6	25.5	29.3	5.5	6.7	14.3	5.3

認定状況別に見ると、一般高齢者では「趣味や関心が同じ友人」が31.8%、「仕事での同僚・元同僚」が31.3%であり、要支援1・要支援2の割合を14ポイント以上上回っています。一方、要支援1と要支援2では「いない」が2割強であり、一般高齢者の割合を10ポイント以上上回っています。

8 健康について

(1) 自身の健康感

現在のあなたの健康状態はいかがですか



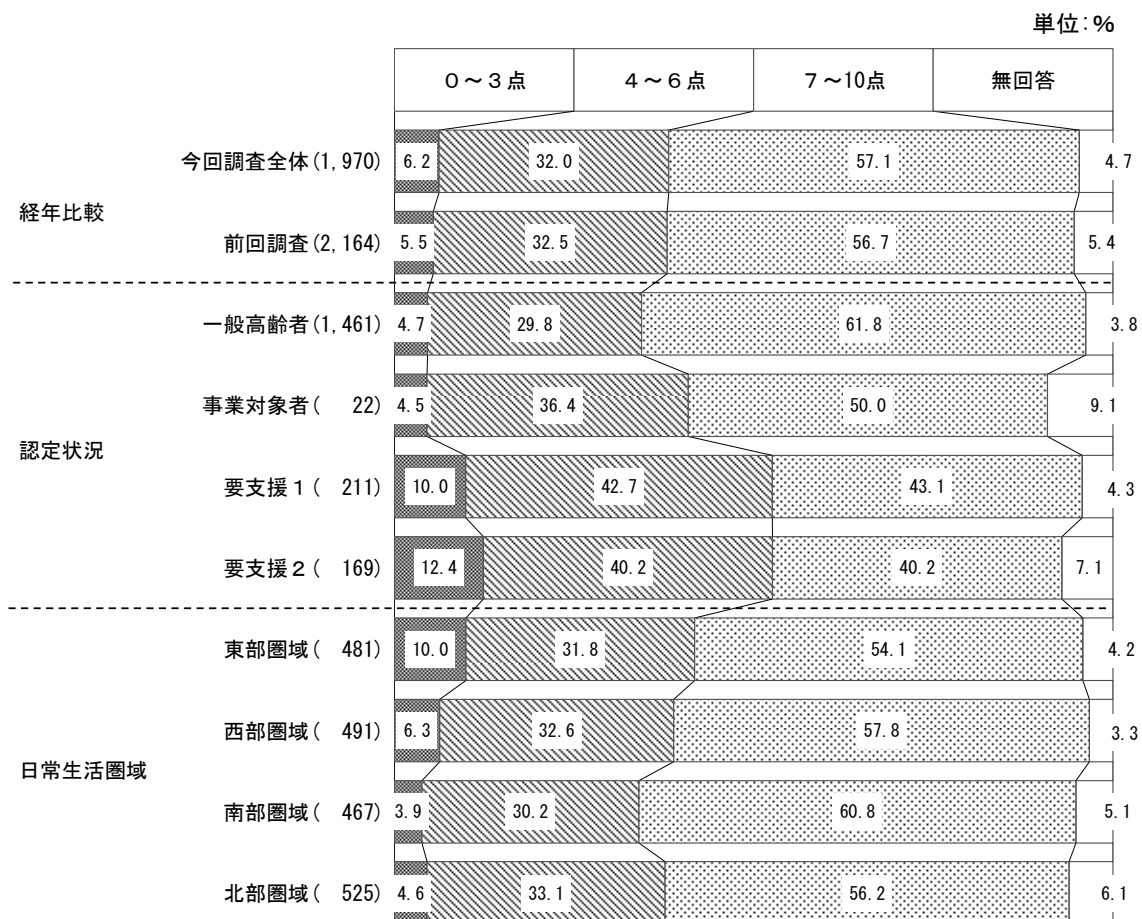
“よい”（「とてもよい」と「まあよい」の合計）が72.1%、“よくない”（「あまりよくない」と「よくない」の合計）が25.8%となっています。

認定状況別に見ると、一般高齢者は“よい”が8割に達しているのに対し、要支援1と要支援2では“よい”が4割台、“よくない”が5割強であり、“よくない”が“よい”を上回っています。

(2) 主観的幸福感

あなたは、現在どの程度幸せですか

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)



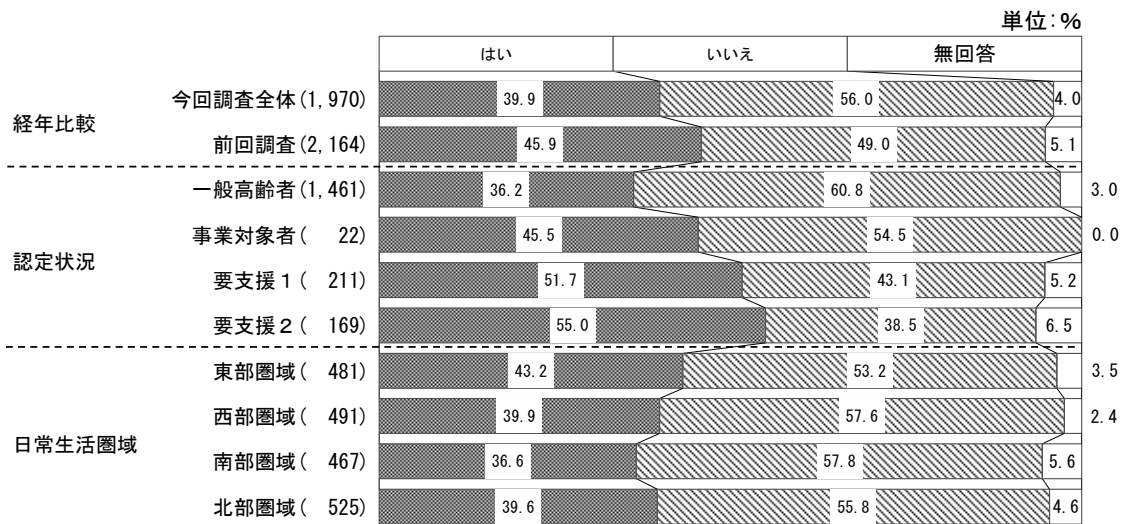
回答を「0～3点」「4～6点」「7～10点」の3区分で集計したところ、「7～10点」が57.1%で最も多く、「4～6点」が32.0%、「0～3点」が6.2%で続きます。

認定状況別に見ると、一般高齢者は「7～10点」が61.8%であるのに対し、要支援1と要支援2では4割強となっています。

日常生活圏域別に見ると、南部圏域では「7～10点」が6割に達しています。一方、東部圏域では「0～3点」が1割となっています。

(3) 気分が沈んだり、憂鬱になることがあるか

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか



「はい」が39.9%、「いいえ」が56.0%です。

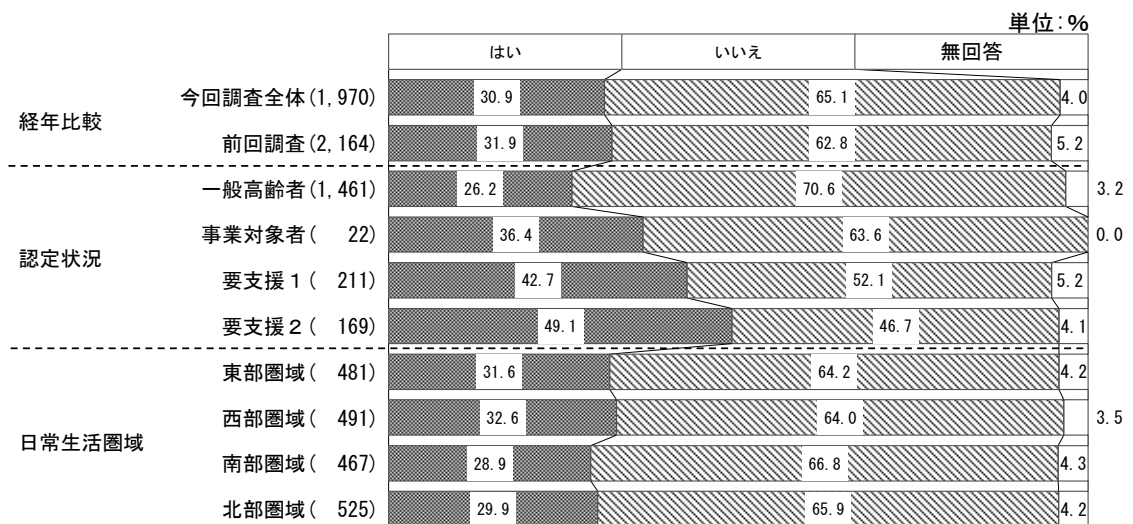
前回調査と比較すると、今回調査の「はい」(39.9%)は前回調査(45.9%)を6ポイント下回っています。

認定状況別に見ると、一般高齢者では「いいえ」が60.8%であるのに対し、要支援1と要支援2では「はい」が5割台であり、「いいえ」を上回っています。

日常生活圏域別に見ると、東部圏域では「はい」が4割強となっています。

(4) どうしても物事に興味がわかなくなったか

この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

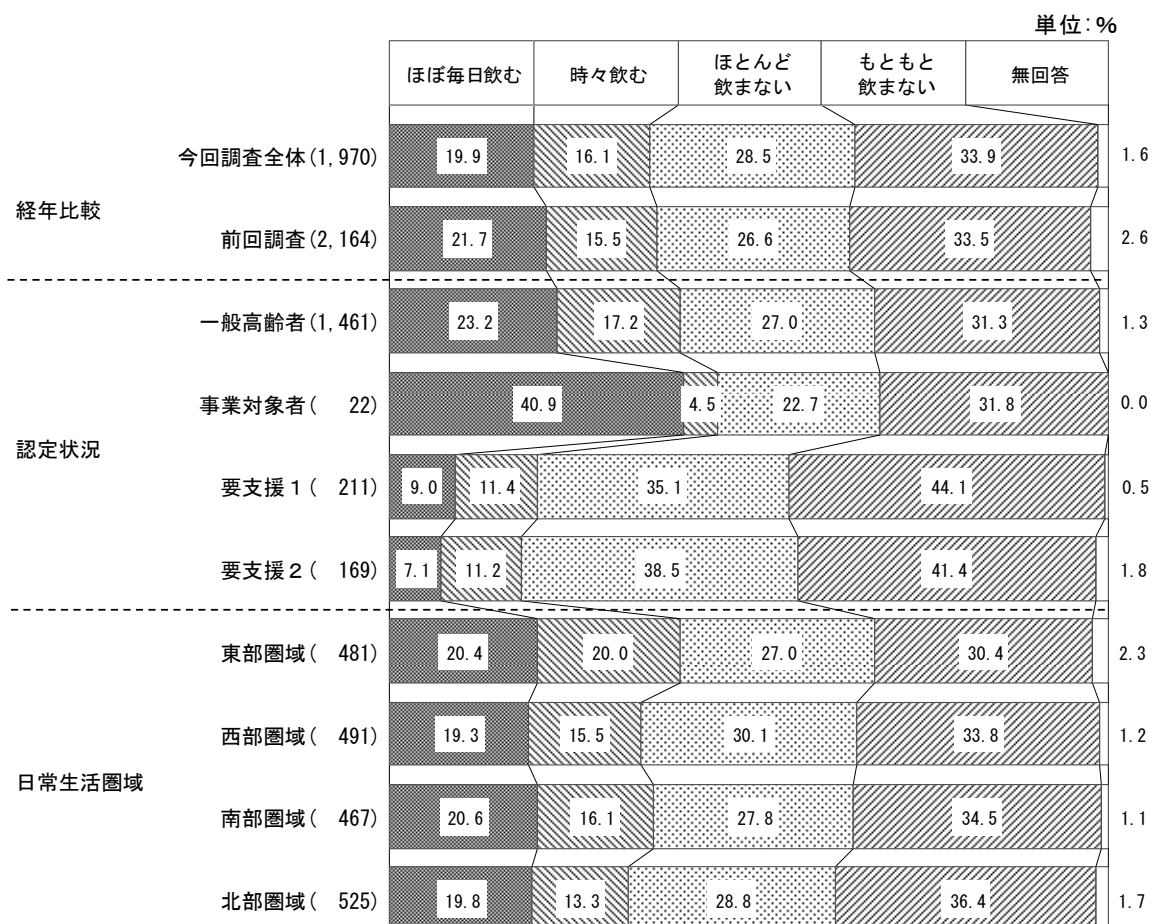


「はい」が30.9%、「いいえ」が65.1%です。

認定状況別に見ると、要支援2では「はい」(49.1%)が「いいえ」(46.7%)を上回っています。

(5) 飲酒状況

お酒は飲みますか



「もともと飲まない」が33.9%で最も多く、「ほとんど飲まない」が28.5%、「ほぼ毎日飲む」が19.9%、「時々飲む」が16.1%で続きます。

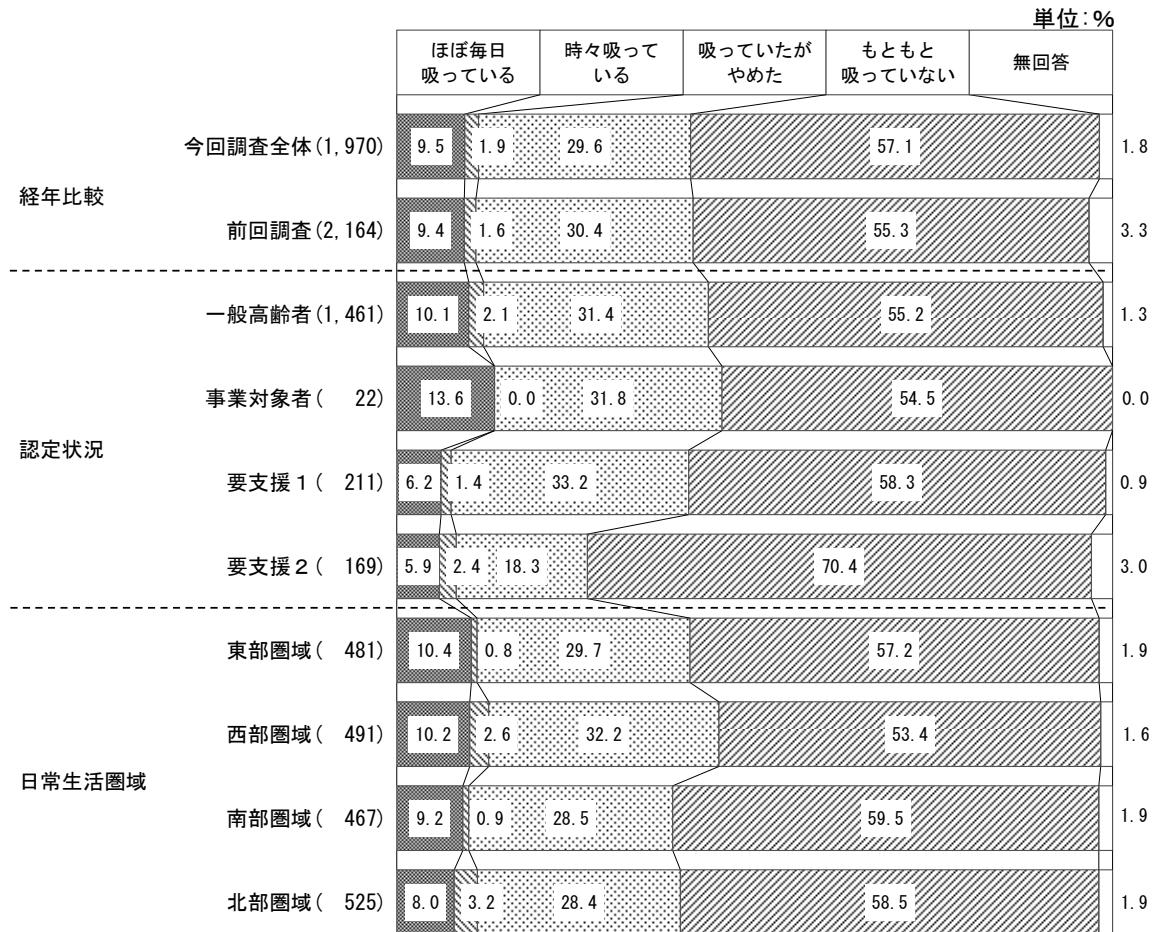
お酒を“飲む”（「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」の合計）回答者の割合は36.0%となっています。

認定状況別に見ると、一般高齢者ではお酒を“飲む”が4割強であるのに対し、要支援1と要支援2では2割前後にとどまっています。

日常生活圏域別に見ると、東部圏域ではお酒を“飲む”が4割に達しています。

(6) 喫煙状況

タバコは吸っていますか



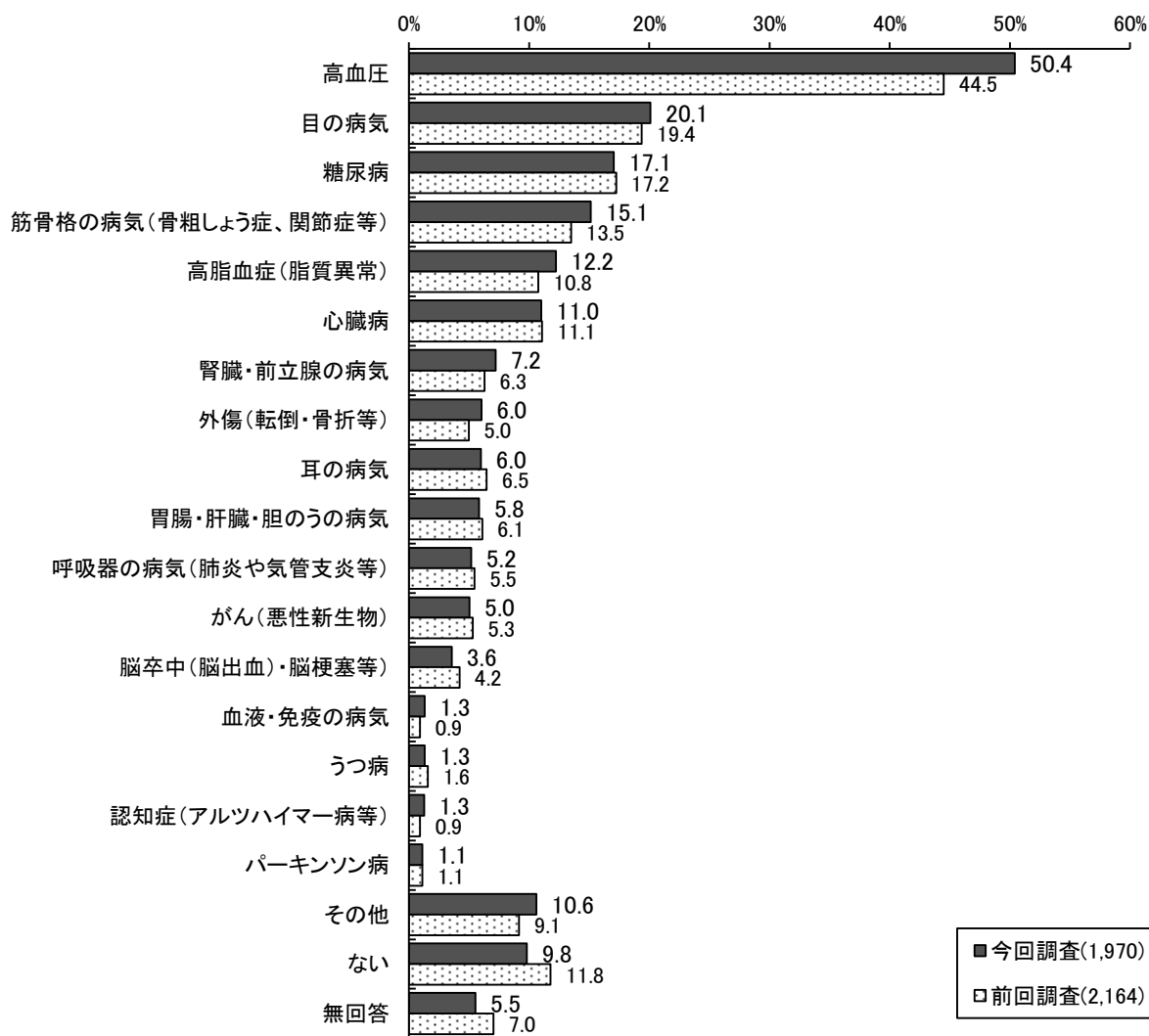
「もともと吸っていない」が57.1%で最も多く、「吸っていたがやめた」が29.6%、「ほぼ毎日吸っている」が9.5%、「時々吸っている」が1.9%で続きます。

現在喫煙している（「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」の合計）回答者の割合は11.4%となっています。

認定状況別に見ると、要支援1と要支援2では現在喫煙している回答者の割合が1割を下回っています。

(7) 治療中の病気

現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（いくつでも）



「高血圧」が50.4%で最も多く、「目の病気」が20.1%、「糖尿病」が17.1%、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が15.1%で続きます。

前回調査と比較すると、今回調査の「高血圧」（50.4%）は前回調査（44.5%）を5ポイント上回っています。

第2章 調査結果の分析【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

	ない	高血圧	脳卒中（脳出血）・脳梗塞等	心臓病	糖尿病	高脂血症（脂質異常）	呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）	外傷（転倒・骨折等）	がん（悪性新生物）	血液・免疫の病気
全体(1,970)	9.8	50.4	3.6	11.0	17.1	12.2	5.2	5.8	7.2	15.1	6.0	5.0	1.3
一般高齢者(1,461)	12.5	50.1	2.4	9.0	15.7	13.2	4.4	5.6	6.0	11.6	3.1	4.3	1.1
事業対象者(22)	4.5	31.8	9.1	-	31.8	-	-	4.5	4.5	13.6	-	18.2	4.5
要支援1(211)	2.4	52.6	8.1	18.0	20.9	9.0	7.6	7.1	9.0	26.5	12.8	6.6	2.8
要支援2(169)	1.2	55.0	5.9	20.1	19.5	12.4	9.5	7.1	16.6	32.0	20.1	6.5	0.6
東部圏域(481)	8.9	49.1	3.7	10.4	17.7	11.9	4.0	5.8	7.7	16.2	6.9	4.6	2.1
西部圏域(491)	8.8	50.7	4.5	7.9	13.4	12.2	4.7	5.9	7.5	14.5	4.7	5.5	0.8
南部圏域(467)	10.3	49.0	3.4	12.4	17.1	12.6	5.4	6.6	6.6	13.5	5.6	4.5	1.3
北部圏域(525)	11.2	52.6	2.7	13.3	20.0	12.2	6.5	5.1	7.0	16.2	6.9	5.3	1.1

	うつ病	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全体(1,970)	1.3	1.3	1.1	20.1	6.0	10.6	5.5
一般高齢者(1,461)	0.7	1.1	0.3	17.0	4.8	9.6	6.1
事業対象者(22)	-	-	-	9.1	-	9.1	9.1
要支援1(211)	4.3	1.9	4.7	25.1	5.7	16.6	1.9
要支援2(169)	3.0	3.0	4.7	37.3	13.0	12.4	2.4
東部圏域(481)	0.8	1.0	1.5	20.8	5.2	9.6	6.2
西部圏域(491)	1.8	1.0	1.0	17.5	6.9	11.6	7.1
南部圏域(467)	1.3	1.5	0.6	21.4	5.6	12.0	5.4
北部圏域(525)	1.3	1.5	1.3	20.8	6.3	9.0	3.6

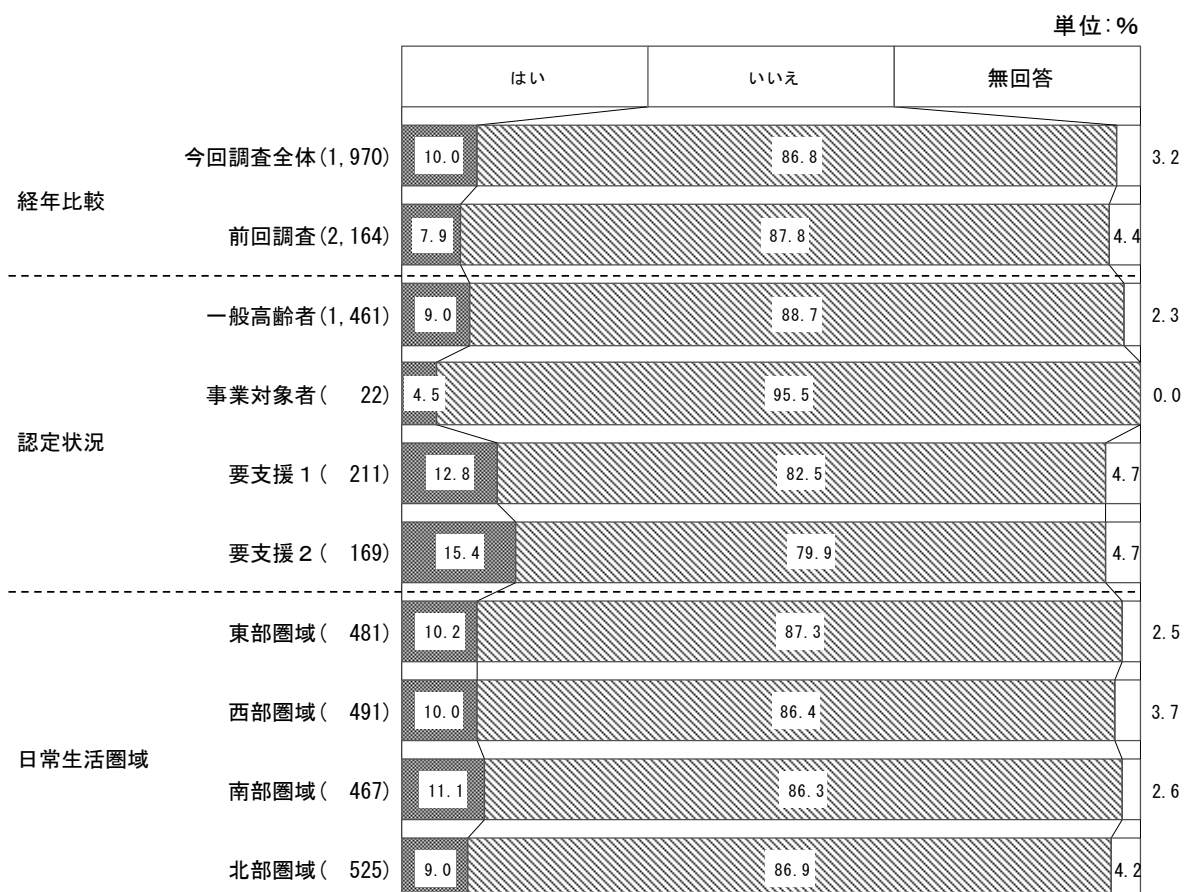
認定状況別に見ると、要支援1と要支援2では「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が3割前後であり、一般高齢者の割合を14ポイント以上上回っています。一方、一般高齢者では「ない」が12.5%であり、要支援1・要支援2の割合を10ポイント以上上回っています。

日常生活圏域別に見ると、北部圏域では「糖尿病」が2割に達しています。

9 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状のある人の有無

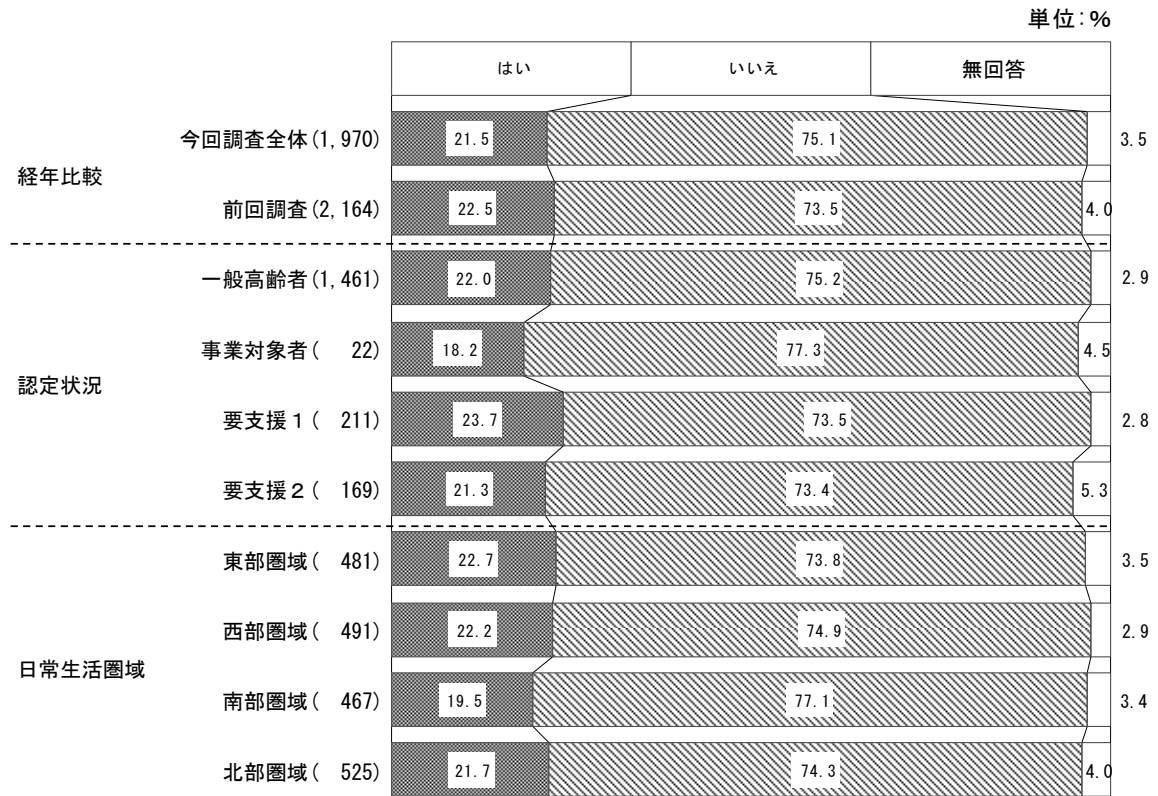
認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか



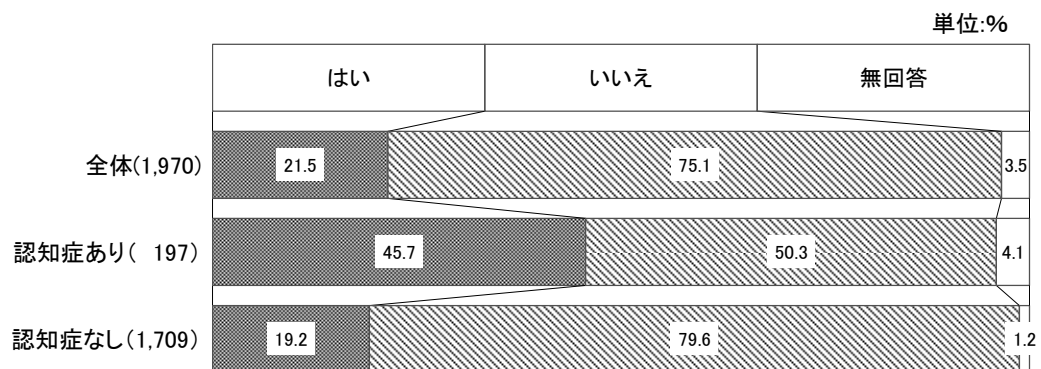
「はい」が10.0%、「いいえ」が86.8%です。

(2) 認知症に関する相談窓口の認知

認知症に関する相談窓口を知っていますか



「はい」が21.5%、「いいえ」が75.1%です。

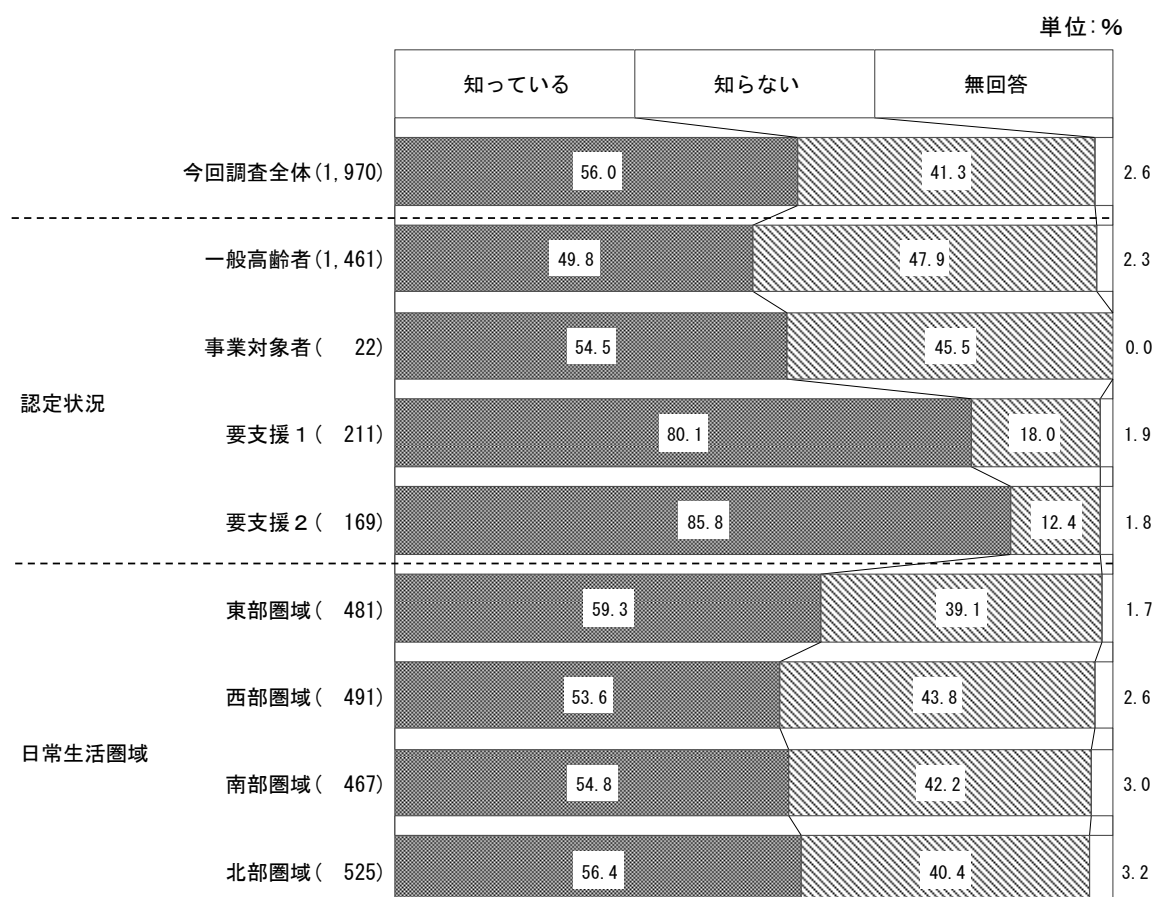


認知症に関する相談窓口の認知状況について、認知症の症状の有無（症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいるかどうか）別に見ると、認知症あり回答者で相談窓口を認知しているのは45.7%となっており、認知症なし回答者の割合を26ポイント上回っています。

10 市の高齢者施策等について

(1) 地域包括支援センターの認知

市では、地域で暮らす高齢者を保健、医療、福祉、介護など様々な面から総合的に支援するため、総合相談窓口として「地域包括支援センター」を市内に4か所設置していますが、あなたをご存知ですか



「知っている」が56.0%、「知らない」が41.3%です。

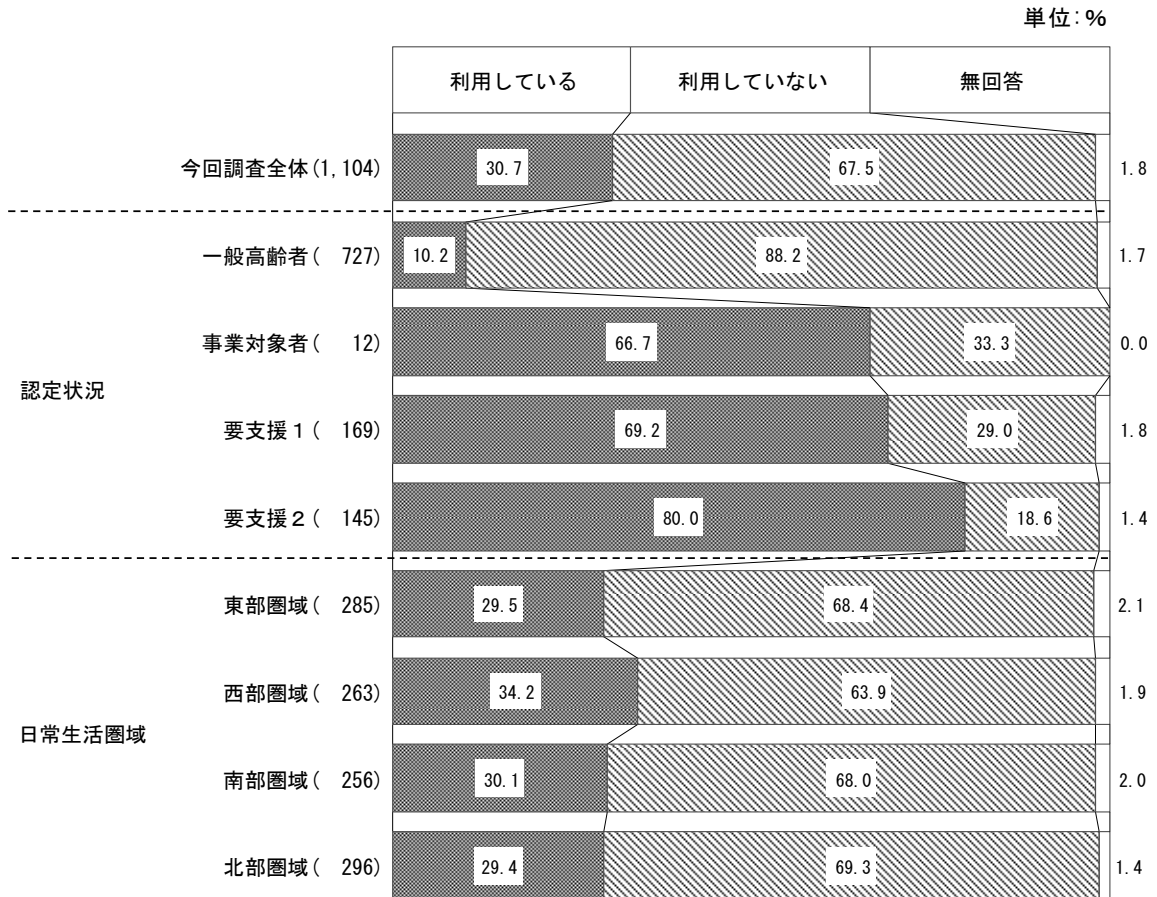
認定状況別に見ると、一般高齢者では「知っている」が49.8%であるのに対し、要支援1と要支援2では「知っている」が8割台を占めています。

日常生活圏域別に見ると、東部圏域では「知らない」が4割を下回っています。

(1-1) 地域包括支援センターの利用の有無

【(1)で「知っている」を選択した高齢者に対する設問】

「地域包括支援センター」を利用していますか



地域包括支援センターの存在を知っている高齢者に対して、地域包括支援センターが実施している相談や手続きの利用状況を調査したところ、「利用している」が30.7%、「利用していない」が67.5%となっています。

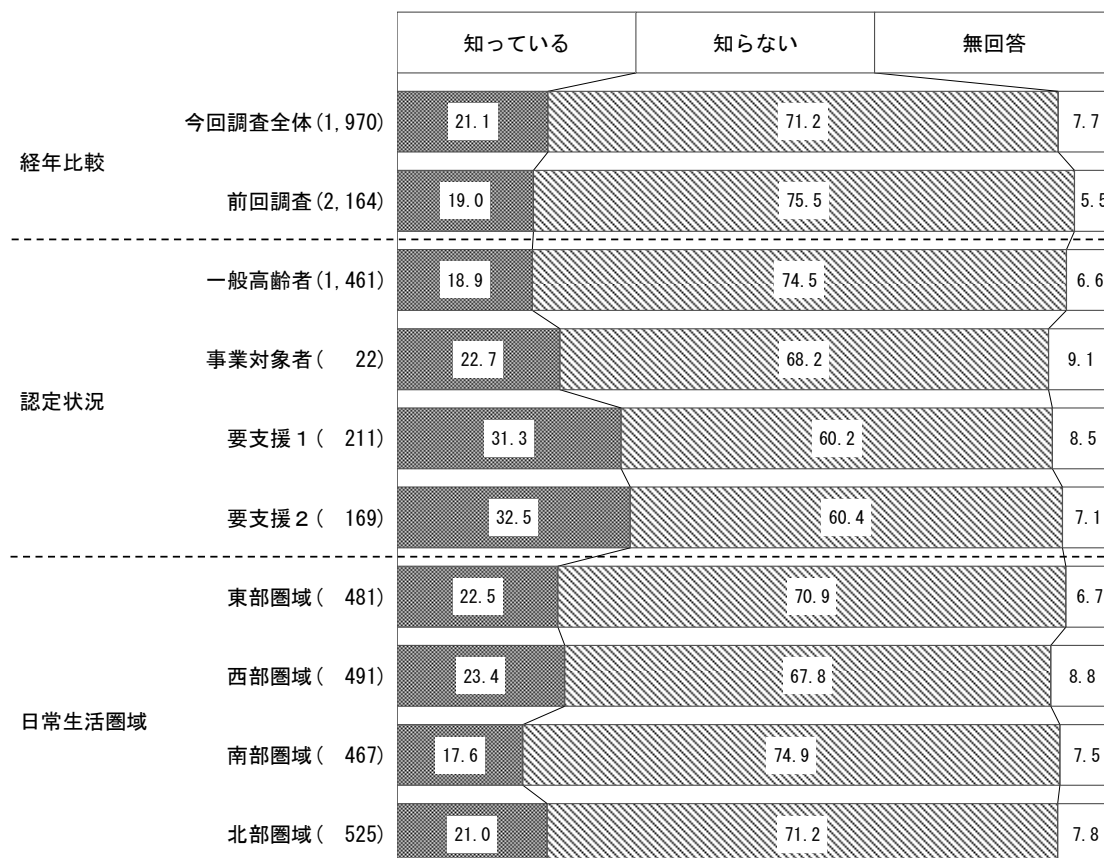
認定状況別に見ると、一般高齢者では「利用している」が10.2%であるのに対し、要支援1では「利用している」が69.2%、要支援2では「利用している」が80.0%を占めています。

日常生活圏域別に見ると、東部圏域と北部圏域では「利用している」が3割を下回っています。

(2) 高齢者虐待の相談窓口の認知

市では、身体的虐待、経済的虐待、介護放棄など的高齢者虐待の防止、早期発見、早期対応のため、4か所の地域包括支援センターと市の長寿介護課が高齢者虐待の相談窓口となっています。あなたは、「相談窓口」をご存知ですか。

単位：%



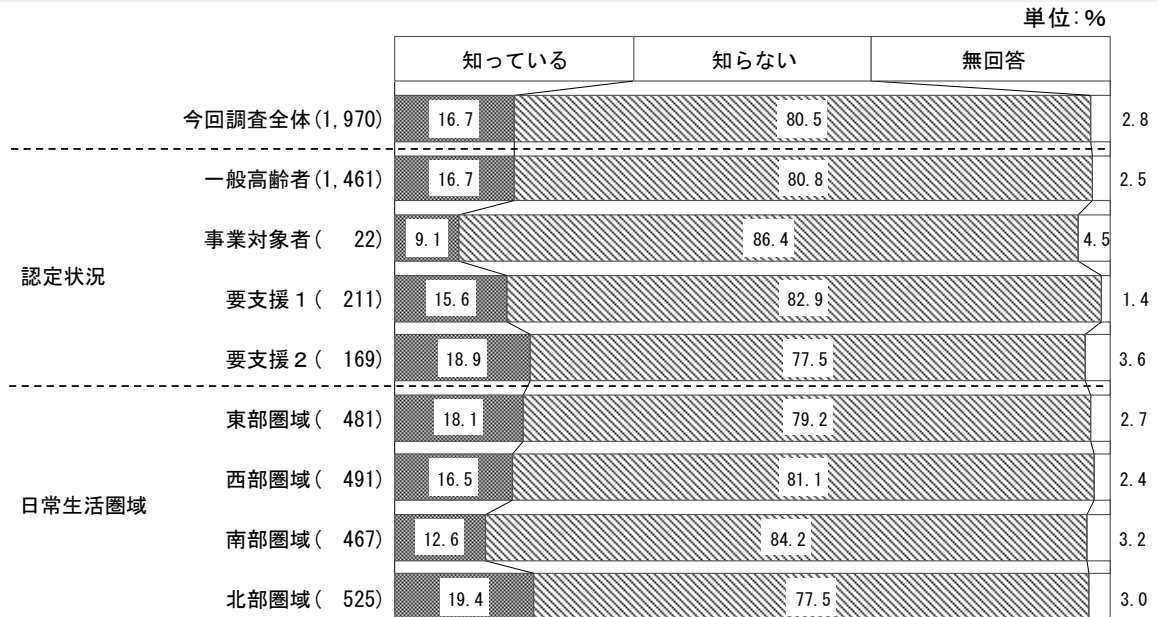
「知っている」が21.1%、「知らない」が71.2%です。

認定状況別に見ると、要支援1と要支援2では「知っている」が3割強であり、一般高齢者の割合を12ポイント以上上回っています。

日常生活圏域別に見ると、南部圏域では「知っている」が2割を下回っています。

(3) 高齢者ふれあいの家の認知

市内では、高齢者の心身の健康維持及び介護予防のため、地域での交流の場として「高齢者ふれあいの家」を7か所開設していますが、あなたはご存知ですか。

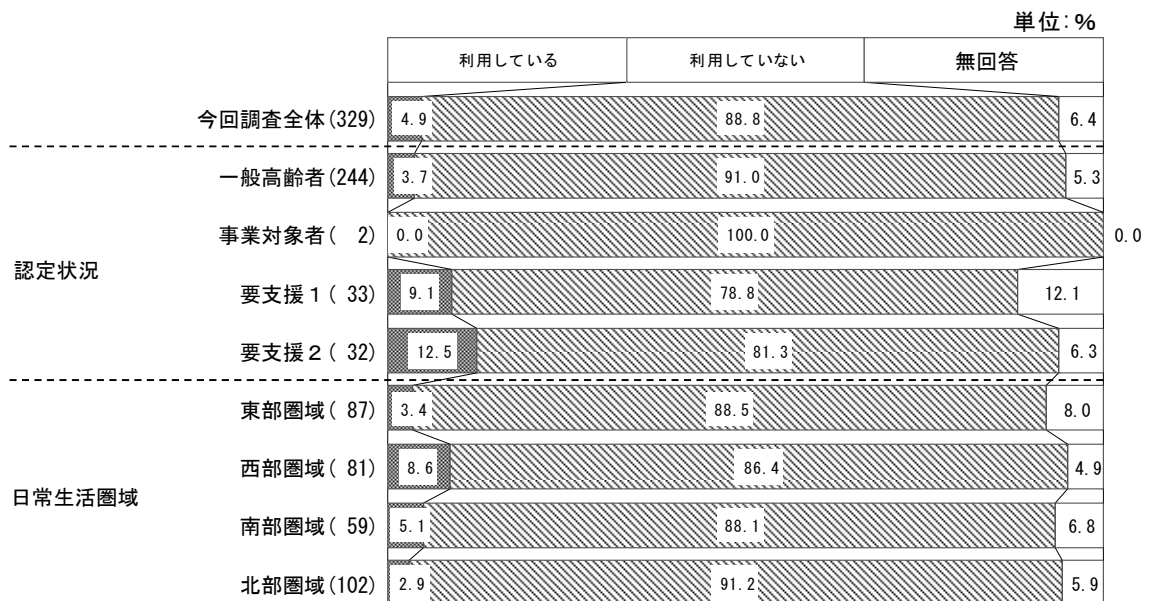


「知っている」が16.7%、「知らない」が80.5%です。

(3-1) 高齢者ふれあいの家の利用の有無

【(3)で「知っている」を選択した高齢者に対する設問】

「高齢者ふれあいの家」を利用していますか

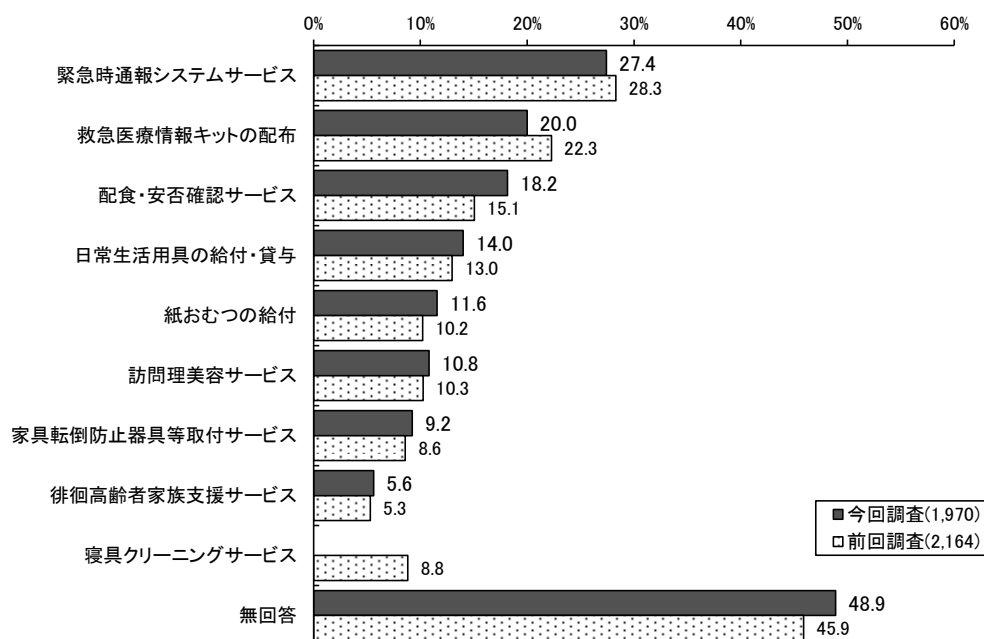


高齢者ふれあいの家を知っている高齢者に対して、高齢者ふれあいの家の利用状況を調査したところ、「利用している」が4.9%、「利用していない」が88.8%となっています。

(4) 高齢者在宅福祉サービスの利用状況・利用意向

市では、在宅で生活する高齢者やその家族を支援するため、高齢者在宅福祉サービスを行っています。

あなたは下記サービスのうち、利用している、または利用したいサービスはどれですか。(いくつでも○)



※今回調査では「寝具クリーニングサービス」なし。

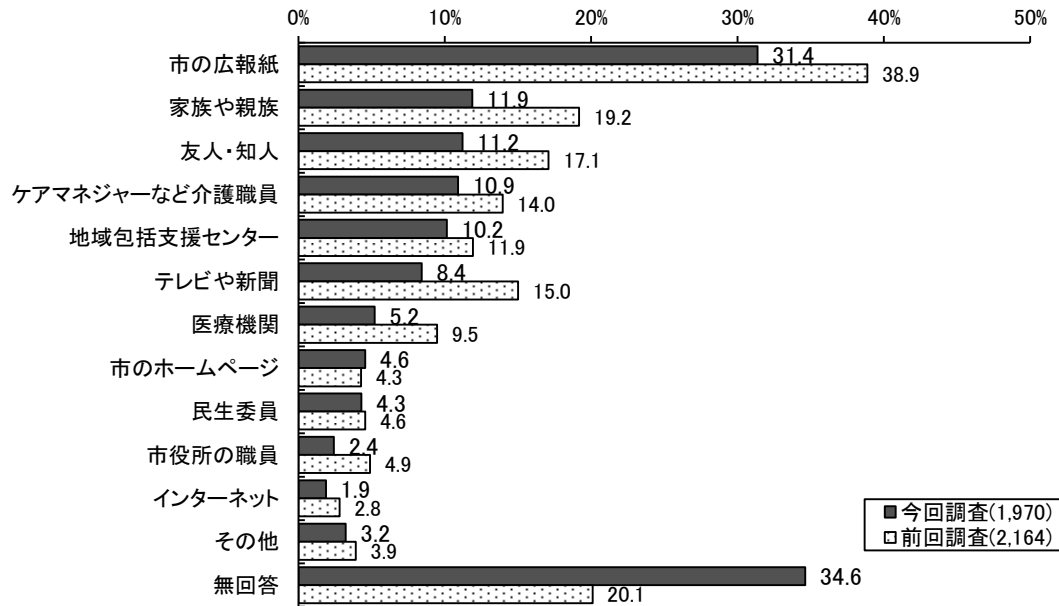
「緊急時通報システムサービス」が 27.4%で最も多く、「救急医療情報キットの配布」が 20.0%、「配食・安否確認サービス」が 18.2%、「日常生活用具の給付・貸与」が 14.0%で続きます。

	救急医療情報キット	緊急時通報システム	紙おむつの給付	訪問理美容サービス	配食・安否確認サービス	家具転倒防止器具等取付サービス	日常生活用具の給付・貸与	徘徊高齢者家族支援サービス	無回答
全体(1,970)	20.0	27.4	11.6	10.8	18.2	9.2	14.0	5.6	48.9
一般高齢者(1,461)	21.8	28.5	11.5	11.1	19.2	9.6	13.8	6.4	48.5
事業対象者(22)	9.1	18.2	4.5	4.5	18.2	9.1	22.7	-	59.1
要支援1(211)	17.1	27.0	14.7	12.3	17.1	9.0	13.7	4.7	46.4
要支援2(169)	16.0	28.4	11.8	10.7	15.4	11.2	17.8	2.4	39.6
東部圏域(481)	20.4	27.9	11.9	11.9	15.2	7.9	12.7	6.4	50.5
西部圏域(491)	20.2	29.1	11.6	9.8	19.1	10.0	14.3	5.7	49.7
南部圏域(467)	20.6	26.6	12.8	8.8	16.5	9.2	14.3	5.6	48.2
北部圏域(525)	18.9	26.1	10.1	12.4	21.5	9.9	14.9	5.0	47.2

日常生活圏域別に見ると、北部圏域では「配食・安否確認サービス」が2割強となっています。

(5) 高齢者在宅福祉サービスの情報の入手先

あなたは、高齢者在宅福祉サービスの情報を、どこから得ていますか。
(いくつでも○)



「市の広報紙」が31.4%で最も多く、「家族や親族」が11.9%、「友人・知人」が11.2%、「ケアマネジャーなど介護職員」が10.9%で続きます。

前回調査と比較すると、今回調査の「市の広報紙」「家族や親族」「テレビや新聞」「友人・知人」はいずれも前回調査を5ポイント以上下回っています。

	家族や親族	友人・知人	医療機関	民生委員	地域包括支援センター	ケアマネジャーなど介護職員	市の広報紙	市のホームページ	市役所の職員	テレビや新聞	インターネット	その他	無回答
全体(1,970)	11.9	11.2	5.2	4.3	10.2	10.9	31.4	4.6	2.4	8.4	1.9	3.2	34.6
一般高齢者(1,461)	12.0	11.8	4.9	3.1	4.9	5.3	35.0	5.4	2.3	9.1	2.1	3.8	36.8
事業対象者(22)	18.2	4.5	-	4.5	13.6	22.7	18.2	-	9.1	9.1	-	-	40.9
要支援1(211)	13.7	10.4	8.1	9.0	28.0	27.0	19.9	2.8	3.3	5.7	0.9	1.4	24.2
要支援2(169)	9.5	8.3	4.1	9.5	33.7	35.5	24.9	1.8	1.2	4.7	1.2	1.8	22.5
東部圏域(481)	11.4	11.4	5.2	2.7	9.6	11.2	31.8	5.4	2.3	10.0	1.5	3.7	32.2
西部圏域(491)	11.8	10.0	4.9	4.1	9.8	11.4	31.2	4.3	2.9	7.5	3.1	3.5	37.3
南部圏域(467)	12.0	10.9	4.5	4.1	12.4	10.5	31.3	4.3	2.6	6.4	1.7	3.4	34.7
北部圏域(525)	12.2	12.4	6.3	6.3	9.1	10.5	31.4	4.4	2.1	9.5	1.3	2.5	34.3

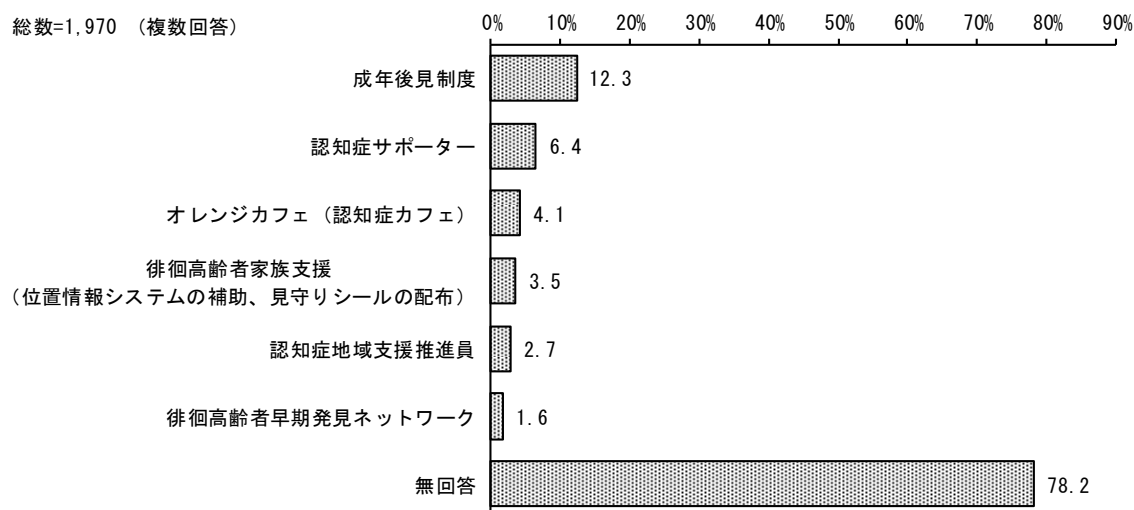
認定状況別に見ると、要支援1では「地域包括支援センター」が、要支援2では「ケアマネジャーなど介護職員」が「市の広報紙」を上回って最も多い回答となっています。

日常生活圏域別に見ると、南部圏域では「地域包括支援センター」が12.4%であり、「市の広報紙」に次いで多くなっています。

(6) 認知症総合施策の認知

市では、認知症になっても、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、認知症に関する正しい知識と理解の普及、認知症の早期発見や状態に応じた相談等の認知症総合施策を推進しています。あなたが知っている施策はありますか。

(いくつでも○)



「成年後見制度」が 12.3%で最も多く、「認知症サポーター」が 6.4%、「オレンジカフェ (認知症カフェ)」が 4.1%、「徘徊高齢者家族支援 (位置情報システムの補助、見守りシールの配布)」が 3.5%で続きます。

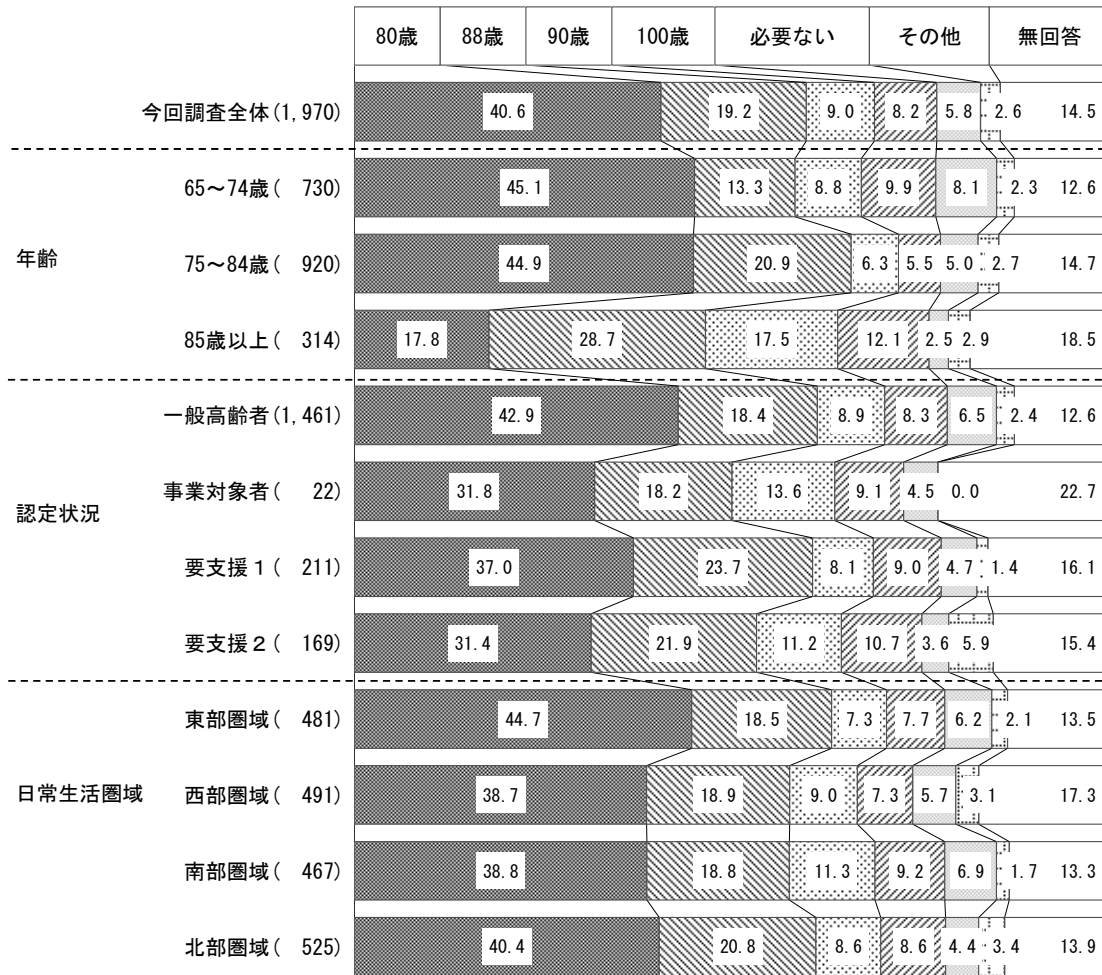
	認知症サポーター	オレンジカフェ (認知症カフェ)	徘徊高齢者早期発見ネットワーク	徘徊高齢者家族支援 (位置情報システムの補助、見守りシールの配布)	認知症地域支援推進員	成年後見制度	無回答
全体(1,970)	6.4	4.1	1.6	3.5	2.7	12.3	78.2
65～74歳(730)	7.4	4.2	2.1	3.7	3.3	17.9	72.1
75～84歳(920)	6.3	3.9	1.5	3.5	2.8	9.7	80.4
85歳以上(314)	4.8	4.5	1.0	3.2	1.3	6.7	85.7
一般高齢者(1,461)	6.5	3.9	1.9	3.4	2.6	13.1	77.1
事業対象者(22)	9.1	-	4.5	-	-	-	90.9
要支援1(211)	6.2	5.7	0.5	3.3	4.3	10.4	78.7
要支援2(169)	7.7	5.9	1.2	4.1	2.4	11.8	79.9
東部圏域(481)	6.2	4.4	1.9	4.0	2.3	10.8	79.4
西部圏域(491)	6.9	4.5	1.8	2.6	2.0	13.6	78.6
南部圏域(467)	7.3	4.3	1.1	4.5	3.0	13.1	76.4
北部圏域(525)	5.5	3.4	1.7	3.0	3.6	11.6	78.1

年齢別に見ると、65～74歳では「成年後見制度」が 17.9%であり、75～84歳・85歳以上の割合を8ポイント以上上回っています。

(7) 長寿祝金の支給年齢

市では、多年にわたり社会に貢献してきた高齢者に敬意を表すため、80歳、88歳、100歳の方に長寿祝金を支給しています。現在、平均寿命が男性81.47歳、女性87.57歳（2022年時点）となっています。あなたは長寿祝金を何歳に支給すべきだと考えますか。（ひとつに〇）

単位：%



「80歳」が40.6%で最も多く、「88歳」が19.2%、「90歳」が9.0%、「100歳」が8.2%で続きます。「必要ない」は5.8%です。

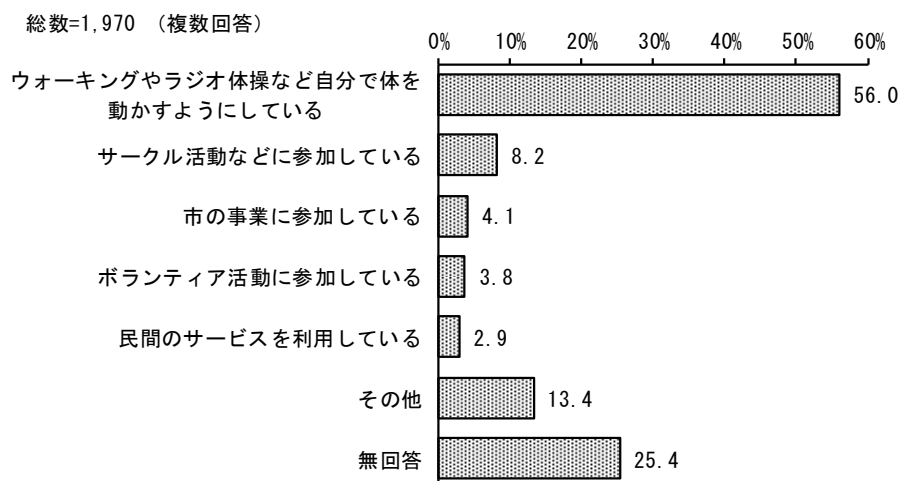
年齢別に見ると、65～74歳、75～84歳の回答者では「80歳」が4割台であり、85歳以上の割合を27ポイント上回っています。85歳以上の回答者では「88歳」(28.7%)が「80歳」(17.8%)を上回って最も多い回答となっています。

日常生活圏域別に見ると、西部圏域と南部圏域では「80歳」が4割を下回っています。

11 今後の意向や要望について

(1) 健康維持や介護予防のために取り組んでいること

健康維持や介護予防のために、ご自身で取り組んでいることはありますか。
(いくつでも○)



「ウォーキングやラジオ体操など自分で体を動かすようにしている」が 56.0%で最も多く、「サークル活動などに参加している」が 8.2%、「市の事業に参加している」が 4.1%、「ボランティア活動に参加している」が 3.8%で続きます。

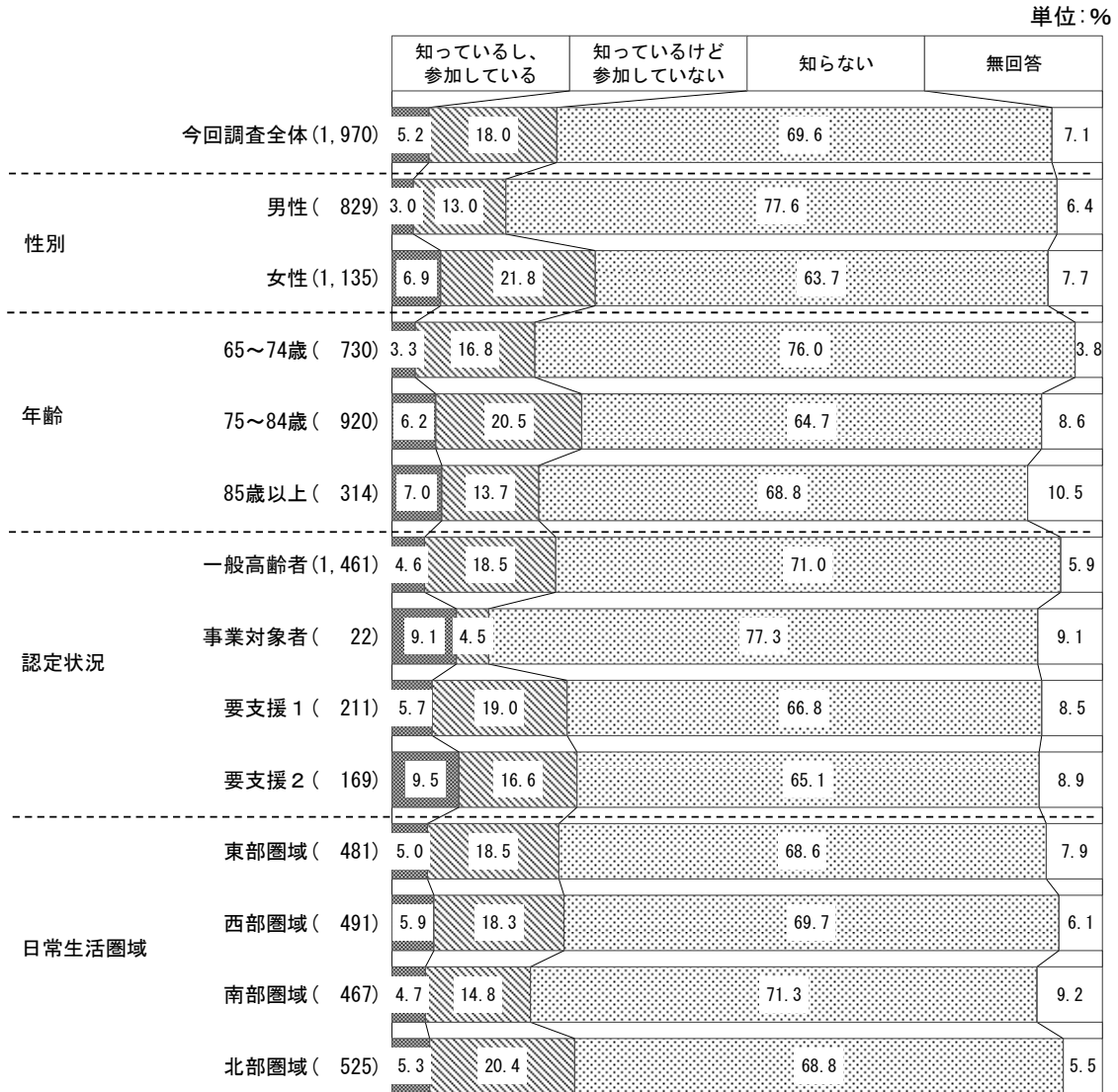
	市の事業に参加している	サークル活動などに参加している	民間のサービスを利用している	ボランティア活動に参加している	ウォーキングやラジオ体操など自分で体を動かすようにしている	その他	無回答
全体(1,970)	4.1	8.2	2.9	3.8	56.0	13.4	25.4
一般高齢者(1,461)	3.8	9.0	1.6	4.5	61.1	12.5	22.7
事業対象者(22)	13.6	-	4.5	-	50.0	13.6	18.2
要支援1(211)	4.3	7.1	6.6	1.9	45.5	15.6	29.9
要支援2(169)	5.9	5.3	8.9	1.2	34.9	19.5	34.3
東部圏域(481)	4.0	6.9	2.7	2.7	55.5	14.6	25.6
西部圏域(491)	3.9	6.7	5.1	4.7	53.2	13.2	25.3
南部圏域(467)	4.1	9.9	2.4	3.0	56.5	10.9	29.3
北部圏域(525)	4.4	9.3	1.7	4.6	58.5	14.5	21.9

認定状況別に見ると、一般高齢者では「ウォーキングやラジオ体操など自分で体を動かすようにしている」が 61.1%であり、要支援1・要支援2の割合を 15 ポイント以上上回っています。

(2) 介護予防事業・フレイルチェック事業の認知

市では、加齢による身体機能の低下を予防し、心身の機能向上を図る介護予防事業や、自らの健康状態をチェックすることで虚弱な状態を早期に発見し、行動変容を促進するフレイルチェック事業を行っています。

あなたは、市が行う介護予防事業やフレイルチェック事業を知っていますか。



「知っているし、参加している」が5.2%、「知っているけど参加していない」が18.0%、「知らない」が69.6%となっています。

男女別に見ると、女性は「知っているし、参加している」「知っているけど参加していない」の合計が28.7%であり、男性を12ポイント上回っています。

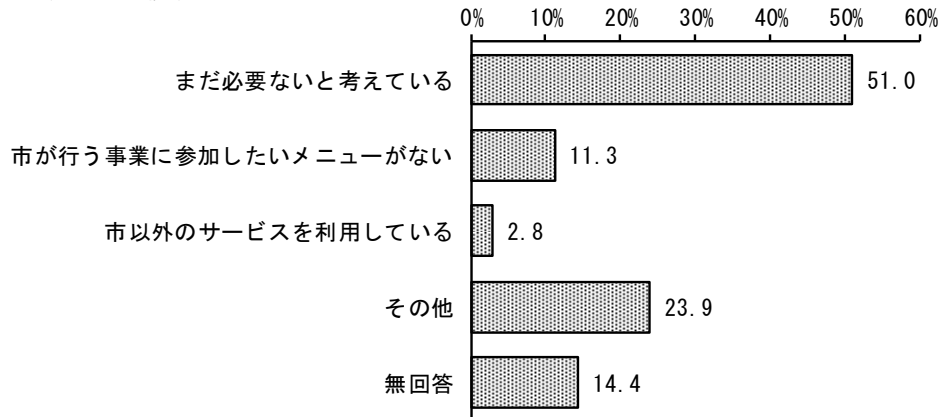
年齢別に見ると、75～84歳では「知っているし、参加している」「知っているけど参加していない」の合計が26.7%であり、他の年代を6ポイント上回っています。

日常生活圏域別に見ると、南部圏域では「知っているし、参加している」「知っているけど参加していない」の合計が2割を下回っています。

(2-1) 介護予防事業・フレイルチェック事業に参加していない理由

【(2)で「知っているけど参加していない」を選択した高齢者に対する設問】
参加していない理由は何ですか。(いくつでも○)

総数=355 (複数回答)



市が行う介護予防事業やフレイルチェック事業を知っているものの、参加していないという高齢者に対して、その理由を調査したところ、「まだ必要ないと考えている」が51.0%で最も多く、「市が行う事業に参加したいメニューがない」が11.3%、「市以外のサービスを利用している」が2.8%で続きます。

	まだ必要ないと考えている	市が行う事業に参加したいメニューがない	市以外のサービスを利用している	その他	無回答
全体(355)	51.0	11.3	2.8	23.9	14.4
65～74歳(123)	63.4	8.9	4.1	17.1	8.9
75～84歳(189)	50.3	12.2	2.6	23.8	14.8
85歳以上(43)	18.6	14.0	-	44.2	27.9
一般高齢者(270)	60.7	10.4	2.2	19.6	10.4
事業対象者(1)	-	-	-	-	100.0
要支援1(40)	25.0	7.5	2.5	37.5	27.5
要支援2(28)	7.1	28.6	7.1	42.9	17.9
東部圏域(89)	53.9	13.5	3.4	19.1	13.5
西部圏域(90)	51.1	6.7	4.4	31.1	12.2
南部圏域(69)	53.6	13.0	1.4	20.3	17.4
北部圏域(107)	46.7	12.1	1.9	24.3	15.0

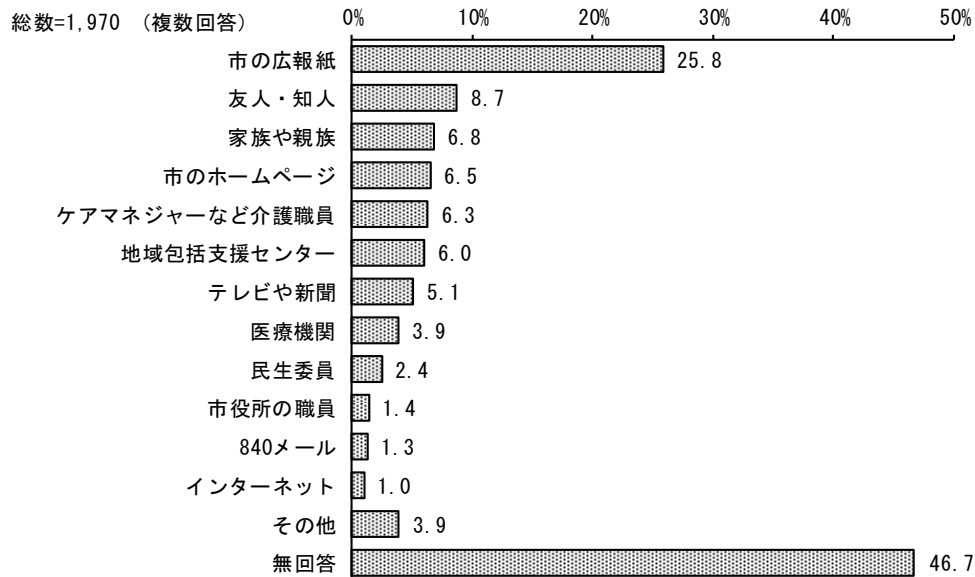
年齢別に見ると、65～74歳では「まだ必要ないと考えている」が63.4%であり、75～84歳の割合を13ポイント上回っています。

日常生活圏域別に見ると、北部圏域では「まだ必要ないと考えている」が5割を下回っています。

第2章 調査結果の分析【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

(3) 介護予防事業・フレイルチェック事業の情報の入手先

市が行う介護予防事業やフレイルチェック事業の情報をどこから得ていますか。
(いくつでも○)



「市の広報紙」が25.8%で最も多く、「友人・知人」が8.7%、「家族や親族」が6.8%、「市のホームページ」が6.5%で続きます。

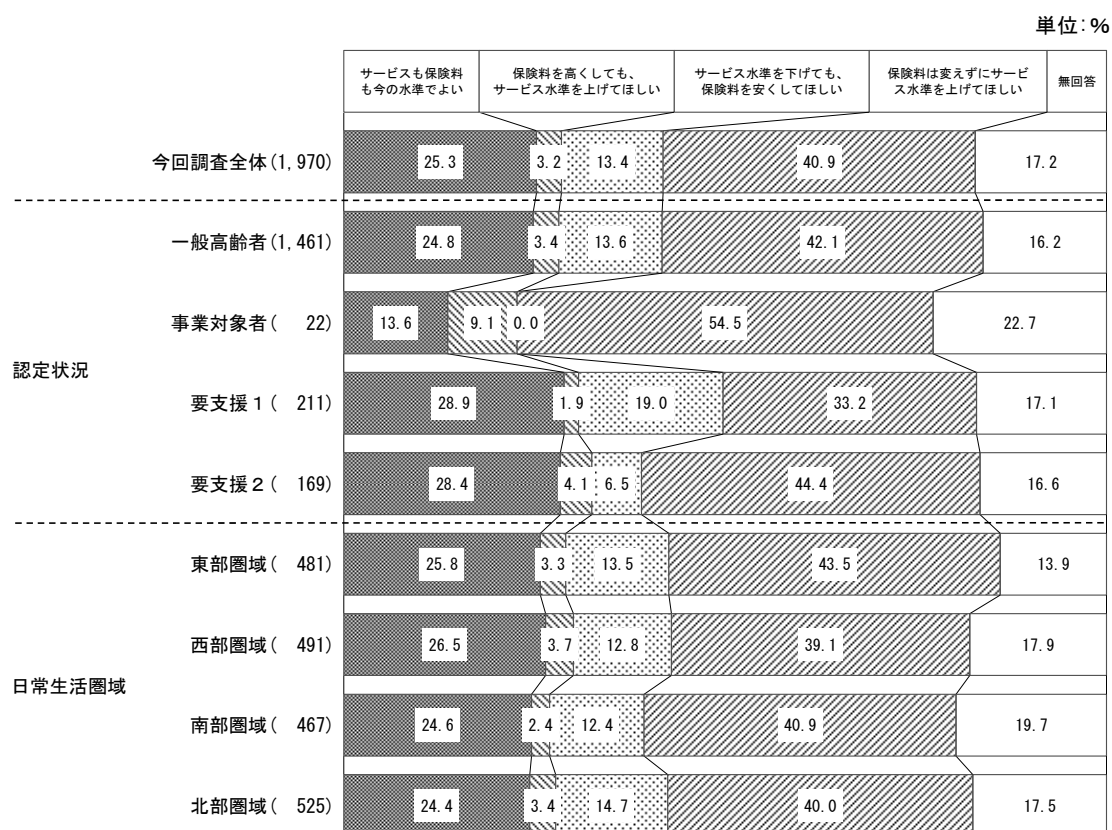
	家族や親族	友人・知人	医療機関	民生委員	地域包括支援センター	ケアマネジャーなど介護職員	市の広報紙	市のホームページ	市役所の職員	840メール	テレビや新聞	インターネット	その他	無回答
全体(1,970)	6.8	8.7	3.9	2.4	6.0	6.3	25.8	6.5	1.4	1.3	5.1	1.0	3.9	46.7
一般高齢者(1,461)	6.8	9.3	3.4	1.8	2.7	2.3	29.0	7.3	1.2	1.4	5.2	1.0	4.4	47.2
事業対象者(22)	9.1	9.1	4.5	4.5	9.1	9.1	13.6	-	4.5	-	-	-	9.1	50.0
要支援1(211)	7.6	5.7	6.2	3.3	15.6	16.6	19.0	3.8	1.4	0.5	6.6	0.5	2.4	44.5
要支援2(169)	4.7	7.1	4.1	4.7	23.1	25.4	17.8	5.3	3.0	2.4	2.4	1.2	1.8	42.0
東部圏域(481)	5.8	8.7	3.1	1.7	5.6	6.0	26.6	6.2	0.6	1.9	7.7	0.8	4.0	45.5
西部圏域(491)	7.1	6.1	4.3	2.0	7.3	5.7	26.9	5.9	1.8	0.8	3.1	1.2	4.7	47.3
南部圏域(467)	6.4	8.8	3.0	2.6	5.4	5.8	24.2	6.4	1.1	0.4	3.0	0.4	3.2	51.0
北部圏域(525)	7.6	11.2	5.0	3.4	5.7	7.4	25.7	7.4	1.9	1.9	6.5	1.3	3.8	43.2

認定状況別に見ると、要支援2では「ケアマネジャーなど介護職員」「地域包括支援センター」が「市の広報紙」を上回っています。

日常生活圏域別に見ると、北部圏域では「友人・知人」が1割強となっています。

(4) 介護保険のサービス水準と保険料の関係

介護保険料は、市全体の介護サービスの利用状況等から3年ごとに決定されており、サービスを拡大・充実させると保険料は高くなります。あなたは、介護保険のサービス水準と保険料についてどのように考えますか。(ひとつに〇)

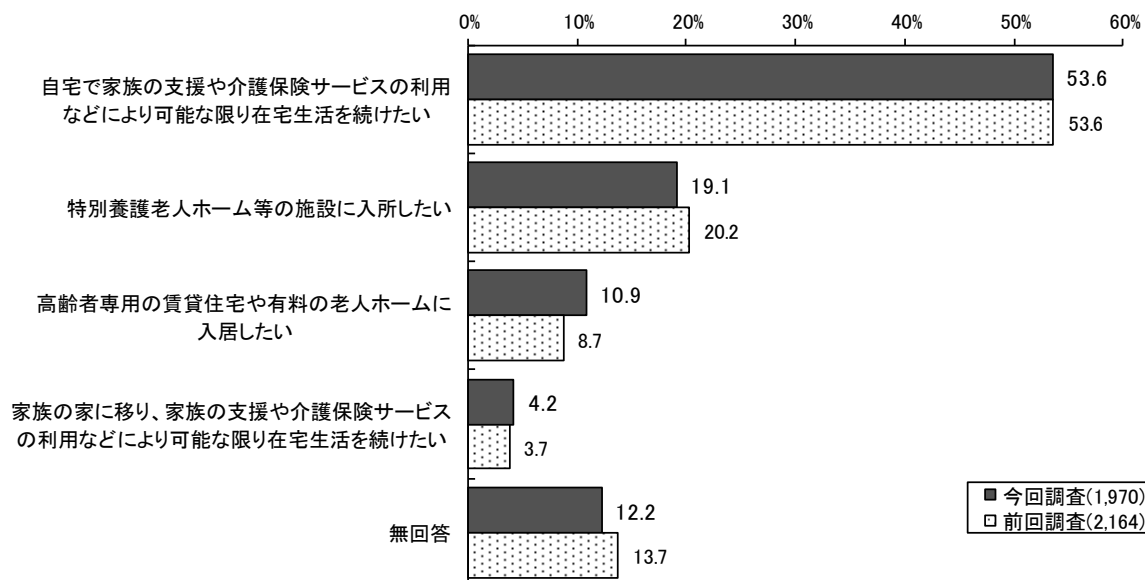


「保険料は変えずにサービス水準を上げてほしい」が40.9%で最も多く、「サービスも保険料も今の水準でよい」が25.3%、「サービス水準を下げても、保険料を安くしてほしい」が13.4%、「保険料を高くしても、サービス水準を上げてほしい」が3.2%で続きます。

認定状況別に見ると、要支援1では「サービス水準を下げても、保険料を安くしてほしい」が19.0%であり、一般高齢者・要支援2の割合を5ポイント以上上回っています。

(5) 在宅生活の継続が困難になった場合の対応

仮に、あなたが住み慣れた地域で自立した在宅生活を続けていくことが難しくなった場合、どのようなことを望みますか。(ひとつに○)



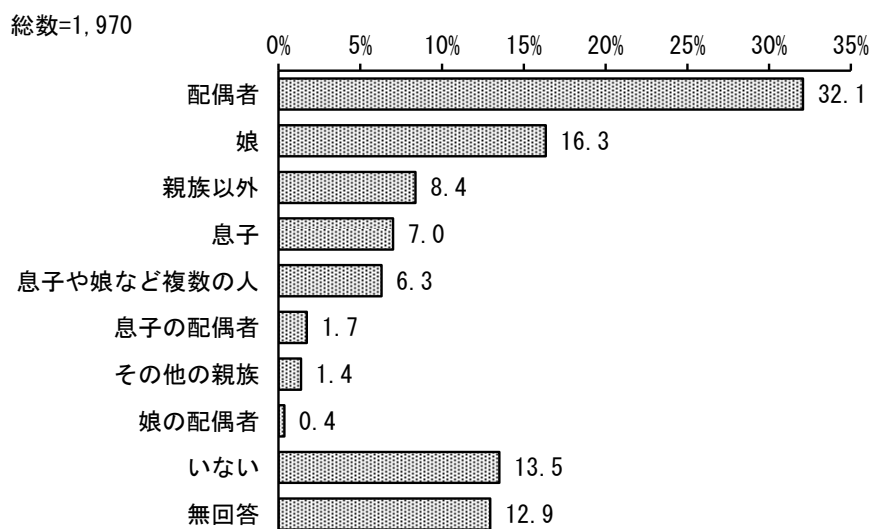
「自宅で家族の支援や介護保険サービスの利用などにより可能な限り在宅生活を続けたい」が53.6%で最も多く、「特別養護老人ホーム等の施設に入所したい」が19.1%、「高齢者専用の賃貸住宅や有料の老人ホームに入居したい」が10.9%、「家族の家に移り、家族の支援や介護保険サービスの利用などにより可能な限り在宅生活を続けたい」が4.2%で続きます。

	自宅で家族の支援や介護保険サービスの利用などにより可能な限り在宅生活を続けたい	家族の家に移り、家族の支援や介護保険サービスの利用などにより可能な限り在宅生活を続けたい	高齢者専用の賃貸住宅や有料の老人ホームに入居したい	特別養護老人ホーム等の施設に入所したい	無回答
全体(1,970)	53.6	4.2	10.9	19.1	12.2
一般高齢者(1,461)	55.2	4.0	10.8	19.0	11.0
事業対象者(22)	50.0	9.1	9.1	22.7	9.1
要支援1(211)	52.6	4.3	7.1	22.3	13.7
要支援2(169)	49.1	3.6	13.6	20.1	13.6
東部圏域(481)	53.2	5.6	9.6	20.0	11.6
西部圏域(491)	54.4	2.9	12.0	18.5	12.2
南部圏域(467)	50.5	4.5	10.1	20.1	14.8
北部圏域(525)	55.4	4.0	11.8	18.1	10.7
1人暮らし(424)	37.0	5.2	17.2	23.8	16.7
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)(687)	56.5	3.9	10.6	18.9	10.0
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)(57)	71.9	-	5.3	17.5	5.3
息子・娘との2世帯(430)	58.6	4.9	8.4	17.2	10.9
その他(311)	61.1	3.2	7.4	17.7	10.6

世帯類型別に見ると、夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)では「自宅で家族の支援や介護保険サービスの利用などにより可能な限り在宅生活を続けたい」が71.9%を占めているのに対し、1人暮らしでは37.0%にとどまっています。また、1人暮らしでは「特別養護老人ホーム等の施設に入所したい」が2割強となっています。

(6) 誰に介護をしてほしいか

仮に、あなたが介護を必要とする状態になった場合、誰に介護をしてほしいですか。
(ひとつに○)



「配偶者」が32.1%で最も多く、「娘」が16.3%、「親族以外」が8.4%となっています。「いない」は13.5%です。

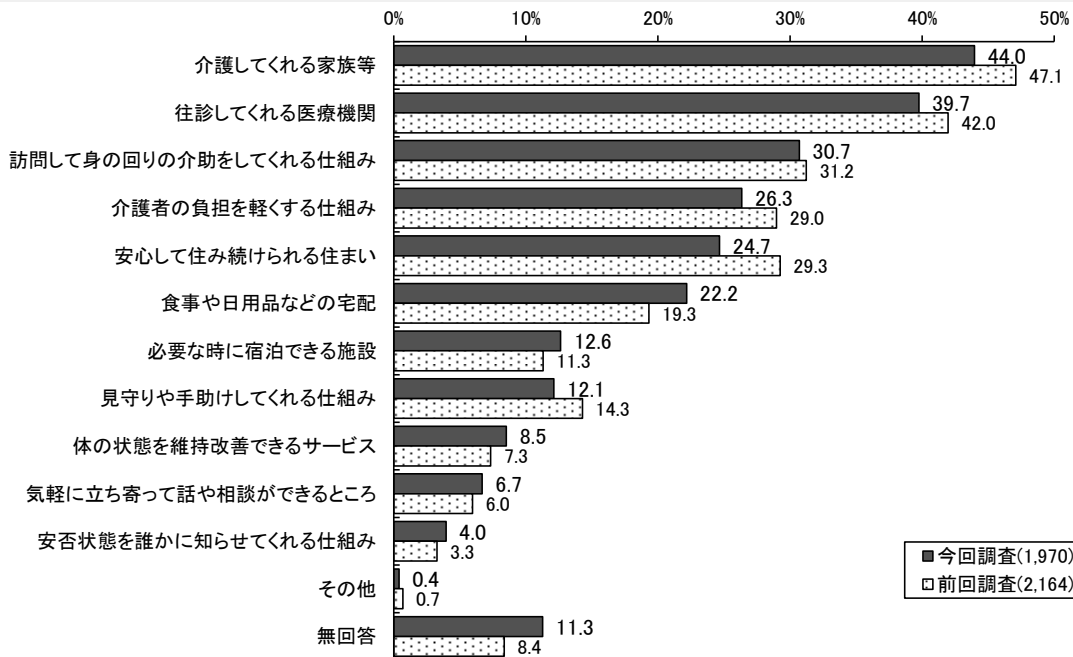
	配偶者	息子	娘	息子の配偶者	娘の配偶者	息子や娘など複数の人	その他の親族	親族以外	いない	無回答
全体(1,970)	32.1	7.0	16.3	1.7	0.4	6.3	1.4	8.4	13.5	12.9
男性(829)	49.0	4.6	8.3	1.1	0.5	3.4	1.9	4.8	14.8	11.6
女性(1,135)	19.8	8.7	22.2	2.2	0.3	8.5	1.0	11.0	12.4	13.9
一般高齢者(1,461)	37.1	5.4	15.2	1.3	0.3	5.7	1.0	8.6	12.8	12.5
事業対象者(22)	13.6	18.2	36.4	-	4.5	4.5	-	4.5	9.1	9.1
要支援1(211)	19.4	10.0	21.8	2.4	-	9.5	3.8	7.6	14.2	11.4
要支援2(169)	16.0	14.2	16.6	4.1	0.6	7.1	1.8	7.1	18.9	13.6
東部圏域(481)	33.1	7.5	16.4	1.7	0.6	5.6	0.8	8.9	12.5	12.9
西部圏域(491)	32.4	7.9	16.5	1.4	0.2	5.9	2.2	8.6	13.8	11.0
南部圏域(467)	33.2	6.6	14.6	1.3	0.6	7.1	1.1	7.9	13.1	14.6
北部圏域(525)	30.1	5.9	17.7	2.5	-	6.7	1.3	8.2	14.3	13.3

男女別に見ると、男性は「配偶者」が49.0%であり、女性の割合を29ポイント上回っています。女性は「娘」が「配偶者」を上回って最も多い回答となっているほか、「親族以外」が11.0%であり、男性の割合を6ポイント上回っています。

認定状況別に見ると、要支援1では「娘」が、要支援2では「いない」が「配偶者」を上回って最も多い回答となっています。

(7) 在宅生活の継続のために重要なもの

仮に、あなたが、介護や医療を必要とする状態になっても、在宅生活を続けるために、重要だと思うものは何ですか。(あてはまるもの3つまで○)



「介護してくれる家族等」が44.0%で最も多く、「往診してくれる医療機関」が39.7%、「訪問して身の回りの介助をしてくれる仕組み」が30.7%、「介護者の負担を軽くする仕組み」が26.3%で続きます。

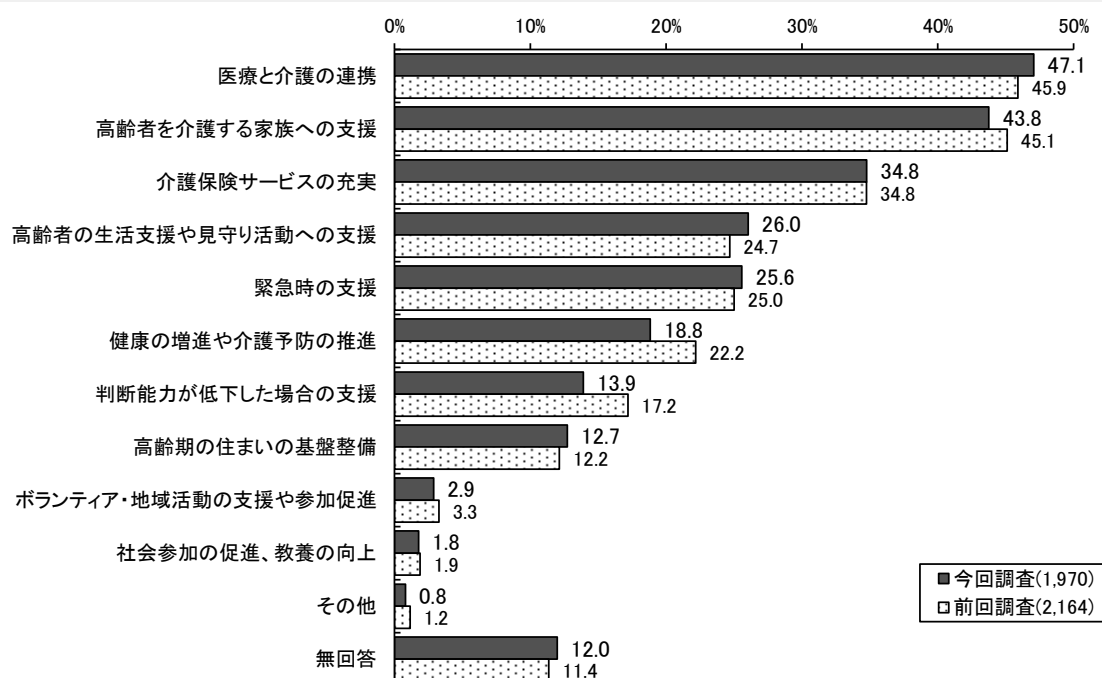
	介護してくれる家族等	住安心して住み続けられる住まい	往診していただける医療機関	訪問して身の回りの介助	必要な時に宿泊できる施設	体の状態を維持改善できるサービス	気軽に立ち寄って話や相談	見守りや手助けしてくれる仕組み	食事や日用品などの宅配	安否状態を誰かに知らせ	介護者の負担を軽くする	その他	無回答
全体(1,970)	44.0	24.7	39.7	30.7	12.6	8.5	6.7	12.1	22.2	4.0	26.3	0.4	11.3
男性(829)	52.5	26.9	38.2	27.9	8.4	7.1	4.9	10.7	22.1	3.1	22.2	0.6	11.6
女性(1,135)	37.7	23.0	40.9	32.7	15.7	9.6	7.9	13.0	22.4	4.6	29.5	0.3	11.0
一般高齢者(1,461)	45.0	24.7	39.8	32.6	12.9	8.0	6.6	12.7	22.5	4.0	27.6	0.4	10.1
事業対象者(22)	31.8	31.8	22.7	18.2	9.1	4.5	13.6	4.5	40.9	9.1	31.8	-	13.6
要支援1(211)	45.5	25.1	44.5	25.1	12.3	10.9	4.3	10.9	18.5	3.3	20.4	0.5	11.8
要支援2(169)	42.0	22.5	43.8	29.6	12.4	9.5	6.5	11.2	22.5	4.1	27.8	0.6	13.6
東部圏域(481)	45.3	23.7	39.3	31.2	13.5	8.3	6.0	10.6	23.9	4.0	30.4	0.4	9.6
西部圏域(491)	46.0	26.7	40.3	32.4	12.2	8.1	7.5	13.0	18.7	3.1	25.7	0.4	10.8
南部圏域(467)	41.8	19.1	40.5	30.2	13.9	10.1	7.3	11.6	20.1	4.9	25.1	0.6	13.1
北部圏域(525)	42.7	28.6	39.0	29.0	11.0	7.8	5.9	13.0	25.9	4.0	24.8	0.2	11.6

男女別に見ると、男性は「介護してくれる家族等」が52.5%であり、女性の割合を14ポイント上回っています。女性は「往診していただける医療機関」が「介護してくれる家族等」を上回って最も多い回答となっています。

認定状況別に見ると、要支援2では「往診していただける医療機関」が「介護してくれる家族等」を上回って最も多い回答となっています。

(8) 高齢者保健福祉施策について市が重点を置くべき事項

今後、高齢者の保健福祉や介護予防等に関する取り組みを進めていく上で、あなたは、市がどのようなことに重点を置くべきだとお考えですか。（あてはまるもの3つまで○）



「医療と介護の連携」が47.1%で最も多く、「高齢者を介護する家族への支援」が43.8%、「介護保険サービスの充実」が34.8%、「高齢者の生活支援や見守り活動への支援」が26.0%で続きます。

	健康の増進や介護予防の推進	向上	社会参加の促進、教養の向上	ボランティアや参加促進、地域活動	備高 高齢期の住まいの基盤整備	介護保険サービスの充実	の高 高齢者を介護する家族への支援	医療と介護の連携	り高 高齢者の生活支援や見守り	緊急時の支援	の支 断能力が低下した場合	その他	無回答
全体(1,970)	18.8	1.8	2.9	12.7	34.8	43.8	47.1	26.0	25.6	13.9	0.8	12.0	
一般高齢者(1,461)	20.1	2.0	3.1	13.1	35.6	44.8	48.5	26.4	25.5	13.8	0.7	11.1	
事業対象者(22)	27.3	4.5	-	4.5	22.7	45.5	54.5	22.7	22.7	9.1	9.1	9.1	
要支援1(211)	18.5	1.4	2.4	13.3	33.6	41.7	46.4	23.2	25.6	14.2	0.5	13.3	
要支援2(169)	9.5	0.6	1.8	13.0	33.7	42.6	44.4	31.4	30.2	17.2	1.2	10.7	
東部圏域(481)	17.3	1.7	3.5	12.5	37.6	46.2	45.3	24.9	26.8	14.6	1.2	10.4	
西部圏域(491)	21.4	1.8	3.5	11.8	36.9	43.6	47.3	26.9	24.4	13.0	0.4	11.8	
南部圏域(467)	16.3	2.6	1.9	13.1	33.2	43.0	46.5	25.3	26.1	12.4	1.1	13.9	
北部圏域(525)	20.2	1.1	2.7	13.7	31.6	42.3	49.1	27.0	24.4	15.0	0.6	12.0	

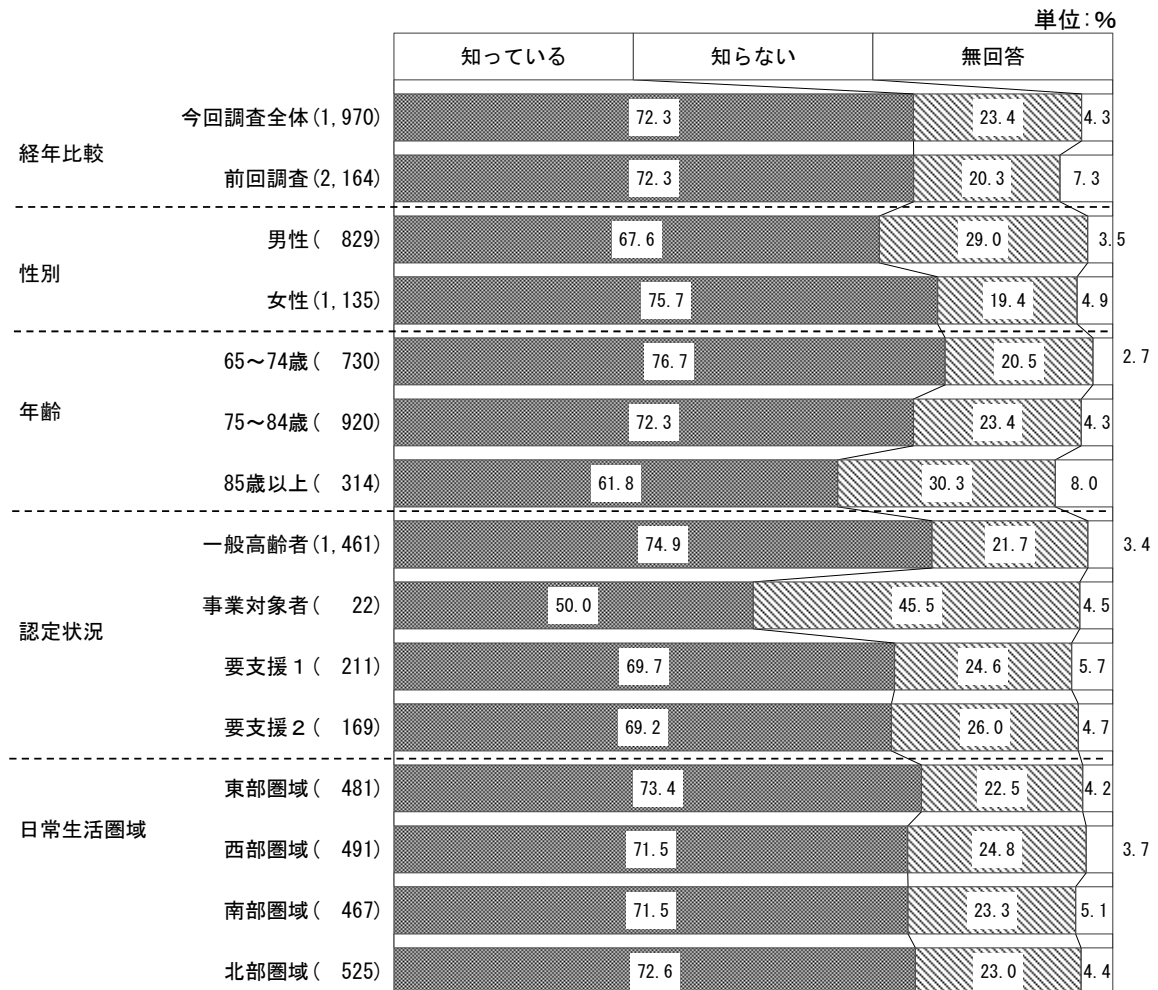
認定状況別に見ると、要支援2では「高齢者の生活支援や見守り活動への支援」が31.4%であり、一般高齢者・要支援1の割合を5ポイント以上上回っています。

日常生活圏域別に見ると、東部圏域では「高齢者を介護する家族への支援」が「医療と介護の連携」を上回って最も多い回答となっています。

12 医療と介護の連携について

(1) 特定健診（健康診査）の認知

市では、ご自身の健康状態を確認し、疾病や疾病の重症化を予防するため、市内指定医療機関で「特定健診（健康診査）」を行っています。あなたは、この「特定健診（健康診査）」をご存知ですか。



「知っている」が72.3%、「知らない」が23.4%です。

男女別に見ると、女性は「知っている」が75.7%であり、男性を8ポイント上回っています。

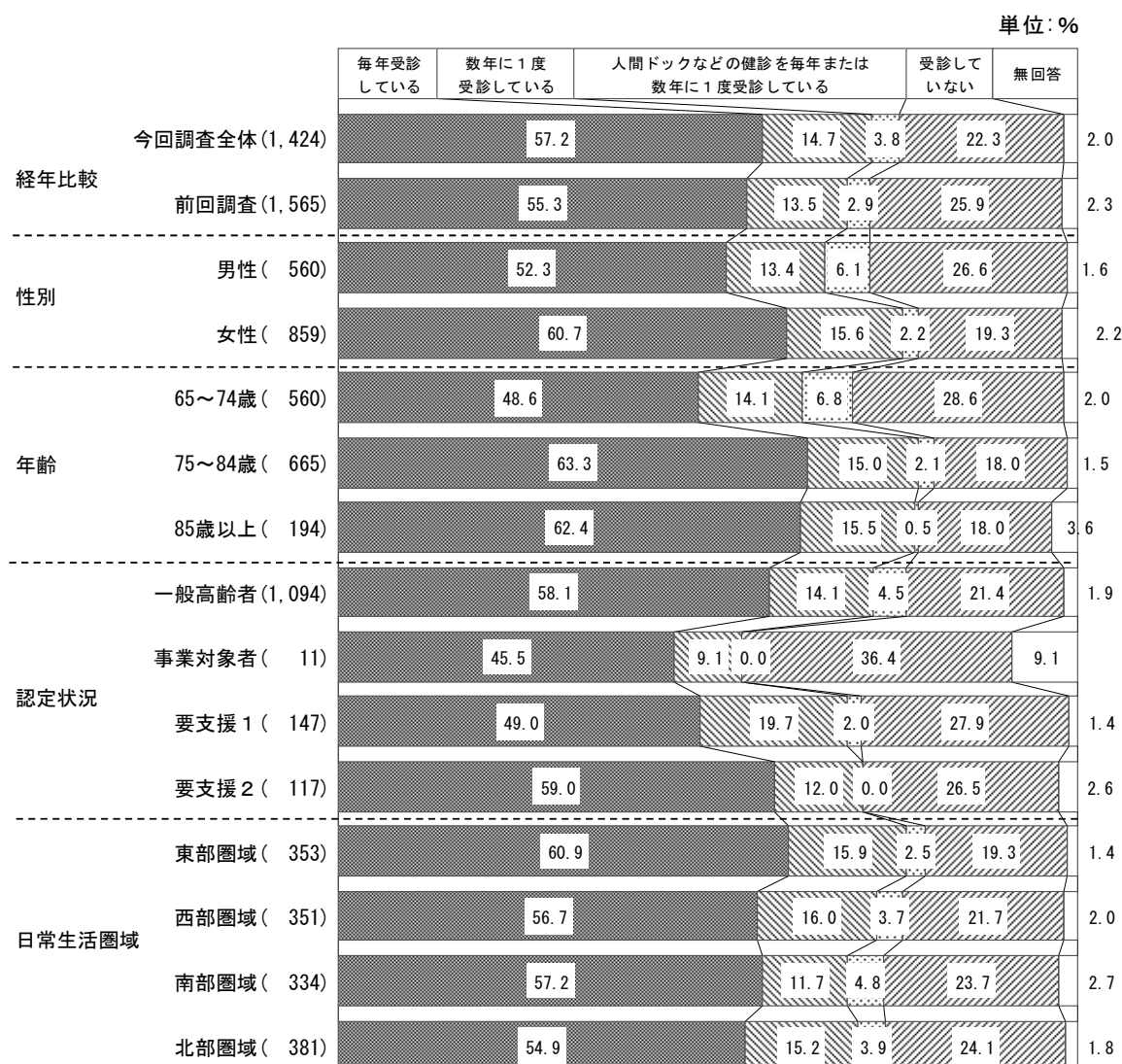
年齢別に見ると、「知っている」の割合は年代とともに減少しており、85歳以上では61.8%となっています。

認定状況別に見ると、一般高齢者では「知っている」が74.9%であり、要支援1・要支援2の割合を5ポイント上回っています。

(1-1) 特定健診（健康診査）の受診状況

【（１）で「知っている」を選択した高齢者に対する設問】

あなたは、この「特定健診（健康診査）」をどの程度受診していますか。



特定健診（健康診査）を知っているという高齢者に対して、受診状況を調査したところ、「毎年受診している」が57.2%で最も多く、「数年に1度受診している」が14.7%、「人間ドックなどの健診を毎年または数年に1度受診している」が3.8%となっています。「受診していない」は22.3%です。

男女別に見ると、女性は「毎年受診している」が60.7%であり、男性を8ポイント上回っています。

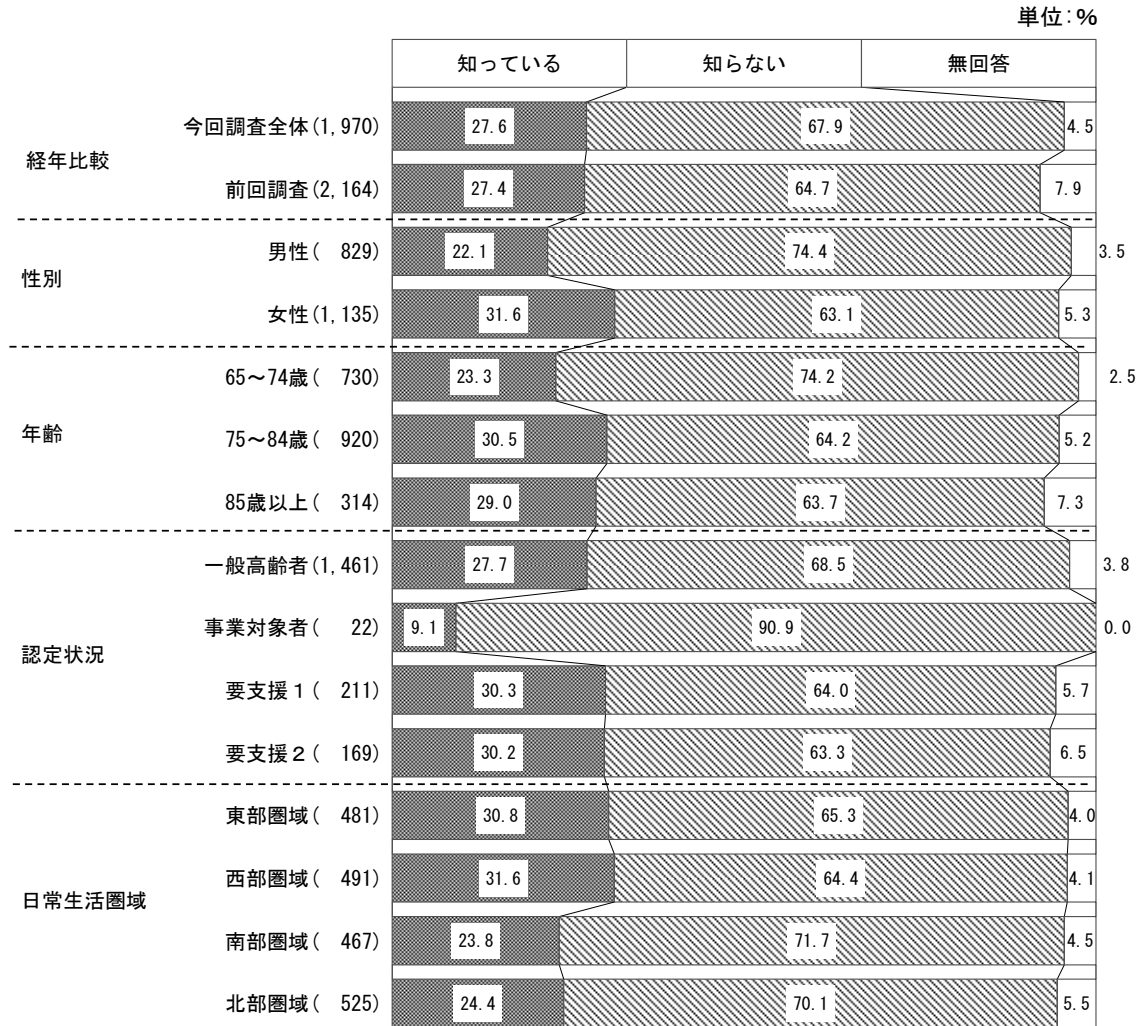
年齢別に見ると、75～84歳と85歳以上では「毎年受診している」が6割強であるのに対し、65～74歳では48.6%にとどまっています。

認定状況別に見ると、一般高齢者と要支援2では「毎年受診している」が6割弱であるのに対し、要支援1では49.0%にとどまっています。

日常生活圏域別に見ると、東部圏域では「毎年受診している」が6割に達しています。

(2) 認知症検診の認知

市では、認知症の早期発見・早期治療のため、指定医療機関で「認知症検診」を行っています。あなたは、この「認知症検診」をご存知ですか。



「知っている」が27.6%、「知らない」が67.9%です。

男女別に見ると、女性は「知っている」が31.6%であり、男性を9ポイント上回っています。

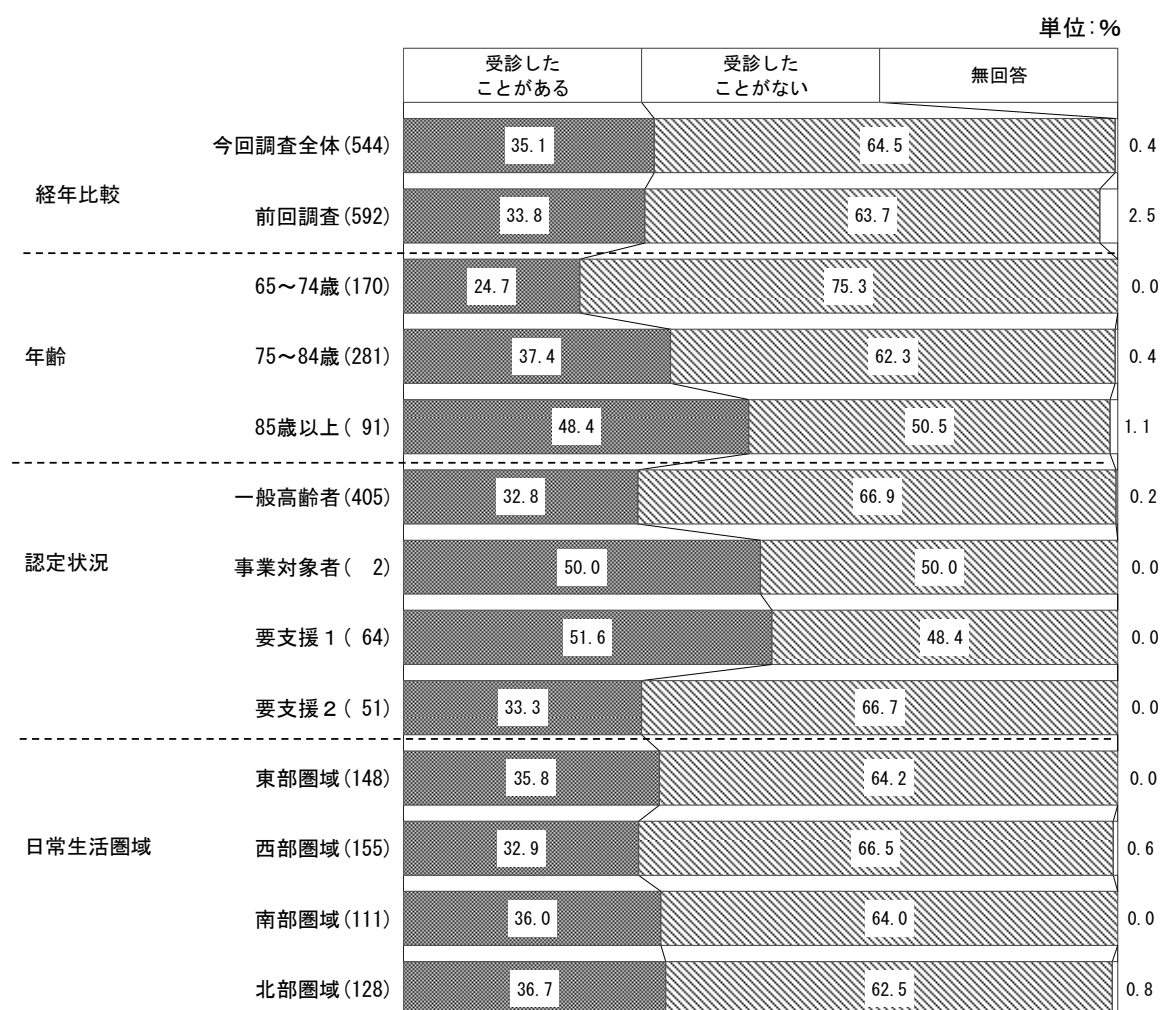
年齢別に見ると、75～84歳と85歳以上では「知っている」が3割前後であり、65～74歳の割合を5ポイント以上上回っています。

日常生活圏域別に見ると、東部圏域と西部圏域では「知っている」が3割強であり、他の圏域の割合を6ポイント以上上回っています。

(2-1) 認知症検診の受診状況

【(2)で「知っている」を選択した高齢者に対する設問】

「認知症検診」を受診したことがありますか。



認知症検診を知っている高齢者に対して、受診状況を調査したところ、「受診したことがある」が35.1%、「受診したことがない」が64.5%となっています。

年齢別に見ると、「受診したことがある」の割合は年代とともに増加しており、85歳以上では48.4%となっています。

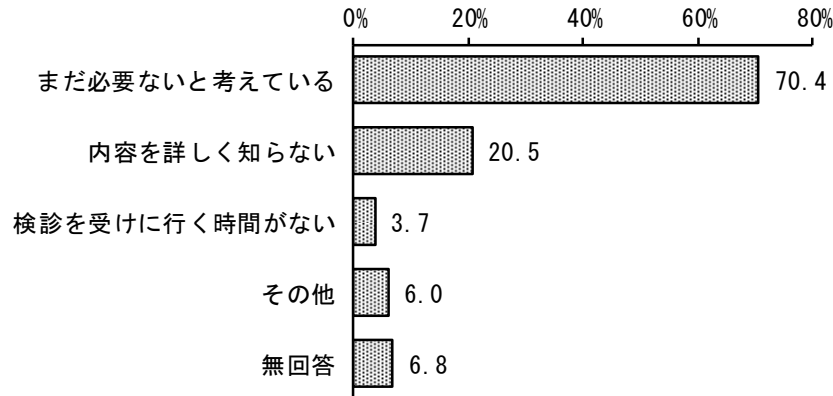
認定状況別に見ると、一般高齢者と要支援2では「受診したことがある」が3割強であるのに対し、要支援1では51.6%で「受診したことがない」を上回っています。

(2-2) 認知症検診を受診しない理由

【(2-1)で「受診したことがない」を選択した高齢者に対する設問】

「認知症検診」を受診しない理由は何ですか。(いくつでも○)

総数=351 (複数回答)



認知症検診を受診したことがない高齢者に対して、その理由を調査したところ、「まだ必要ないと考えている」が70.4%で最も多く、「内容を詳しく知らない」が20.5%、「検診を受けに行く時間がない」が3.7%で続きます。

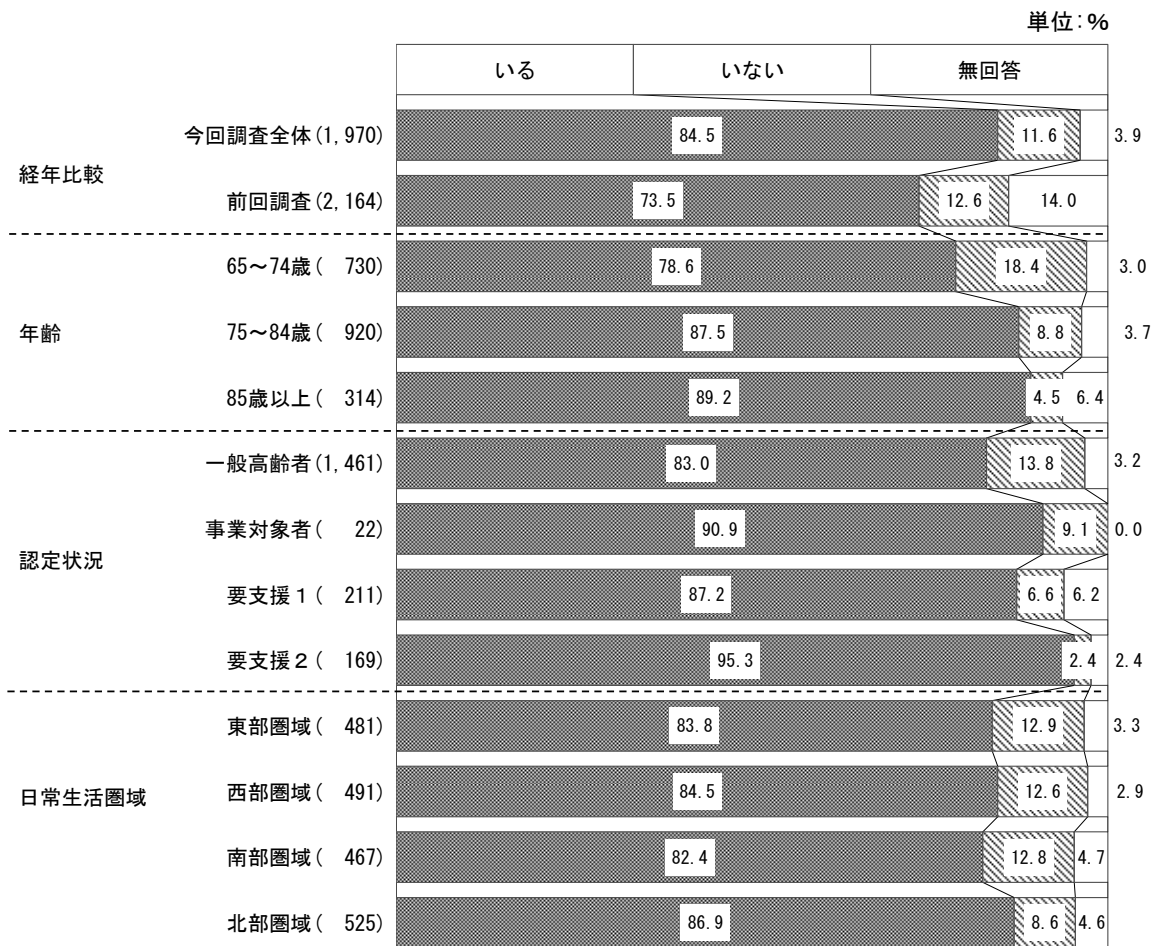
	まだ必要ないと考えている	検診を受けに行く時間がない	内容を詳しく知らない	その他	無回答
全体 (351)	70.4	3.7	20.5	6.0	6.8
65～74歳 (128)	77.3	2.3	18.0	3.9	7.0
75～84歳 (175)	64.6	4.6	25.1	5.7	6.3
85歳以上 (46)	73.9	4.3	10.9	10.9	8.7
一般高齢者 (271)	73.1	3.7	19.9	3.7	6.6
事業対象者 (1)	-	-	100.0	-	-
要支援1 (31)	71.0	3.2	12.9	12.9	3.2
要支援2 (34)	50.0	5.9	32.4	14.7	11.8
東部圏域 (95)	66.3	3.2	20.0	8.4	10.5
西部圏域 (103)	75.7	3.9	18.4	5.8	1.9
南部圏域 (71)	66.2	2.8	21.1	7.0	11.3
北部圏域 (80)	72.5	5.0	23.8	1.3	5.0

年齢別に見ると、65～74歳では「まだ必要ないと考えている」が77.3%であり、75～84歳の割合を12ポイント上回っています。一方、75～84歳では「内容を詳しく知らない」が25.1%であり、65～74歳の割合を7ポイント上回っています。

日常生活圏域別に見ると、西部圏域と北部圏域では「まだ必要ないと考えている」が7割台であり、他の圏域の割合を6ポイント以上上回っています。

(3) かかりつけ医の有無

あなたは、かかりつけ医はいますか。



「いる」が84.5%、「いない」が11.6%です。

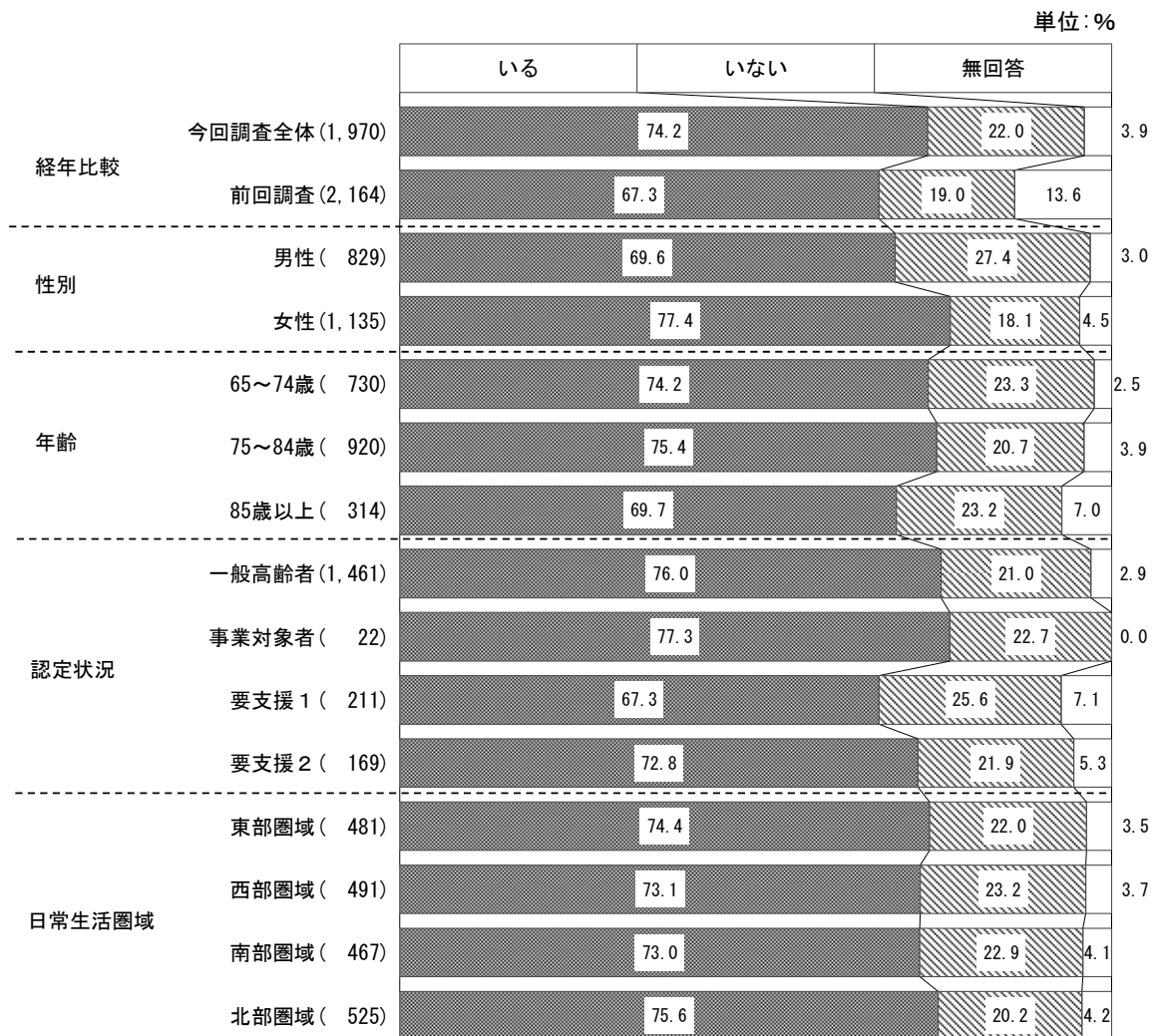
前回調査と比較すると、今回調査の「いる」(84.5%)は前回調査(73.5%)を11ポイント上回っています。

年齢別に見ると、「いる」の割合は年代とともに増加しており、75～84歳・85歳以上では9割弱となっています。

認定状況別に見ると、要支援2では「いる」が95.3%であり、一般高齢者・要支援1の割合を8ポイント以上上回っています。

(4) かかりつけ歯科医の有無

あなたは、かかりつけ歯科医はいますか。



「いる」が74.2%、「いない」が22.0%です。

前回調査と比較すると、今回調査の「いる」(74.2%)は前回調査(67.3%)を6ポイント上回っています。

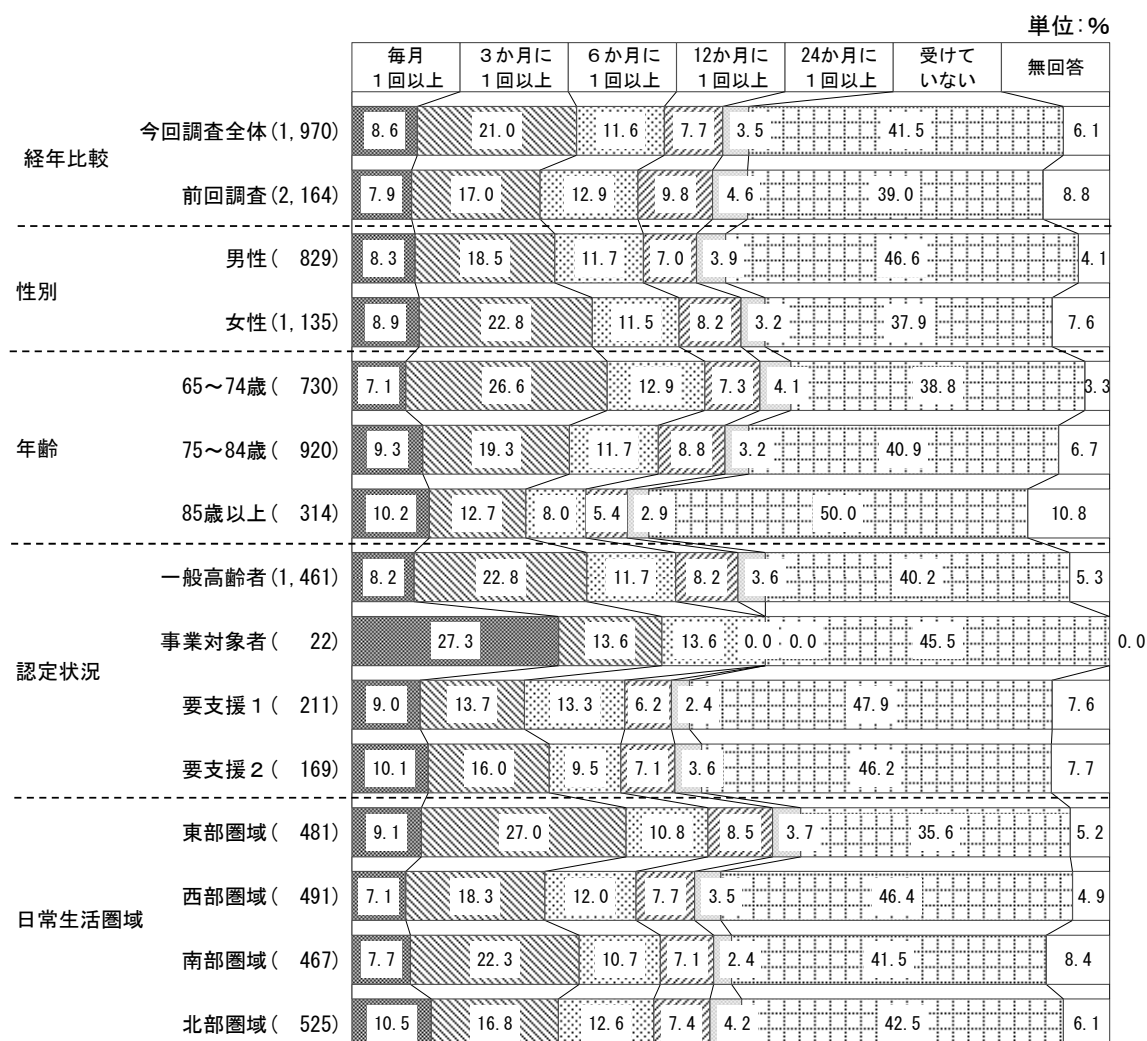
男女別に見ると、女性は「いる」が77.4%であり、男性を7ポイント上回っています。

年齢別に見ると、85歳以上では「いる」が7割を下回っています。

認定状況別に見ると、要支援1では「いる」が67.3%であり、一般高齢者・要支援2の割合を5ポイント以上下回っています。

(5) 歯科検診の受診状況

毎日を健康に過ごすためには、口の状態を良好に保つことが大切です。あなたは、定期的に歯の検診を受けていますか。



「3か月に1回以上」が21.0%、「6か月に1回以上」が11.6%、「毎月1回以上」が8.6%となっています。回答者全体の5割強が少なくとも24か月に1回以上受診しています。

このほか、「受けていない」という回答が41.5%を占めています。

男女別に見ると、男性は「受けていない」が46.6%であり、女性を8ポイント上回っています。

年齢別に見ると、「受けていない」の割合は年代とともに増加しており、85歳以上では50.0%となっています。

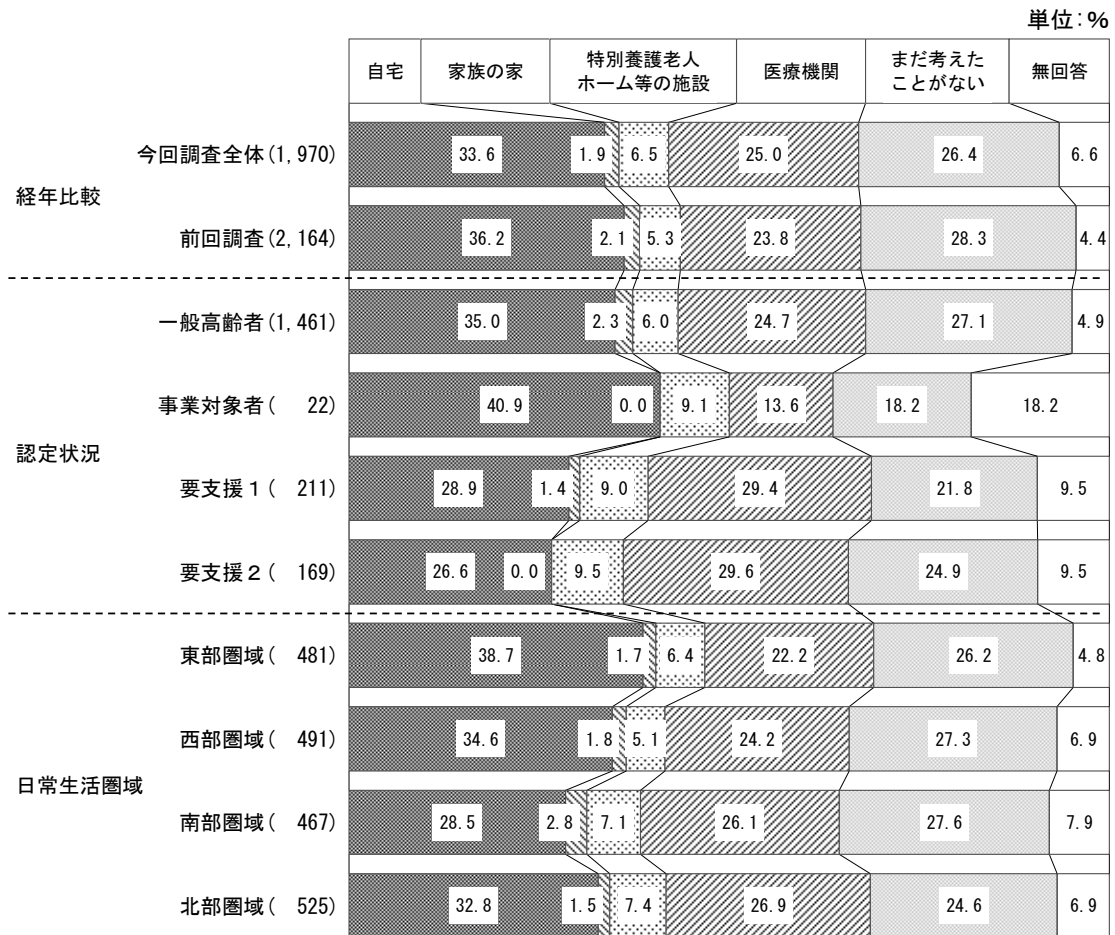
認定状況別に見ると、要支援1と要支援2では「受けていない」が5割弱であり、一般高齢者の割合を6ポイント以上上回っています。

日常生活圏域別に見ると、東部圏域では「受けていない」が35.6%であり、他の圏域の割合を5ポイント以上下回っています。

第2章 調査結果の分析【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

(6) 終末期の家族に過ごしてほしい場所

仮に、家族が「終末期」をむかえた場合、どこで過ごしてほしいと考えますか。
(ひとつに○)



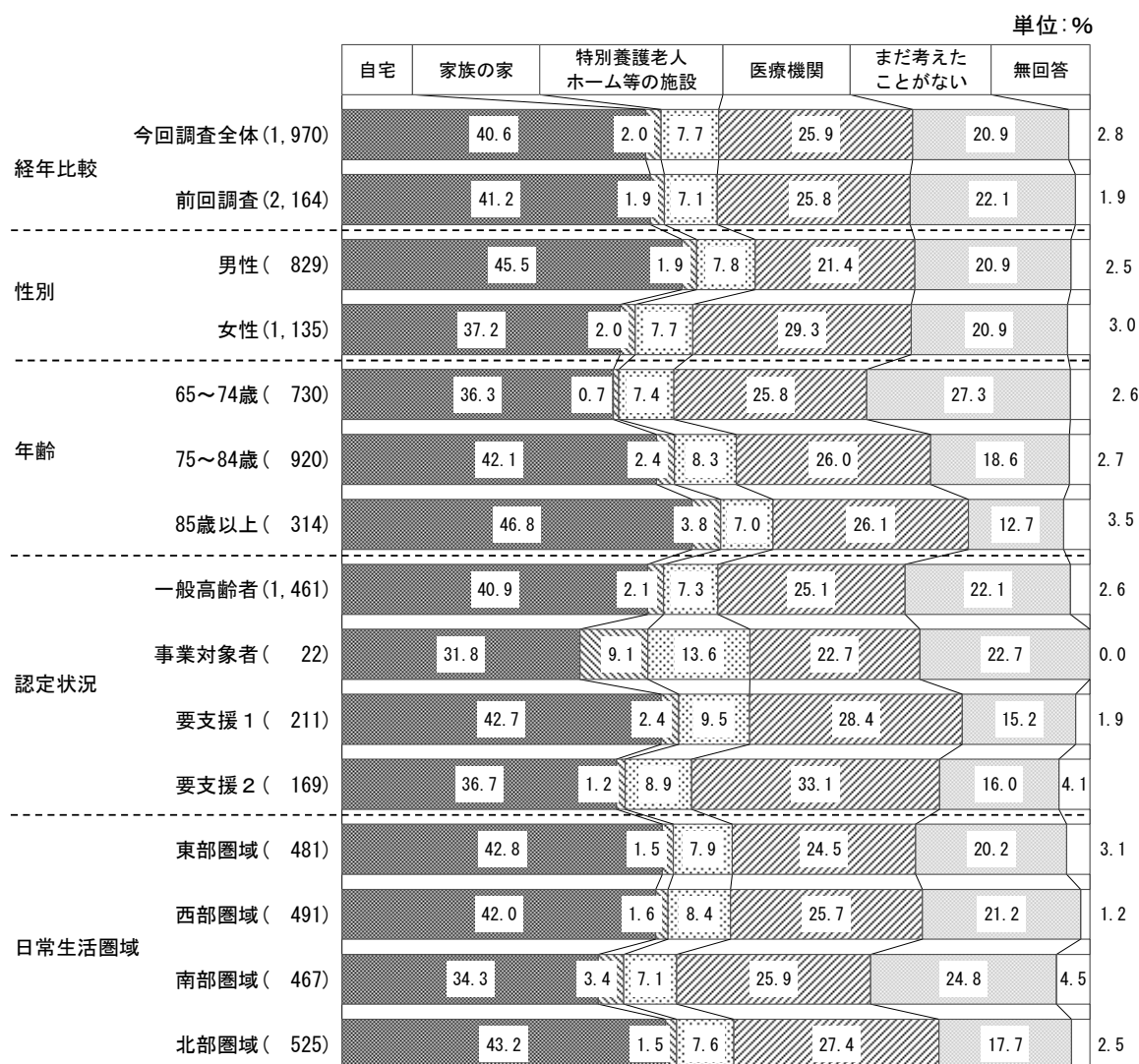
「自宅」が33.6%で最も多く、「医療機関」が25.0%、「特別養護老人ホーム等の施設」が6.5%となっています。このほか、「まだ考えたことがない」が26.4%となっています。

認定状況別に見ると、要支援1と要支援2では「自宅」が3割弱であり、一般高齢者の割合を6ポイント以上下回っています。

日常生活圏域別に見ると、南部圏域では「自宅」が3割を下回っています。

(7) 終末期に過ごしたい場所

仮に、あなたが「終末期」をむかえた場合、どこで過ごしたいと考えますか。
(ひとつに〇)



「自宅」が40.6%で最も多く、「医療機関」が25.9%、「特別養護老人ホーム等の施設」が7.7%となっています。このほか、「まだ考えたことがない」が20.9%となっています。

男女別に見ると、男性は「自宅」が45.5%であり、女性を8ポイント上回っています。一方、女性は「医療機関」が29.3%であり、男性を7ポイント上回っています。

年齢別に見ると、「自宅」の割合は年代とともに増加しており、85歳以上では46.8%となっています。

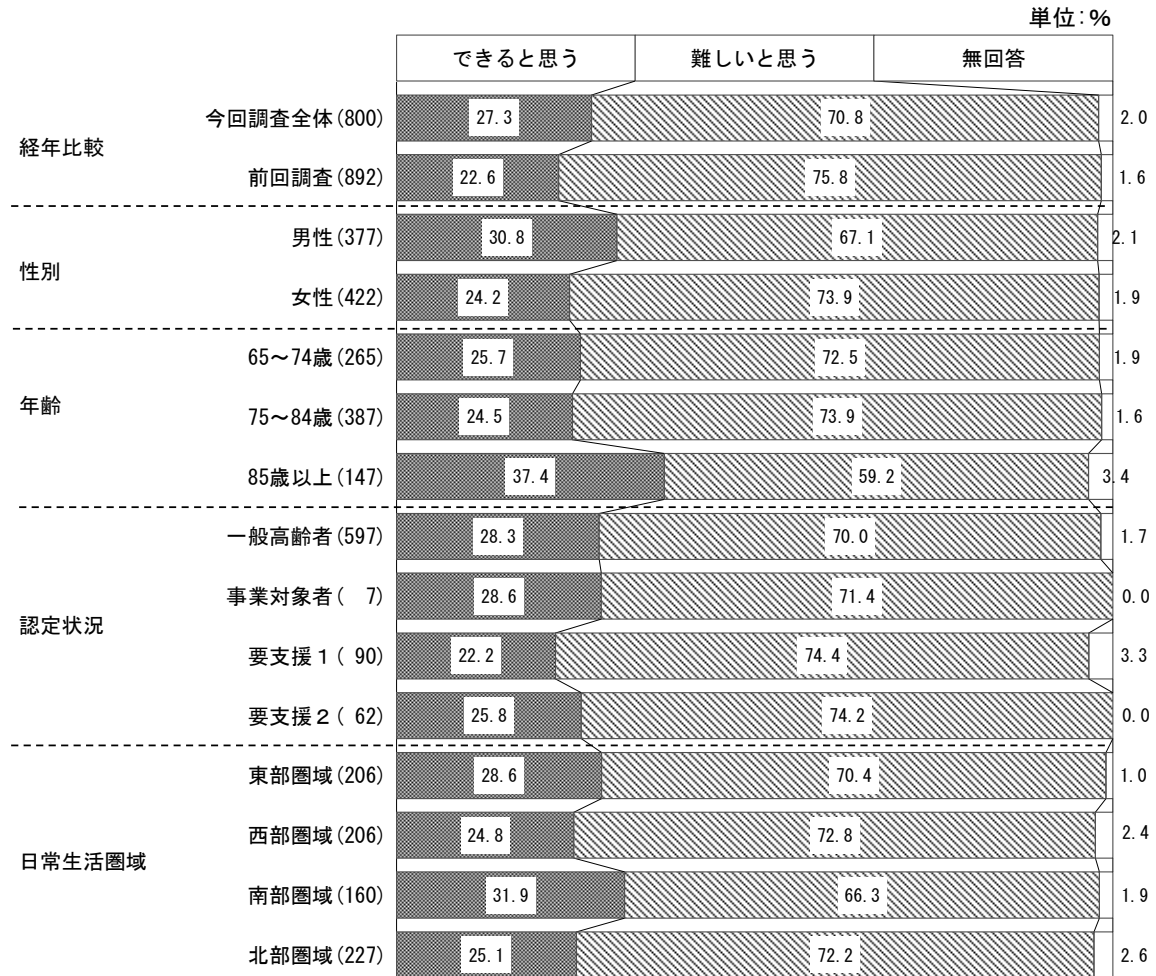
認定状況別に見ると、要支援2では「医療機関」が33.1%であり、一般高齢者の割合を8ポイント上回っています。

日常生活圏域別に見ると、南部圏域では「自宅」が34.3%であり、他の圏域の割合を7ポイント以上下回っています。

(7-1) 自宅で最期まで療養できると思うか

【(7)で「自宅」を選択した高齢者に対する設問】

あなたは、最期まで自宅で療養できると思いますか。



終末期に過ごしたい場所として自宅を選択した高齢者に対して、自宅での療養の可能性を調査したところ、「できると思う」が27.3%、「難しいと思う」が70.8%となっています。

前回調査と比較すると、今回調査の「難しいと思う」(70.8%)は前回調査(75.8%)を5ポイント下回っています。

男女別に見ると、男性は「できると思う」が30.8%であり、女性を6ポイント上回っています。一方、女性は「難しいと思う」が73.9%であり、男性を6ポイント上回っています。

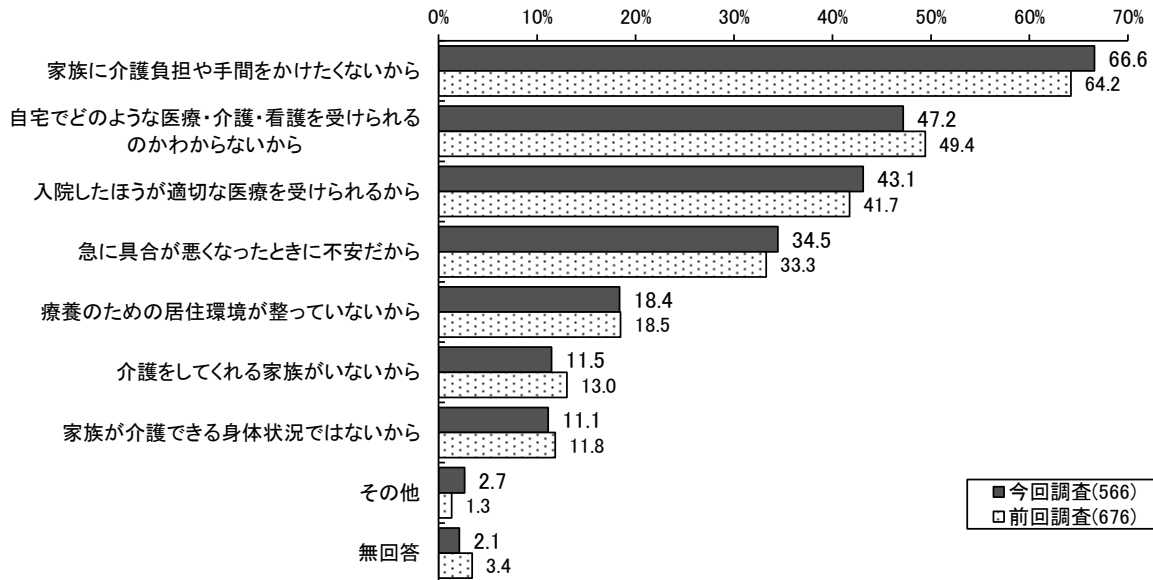
年齢別に見ると、85歳以上では「できると思う」が37.4%であり、65～74歳・75～84歳の割合を11ポイント以上上回っています。

日常生活圏域別に見ると、南部圏域では「できると思う」が3割強となっています。

(7-2) 自宅での療養が難しい理由

【(7-1)で「難しいと思う」を選択した高齢者に対する設問】

自宅での療養が難しいと思う理由は何ですか。(いくつでも○)



終末期の自宅での療養が難しいと考えている高齢者に対して、その理由を調査したところ、「家族に介護負担や手間をかけたくないから」が66.6%で最も多く、「自宅でのどのような医療・介護・看護を受けられるのかわからないから」が47.2%、「入院したほうが適切な医療を受けられるから」が43.1%、「急に具合が悪くなったときに不安だから」が34.5%で続きます。

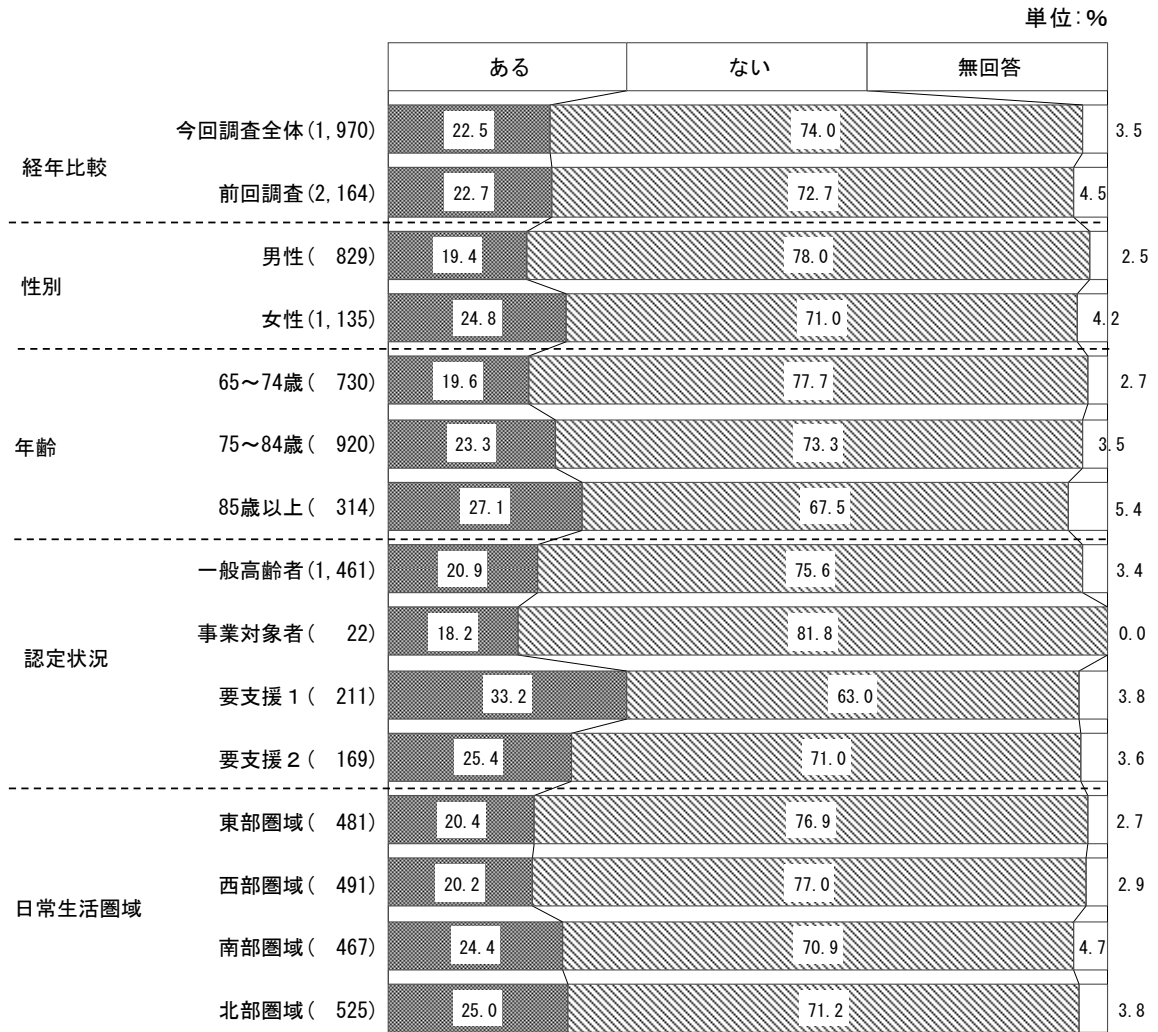
	自宅でのどのような医療・介護・看護を受けられるのかわからないから	入院したほうが適切な医療を受けられるから	急に具合が悪くなったときに不安だから	療養のための居住環境が整っていないから	家族に介護負担や手間をかけたくないから	介護してくれる家族がないから	家族が介護できる身体状況ではないから	その他	無回答
全体(566)	47.2	43.1	34.5	18.4	66.6	11.5	11.1	2.7	2.1
一般高齢者(418)	47.1	42.1	33.7	18.4	69.1	10.8	11.5	1.9	2.6
事業対象者(5)	20.0	40.0	20.0	-	60.0	-	-	20.0	-
要支援1(67)	47.8	50.7	35.8	17.9	55.2	14.9	9.0	1.5	1.5
要支援2(46)	45.7	39.1	34.8	19.6	56.5	13.0	8.7	10.9	-
東部圏域(145)	50.3	40.0	37.9	17.9	69.7	11.0	12.4	3.4	2.8
西部圏域(150)	48.0	44.7	26.0	21.3	66.0	12.7	10.7	2.7	2.0
南部圏域(106)	40.6	44.3	38.7	12.3	64.2	9.4	13.2	1.9	2.8
北部圏域(164)	48.2	43.3	36.6	20.1	65.9	12.2	9.1	2.4	1.2

認定状況別に見ると、一般高齢者では「家族に介護負担や手間をかけたくないから」が69.1%であり、要支援1の割合を13ポイント上回っています。要支援1では「入院したほうが適切な医療を受けられるから」が50.7%であり、一般高齢者の割合を8ポイント上回っています。

日常生活圏域別に見ると、南部圏域では「自宅でのどのような医療・介護・看護を受けられるのかわからないから」が40.6%であり、他の圏域の割合を7ポイント以上下回っています。西部圏域では「急に具合が悪くなったときに不安だから」が26.0%であり、他の圏域の割合を10ポイント以上下回っています。

(8) 終末期についての家族との話し合いの有無

あなたは、終末期の過ごし方や治療の方針等について、ご家族等と話し合ったことはありますか。



「ある」が22.5%、「ない」が74.0%です。

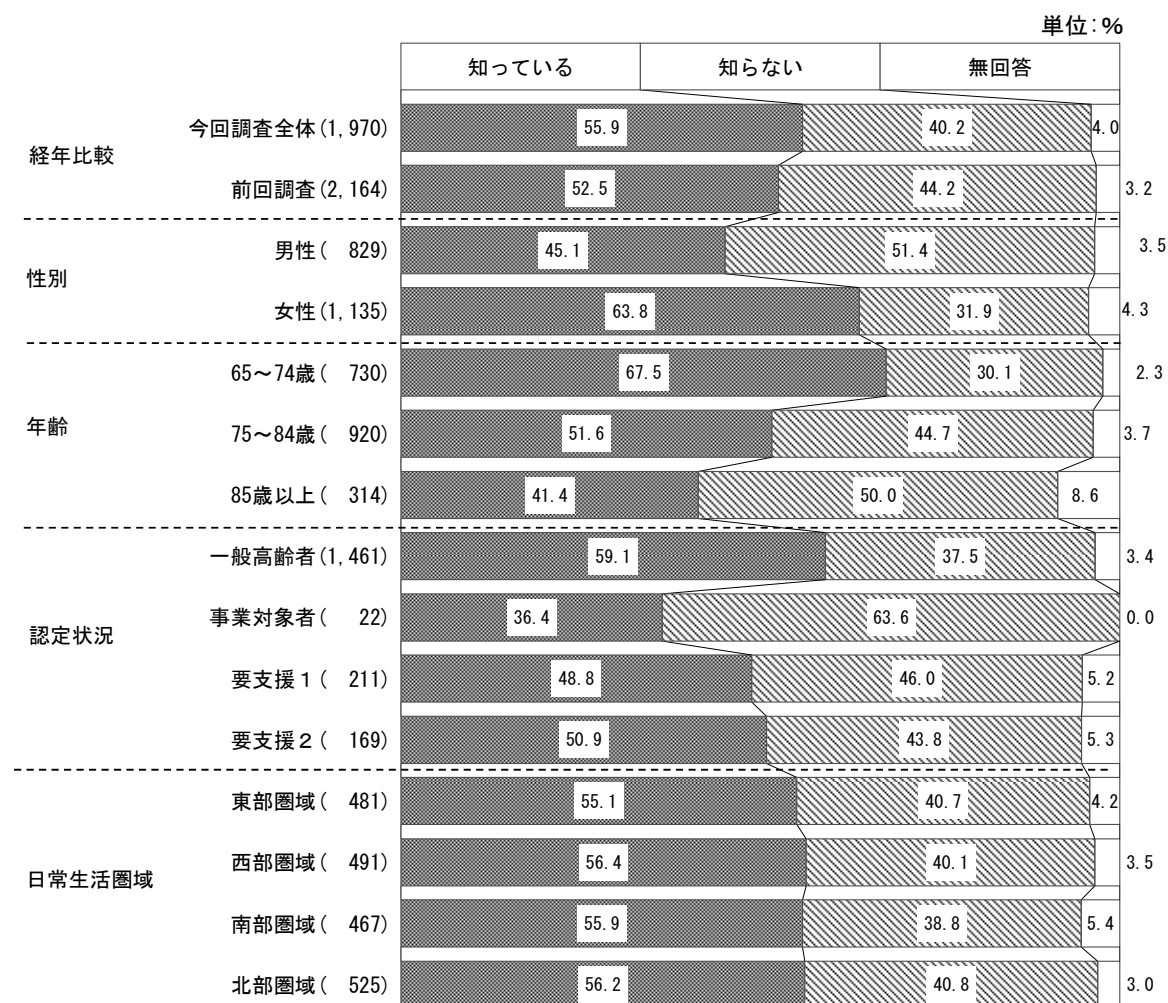
男女別に見ると、女性は「ある」が24.8%であり、男性を5ポイント上回っています。

年齢別に見ると、「ある」の割合は年代とともに増加しており、85歳以上では27.1%となっています。

認定状況別に見ると、要支援1では「ある」が33.2%であり、一般高齢者・要支援2の割合を7ポイント以上上回っています。

(9) エンディングノートの認知

あなたは、人生の終末期に起こりうる事態に備えて、自分の希望や家族への伝言などを書き留めておく「エンディングノート」をご存知ですか。



「知っている」が55.9%、「知らない」が40.2%です。

男女別に見ると、女性は「知っている」が63.8%であり、男性を18ポイント上回っています。一方、男性では「知らない」が「知っている」を上回っています。

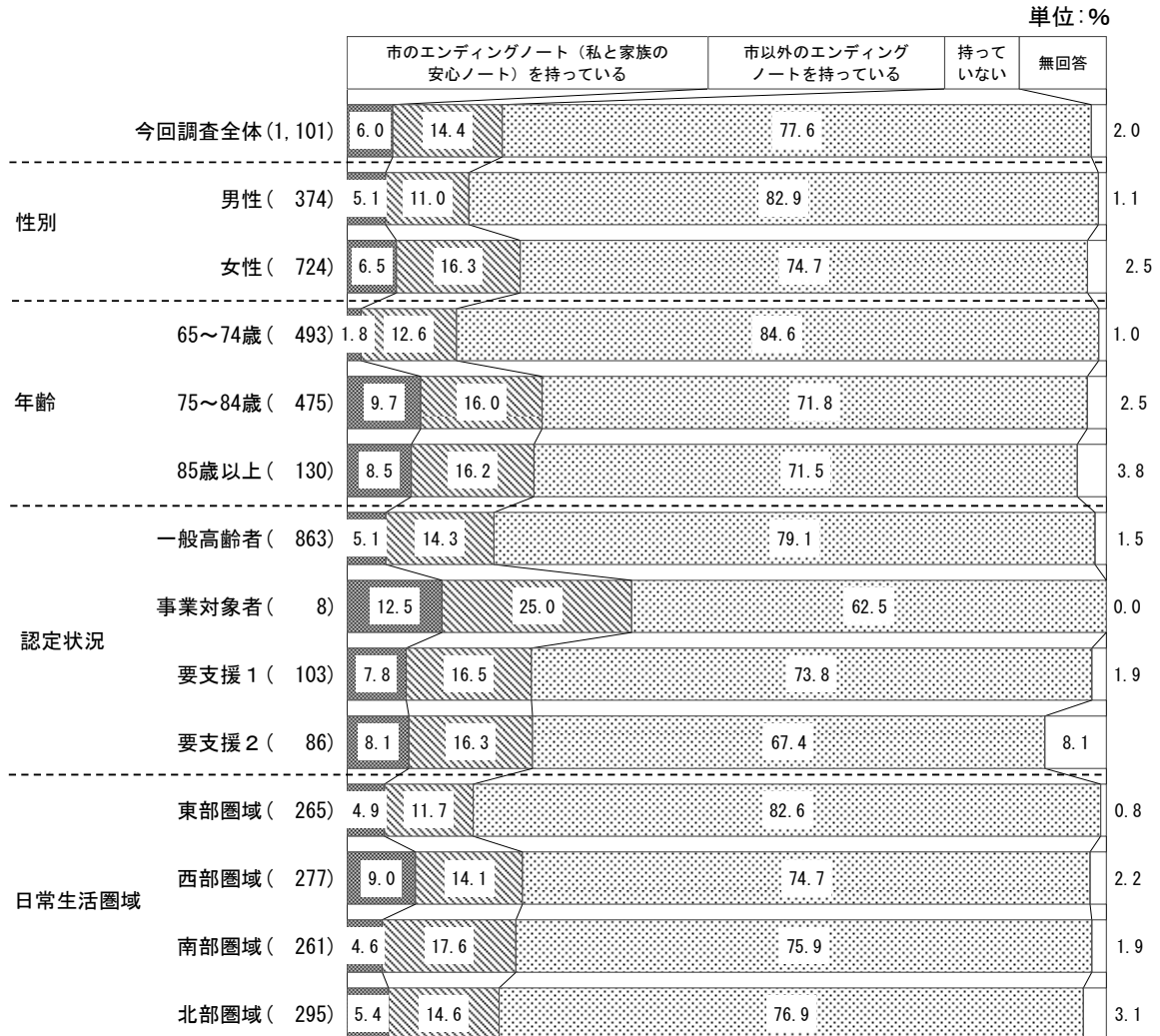
年齢別に見ると、「知らない」の割合は年代とともに増加しており、85歳以上では「知らない」が50.0%で「知っている」を上回っています。

認定状況別に見ると、要支援1と要支援2では「知っている」が5割前後であり、一般高齢者の割合を8ポイント以上下回っています。

(9-1) エンディングノートの所持

【(9)で「知っている」を選択した高齢者に対する設問】

エンディングノートを持っていますか。



エンディングノートを知っている高齢者に対して、所持状況を調査したところ、「市のエンディングノート（私と家族の安心ノート）を持っている」が6.0%、「市以外のエンディングノートを持っている」が14.4%であり、回答者全体の2割がエンディングノートを所持していることがわかります。このほか、「持っていない」という回答が77.6%を占めています。

男女別に見ると、男性は「持っていない」が82.9%であり、女性の割合を8ポイント上回っています。

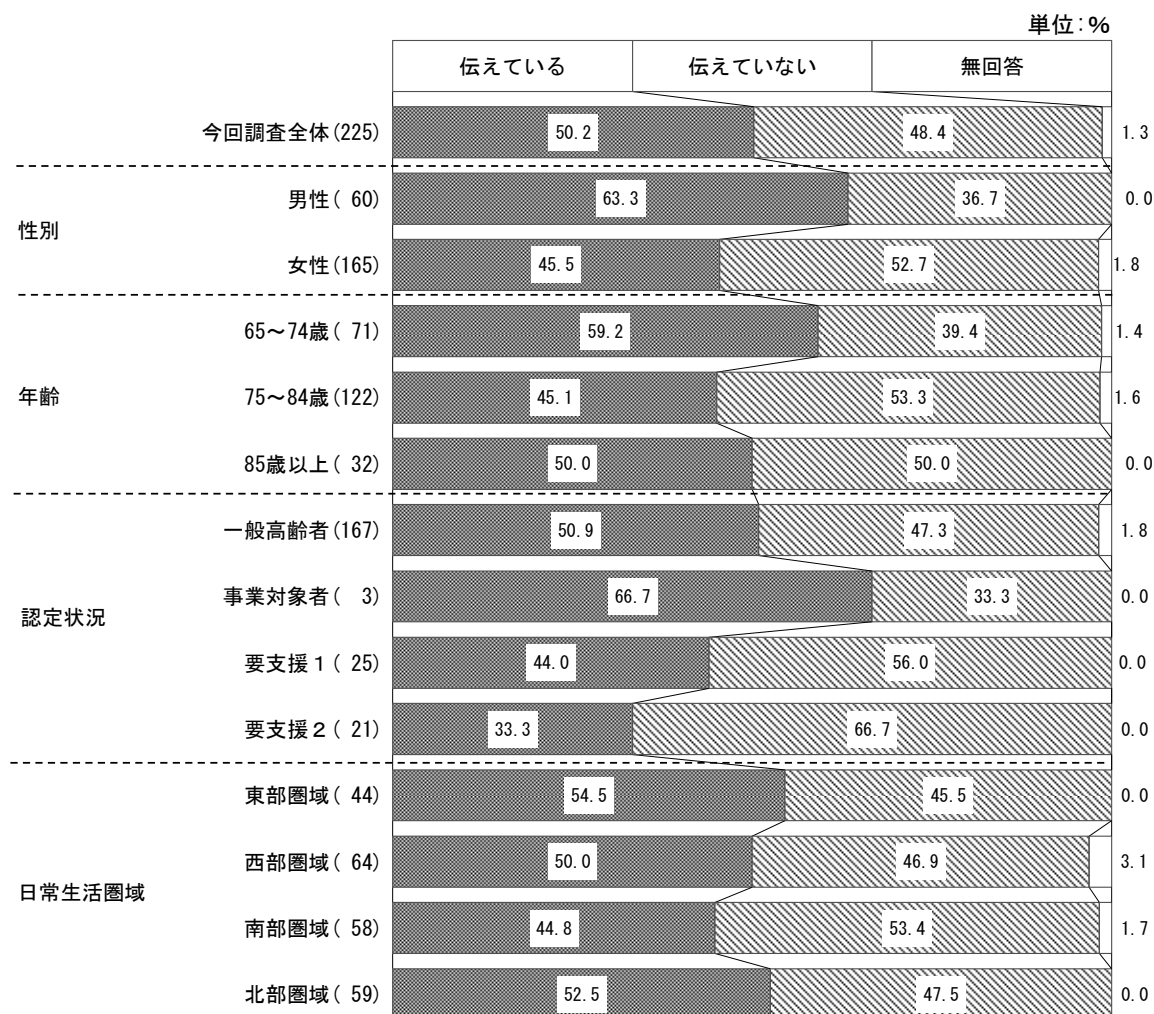
年齢別に見ると、65~74歳では「持っていない」が84.6%であり、75~84歳・85歳以上の割合を12ポイント以上上回っています。

日常生活圏域別に見ると、東部圏域では「持っていない」が82.6%であり、他の圏域の割合を5ポイント以上上回っています。

(9-2) エンディングノートの所在の通知状況

【(9-1)で「持っている」を選択した高齢者に対する設問】

エンディングノートの存在を誰かに伝えてありますか。



エンディングノートを持っている高齢者に対して、エンディングノートの存在の通知状況を調査したところ、「伝えている」が50.2%、「伝えていない」が48.4%となっています。

男女別に見ると、男性は「伝えている」が63.3%であり、女性の割合を17ポイント上回っています。女性は「伝えていない」(52.7%)が「伝えている」(45.5%)を上回っています。

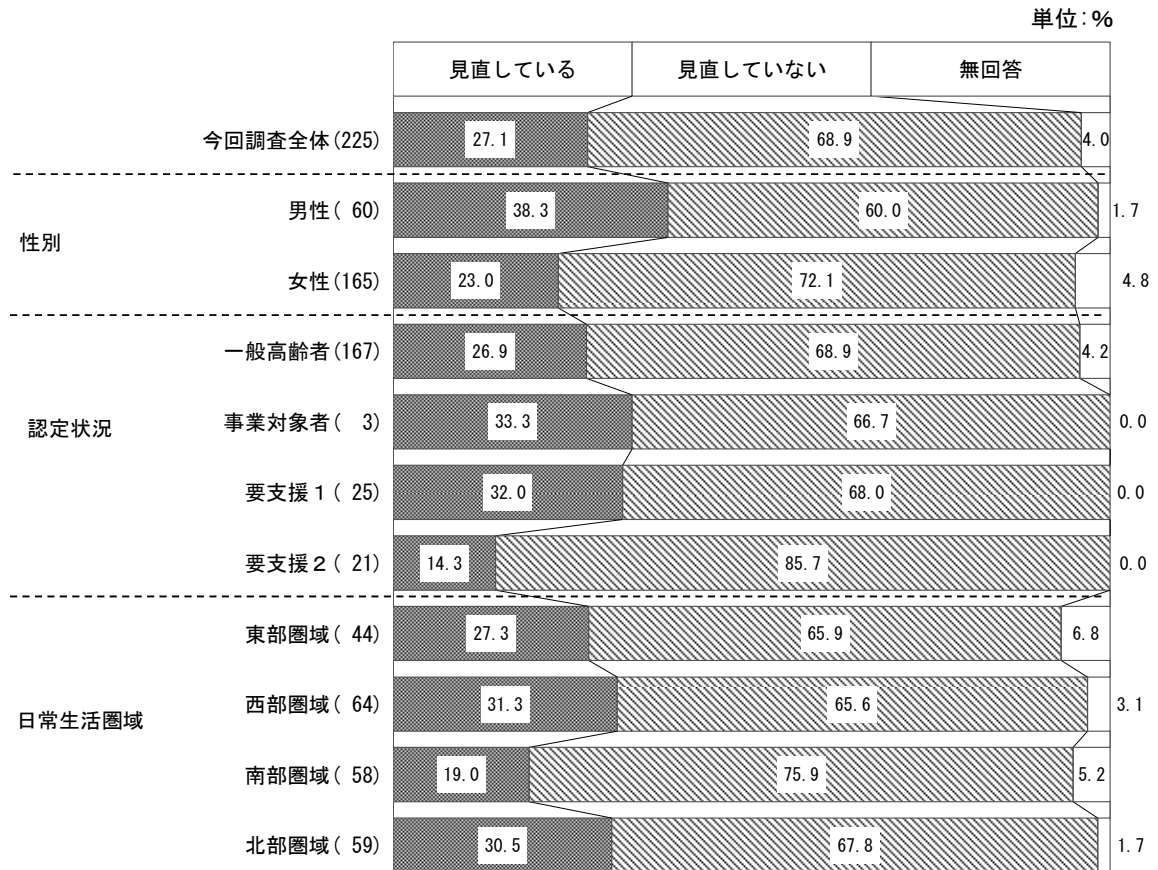
年齢別に見ると、65～74歳では「伝えている」が59.2%であり、75～84歳・85歳以上の割合を9ポイント以上上回っています。

日常生活圏域別に見ると、南部圏域では「伝えている」が44.8%であり、他の圏域の割合を5ポイント以上下回っています。

(9-3) エンディングノートの見直しの有無

【(9-1)で「持っている」を選択した高齢者に対する設問】

エンディングノートの内容を年1回程度見直していますか。



エンディングノートを持っている高齢者に対して、エンディングノートの内容の見直し状況を調査したところ、「見直している」が27.1%、「見直していない」が68.9%となっています。

男女別に見ると、男性は「見直している」が38.3%であり、女性の割合を15ポイント上回っています。

日常生活圏域別に見ると、西部圏域と北部圏域では「見直している」が3割強となっています。

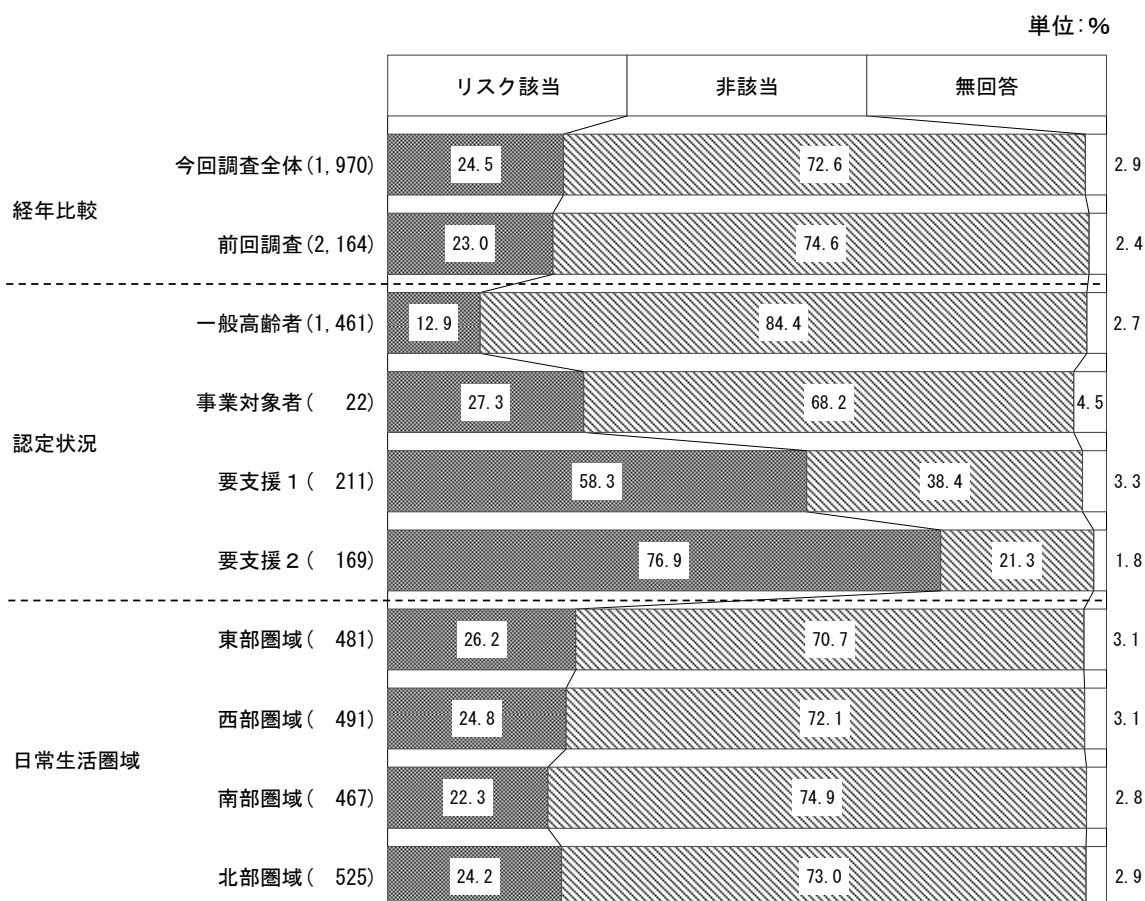
13 生活機能評価

(1) 機能別のリスク該当者の状況

① 運動器機能低下

以下の5つの設問のうち、3項目以上に該当する人を「運動器機能低下のリスク該当者」と判定します。

番号	設問	該当する選択肢
問2(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	3. できない
問2(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	3. できない
問2(3)	15分位続けて歩いていますか	3. できない
問2(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある
問2(5)	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である



リスク該当者は全体の24.5%、非該当は72.6%となっています。

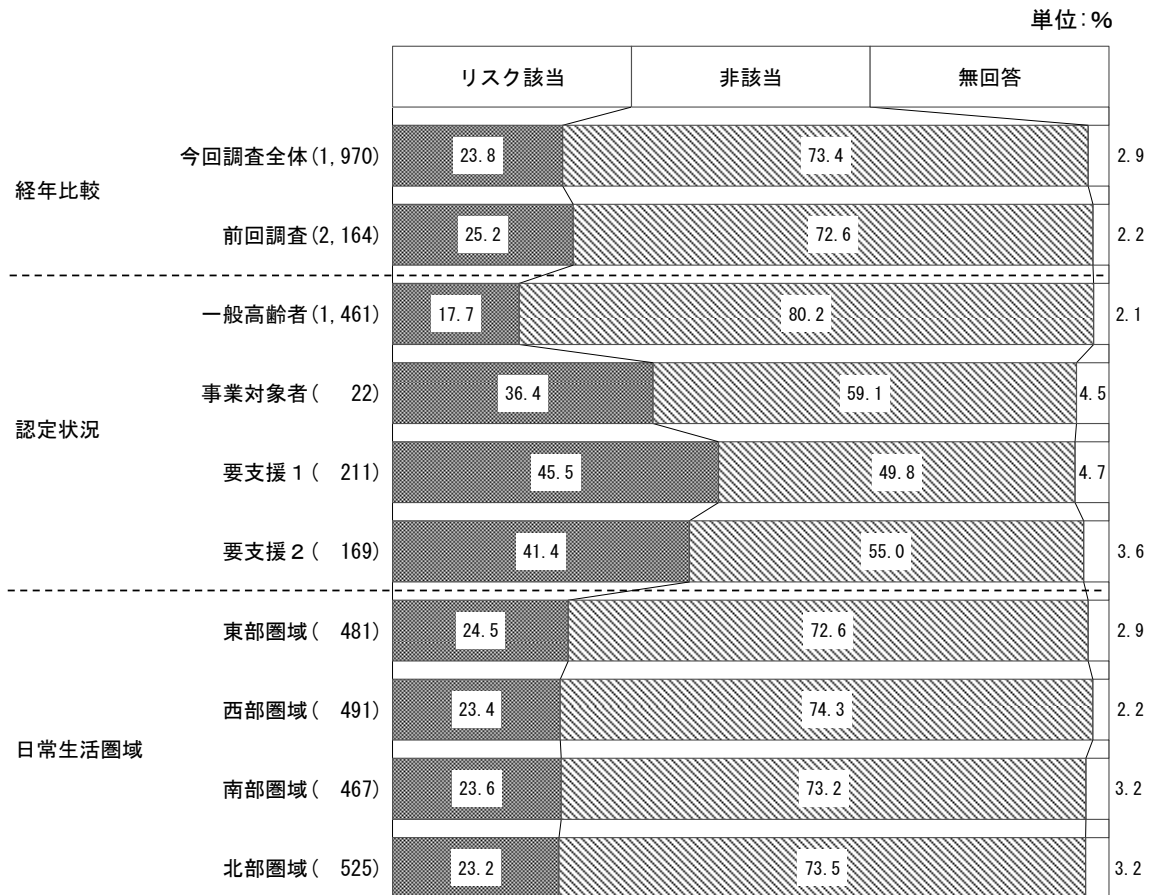
認定状況別に見ると、一般高齢者の84.4%が非該当であるのに対し、要支援1・要支援2では半数以上がリスク該当者となっています。

第2章 調査結果の分析【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

② 閉じこもり傾向

以下の設問に該当する人を「閉じこもり傾向のリスク該当者」と判定します。

番号	設問	該当する選択肢
問2(6)	週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回



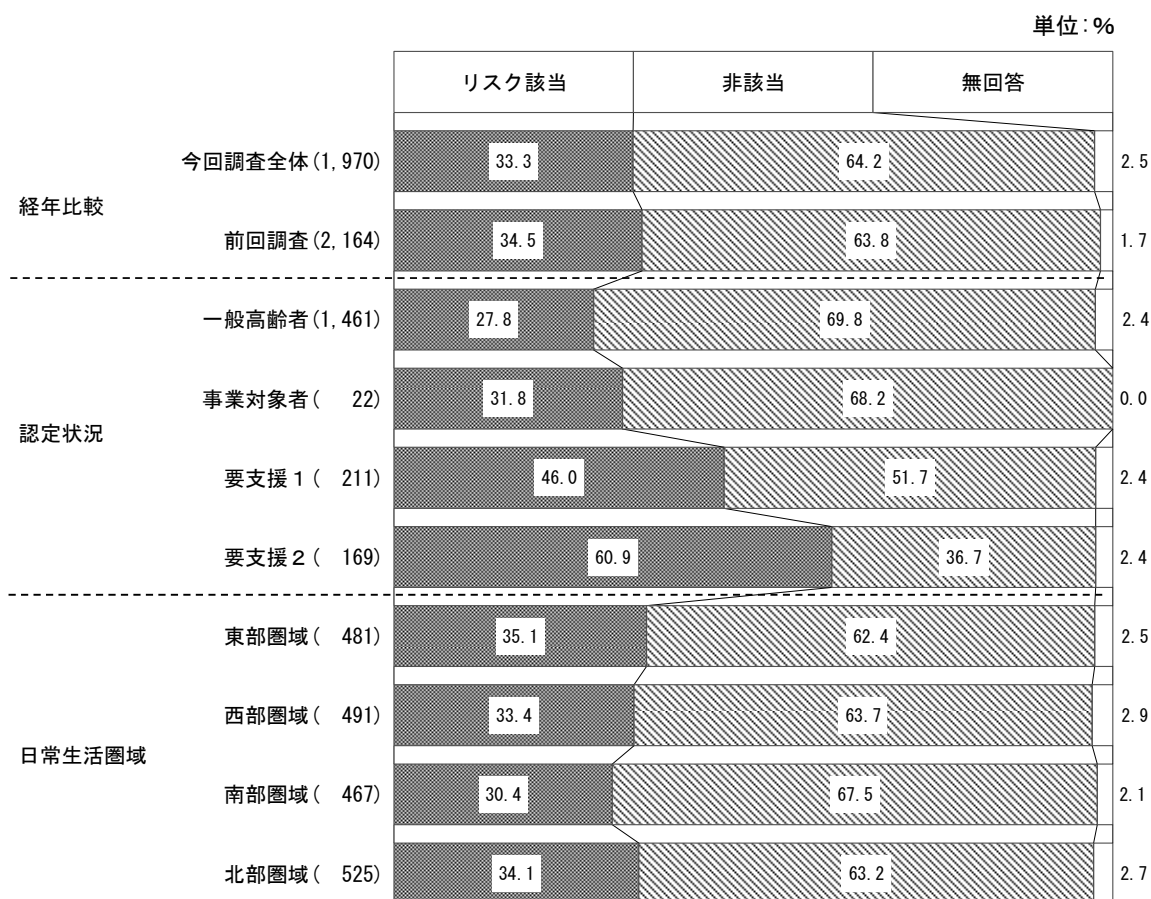
リスク該当者は全体の23.8%、非該当は73.4%となっています。

認定状況別に見ると、一般高齢者の80.2%が非該当であるのに対し、要支援1・要支援2ではリスク該当者の割合が4割台となっています。

③ 転倒リスク

以下の設問に該当する人を「転倒のリスク該当者」と判定します。

番号	設問	該当する選択肢
問2(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある



リスク該当者は全体の33.3%、非該当は64.2%となっています。

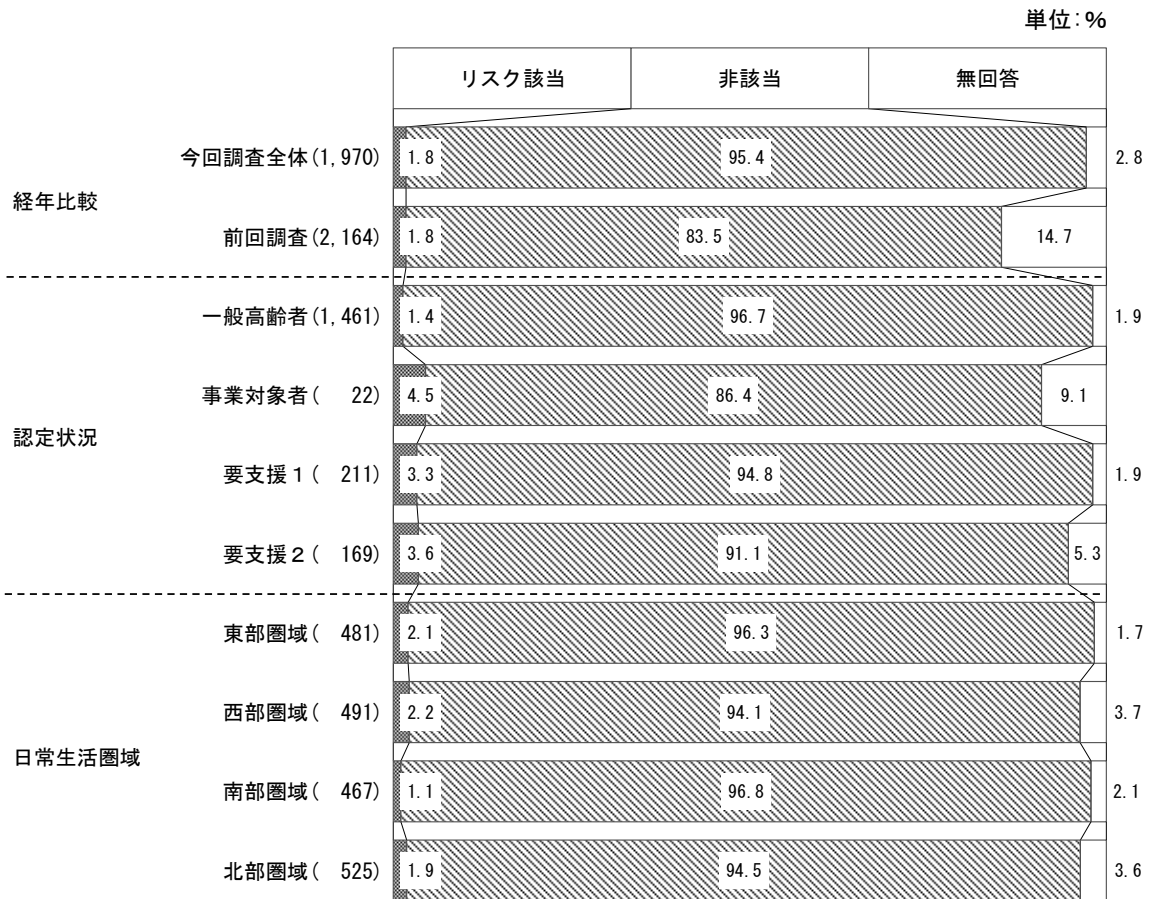
認定状況別に見ると、一般高齢者の69.8%が非該当であるのに対し、要支援1ではリスク該当者の割合が46.0%、要支援2ではリスク該当者の割合が60.9%となっています。

第2章 調査結果の分析【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

④ 低栄養状態

以下の2つの設問の両方に該当する人を「低栄養のリスク該当者」と判定します。

番号	設問	該当する選択肢
問3(1)	身長・体重	BMI 18.5未満
問3(7)	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい

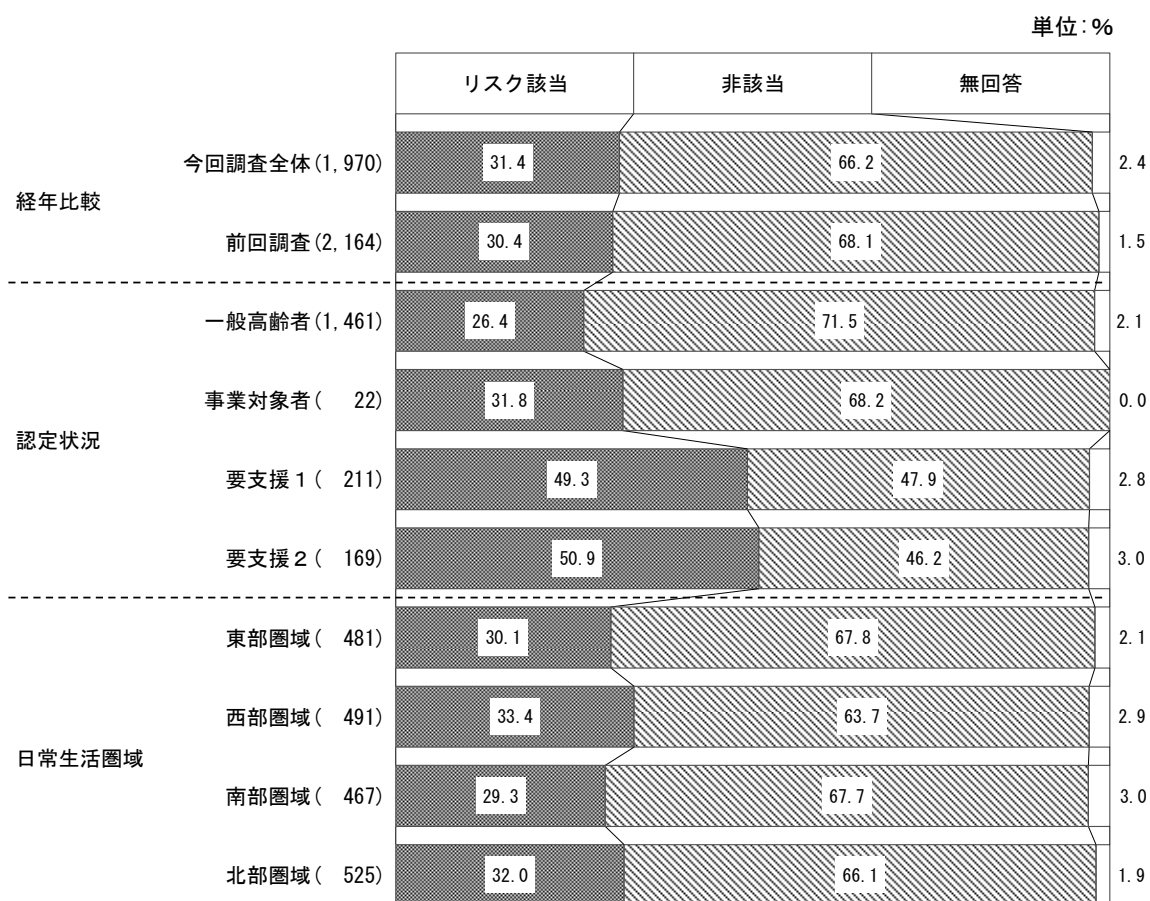


リスク該当者は全体の1.8%、非該当は95.4%となっています。

⑤ 口腔機能低下

以下の3つの設問のうち、2項目以上に該当する人を「口腔機能低下のリスク該当者」と判定します。

番号	設問	該当する選択肢
問3(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい
問3(3)	お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい
問3(4)	口の渇きが気になりますか	1. はい



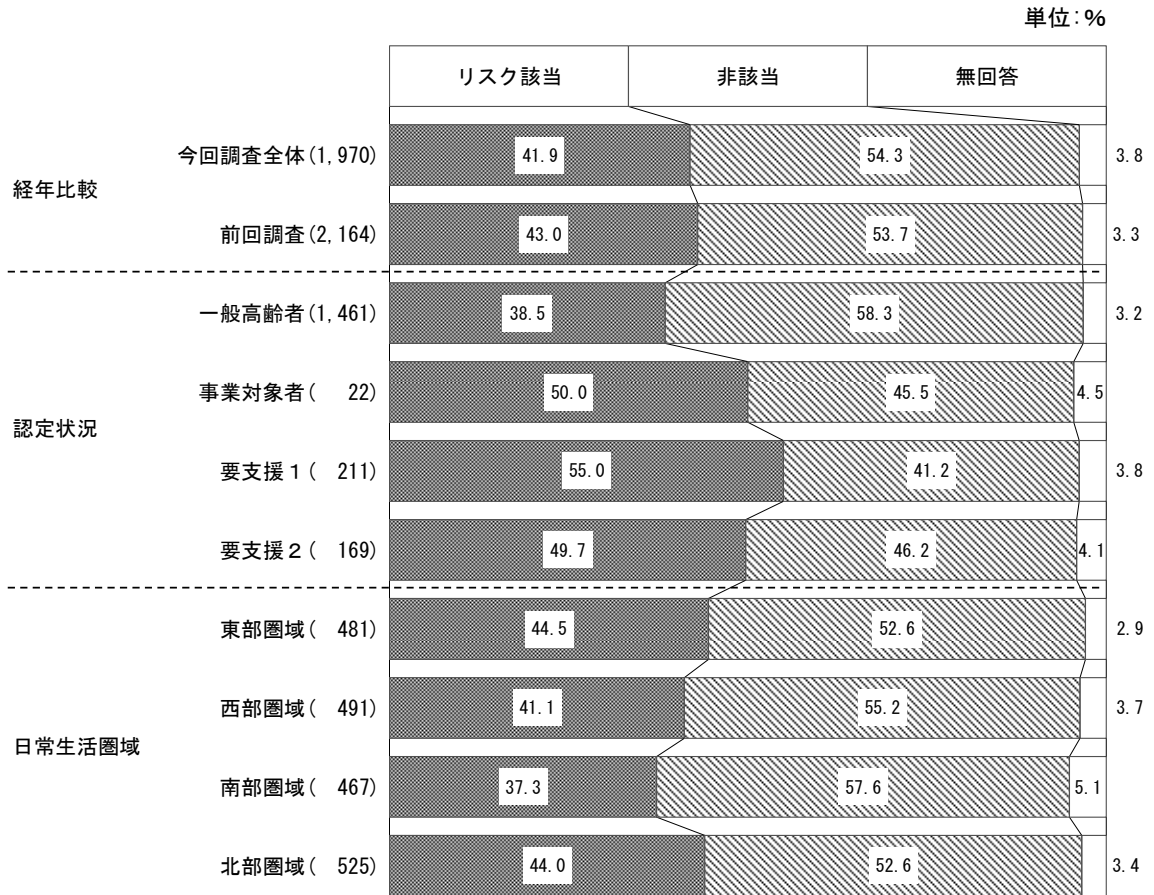
リスク該当者は全体の31.4%、非該当は66.2%となっています。

認定状況別に見ると、一般高齢者の71.5%が非該当であるのに対し、要支援1・要支援2では5割前後がリスク該当者となっています。

⑥ 認知機能低下

以下の設問に該当する人を「認知機能低下のリスク該当者」と判定します。

番号	設問	該当する選択肢
問4(1)	物忘れが多いと感じますか	1. はい



リスク該当者は全体の41.9%、非該当は54.3%となっています。

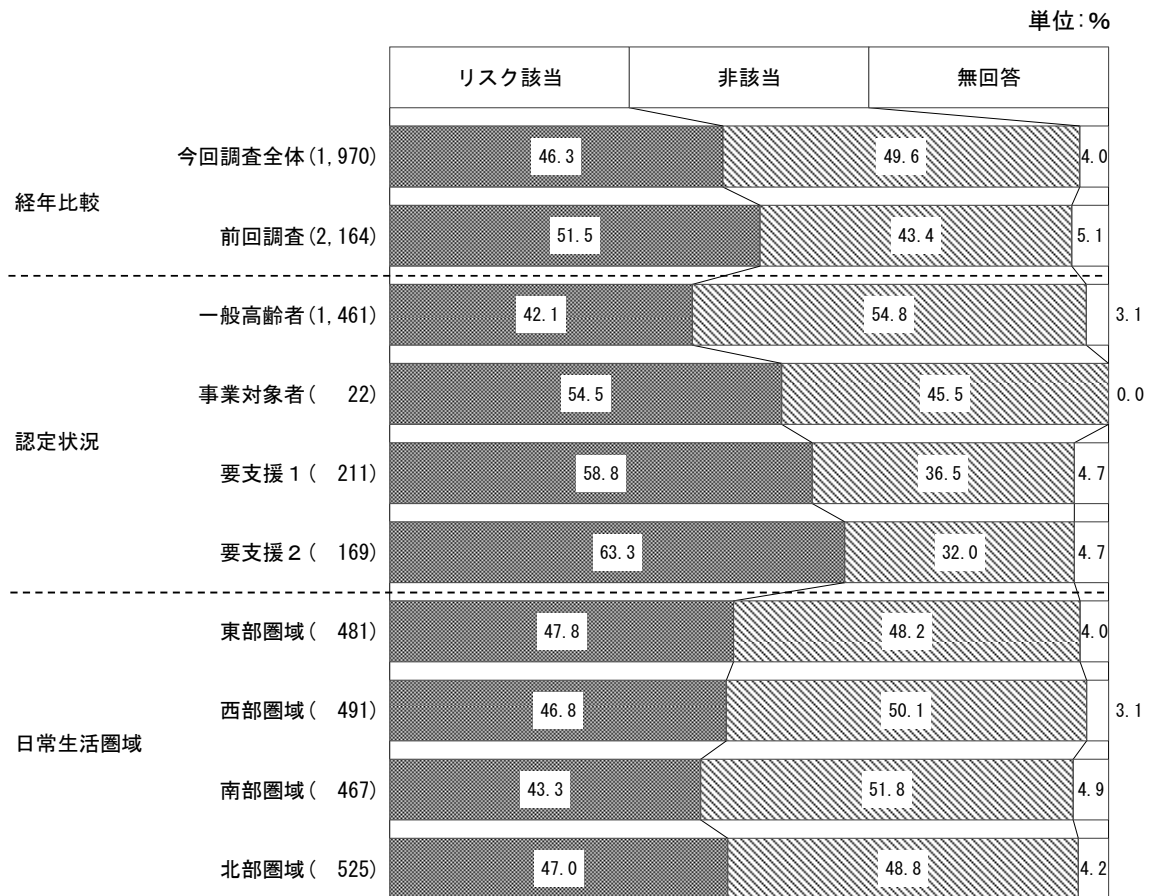
認定状況別に見ると、要支援1ではリスク該当者の割合が55.0%、要支援2ではリスク該当者の割合が49.7%であり、いずれも非該当の割合を上回っています。

日常生活圏域別に見ると、南部圏域ではリスク該当者の割合が3割台にとどまっています。

⑦ うつ傾向

以下の2つの設問のうち、1項目以上に該当する人を「うつ傾向のリスク該当者」と判定します。

番号	設問	該当する選択肢
問7(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい
問7(4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい



リスク該当者は全体の46.3%、非該当は49.6%となっています。前回調査から今回調査にかけて、リスク該当者の割合が5ポイント減少しています。

認定状況別に見ると、一般高齢者の54.8%が非該当であるのに対し、要支援1・要支援2では6割前後がリスク該当者となっています。

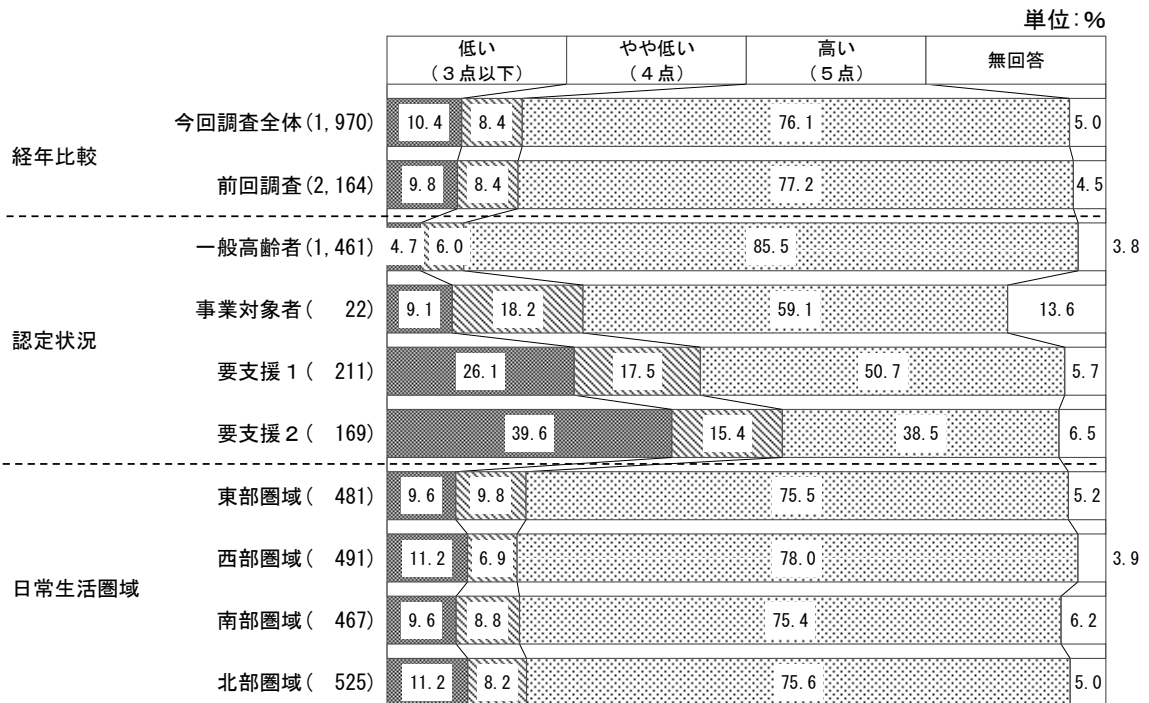
(2) 日常生活

① 手段的自立度 (IADL)

高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標には、高齢者の手段的自立度 (IADL) に関する設問が5問あり、「手段的自立度 (IADL)」として尺度化されています。

以下の各設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を1点とした5点満点のうち、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価しています。また、4点以下を手段的自立度の低下者とし、低下者の割合を示しています。

問番号	設問	該当する選択肢
問4(4)	バスや電車を使って1人で外出していますか	「1. できるし、している」または「2. できるけどしていない」
問4(5)	自分で食品・日用品の買物をしていますか	「1. できるし、している」または「2. できるけどしていない」
問4(6)	自分で食事の用意をしていますか	「1. できるし、している」または「2. できるけどしていない」
問4(7)	自分で請求書の支払いをしていますか	「1. できるし、している」または「2. できるけどしていない」
問4(8)	自分で預貯金の出し入れをしていますか	「1. できるし、している」または「2. できるけどしていない」



「高い (5点)」が76.1%で最も多く、「やや低い (4点)」が8.4%、「低い (3点以下)」が10.4%となっています。IADL 低下者の割合は18.8%です。

認定状況別に見ると、IADL 低下者の割合は一般高齢者で10.7%であるのに対し、要支援1では43.6%、要支援2では55.0%となっています。

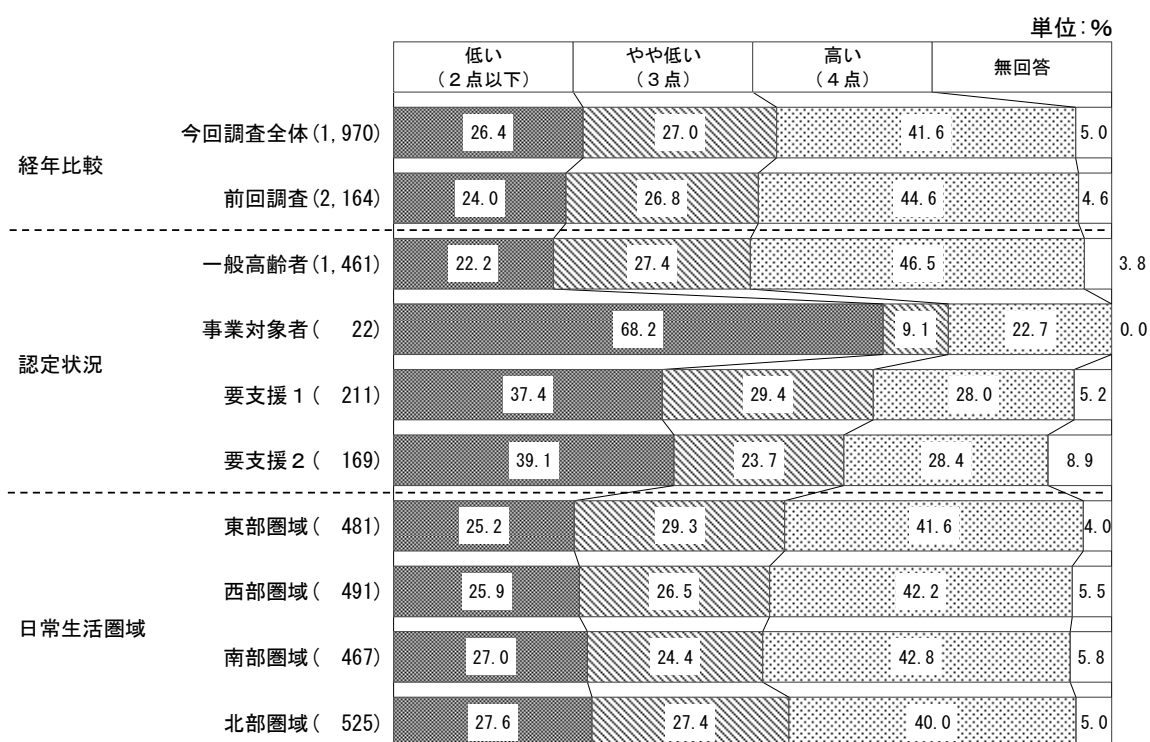
(3) 社会参加

① 知的能動性

老研式活動能力指標には、高齢者の知的活動に関する設問が4問あり、「知的能動性」として尺度化されています。

以下の各設問に「はい」と回答した場合を1点とした4点満点のうち、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価しています。また、3点以下を知的能動性の低下者とし、低下者の割合を示しています。

問番号	設問	該当する選択肢
問4(9)	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	1. はい
問4(10)	新聞を読んでいますか	1. はい
問4(11)	本や雑誌を読んでいますか	1. はい
問4(12)	健康についての記事や番組に関心がありますか	1. はい



「高い（4点）」が41.6%で最も多く、「やや低い（3点）」が27.0%、「低い（2点以下）」が26.4%となっています。知的能動性低下者の割合は53.4%です。

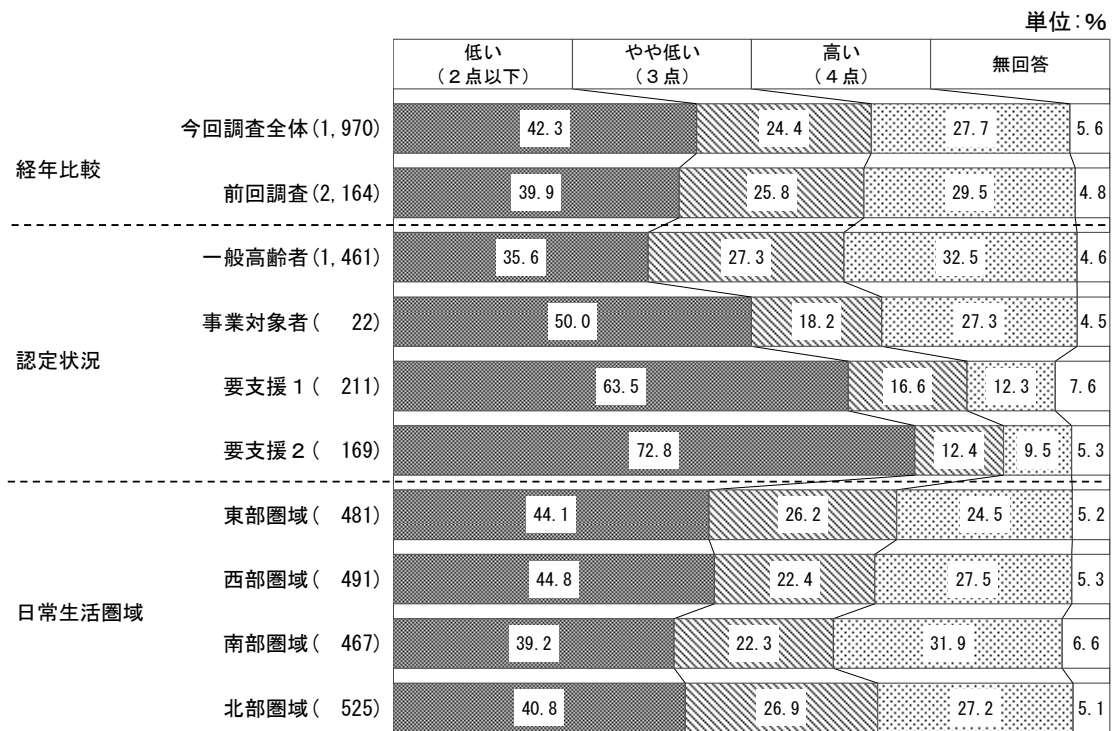
認定状況別に見ると、知的能動性低下者の割合は一般高齢者で49.6%であるのに対し、要支援1・要支援2では6割台となっています。

② 社会的役割

老研式活動能力指標には、高齢者の社会活動に関する設問が4問あり、「社会的役割」として尺度化されています。

以下の各設問に「はい」と回答した場合を1点とした4点満点のうち、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価しています。また、3点以下を社会的役割の低下者とし、低下者の割合を示しています。

問番号	設問	該当する選択肢
問4(13)	友人の家を訪ねていますか	1. はい
問4(14)	家族や友人の相談にのっていますか	1. はい
問4(15)	病人を見舞うことができますか	1. はい
問4(16)	若い人に自分から話しかけることがありますか	1. はい



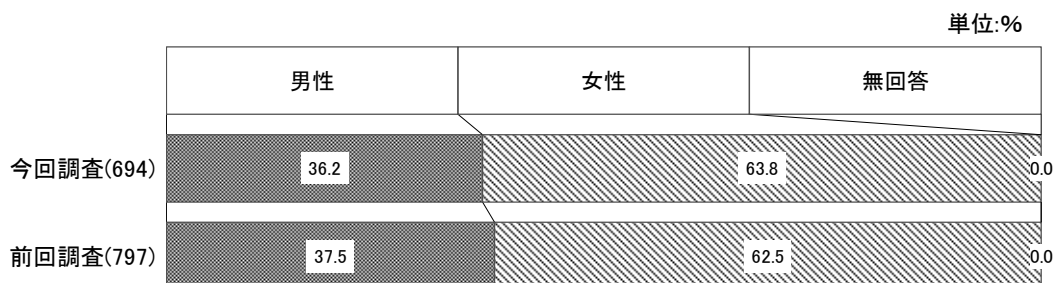
「高い (4点)」が27.7%、「やや低い (3点)」が24.4%、「低い (2点以下)」が42.3%となっています。社会的役割低下者の割合は66.7%です。

認定状況別に見ると、社会的役割低下者の割合は一般高齢者で62.9%、要支援1・要支援2では8割台となっています。

II 在宅介護実態調査

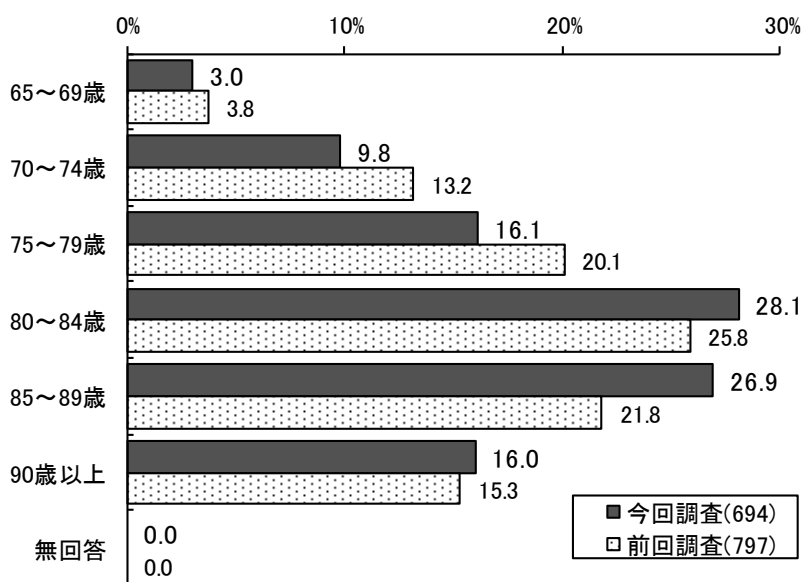
1 回答者の属性

(1) 性別



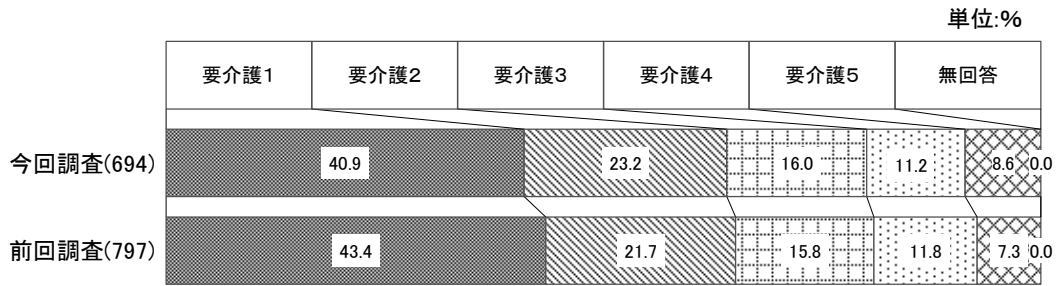
「男性」が36.2%、「女性」が63.8%です。

(2) 年齢



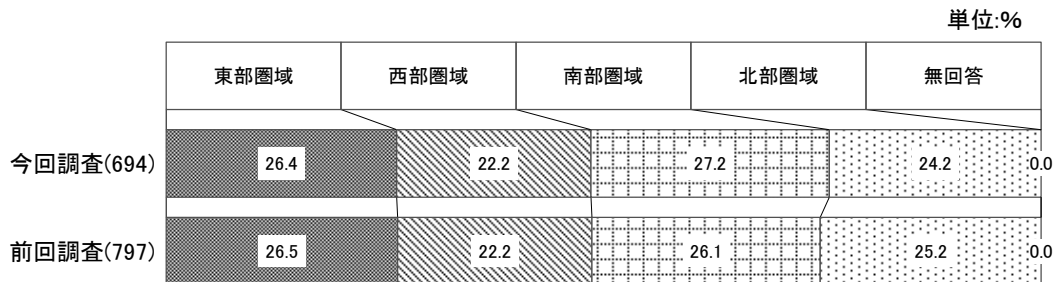
「80~84歳」が28.1%で最も多く、「85~89歳」が26.9%、「75~79歳」が16.1%、「90歳以上」が16.0%で続きます。75歳以上の高齢者が9割弱を占めており、74歳以下の高齢者は1割強となっています。

(3) 認定状況



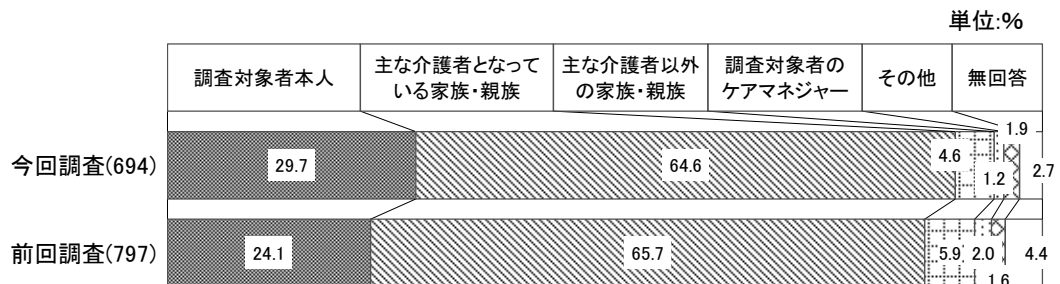
「要介護1」が40.9%で最も多く、「要介護2」が23.2%、「要介護3」が16.0%で続きます。

(4) 日常生活圏域



「東部圏域」が26.4%、「西部圏域」が22.2%、「南部圏域」が27.2%、「北部圏域」が24.2%となっています。

(5) 調査票記入者

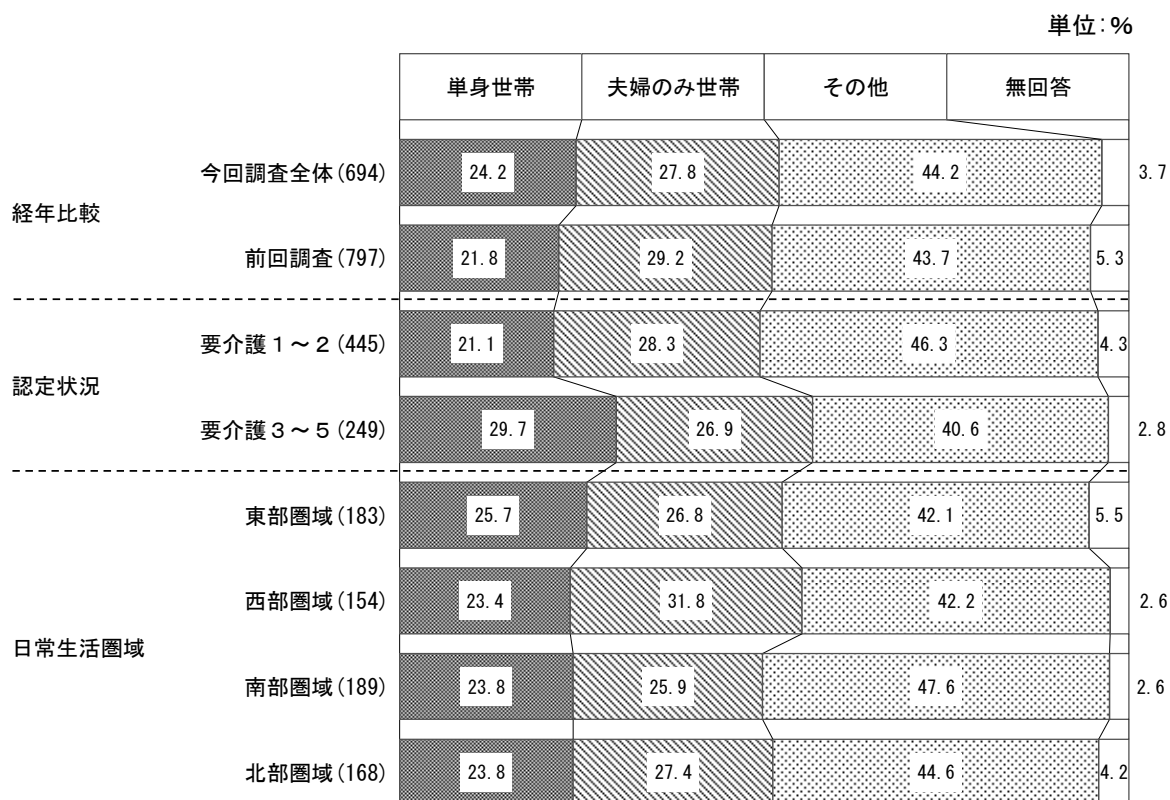


「主な介護者となっている家族・親族」が64.6%で最も多く、「調査対象者本人」が29.7%、「主な介護者以外の家族・親族」が4.6%で続きます。

2 あて名の本人について【A票】

(1) 世帯類型

世帯類型について、ご回答ください。(1つを選択)

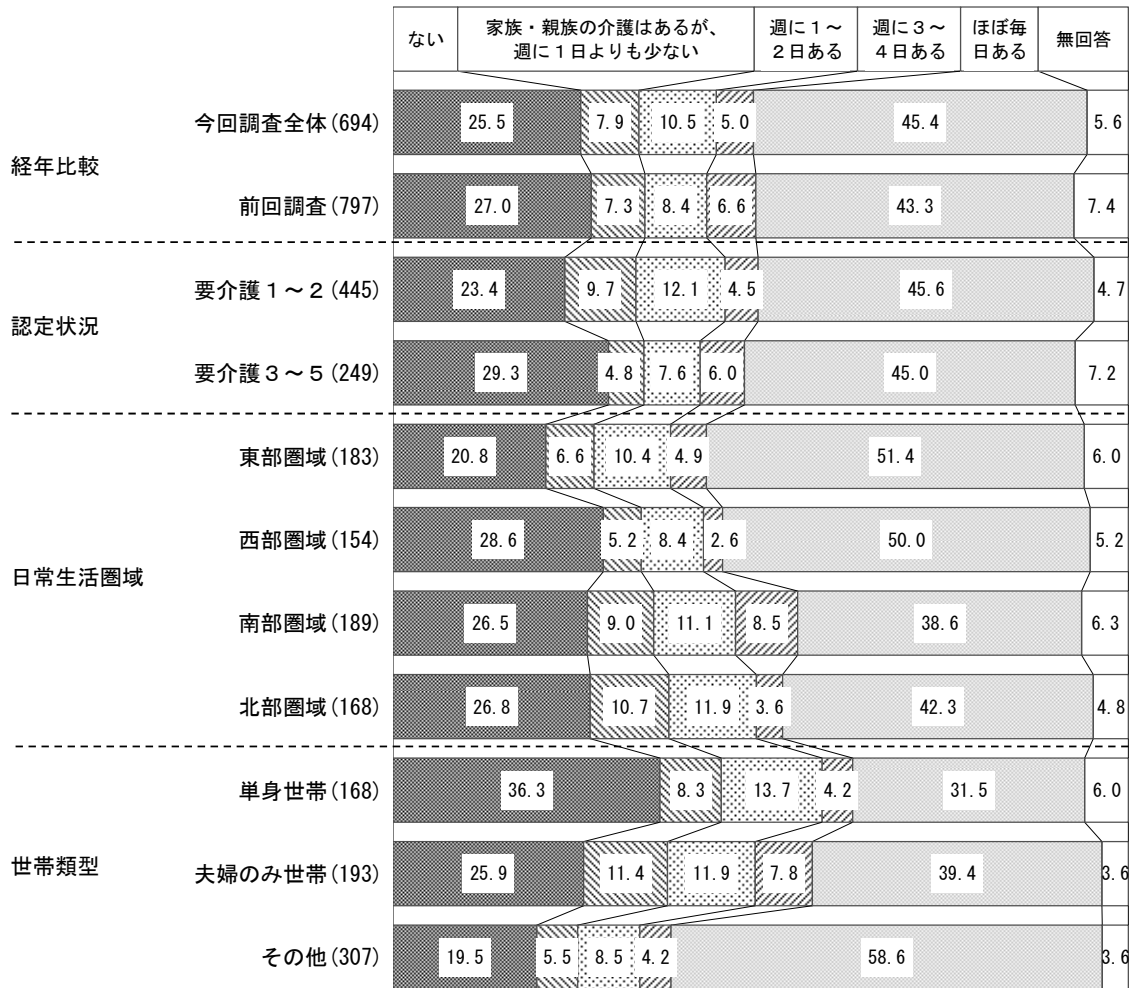


「単身世帯」が24.2%、「夫婦のみ世帯」が27.8%、「その他」が44.2%となっています。認定状況別に見ると、要介護3～5では「単身世帯」(29.7%)が「夫婦のみ世帯」を上回るとともに、要介護1～2の「単身世帯」の割合を8ポイント上回っています。日常生活圏域別に見ると、西部圏域では「夫婦のみ世帯」が3割強となっています。

(2) 家族・親族からの介護の頻度

ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）。（1つを選択）

単位：%



「ほぼ毎日ある」が45.4%で最も多く、「週に1～2日ある」が10.5%、「家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない」が7.9%となっています。「ない」は25.5%です。

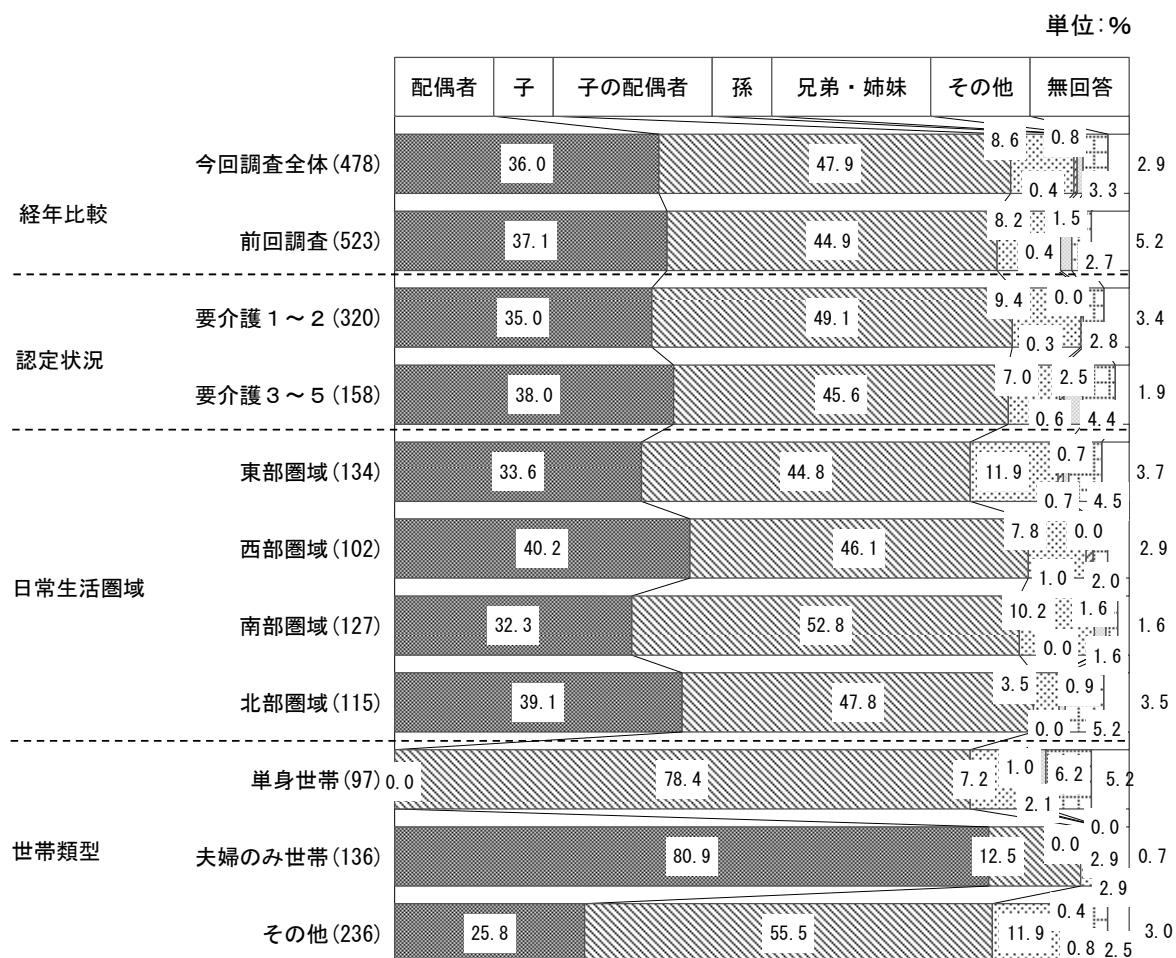
認定状況別に見ると、要介護3～5では「ない」が29.3%であり、要介護1～2の割合を5ポイント上回っています。

日常生活圏域別に見ると、東部圏域と西部圏域では「ほぼ毎日ある」が5割から5割強となっているのに対し、北部圏域では42.3%、南部圏域では38.6%にとどまっています。

世帯類型別に見ると、単身世帯では「ない」(36.3%)が「ほぼ毎日ある」(31.5%)を上回っています。また、その他の世帯では、「ほぼ毎日ある」が58.6%を占めて多くなっています。

(3) 主な介護者の続柄

【(2)で家族・親族からの介護が「ない」以外を選択した高齢者に対する設問】
 主な介護者の方は、どなたですか。(1つを選択)



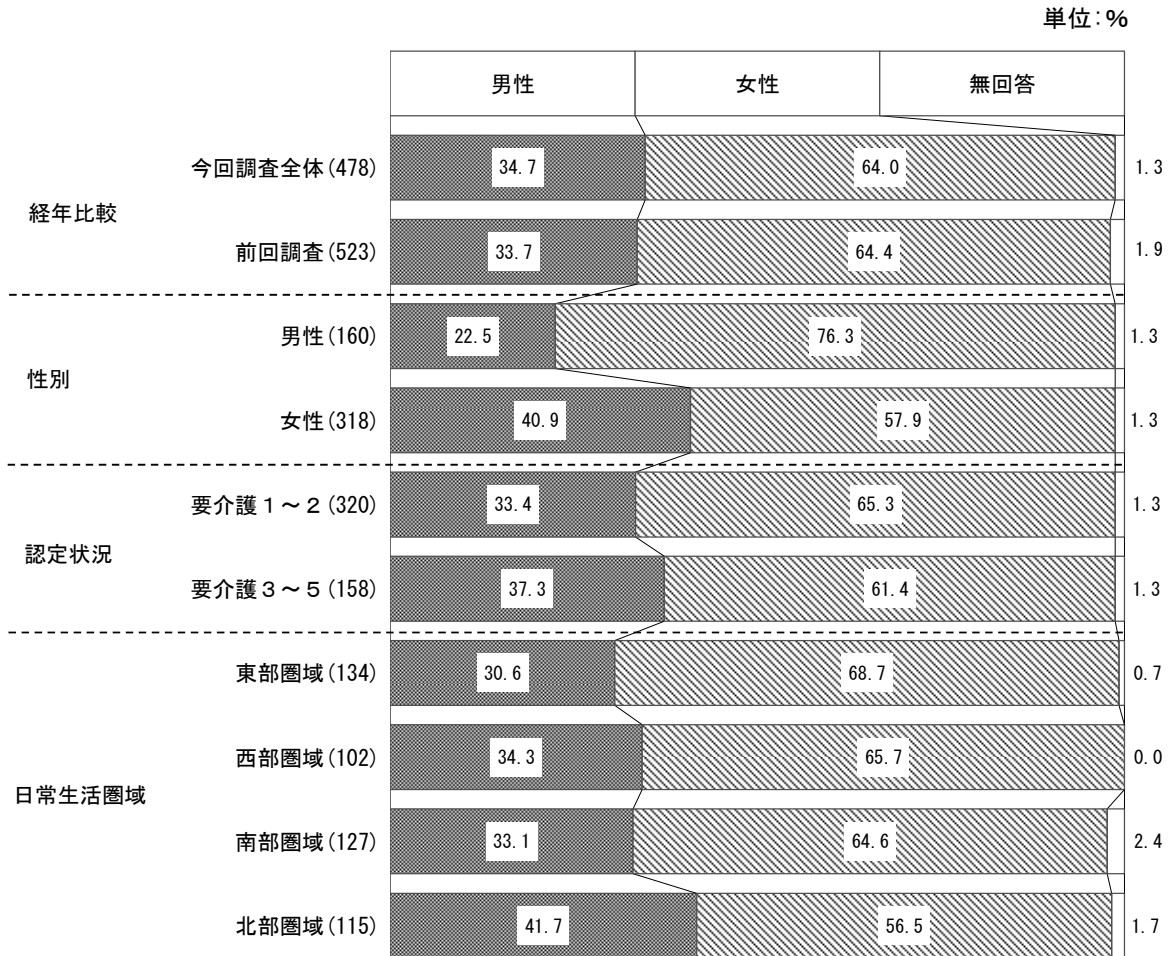
家族や親族から介護を受けている高齢者に対して、主な介護者が誰であるかを調査したところ、「子」が47.9%で最も多く、「配偶者」が36.0%、「子の配偶者」が8.6%で続きます。

日常生活圏域別に見ると、西部圏域と北部圏域では「配偶者」が4割前後となっているのに対し、東部圏域と南部圏域では3割強にとどまっています。また、南部圏域では「子」が52.8%であり、他の圏域の割合を5ポイント以上上回っています。

世帯類型別に見ると、単身世帯では「子」(78.4%)、夫婦のみ世帯では「配偶者」(80.9%)を占めて多くなっています。

(4) 主な介護者の性別

【(2)で家族・親族からの介護が「ない」以外を選択した高齢者に対する設問】
 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(1つを選択)



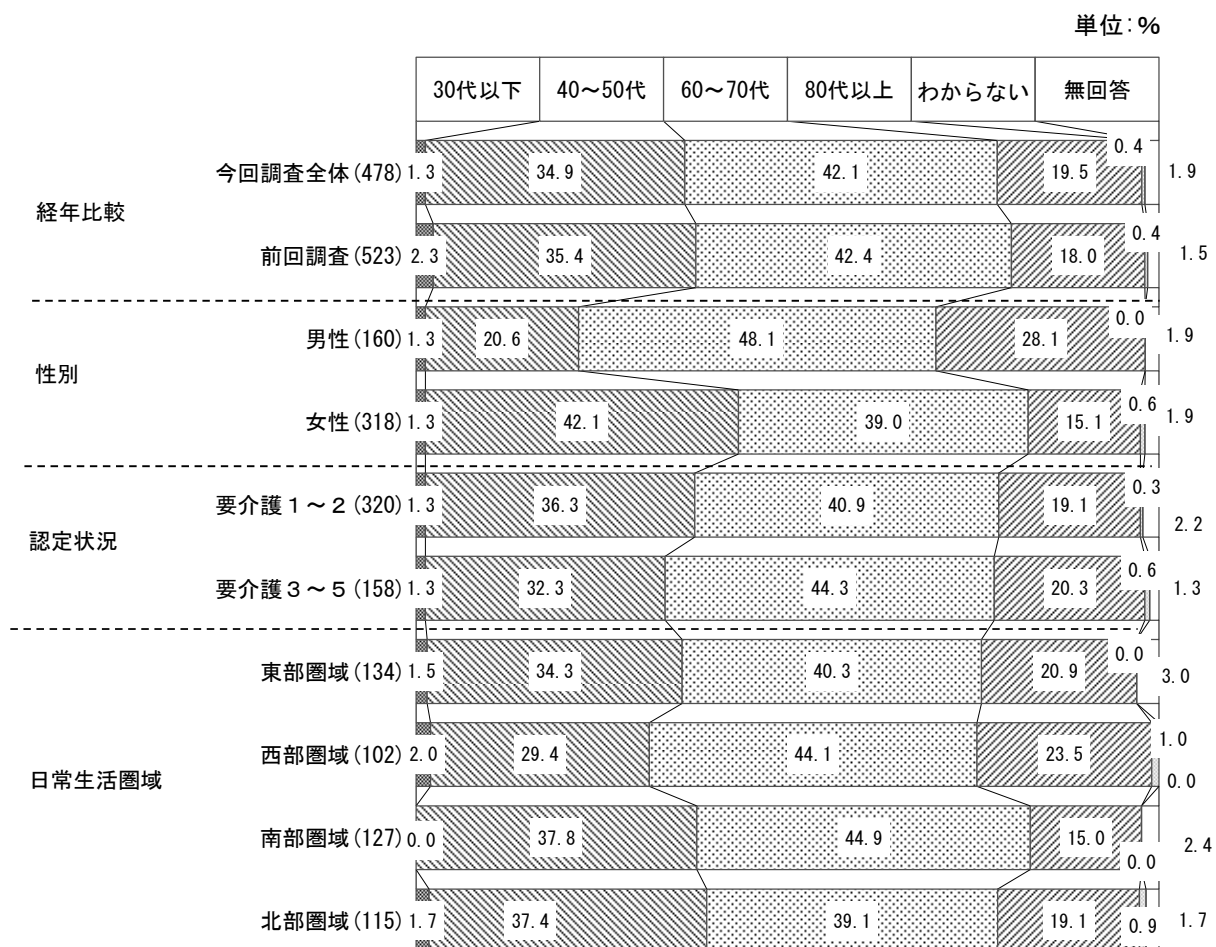
家族や親族から介護を受けている高齢者に対して、主な介護者の性別を調査したところ、「男性」が34.7%、「女性」が64.0%となっています。

回答者を男女別に見ると、回答者の性別を問わず「女性」が「男性」を上回っています。

日常生活圏域別に見ると、北部圏域では「男性」が41.7%であり、他の圏域の割合を7ポイント以上上回っています。

(5) 主な介護者の年齢

【(2)で家族・親族からの介護が「ない」以外を選択した高齢者に対する設問】
 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(1つを選択)



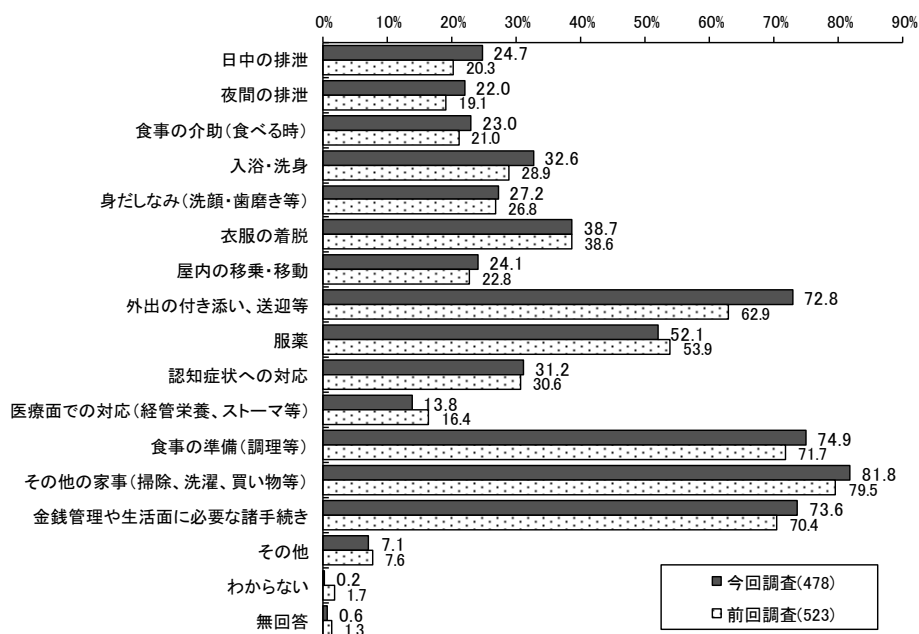
家族や親族から介護を受けている高齢者に対して、主な介護者の年齢を調査したところ、「60~70代」が42.1%で最も多く、「40~50代」が34.9%、「80代以上」が19.5%で続きます。

男女別に見ると、男性では60代以上という回答が76.2%を占めており、女性(54.1%)を22ポイント上回っています。一方、女性は「40~50代」が42.1%であり、男性の割合を21ポイント上回っています。

(6) 主な介護者が行っている介護の内容

【(2)で家族・親族からの介護が「ない」以外を選択した高齢者に対する設問】

現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(複数選択可)



家族や親族から介護を受けている高齢者に対して、主な介護者が現在行っている介護等の内容を調査したところ、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(81.8%)、「食事の準備(調理等)」(74.9%)、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(73.6%)といった生活援助の項目が7割以上で多くなっています。このほか、身体介護では「外出の付き添い、送迎等」が72.8%を占めています。

前回調査と比較すると、今回調査の「外出の付き添い、送迎等」(72.8%)は前回調査(62.9%)をほぼ10ポイント上回っています。

	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応	栄養・ストーマ等	食事の準備(調理等)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	わからない	無回答
全体(478)	24.7	22.0	23.0	32.6	27.2	38.7	24.1	72.8	52.1	31.2	13.8	74.9	81.8	73.6	7.1	0.2	0.6
要介護1~2(320)	12.2	9.7	13.1	30.0	18.1	26.6	13.8	72.5	45.6	30.0	12.8	70.9	79.7	71.6	7.8	0.3	0.6
要介護3~5(158)	50.0	46.8	43.0	38.0	45.6	63.3	44.9	73.4	65.2	33.5	15.8	82.9	86.1	77.8	5.7	-	0.6

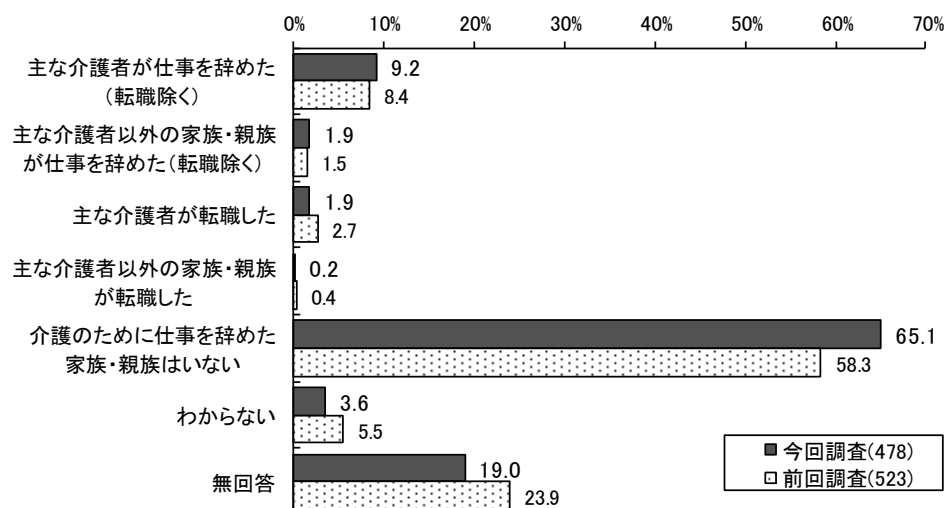
認定状況別に見ると、選択肢として具体的に挙げたすべての項目について、要介護3~5の割合が要介護1~2の割合を上回っており、「日中の排泄」「夜間の排泄」「衣服の着脱」「屋内の移乗・移動」ではその差が30ポイント以上となっています。

(7) 介護離職の有無

【(2) で家族・親族からの介護が「ない」以外を選択した高齢者に対する設問】

ご家族やご親族の中で、あなたの介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。

（複数選択可）



家族や親族から介護を受けている高齢者に対して、家族・親族の介護離職の有無（過去1年以内）を調査したところ、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が65.1%で最も多く、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が9.2%、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」「主な介護者が転職した」がそれぞれ1.9%で続きます。

前回調査と比較すると、今回調査の「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」（65.1%）は前回調査（58.3%）を6ポイント上回っています。

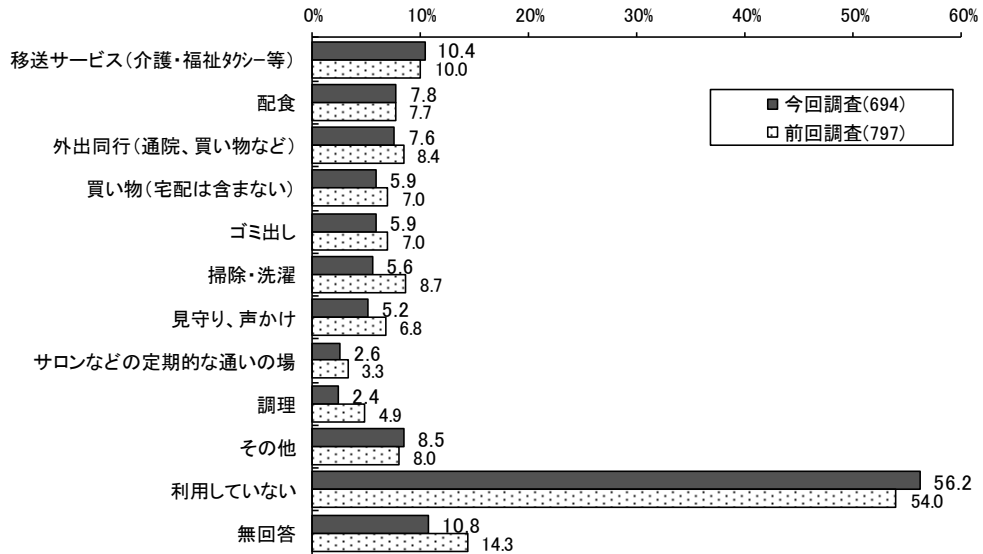
	（主な介護者が仕事を辞めた（転職除く））	が主な介護者以外（家族・親族）	主な介護者が転職した	が主な介護者以外の家族・親族が転職した	族・親族は仕事を辞めた家	介のたに仕事を辞めた	族・親族は仕事を辞めた家	わからない	無回答
全体(478)	9.2	1.9	1.9	0.2	65.1	3.6	19.0		
東部圏域(134)	10.4	0.7	2.2	-	58.2	3.7	26.1		
西部圏域(102)	9.8	2.9	2.0	-	67.6	4.9	12.7		
南部圏域(127)	11.8	3.1	2.4	0.8	65.4	2.4	15.7		
北部圏域(115)	4.3	0.9	0.9	-	70.4	3.5	20.0		
単身世帯(97)	5.2	-	2.1	-	76.3	5.2	11.3		
夫婦のみ世帯(136)	10.3	1.5	2.2	-	51.5	5.9	29.4		
その他(236)	10.6	3.0	1.7	0.4	67.8	1.7	16.1		

日常生活圏域別に見ると、北部圏域では「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が4.3%であり、他の圏域の割合を5ポイント以上下回っています。

世帯類型別に見ると、夫婦のみ世帯、その他の世帯では「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が1割強であり、単身世帯の割合を5ポイント上回っています。

(8) 現在利用している介護保険外サービス

現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。（複数選択可）



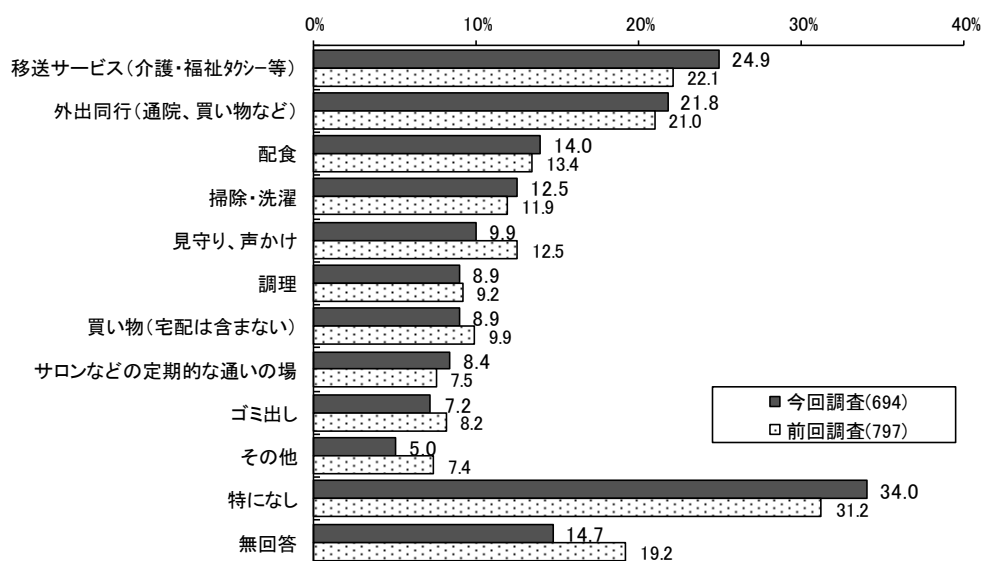
「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が10.4%で最も多く、「配食」が7.8%、「外出同行（通院、買い物など）」が7.6%で続きます。「利用していない」は56.2%です。

	配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行(通院、買い物など)	移送サービス(介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンの場	その他の	利用していない	無回答
全体(694)	7.8	2.4	5.6	5.9	5.9	7.6	10.4	5.2	2.6	8.5	56.2	10.8
東部圏域(183)	9.8	2.2	5.5	6.0	6.0	7.1	6.6	3.8	0.5	9.3	58.5	12.0
西部圏域(154)	5.8	2.6	9.7	8.4	5.2	7.1	9.7	5.8	1.9	10.4	57.1	9.7
南部圏域(189)	6.9	3.7	3.2	4.8	6.9	10.1	12.7	4.2	3.7	8.5	56.1	8.5
北部圏域(168)	8.3	1.2	4.8	4.8	5.4	6.0	12.5	7.1	4.2	6.0	53.0	13.1
単身世帯(168)	8.3	-	7.1	6.0	6.5	6.0	12.5	6.5	3.0	8.9	56.0	6.0
夫婦のみ世帯(193)	7.8	4.1	5.2	5.7	6.7	10.9	13.0	4.7	3.1	6.7	55.4	12.4
その他(307)	7.8	2.9	4.6	6.2	4.6	6.2	7.8	4.6	2.3	9.8	59.0	10.1

世帯類型別に見ると、夫婦のみ世帯では「外出同行（通院、買い物など）」が1割に達しています。

(9) 在宅生活継続のために必要なサービス

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（複数選択可）



「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が24.9%で最も多く、「外出同行（通院、買い物など）」が21.8%、「配食」が14.0%で続きます。「特になし」は34.0%です。

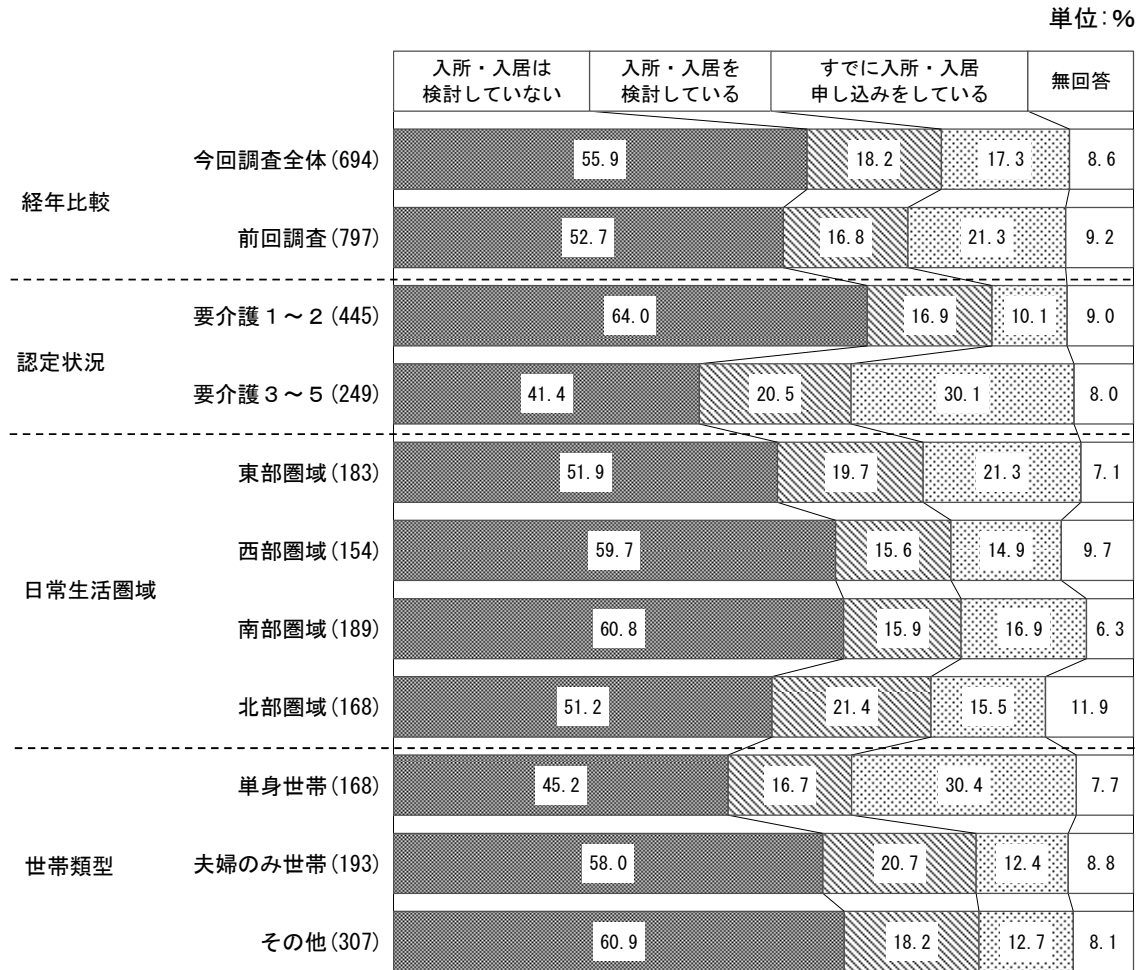
	配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行(通院、買い物など)	移送サービス(介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答
全体(694)	14.0	8.9	12.5	8.9	7.2	21.8	24.9	9.9	8.4	5.0	34.0	14.7
要介護1～2(445)	14.8	7.6	13.0	10.1	7.2	22.7	23.4	10.6	9.0	4.5	33.9	13.0
要介護3～5(249)	12.4	11.2	11.6	6.8	7.2	20.1	27.7	8.8	7.2	6.0	34.1	17.7
東部圏域(183)	10.9	7.1	11.5	10.4	6.6	21.9	21.3	8.2	7.1	4.4	39.3	15.3
西部圏域(154)	14.9	11.0	12.3	9.7	7.8	17.5	22.7	10.4	10.4	6.5	36.4	14.3
南部圏域(189)	13.8	9.5	13.2	7.9	8.5	24.3	27.5	10.1	7.4	6.3	29.6	13.8
北部圏域(168)	16.7	8.3	13.1	7.7	6.0	22.6	28.0	11.3	8.9	3.0	31.0	15.5
単身世帯(168)	16.1	11.3	17.3	11.9	11.3	24.4	24.4	16.1	10.1	5.4	31.0	11.3
夫婦のみ世帯(193)	15.5	10.4	12.4	11.4	8.8	22.3	26.9	8.3	6.7	4.1	31.1	18.1
その他(307)	12.4	7.5	9.4	6.5	4.2	20.5	24.8	8.5	8.8	5.5	38.1	12.7

日常生活圏域別に見ると、南部圏域と北部圏域では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が3割弱となっています。

世帯類型別に見ると、選択肢として具体的に挙げたすべての項目について、単身世帯の割合が1割以上となっています。

(10) 施設等への入所・入居の検討状況

現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(1つを選択)



「入所・入居は検討していない」が55.9%で最も多く、「入所・入居を検討している」が18.2%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が17.3%で続きます。

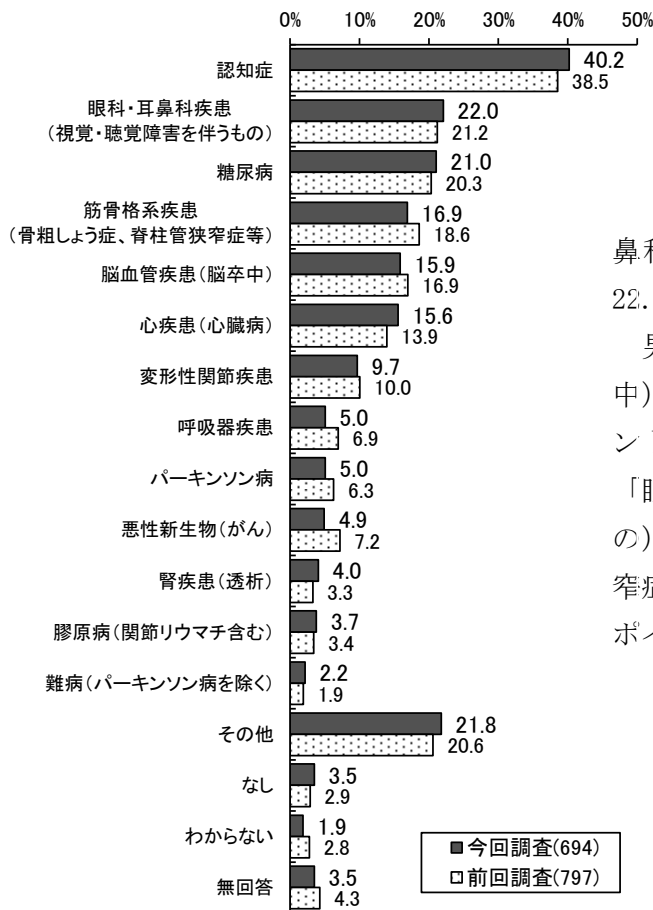
認定状況別に見ると、要介護1～2では「入所・入居は検討していない」が64.0%であり、要介護3～5を22ポイント上回っています。一方、要介護3～5では「すでに入所・入居申し込みをしている」が30.1%であり、要介護1～2を20ポイント上回っています。

日常生活圏域別に見ると、西部圏域と南部圏域では「入所・入居は検討していない」が6割前後となっているのに対し、東部圏域と北部圏域では5割強にとどまっています。

世帯類型別に見ると、単身世帯では「すでに入所・入居申し込みをしている」が30.4%であり、夫婦のみ世帯、その他の世帯の割合を17ポイント以上上回っています。

(11) 現在抱えている傷病

あて名のご本人が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。（複数選択可）



「認知症」が40.2%で最も多く、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が22.0%、「糖尿病」が21.0%で続きます。

男女別に見ると、男性の「脳血管疾患（脳卒中）」は23.5%であり、女性の割合を12ポイント上回っています。一方、女性の「認知症」「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」「変形性関節疾患」は男性の割合を7ポイント以上上回っています。

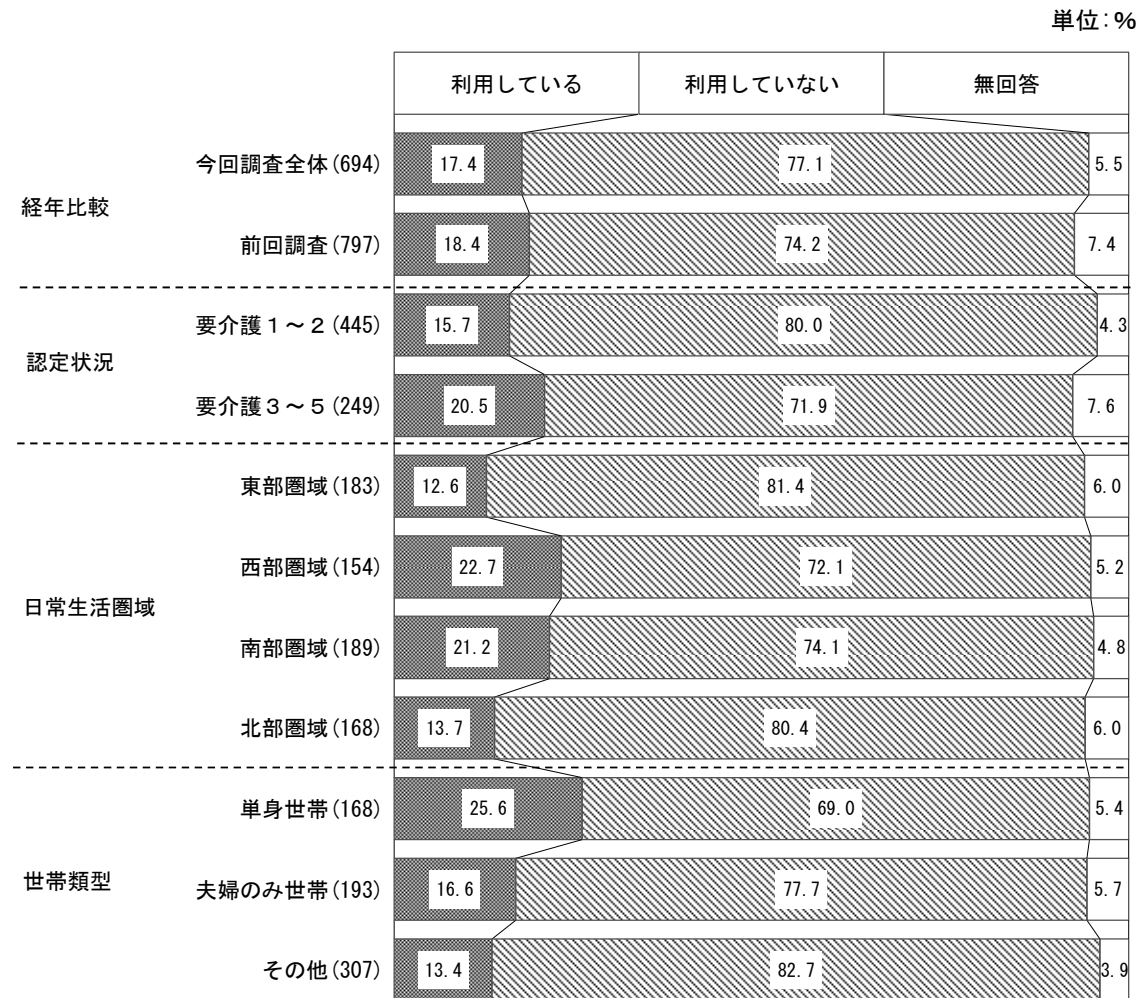
	脳血管疾患 (脳卒中)	心疾患 (心臓病)	悪性新生物 (がん)	呼吸器疾患	腎疾患 (透析)	筋骨格系疾患 (骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)	膠原病 (関節リウマチ含む)	変形性関節疾患	認知症	パーキンソン病	難病 (パーキンソン病を除く)	糖尿病	眼科・耳鼻科疾患 (視覚・聴覚障害を伴うもの)	その他	なし	わからない	無回答
全体(694)	15.9	15.6	4.9	5.0	4.0	16.9	3.7	9.7	40.2	5.0	2.2	21.0	22.0	21.8	3.5	1.9	3.5
男性(251)	23.5	18.7	7.2	7.6	5.6	9.6	1.2	3.6	33.1	7.2	2.0	23.9	17.5	17.5	4.8	1.2	4.8
女性(443)	11.5	13.8	3.6	3.6	3.2	21.0	5.2	13.1	44.2	3.8	2.3	19.4	24.6	24.2	2.7	2.3	2.7
65～74歳(89)	27.0	5.6	6.7	1.1	7.9	7.9	4.5	6.7	16.9	6.7	3.4	30.3	13.5	15.7	5.6	1.1	5.6
75～84歳(307)	16.9	15.0	5.5	4.9	3.6	17.3	4.2	9.1	42.0	6.5	2.3	19.2	18.6	22.1	3.3	1.3	3.3
85歳以上(298)	11.4	19.1	3.7	6.4	3.4	19.1	3.0	11.1	45.3	3.0	1.7	20.1	28.2	23.2	3.0	2.7	3.0
要介護1～2(445)	14.4	16.2	5.2	4.5	2.2	17.3	3.6	9.4	37.3	4.7	2.2	19.8	23.8	23.4	3.4	1.8	3.1
要介護3～5(249)	18.5	14.5	4.4	6.0	7.2	16.1	4.0	10.0	45.4	5.6	2.0	23.3	18.9	18.9	3.6	2.0	4.0

年齢別に見ると、65～74歳では「糖尿病」「脳血管疾患（脳卒中）」が3割前後、75～84歳と85歳以上では「認知症」が4割台、85歳以上では「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が28.2%であり、それぞれ他の年代の割合を上回っています。

認定状況別に見ると、要介護3～5では「認知症」が45.4%、「腎疾患（透析）」が7.2%であり、要介護1～2の割合を5ポイント以上上回っています。

(12) 訪問診療の利用状況

あて名のご本人は、現在、訪問診療を利用していますか。（1つを選択）



「利用している」が17.4%、「利用していない」が77.1%です。

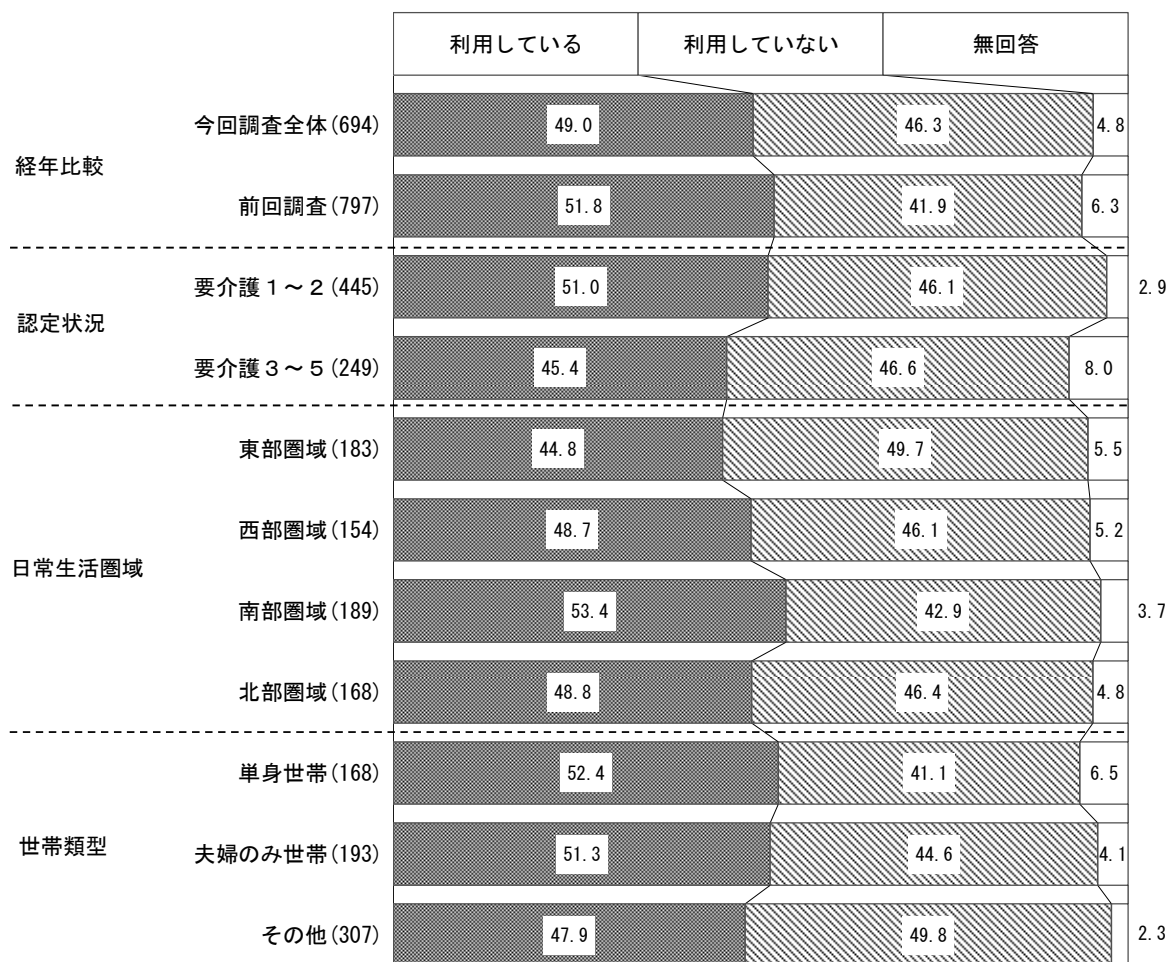
日常生活圏域別に見ると、西部圏域と南部圏域では「利用している」が2割強となっており、他の圏域の割合を7ポイント以上上回っています。

世帯類型別に見ると、単身世帯では「利用している」が25.6%であり、夫婦のみ世帯、その他の世帯の割合を9ポイント以上上回っています。

(13) 介護保険サービスの利用状況

住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを利用していますか。
(1つを選択)

単位：%



「利用している」が49.0%、「利用していない」が46.3%です。

認定状況別に見ると、要介護1～2では「利用している」が51.0%であり、要介護3～5の割合を5ポイント上回っています。要介護3～5では「利用していない」が「利用している」を上回っています。

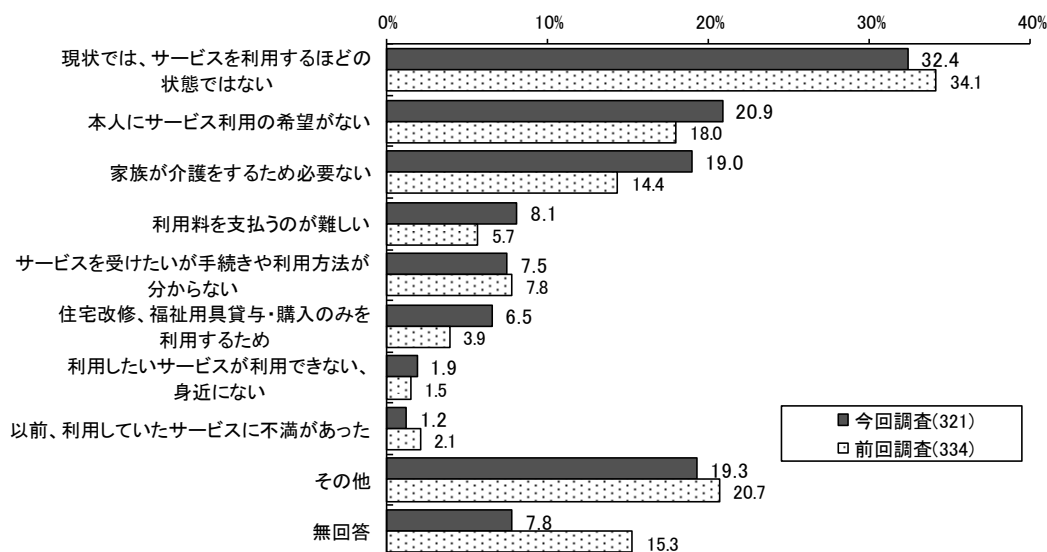
日常生活圏域別に見ると、南部圏域では「利用している」が5割強となっています。

世帯類型別に見ると、単身世帯、夫婦のみ世帯では「利用している」が5割強で「利用していない」を上回っているのに対し、その他の世帯では「利用していない」が49.8%であり、「利用している」を上回っています。

(14) 介護保険サービスを利用していない理由

【(13)で「利用していない」を選択した高齢者に対する設問】

介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(複数選択可)



現在、住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを利用していないという高齢者に対して、サービスを利用していない理由を調査したところ、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が32.4%で最も多く、「本人にサービス利用の希望がない」が20.9%、「家族が介護をするため必要ない」が19.0%で続きます。

	現状では、サービスを利用しない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい	利用料を支払うのが難しい	サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	利用したいサービスが利用できない、身近にない	以前、利用していたサービスに不満があった	その他	無回答
全体(321)	32.4	20.9	19.0	1.2	8.1	1.9	6.5	7.5	19.3	7.8		
要介護1～2(205)	42.0	24.9	18.5	1.0	6.8	1.0	4.4	5.4	14.6	7.8		
要介護3～5(116)	15.5	13.8	19.8	1.7	10.3	3.4	10.3	11.2	27.6	7.8		
東部圏域(91)	36.3	20.9	20.9	1.1	5.5	2.2	6.6	8.8	18.7	5.5		
西部圏域(71)	32.4	16.9	23.9	1.4	9.9	4.2	8.5	9.9	16.9	11.3		
南部圏域(81)	30.9	23.5	16.0	-	11.1	1.2	6.2	2.5	16.0	9.9		
北部圏域(78)	29.5	21.8	15.4	2.6	6.4	-	5.1	9.0	25.6	5.1		
単身世帯(69)	30.4	18.8	7.2	-	7.2	2.9	2.9	5.8	29.0	11.6		
夫婦のみ世帯(86)	26.7	26.7	25.6	1.2	10.5	3.5	5.8	11.6	10.5	8.1		
その他(153)	35.3	19.0	20.9	2.0	7.8	0.7	8.5	6.5	20.3	4.6		

認定状況別に見ると、要介護1～2では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が42.0%、「本人にサービス利用の希望がない」が24.9%であり、要介護3～5の割合を11ポイント以上上回っています。要介護3～5では「家族が介護するため必要ない」が「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」を上回って最も多い回答となっています。

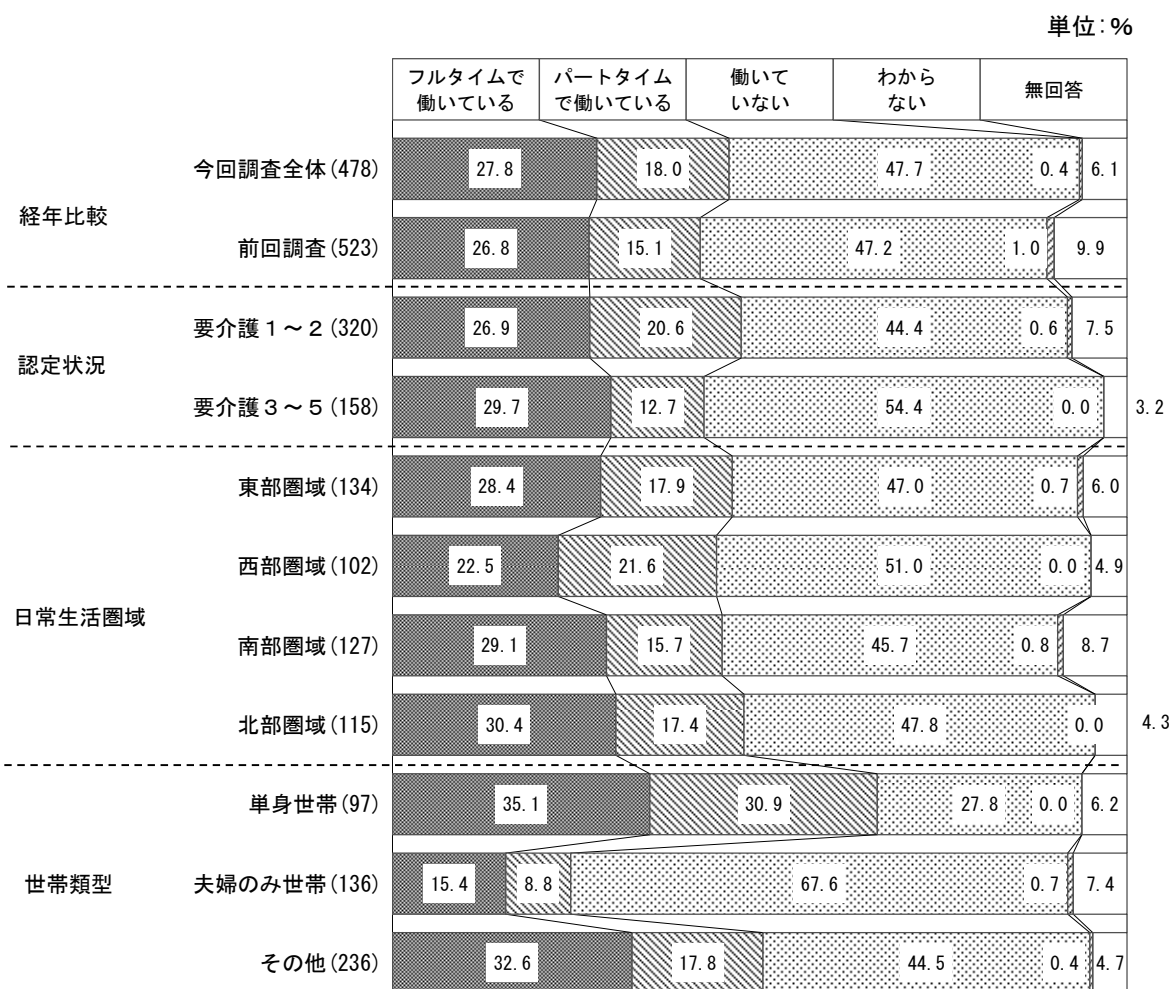
日常生活圏域別に見ると、東部圏域と西部圏域では「家族が介護するため必要ない」が2割強、西部圏域と南部圏域では「利用料を支払うのが難しい」が1割前後となっています。

世帯類型別に見ると、夫婦のみ世帯では「本人にサービス利用の希望がない」が「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」とともに最も多い回答となっています。

2 主な介護者について【B票】

(1) 主な介護者の就労状況・勤務形態

主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。（1つを選択）



「フルタイムで働いている」が27.8%、「パートタイムで働いている」が18.0%であり、全体の45.8%が働いていると回答しています。「働いていない」は47.7%です。

認定状況別に見ると、要介護3～5では「働いていない」が54.4%であり、要介護1～2の割合を10ポイント上回っています。

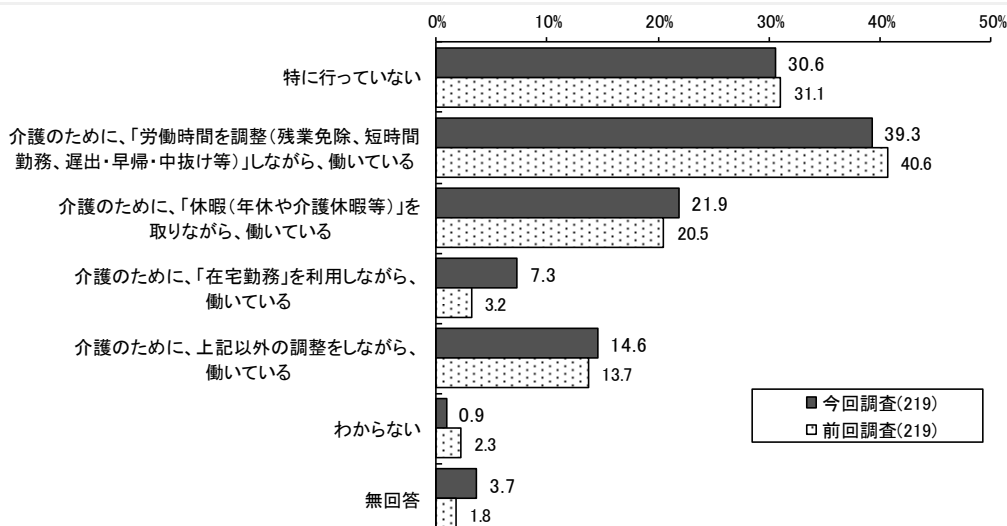
日常生活圏域別に見ると、西部圏域では「働いていない」(51.0%)が5割に達しています。

世帯類型別に見ると、単身世帯では「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」の合計が7割弱を占めています。一方、夫婦のみ世帯では「働いていない」が67.6%であり、単身世帯、その他の世帯の割合を23ポイント以上上回っています。

(2) 介護をするにあたっての働き方の調整

【(1)で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」を選択した主な介護者に対する設問】

主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(複数選択可)



フルタイムもしくはパートタイムで働いている主な介護者に対して、介護に当たっての働き方の調整状況を調査したところ、「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている」が39.3%で最も多く、「介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている」が21.9%、「介護のために、上記以外の調整をしながら、働いている」が14.6%となっています。「特に行っていない」は30.6%です。

	特に行っていない	ら、労働時間を調整しながら	いて、休暇を取りながら、働	ら、在宅勤務を利用しながら	が上記以外の調整をしながら	わからない	無回答
全体(219)	30.6	39.3	21.9	7.3	14.6	0.9	3.7
要介護1～2(152)	33.6	40.1	19.1	7.9	11.8	1.3	3.3
要介護3～5(67)	23.9	37.3	28.4	6.0	20.9	-	4.5
フルタイム(133)	33.8	33.8	25.6	9.0	15.8	-	4.5
パートタイム(86)	25.6	47.7	16.3	4.7	12.8	2.3	2.3

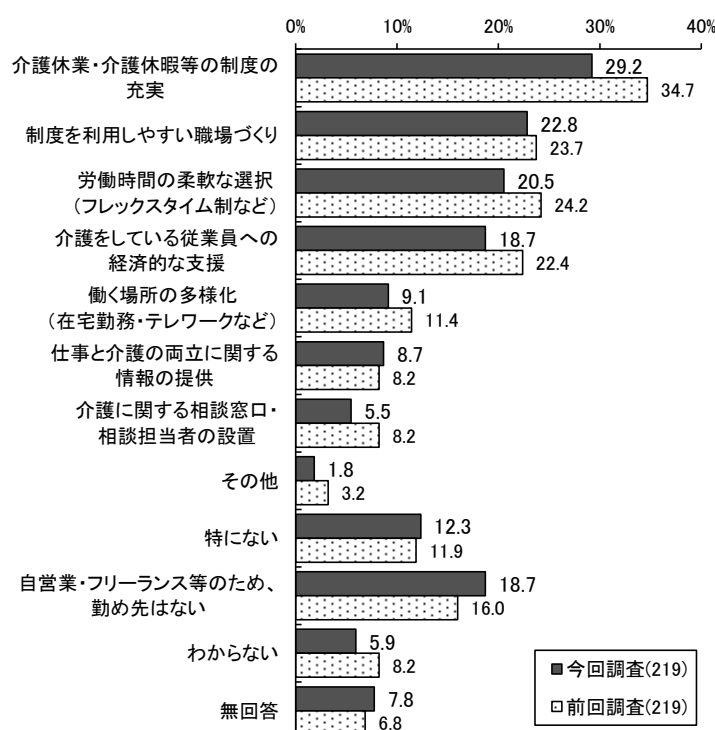
認定状況別に見ると、要介護1～2では「特に行っていない」が33.6%であり、要介護3～5の割合を9ポイント上回っています。一方、要介護3～5では「介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている」が28.4%、「介護のために、上記以外の調整をしながら、働いている」が20.9%であり、要介護1～2の割合を9ポイント上回っています。

主な介護者の勤務形態別に見ると、フルタイムでは「特に行っていない」が33.8%、「介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている」が25.6%であり、パートタイムの割合を8ポイント以上上回っています。一方、パートタイムでは「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている」が47.7%であり、フルタイムの割合を13ポイント上回っています。

(3) 勤め先からの支援で効果があると思うもの

【(1)で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」を選択した主な介護者に対する設問】

主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(3つまで選択可)



フルタイムもしくはパートタイムで働いている主な介護者に対して、勤め先からの支援で効果があると思うものについて調査したところ、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が29.2%で最も多く、「制度を利用しやすい職場づくり」が22.8%、「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」が20.5%で続きます。

前回調査と比較すると、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」は今回調査・前回調査とも最も多い回答であるものの、前回調査から今回調査にかけて5ポイント減少しています。

	ため自営	度業休	介業休	くり業休	制度業休	労働業休	務業休	働く業休	情報業休	仕事業休	談業休	介業休	経済業休	介護業休	その他	特にな	わから	無回答
全体(219)	18.7	29.2	22.8	20.5	9.1	8.7	5.5	18.7	1.8	12.3	5.9	7.8						
要介護1~2(152)	19.7	28.9	22.4	18.4	7.9	8.6	5.9	15.8	2.6	13.2	6.6	8.6						
要介護3~5(67)	16.4	29.9	23.9	25.4	11.9	9.0	4.5	25.4	-	10.4	4.5	6.0						
フルタイム(133)	26.3	32.3	27.1	24.1	12.0	10.5	4.5	18.8	-	6.8	5.3	5.3						
パートタイム(86)	7.0	24.4	16.3	15.1	4.7	5.8	7.0	18.6	4.7	20.9	7.0	11.6						

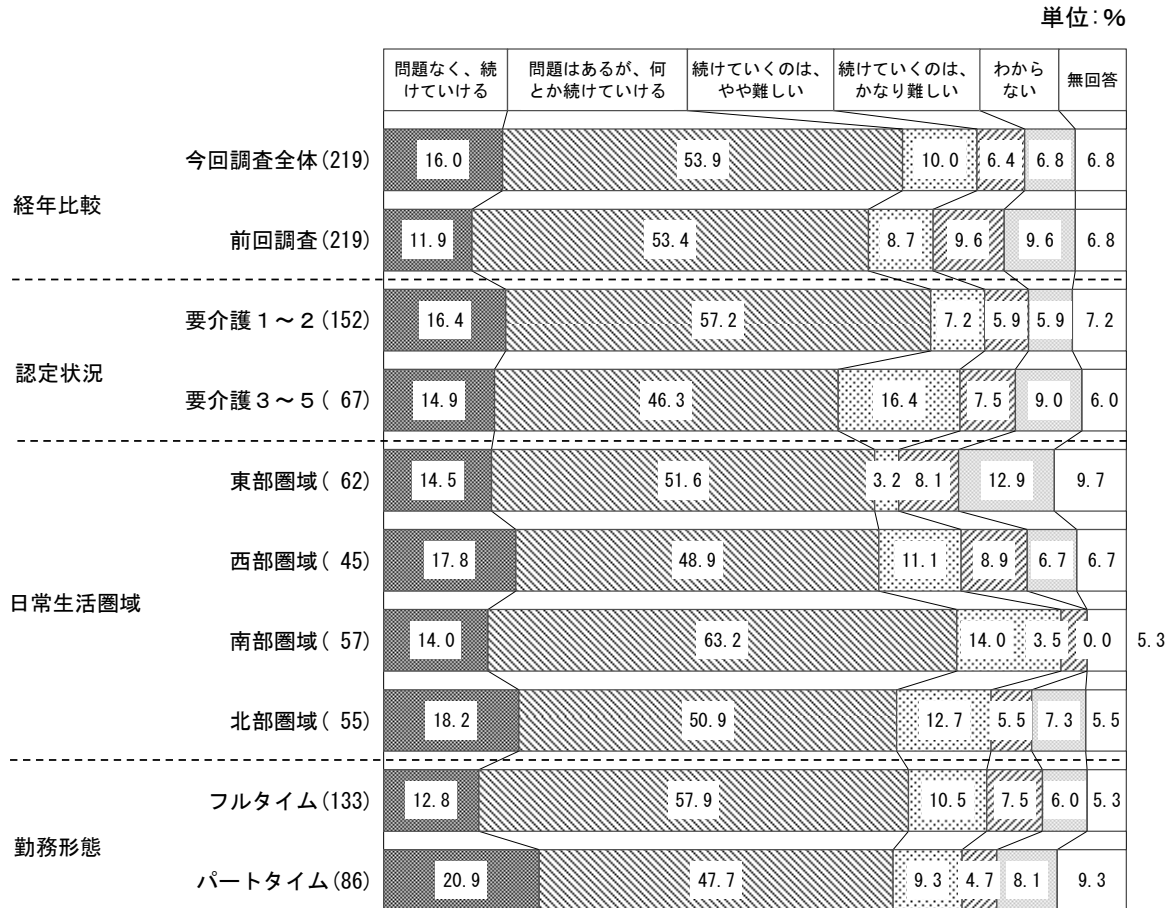
認定状況別に見ると、要介護3~5では「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」「介護をしている従業員への経済的な支援」がいずれも25.4%であり、要介護1~2の割合を7ポイント以上上回っています。

主な介護者の勤務形態別に見ると、選択肢として挙げた項目のうち、「介護に関する相談窓口・相談担当者の設置」を除く各項目とも、フルタイムの割合がパートタイムを上回っています。また、パートタイムでは「特にない」が20.9%であり、フルタイムの割合を14ポイント上回っています。

(4) 今後の仕事と介護の両立の見通し

【(1)で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」を選択した主な介護者に対する設問】

主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つを選択)



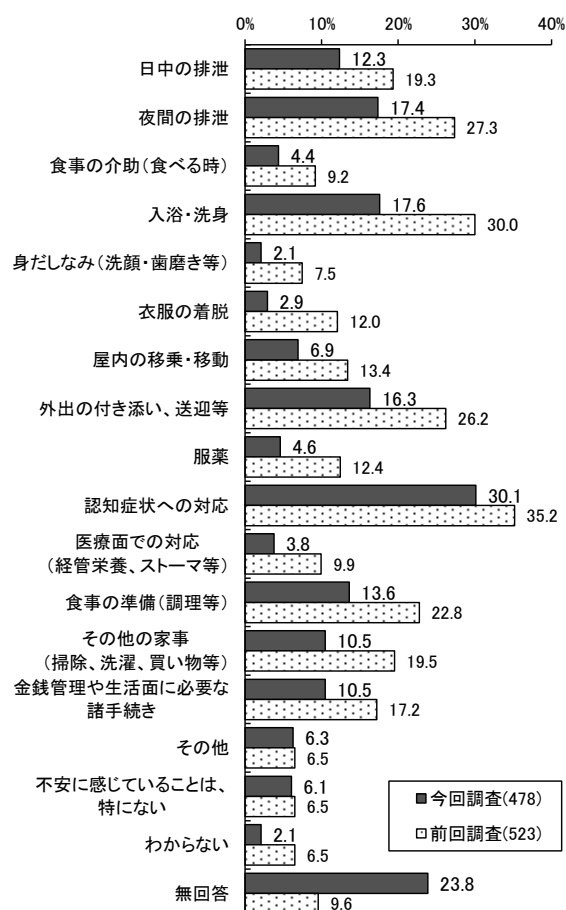
フルタイムもしくはパートタイムで働いている主な介護者に対して、今後の仕事と介護の両立の見通しを調査したところ、「問題はあるが、何とか続けていける」が53.9%で最も多く、「問題なく、続けていける」が16.0%、「続けていくのは、やや難しい」が10.0%で続きます。

認定状況別に見ると、要介護1～2では「問題なく、続けていける」「問題はあるが、何とか続けていける」の合計が73.6%であり、要介護3～5の割合を12ポイント上回っています。一方、要介護3～5では「続けていくのは、やや難しい」「続けていくのは、かなり難しい」の合計が23.9%であり、要介護1～2の割合を10ポイント上回っています。

主な介護者の勤務形態別に見ると、「問題なく、続けていける」「問題はあるが、何とか続けていける」の合計はフルタイム、パートタイムとも7割前後となっていますが、フルタイムの「問題はあるが、何とか続けていける」はパートタイムの割合を10ポイント上回っています。

(5) 現在の生活を継続する上で特に不安なこと

現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）



「認知症状への対応」が 30.1%で最も多く、「入浴・洗身」が 17.6%、「夜間の排泄」が 17.4%で続きます。

前回調査・今回調査とも「認知症状への対応」「入浴・洗身」「夜間の排泄」が上位3項目を占めているものの、全ての項目で前回調査から今回調査にかけて割合が減少しており、減少幅は「入浴・洗身」で12ポイントとなっています。

認定状況別に見ると、要介護3～5では「認知症状への対応」が 34.2%、「夜間の排泄」が 23.4%、「日中の排泄」が 19.0%であり、要介護1～2の割合を6ポイント以上上回っています。一方、要介護1～2では「食事の準備(調理等)」が 15.3%、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が 12.2%であり、要介護3～5の割合を5ポイント上回っています。

	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応	医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	食事の準備(調理等)	洗濯(掃除、洗濯、買い物等)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは、特になし	わからない	無回答
全体(478)	12.3	17.4	4.4	17.6	2.1	2.9	6.9	16.3	4.6	30.1	3.8	13.6	10.5	10.5	6.3	6.1	2.1	23.8	
要介護1～2(320)	9.1	14.4	3.4	17.2	1.9	2.8	5.3	15.6	4.7	28.1	2.5	15.3	12.2	10.6	5.6	5.0	2.5	27.5	
要介護3～5(158)	19.0	23.4	6.3	18.4	2.5	3.2	10.1	17.7	4.4	34.2	6.3	10.1	7.0	10.1	7.6	8.2	1.3	16.5	
フルタイム(133)	18.0	16.5	5.3	16.5	1.5	0.8	6.0	17.3	6.0	39.8	3.0	18.8	18.0	10.5	6.0	3.0	2.3	12.8	
パートタイム(86)	12.8	26.7	7.0	17.4	1.2	1.2	12.8	15.1	5.8	33.7	7.0	15.1	5.8	12.8	11.6	8.1	3.5	11.6	
働いていない(228)	10.5	16.7	3.5	20.6	3.1	4.8	6.1	17.5	3.9	27.2	3.5	11.8	8.3	10.5	5.3	7.9	0.9	26.8	

主な介護者の勤務形態別に見ると、フルタイムでは「認知症状への対応」が 39.8%、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が 18.0%であり、パートタイム、働いていない人の割合を6ポイント以上上回っています。パートタイムでは、「夜間の排泄」が 26.7%、「屋内の移乗・移動」が 12.8%であり、フルタイム、働いていない人の割合を6ポイント以上上回っています。

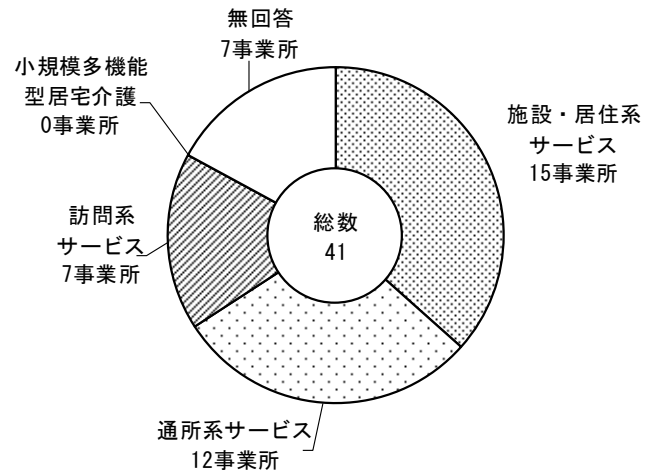
Ⅲ 介護人材実態調査

1 事業所票の結果

(1) サービス種別

該当するサービス種別（介護予防を含む）を、ご回答ください。

「施設・居住系サービス」が 15 事業所（36.6%）で最も多く、「通所系サービス」が 12 事業所（29.3%）、「訪問系サービス」が 7 事業所（17.1%）で続きます。



(2) 職員数

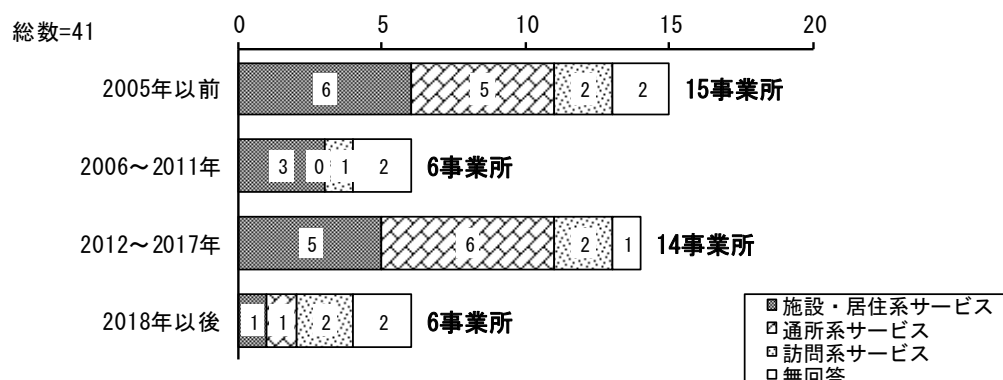
介護職員の総数を、ご記入ください。（数値を記入）

	回答 事業所数	正規職員		非正規職員		合計	
		総数	平均	総数	平均	総数	平均
全体	41 事業所	505 人	12.3 人	246 人	6.8 人	751 人	18.3 人
施設・居住系サービス	15 事業所	296 人	19.7 人	88 人	6.3 人	384 人	25.6 人
通所系サービス	12 事業所	64 人	5.3 人	72 人	6.5 人	136 人	11.3 人
訪問系サービス	7 事業所	61 人	8.7 人	33 人	5.5 人	94 人	13.4 人
無回答	7 事業所	84 人	12.0 人	53 人	10.6 人	137 人	19.6 人

回答 41 事業所の介護職員の総数は 751 人で、1 事業所あたりの平均は 18.3 人となっています。正規職員は 505 人、非正規職員は 246 人で、正規職員の割合は 67.2%となっています。

(3) 開設時期

貴施設等の開設時期について、ご記入ください。(数値を記入)



2005年以前に開設した事業所が15事業所、2012～2017年に開設した事業所が14事業所とともに多くなっています。

(4) 採用者数・離職者数

令和5年2月28日時点で、開設から1年以上を経過している事業所にお伺いします。過去1年間(令和4年3月1日～令和5年2月28日)の介護職員の採用者数と離職者数をご記入ください。

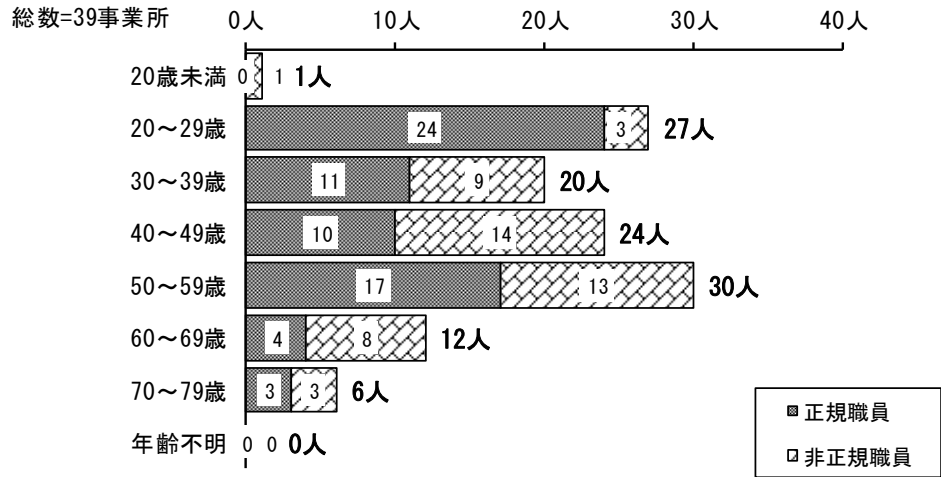
	回答事業所数	採用者数	離職者数
全体	39 事業所	120 人	120 人
施設・居住系サービス	15 事業所	71 人	77 人
通所系サービス	12 事業所	22 人	21 人
訪問系サービス	7 事業所	9 人	6 人
無回答	5 事業所	18 人	16 人

過去1年間の介護職員の採用者数、離職者数はいずれも120人となっています。通所系サービス、訪問系サービスでは職員数が増加していますが、施設・居住系サービスは職員数が減少しています。

(5) 採用者・離職者の内訳

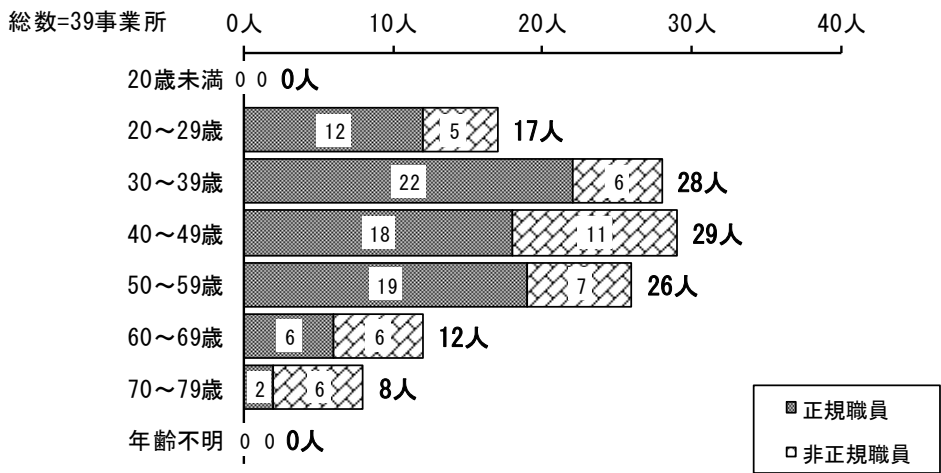
採用者・離職者について、正規・非正規の別・年齢別をご記入ください。（数値を記入）

① 採用者数



採用者の年齢は、「50～59歳」が30人で最も多く、「20～29歳」が27人で続きます。正規職員では「20～29歳」が24人で最も多く、非正規職員では「40～49歳」が14人で最も多く、「50～59歳」が13人で続きます。採用者全体に占める正規職員の割合は57.5%です。

② 離職者数



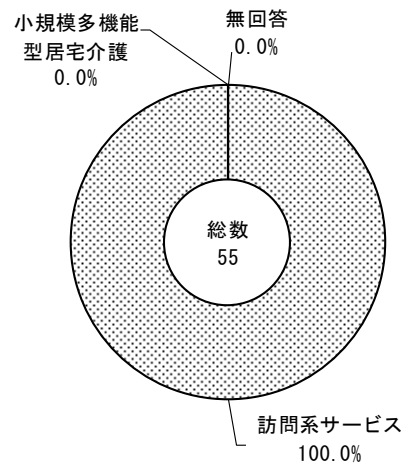
離職者の年齢は、「40～49歳」が29人で最も多く、「30～39歳」が28人、「50～59歳」が26人で続きます。正規職員では「30～39歳」が22人で最も多く、非正規職員では「40～49歳」が11人で最も多くなっています。離職者全体に占める正規職員の割合は65.8%です。

2 職員票の結果

(1) 事業所で提供するサービス種別【訪問系調査票】

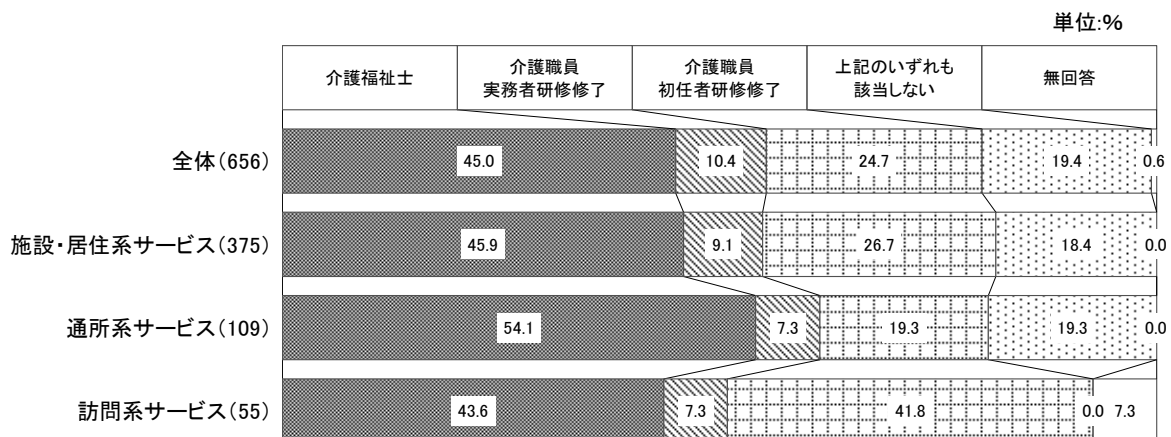
あなたが、本調査票を受け取った事業所で提供するサービス種別（介護予防を含む）について、ご回答ください。（1つに〇）

職員票の回答があった事業所は、いずれも「訪問系サービス」を提供する事業所であり、「小規模多機能型居宅介護」を提供する事業所はありませんでした。



(2) 資格取得・研修修了状況

あなたの資格の取得、研修の修了の状況について、ご回答ください（1つに〇）。



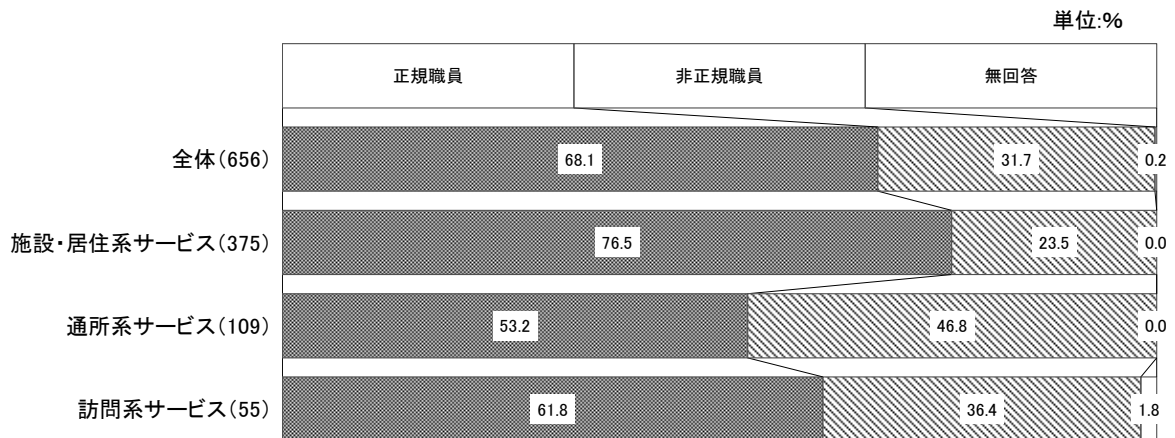
「介護福祉士」が45.0%で最も多く、「介護職員初任者研修修了」が24.7%、「上記のいずれも該当しない」が19.4%で続きます。

通所系サービスでは、「介護福祉士」が54.1%で他のサービスよりも多くなっています。訪問系サービスでは、「介護福祉士」「介護職員初任者研修修了」がそれぞれ4割強となっています。

(3) 職員の属性

あなたの雇用形態、性別、年齢、過去1週間の勤務時間等について、ご回答ください。

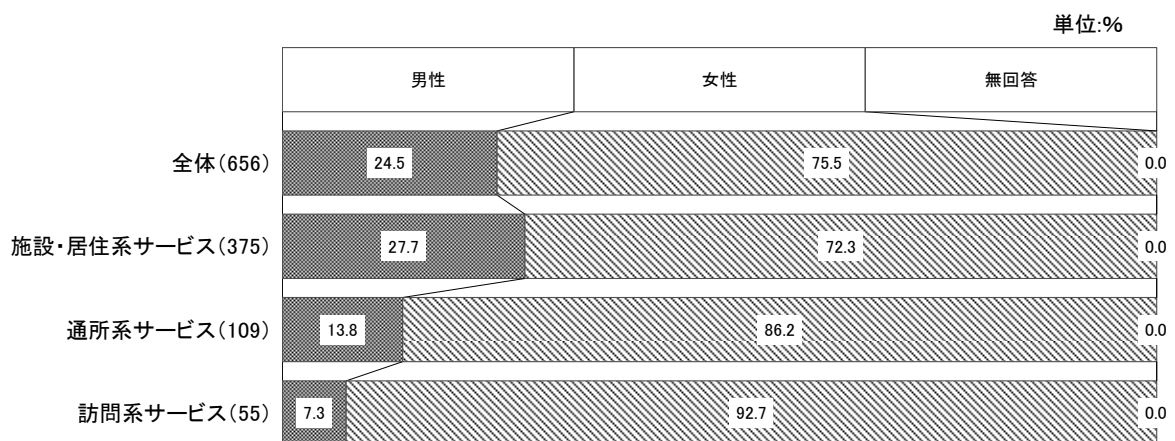
① 雇用形態



「正規職員」が68.1%を占めており、「非正規職員」は31.7%です。

施設・居住系サービスでは「正規職員」が8割弱を占めているのに対し、通所系サービスでは「正規職員」が5割強にとどまっています。

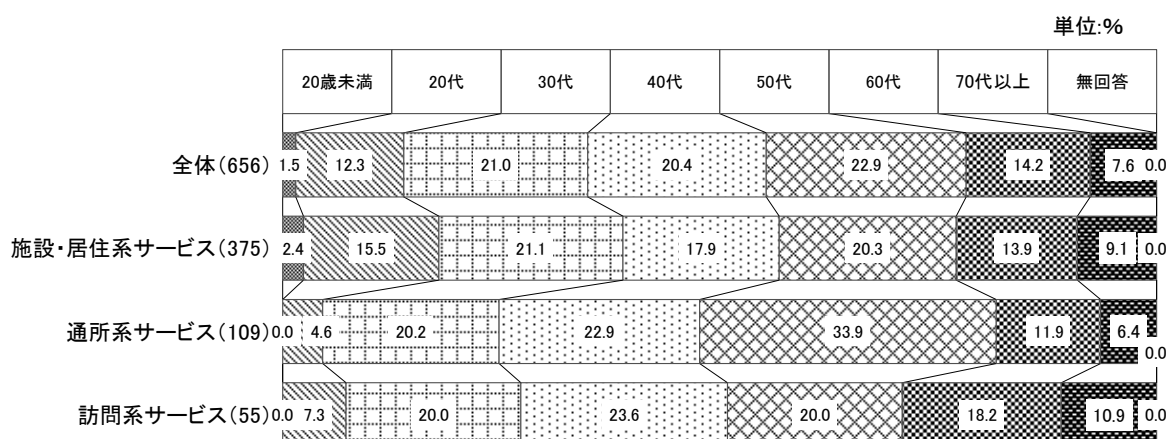
② 性別



「女性」が75.5%を占めており、「男性」は24.5%です。

各サービスとも「女性」が7割以上となっており、訪問系サービスでは「女性」が92.7%と大半を占めています。

③ 年齢



「50代」が22.9%で最も多く、「30代」が21.0%、「40代」が20.4%で続いており、全体の6割強が30～50代となっています。

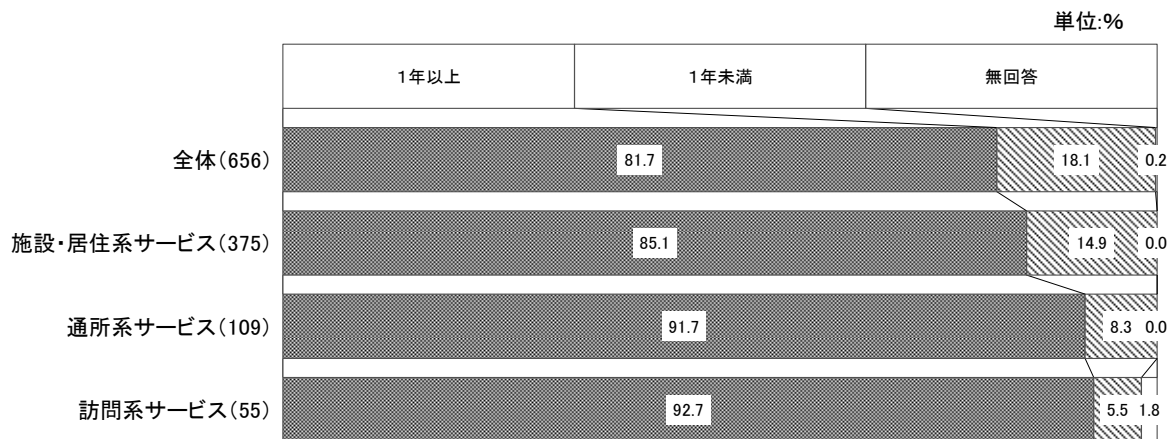
通所系サービスでは、「50代」が33.9%で他のサービスよりも多くなっています。また、施設・居住系サービスでは「20代」が15.5%であり、通所系サービスと訪問系サービスの割合を上回っています。

④ 過去1週間の勤務時間

	回答者数	勤務時間	平均
全体	646人	21,247.3時間	32.9時間
施設・居住系サービス	375人	12,747.3時間	34.0時間
通所系サービス	99人	3,258.5時間	32.9時間
訪問系サービス	55人	1,406.0時間	25.6時間
無回答	117人	3,835.5時間	32.8時間

過去1週間の勤務時間の回答があった職員646人の勤務時間は21,247.3時間で、職員1人あたりの平均は32.9時間となっています。訪問系サービスの職員1人あたりの平均は25.6時間で、施設・居住系サービスと通所系サービスの平均時間を下回っています。

⑤ 現在の事業所での勤務年数

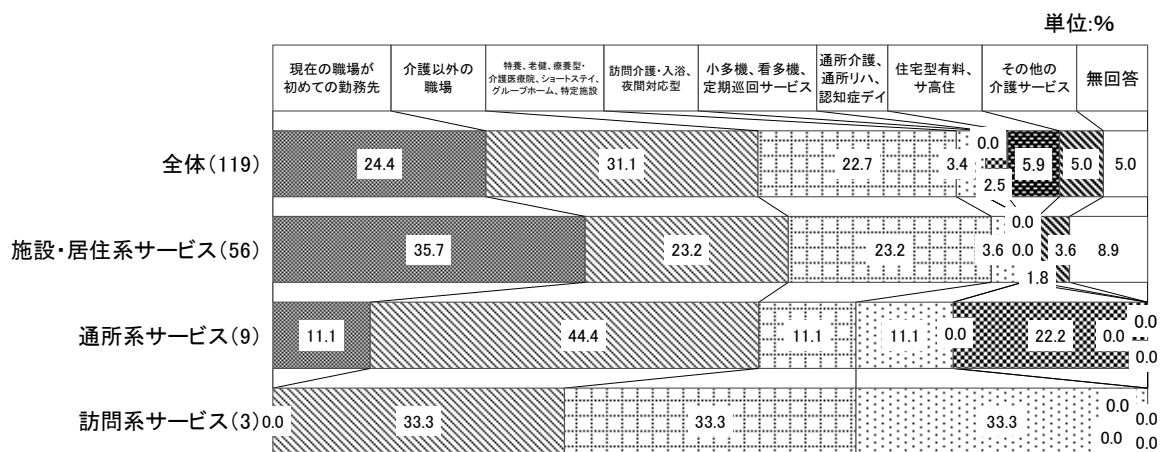


「1年以上」が81.7%を占めており、「1年未満」は18.1%です。

各サービスとも「1年以上」が8割以上となっており、通所系サービスと訪問系サービスでは「1年以上」が9割強と大半を占めています。

(4) 現在の事業所に勤務する直前の職場のサービス種別

現在の事業所に勤務する直前の職場について、以下にご回答ください。(1つに○)



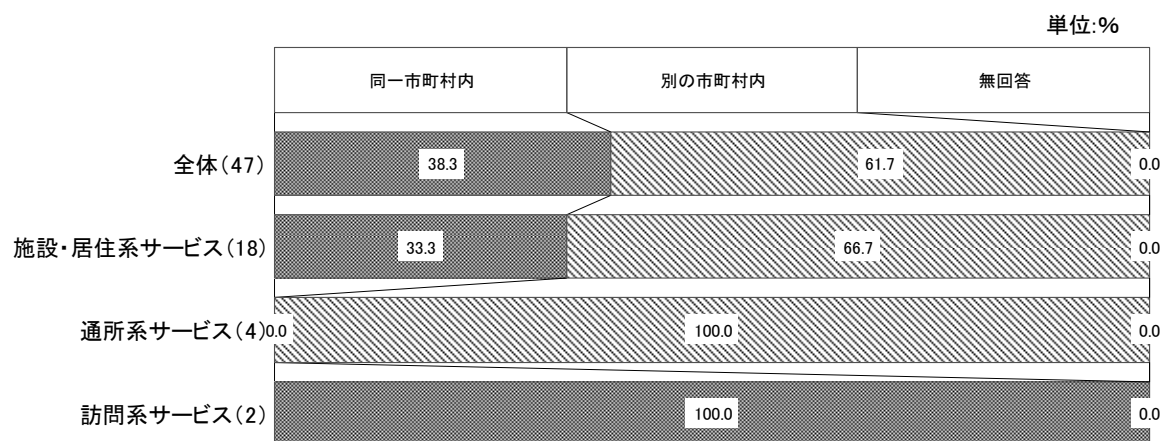
現在の勤務年数が1年未満と回答した職員に対して、現在の事業所に勤務する直前の職場について調査したところ、「介護以外の職場」が31.1%で最も多く、「現在の職場が初めての勤務先」が24.4%、「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」が22.7%で続きます。

施設・居住系サービスでは「現在の職場が初めての勤務先」が35.7%であり、「介護以外の職場」「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」を上回っています。

(5) 現在の事業所に勤務する直前の職場の場所・法人

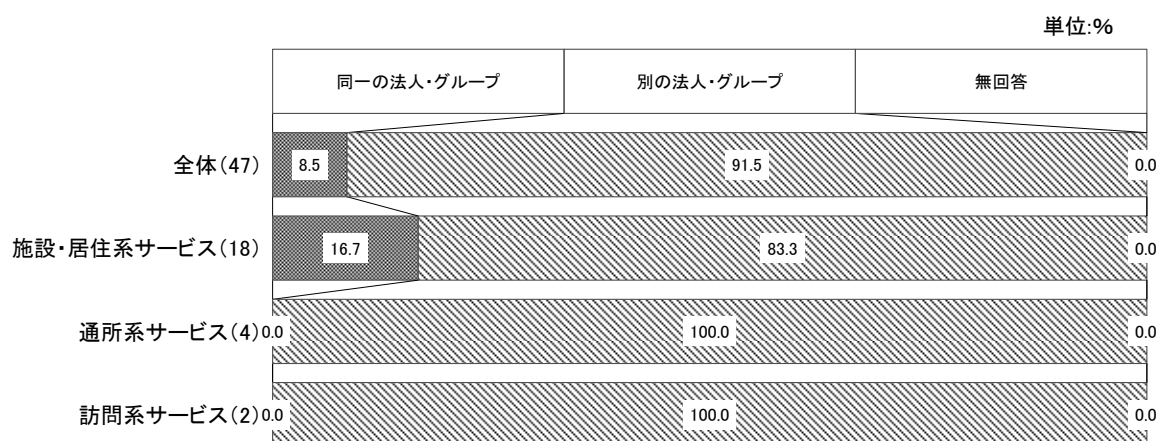
ご回答いただいた直前の職場について、以下にご回答ください。

① 場所



直前の職場が介護サービス事業所であると回答した職員に対して、その職場の所在地について調査したところ、「別の市町村内」が61.7%を占めており、「同一市町村内」は38.3%です。

② 法人



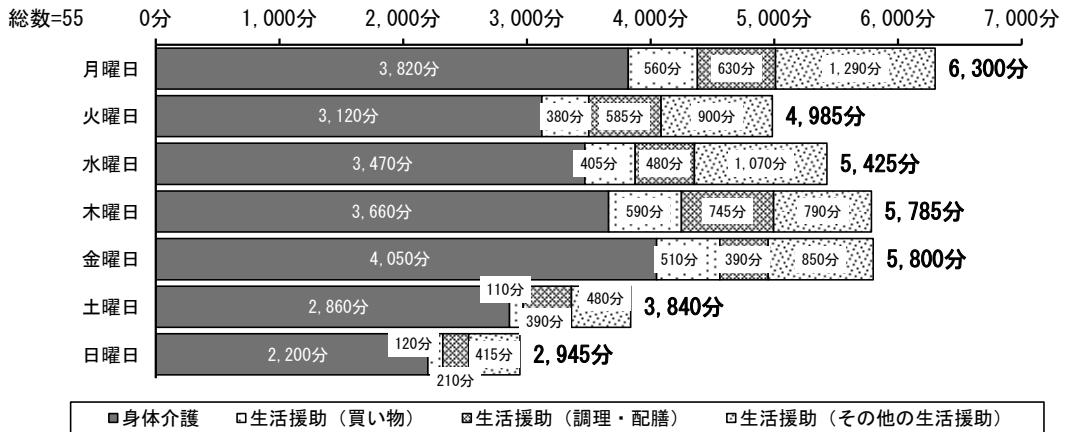
直前の職場が介護サービス事業所であると回答した職員に対して、その職場の法人について調査したところ、「別の法人・グループ」が91.5%を占めており、「同一の法人・グループ」は8.5%です。

(6) 訪問介護のサービス提供時間【訪問系調査票】

「訪問介護」「訪問入浴」「夜間対応型訪問介護」「訪問型サービス（総合事業）」「定期巡回サービス」「小規模多機能型居宅介護」「看護小規模多機能型居宅介護」に従事されている方にお聞きします。

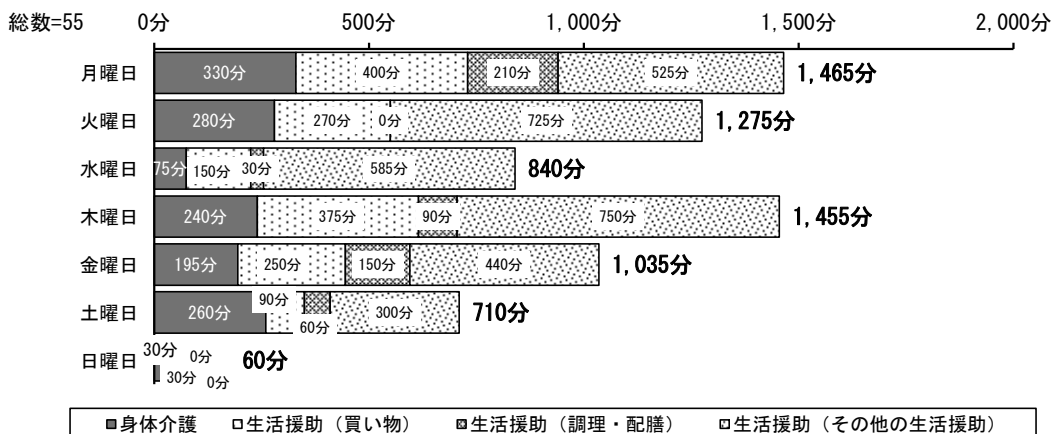
直近の1週間（7日間）について、提供した時間（分）を記入してください。

① 介護給付



各職員が回答した時間を合算したところ、身体介護と生活援助の合計時間は月曜日で6,300分（職員1人当たり114.5分）、金曜日で5,800分（職員1人当たり105.5分）、木曜日で5,785分（職員1人当たり105.2分）となっています。一方、週末の土曜日では3,840分（職員1人当たり69.8分）、日曜日では2,945分（職員1人当たり53.5分）となっています。

② 介護予防給付・総合事業

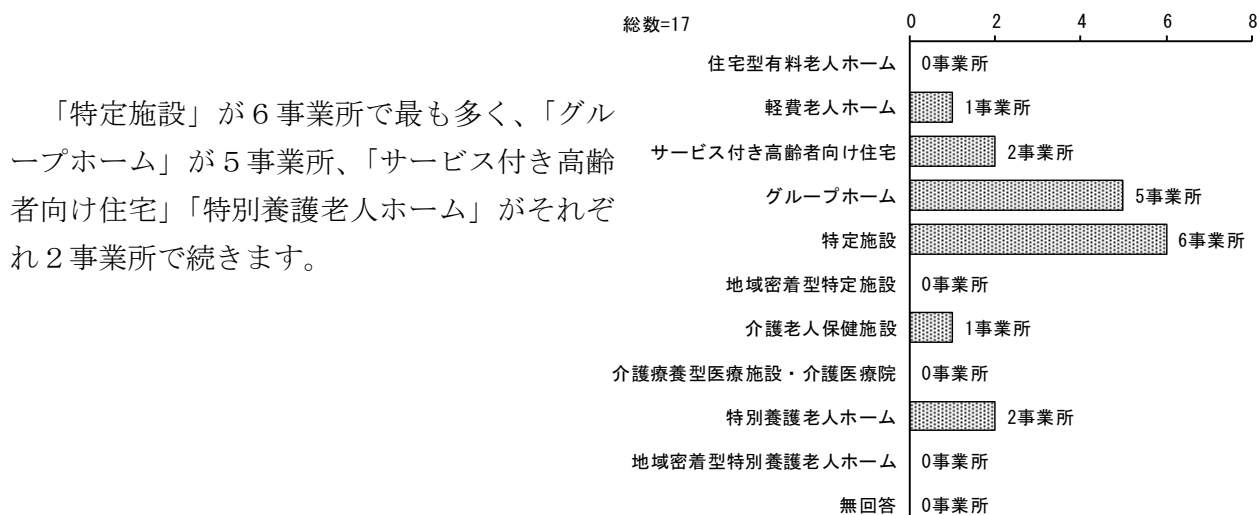


各職員が回答した時間を合算したところ、身体介護と生活援助の合計時間は月曜日で1,465分（職員1人当たり26.6分）、木曜日で1,455分（職員1人当たり26.5分）となっています。一方、週末の土曜日では710分（職員1人当たり12.9分）、日曜日では60分（職員1人当たり1.1分）となっています。

IV 居所変更実態調査

(1) サービス種別

該当するサービス種別を、ご回答ください。(1つに〇)



「特定施設」が6事業所で最も多く、「グループホーム」が5事業所、「サービス付き高齢者向け住宅」「特別養護老人ホーム」がそれぞれ2事業所で続きます。

(2) 施設等の概要

貴施設等の概要について、以下にご記入ください。

	回答事業所数	定員数	入所・入居者数	待機者数	特別養護老人ホームの待機者数
全体	17 事業所	-	825 人	259 人	63 人
軽費老人ホーム	1 事業所	46 室	49 人		
サービス付き高齢者向け住宅	2 事業所	77 戸	75 人	9 人	
グループホーム	5 事業所	99 人	85 人		2 人
特定施設	6 事業所	324 人	305 人	14 人	2 人
介護老人保健施設	1 事業所	150 人	131 人		59 人
特別養護老人ホーム	2 事業所	180 人	180 人	236 人	-

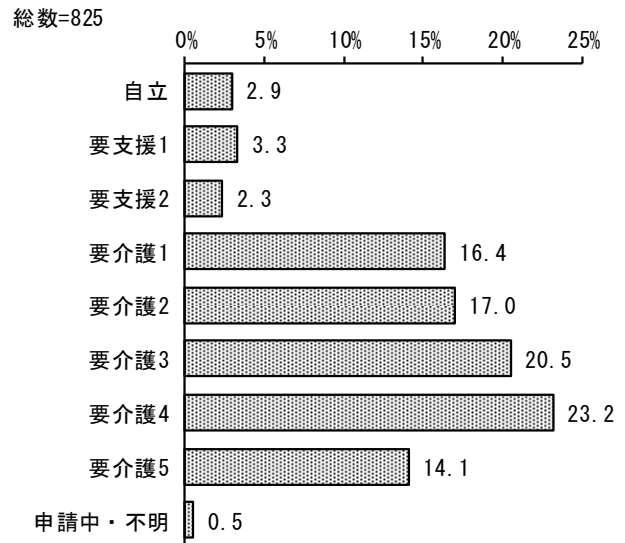
回答 17 事業所の入所・入居者の総数は 825 人で、特定施設が 305 人、特別養護老人ホームが 180 人、介護老人保健施設が 131 人となっています。

特別養護老人ホームの待機者数は 236 人です。また、介護老人保健施設、グループホーム、特定施設に入所・入居して特別養護老人ホームの入所を待機している人は 63 人です。

(3) 入所・入居者の要介護度

現在の入所・入居者の要支援・要介護度について、ご記入ください。

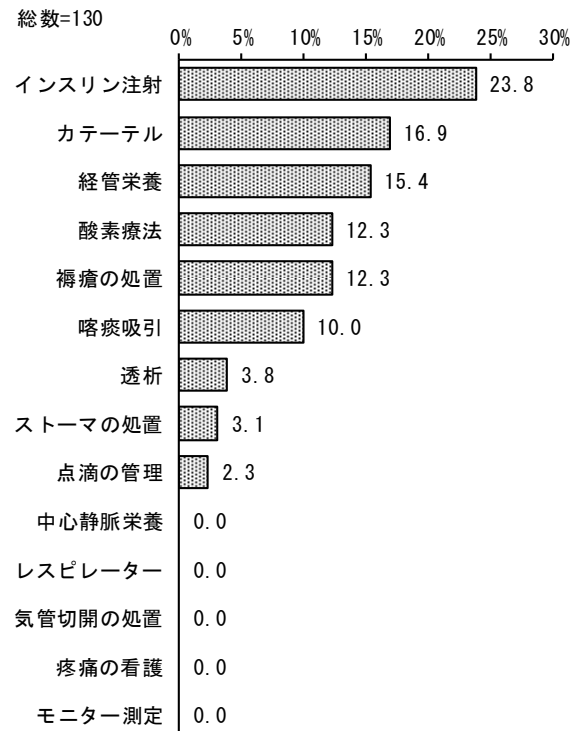
「要介護4」が23.2%で最も多く、「要介護3」が20.5%で続きます。入所・入居者全体の6割弱が要介護3～5となっています。



(4) 医療措置を受けている人の状況

以下の医療処置を受けている人数について、ご記入ください。

回答があった事業所で医療処置を受けている入所・入居者の合計は130人です。医療処置の内容は「インスリン注射」が23.8%で最も多く、「カテーテル」が16.9%、「経管栄養」が15.4%で続きます。



(5) 過去1年間の新規入居・入所者

過去1年間（令和4年3月1日～令和5年2月28日）に、貴施設等に新規で入所・入居した人の人数をご記入ください。

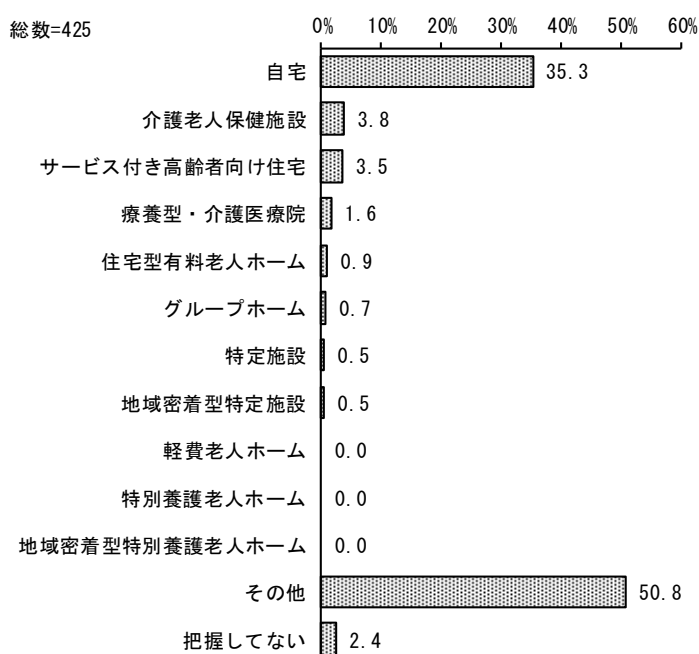
	回答事業所数	入所・入居者数
全体	17 事業所	425 人
軽費老人ホーム	1 事業所	3 人
サービス付き高齢者向け住宅	2 事業所	71 人
グループホーム	5 事業所	20 人
特定施設	6 事業所	88 人
介護老人保健施設	1 事業所	189 人
特別養護老人ホーム	2 事業所	54 人

回答17事業所の過去1年間の入所・入居者の総数は425人で、介護老人保健施設が189人、特定施設が88人、サービス付き高齢者向け住宅が71人となっています。

(6) 入居・入所前の居場所

過去1年間の新規の入所・入居者について、入所・入居する前の居場所別の人数をご記入ください。

「自宅」が35.3%となっています。なお、「その他」が50.8%と半数以上を占めています。



(7) 過去1年間の退去者

過去1年間（令和4年3月1日～令和5年2月28日）に、貴施設等を退去した人の人数をご記入ください。

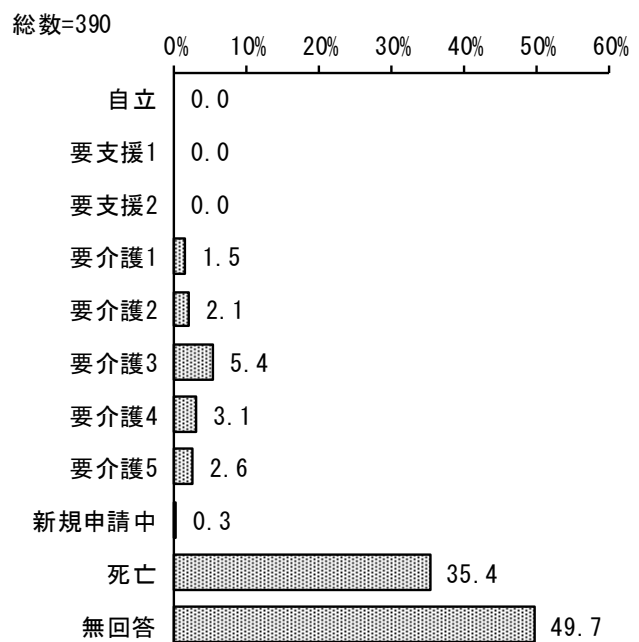
	回答事業所数	入所・入居者数
全体	17 事業所	390 人
軽費老人ホーム	1 事業所	2 人
サービス付き高齢者向け住宅	2 事業所	28 人
グループホーム	5 事業所	26 人
特定施設	6 事業所	97 人
介護老人保健施設	1 事業所	185 人
特別養護老人ホーム	2 事業所	52 人

回答 17 事業所の過去1年間の退去者の総数は 390 人で、介護老人保健施設が 185 人、特定施設が 97 人、特別養護老人ホームが 52 人となっています。

(8) 退去者の要介護度

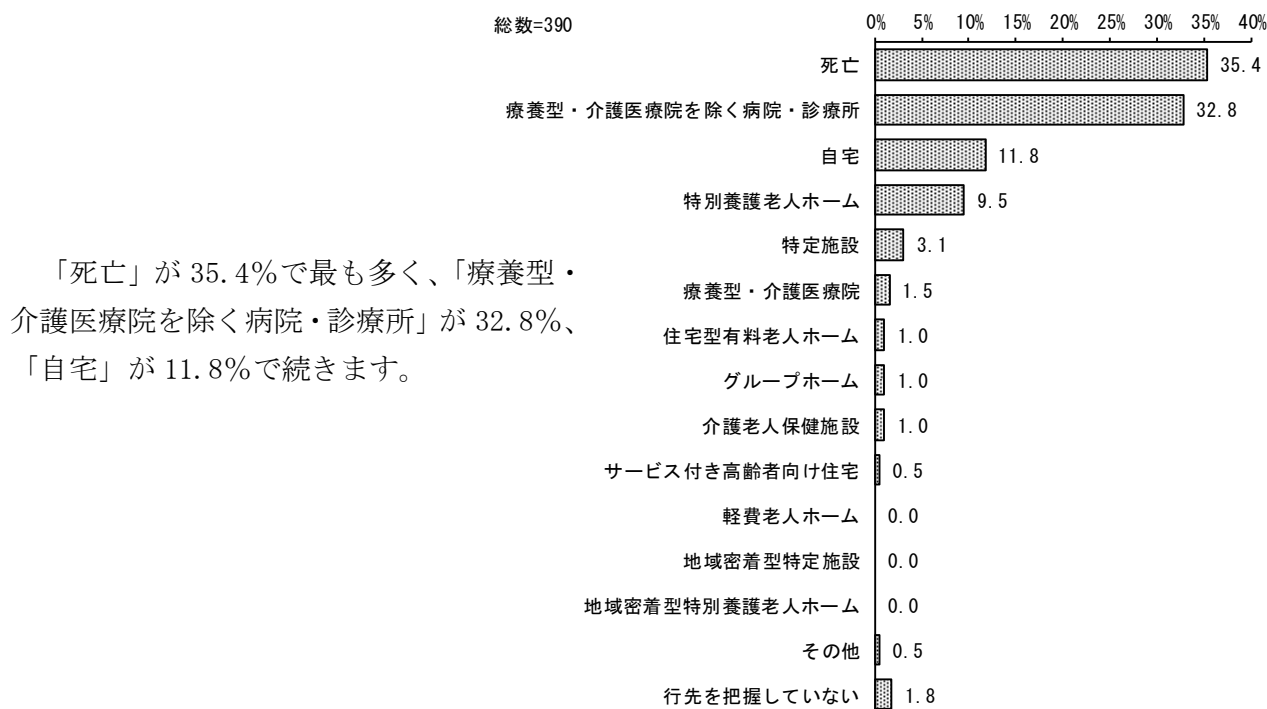
過去1年間の退去者について、要介護度別の人数をご記入ください。

「死亡」が 35.4% を占めています。介護度の回答があった中では、「要介護3」が最も多くなっています。



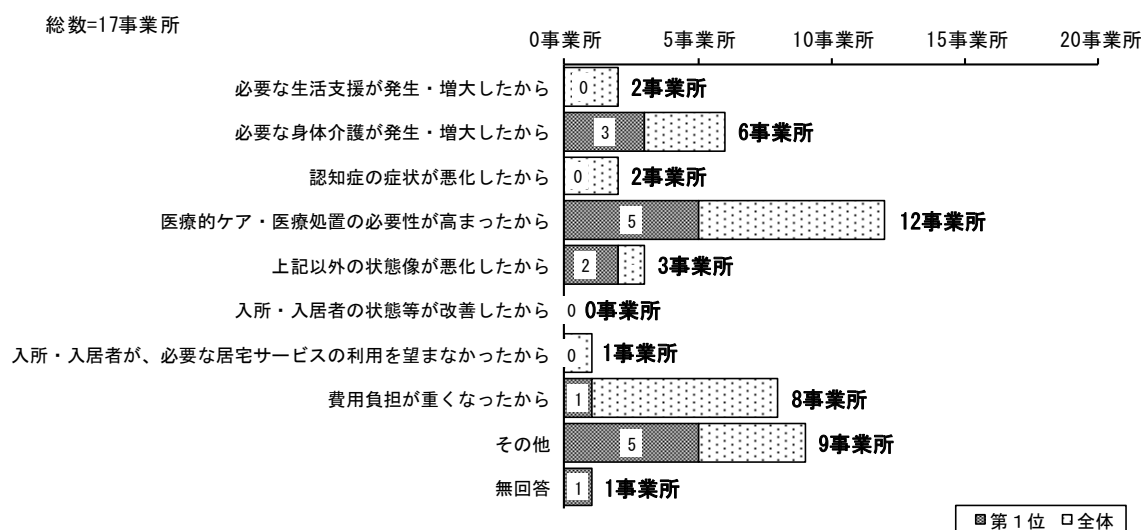
(9) 退居者の退去先

過去1年間の退居者について、退去先別の人数をご記入ください。



(10) 退去理由

貴施設等の入居・入所者が、退去する理由は何ですか。退去理由として多いものを上位3つまで選んで、該当する口に✓を付けてください。



上位3位までに選択された回答を見ると、「医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから」が12事業所で最も多く、「費用負担が重くなったから」が8事業所で続きます。

退去する理由の第1位で最も多いのは「医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから」(5事業所)であり、「必要な身体介護が発生・増大したから」(3事業所)が続きます。

V 在宅生活改善調査

1 事業所票の結果

(1) 事業所に所属するケアマネジャーの人数及び利用者数

貴事業所に所属するケアマネジャーの人数、および利用者数について、ご記入ください。

	回答事業所数	総数	平均
ケアマネジャー人数	15 事業所	39 人	2.6 人
利用者数（自宅等在住者）		1,325 人	88.3 人
利用者数（「サ高住」「住宅型有料」「軽費老人ホーム」入居者）		80 人	6.2 人

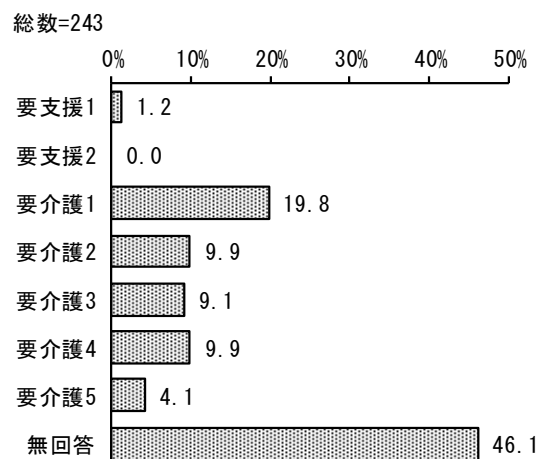
市内事業所に所属するケアマネジャーの人数は 39 人（回答のあった 15 事業所の合計）であり、1 事業所あたりの平均は 2.6 人となっています。

利用者数は、自宅等在住者が合計 1,325 人、「サ高住」「住宅型有料」「軽費老人ホーム」入居者が合計 80 人となっています。

(2) 自宅等から居場所を変更した利用者数（要介護度）

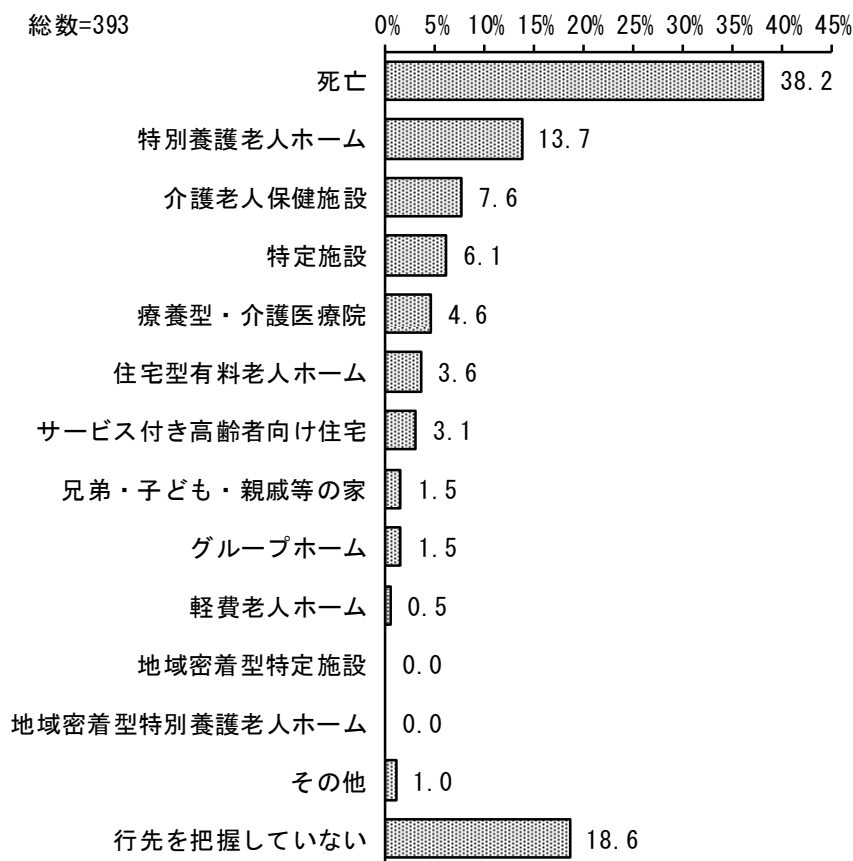
貴事業所において、過去1年の間（令和4年3月1日～令和5年2月28日）に「自宅等（※サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から、居場所を変更した利用者数（要介護度別）」をご記入ください。

「要介護1」が 19.8%で最も多くなっています。



(3) 自宅等から居場所を変更した利用者数（行き先）

貴事業所において、過去1年の間（令和4年3月1日～令和5年2月28日）に「自宅等（※サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から居場所を変更した利用者数（行き先別）」をご記入ください。



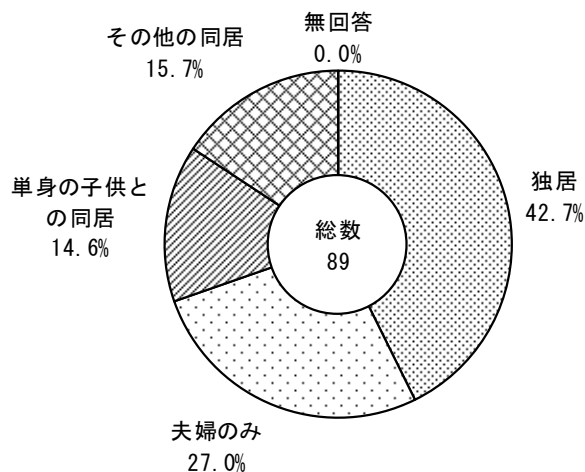
「死亡」が38.2%で最も多く、「特別養護老人ホーム」が13.7%、「介護老人保健施設」が7.6%で続きます。

2 利用者票の結果

(1) 現在のサービス利用では生活の維持が難しくなっている利用者の状況

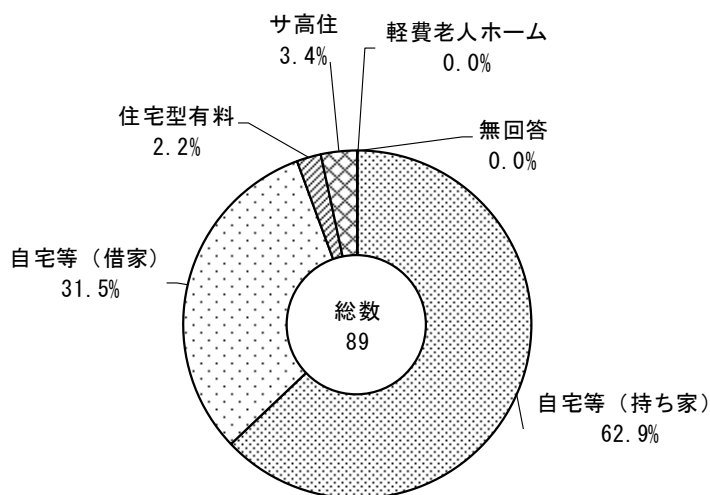
対象となる利用者の状況等について、お伺いします。

① 世帯類型



自宅等で生活している要支援・要介護高齢者のうち、生活の維持が困難になり始めている人の世帯類型は、「独居」が42.7%で最も多く、「夫婦のみ」が27.0%で続きます。

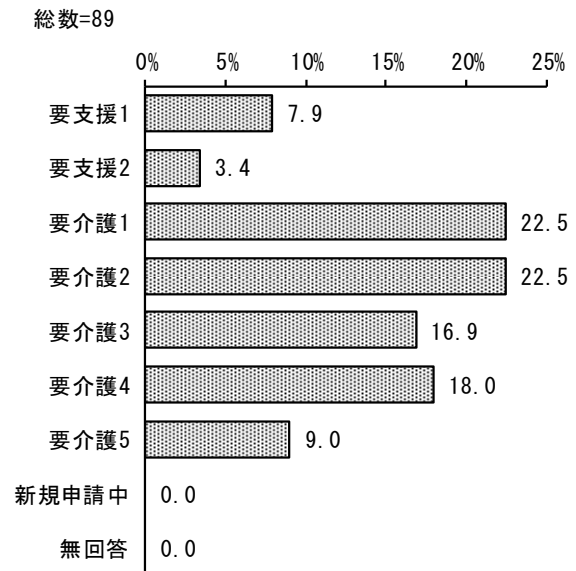
② 現在の居所



現在の居所は、「自宅（持ち家）」が62.9%で最も多く、「自宅等（借家）」が31.5%で続いており、利用者の大半が自宅を居所としています。

③ 要支援・要介護度

「要介護1」「要介護2」がそれぞれ22.5%とも多くなっており、「要介護4」が18.0%続きます。利用者全体の6割弱が要介護2以下となっています。



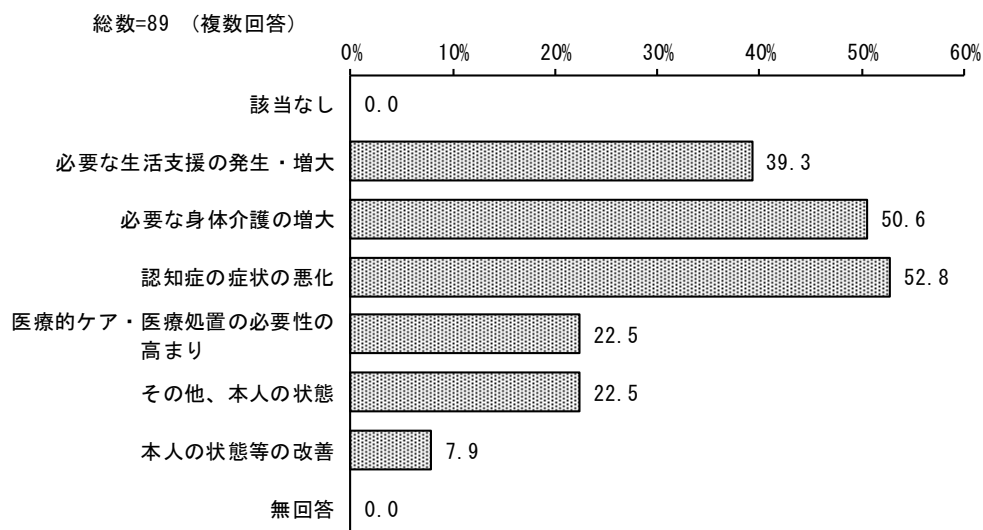
	回答数	割合	世帯類型				居所			要介護度	
			独居	夫婦のみ世帯	単身の子どもの同居	その他世帯	自宅等(持ち家)	自宅等(借家)	サ高住・住宅型有料・軽費	要介護2以下	要介護3以上
1	14人	15.7%	★					★		★	
2	12人	13.5%		★			★				★
3	11人	12.4%	★				★			★	
4	10人	11.2%				★	★				★
5	8人	9.0%			★		★			★	
6	6人	6.7%		★			★			★	
7	4人	4.5%	★				★				★
7	4人	4.5%	★					★			★
7	4人	4.5%				★	★			★	
10	3人	3.4%	★						★		★
10	3人	3.4%		★				★		★	
10	3人	3.4%		★				★			★
13	2人	2.2%	★						★	★	
13	2人	2.2%			★			★		★	
13	2人	2.2%			★			★			★
16	1人	1.1%			★		★				★
合計	89人	100.0%									

世帯類型、現在の居所、要支援・要介護度を組み合わせてみると、最も多いパターンの利用者は「独居で、自宅等（借家）に住み、要介護2以下の高齢者」であり、全体の15.7%となっています。

(2) 在宅生活の維持が難しくなっている理由

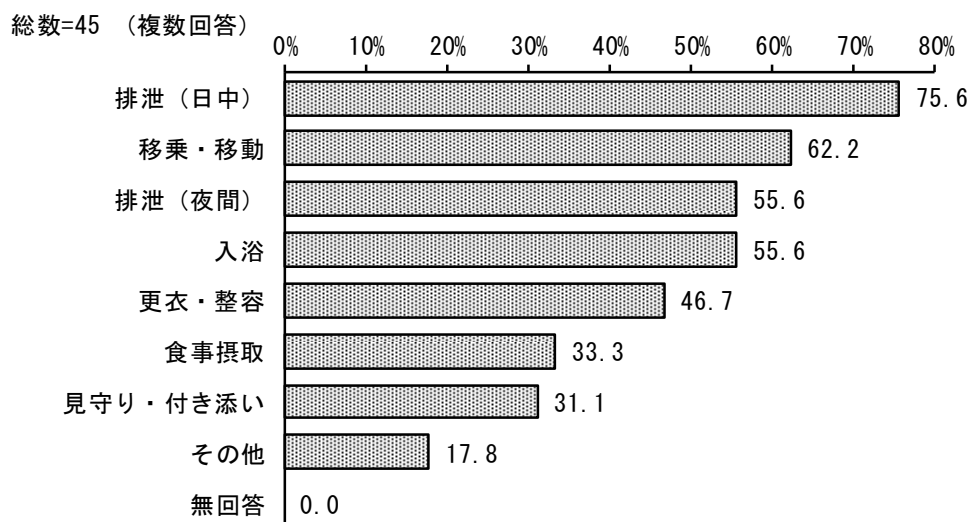
現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お伺いします。

① 本人の状態等に属する理由



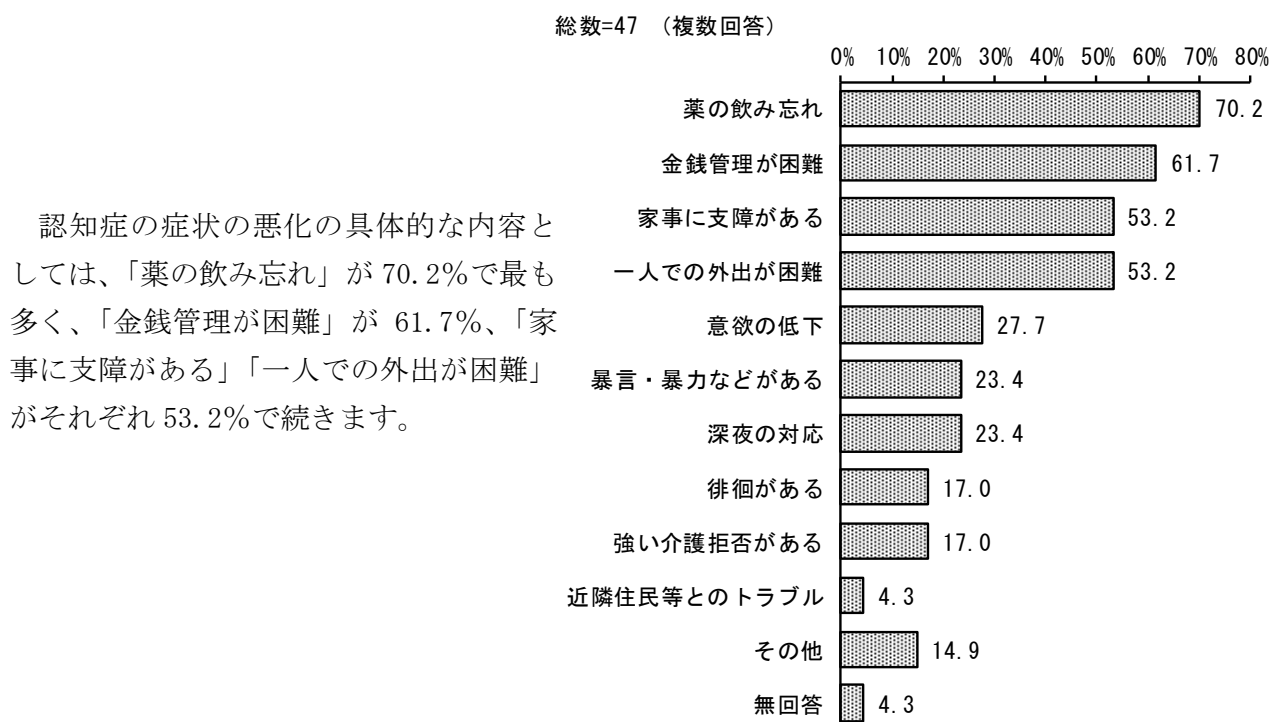
「認知症の症状の悪化」が52.8%で最も多く、「必要な身体介護の増大」が50.6%、「必要な生活支援の発生・増大」が39.3%で続きます。

● 必要な身体介護の増大が理由の場合の具体的な身体介護の内容

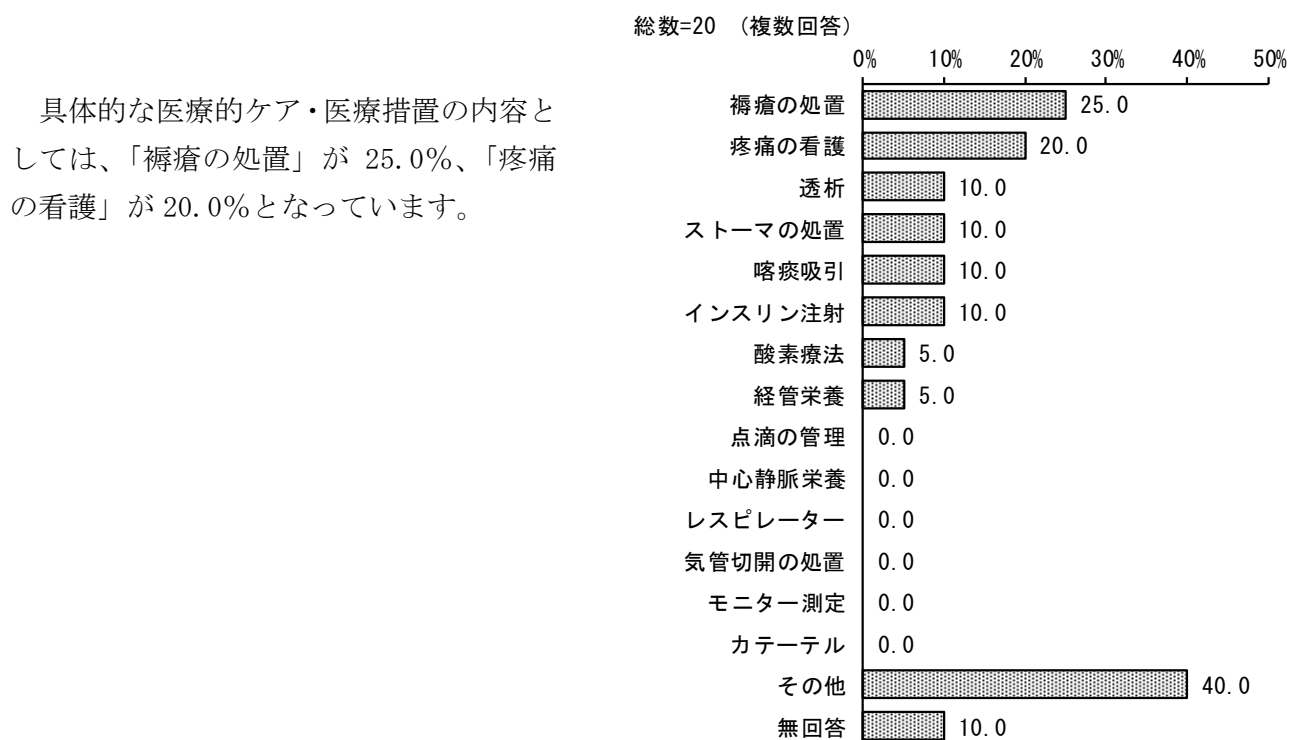


具体的な身体介護の内容としては、「排泄 (日中)」が75.6%で最も多く、「移乗・移動」が62.2%、「排泄 (夜間)」「入浴」がそれぞれ55.6%で続きます。

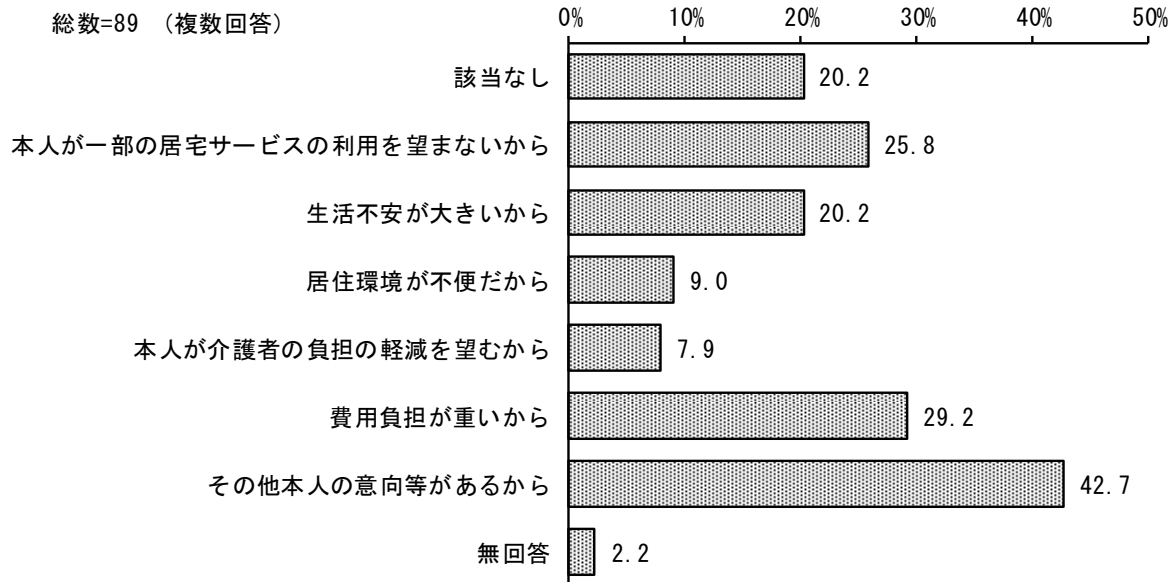
● 認知症の症状の悪化が理由の場合の具体的内容



● 医療的ケア・医療措置の必要性の高まりが理由の場合の具体的内容

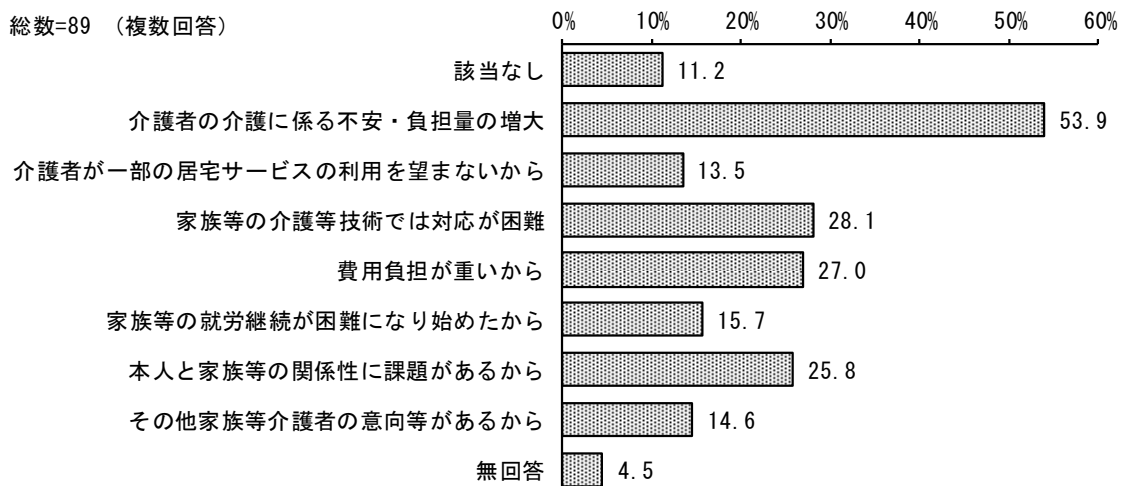


② 主に本人の意向等に属する理由



「費用負担が重いから」が 29.2%、「本人が一部の居宅サービスの利用を望まないから」が 25.8%となっています。また、「その他本人の意向等があるから」が 42.7%を占めています。

③ 主に家族等介護者の意向・負担等に属する理由



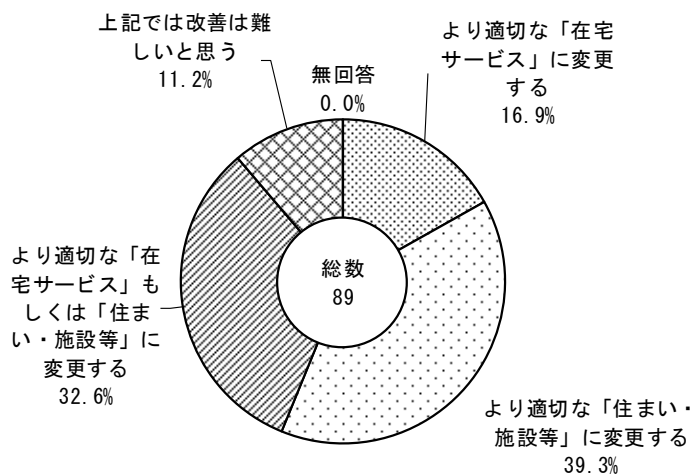
「介護者の介護に係る不安・負担量の増大」が 53.9%で最も多く、「家族等の介護等技術では対応が困難」が 28.1%、「費用負担が重いから」が 27.0%で続きます。

(3) 在宅生活の維持が難しい状況を改善するためのサービス

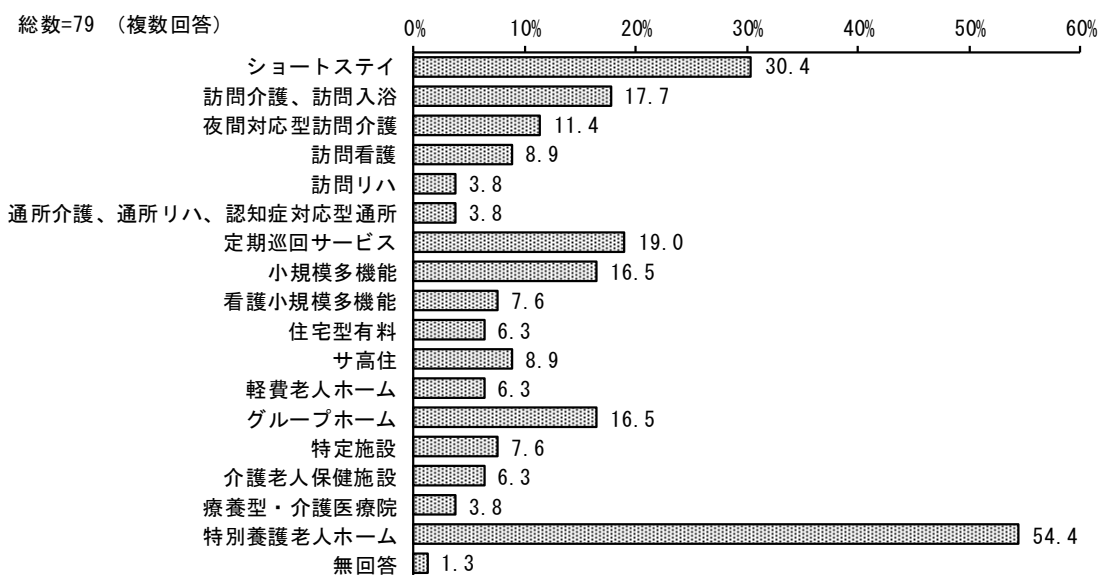
「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている」状況を改善するための、サービス利用の変更等について、お伺いします。

① 変更することで改善が期待できるサービス

「より適切な「住まい・施設等」に変更する」が 39.3%で最も多く、「より適切な「在宅サービス」もしくは「住まい・施設等」に変更する」が 32.6%、「より適切な「在宅サービス」に変更する」が 16.9%で続きます。

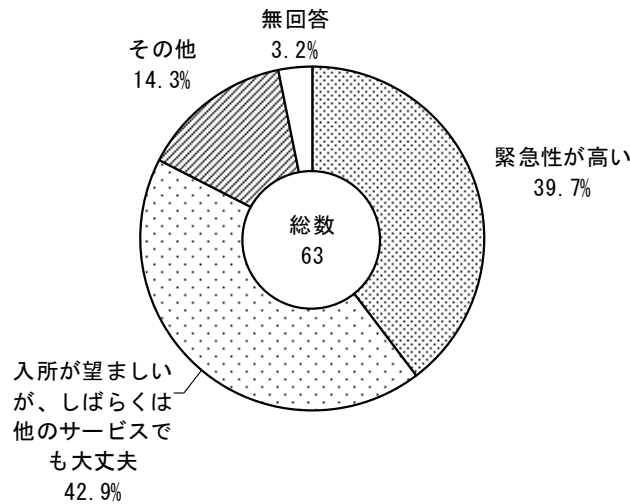


② より適切と思われる具体的なサービス



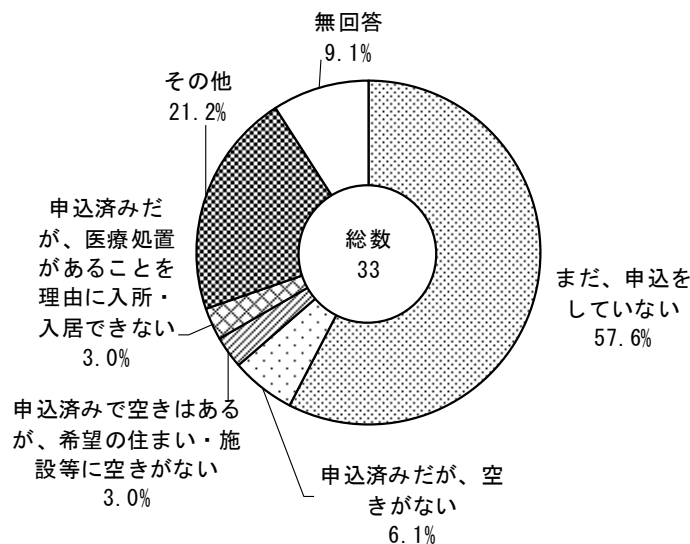
「特別養護老人ホーム」が 54.4%で最も多く、「ショートステイ」が 30.4%、「定期巡回サービス」が 19.0%で続きます。

● 住まい・施設等が適切と思われる利用者の入所・入居の緊急度



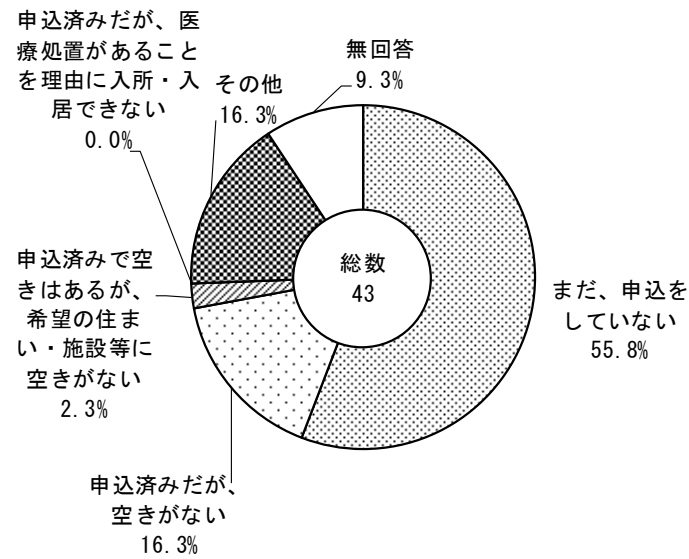
住まい・施設等（住宅型有料、サ高住（特定施設除く）、軽費老人ホーム、グループホーム、特定施設、介護老人保健施設、療養型・介護医療院、特別養護老人ホーム）が適切と思われる利用者の緊急度については、「入所が望ましいが、しばらくは他のサービスでも大丈夫」が42.9%で最も多く、「緊急性が高い」が39.7%で続きます。

● 住まい・施設等が適切と思われる利用者が入所・入居できていない理由



特別養護老人ホームを除く住まい・施設等が適切と思われる利用者が入所・入居できていない理由としては、「まだ、申し込みをしていない」が57.6%を占めています。「申込みだが、空きがない」は6.1%、「申込みで空きはあるが、希望の住まい・施設等に空きがない」「申込みだが、医療措置があることを理由に入所・入居できない」はそれぞれ3.0%となっています。

● 特別養護老人ホーム入所が適切と思われる利用者が入所できていない理由



特別養護老人ホームが適切と思われる利用者が入所できていない理由としては、「まだ、申し込みをしていない」が 55.8%を占めています。「申込済みだが、空きがない」は 16.3%、「申込済みで空きはあるが、希望の住まい・施設等に空きがない」は 2.3%となっています。

❖ 資料編 ❖

I 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

★ご記入にあたってのお願い★

1. 回答にあたっては、封筒のあて名をご本人についてご記入ください。回答は、できるだけご本人がご記入ください。ご本人の記入が困難な場合は、ご本人のお気持ちや、お考えをききながら、ご家族や介護者の方が代わってご回答ください。
2. この調査の対象の方は、令和5年1月31日現在、本市にお住まいの65歳以上の方を抽出させていただいておりますので、その後転出された方やお亡くなりになられた方あてに送付された場合はご容赦ください。
3. お答えは、あてはまる番号を○で囲んでください。「その他」にあてはまる場合は、欄（ ）内なるべく具体的にその内容をご記入ください。数字をうかがう質問では、欄に右詰め（例：体重65キロの場合、 kg）でご記入ください。
4. **調査票記入後は、令和5年3月31日（金）までに、同封の返信用封筒に入れて、ポスト又は※公共施設等に設置した回収箱に投函してください。切手は不要です。**

※駅前出張所、保健センター、老人福祉センター・寿楽荘、老人福祉センター・すえひろ荘、東部地域包括支援センターやしお苑、西部地域包括支援センター・ケアセンター・八潮、南部地域包括支援センター・埼玉回生病院、北部地域包括支援センターやしお寿苑
本調査の実施・分析は八潮市より、株式会社社会構想研究所に委託しています。

【調査についてのお問い合わせ先】

八潮市役所長寿介護課高齢者政策係
電話（048）996-2111（内線 447・490）
月～金 午前8時30分～午後5時15分
（土日・祝日は除く）

【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】ご協力のおお願い

市民の皆さまには、日頃から八潮市の高齢者福祉行政に対してご理解・ご協力をいただき、厚く感謝申し上げます。

さて、本市では、令和6年度から令和8年度までを計画期間とする「第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」策定の基礎資料とするため、皆さまの生活実態と意向を把握するアンケート調査を実施することといたしました。

この調査の実施にあたり、介護保険の事業対象者、要支援1、2の認定を受けている方、及び65歳以上の要介護認定を受けていない方の中から無作為に抽出した方に、調査票を送付させていただいております。

ご協力いただいた回答は統計的に処理いたしますので、個々のご回答の内容が公表されることはありませんのでご安心ください。

なお、今回の調査については、全国統一の調査項目を基本とすることとなっておりますので、調査内容によりお体の状態にそぐわない項目があった場合でも、記入できる範囲でご協力くださるようお願い申し上げます。

令和5年3月

八潮市長 大山 忍

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および調査結果の活用目的は以下のとおりです
で、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護および調査結果の活用目的について】

- この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、本市による高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、本市で適切に管理いたします。
- ただし、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する本市外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

○この調査票や返信用封筒に、ご住所やお名前等の個人情報を入力されたいよう、ご注意ください。

【調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください】

1. あて名の本人が記入 3. その他 ()

2. ご家族が記入 (あて名のご本人からみた続柄 → [])

【あて名ご本人の認定状況（令和5年2月28日現在）をお教えてください】

1. 介護認定を受けていない 3. 要支援1

2. 事業対象者 4. 要支援2

【問1 あなたのご家族や生活状況について】

(1) 家族構成をお教えてください

1. 1人暮らし 4. 息子・娘との2世帯

2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) 5. その他 ()

3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

1. 介護・介助は必要ない

2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない

3. 現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

《(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ》

①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか (いくつでも)

1. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) 9. 腎疾患 (透析)

2. 心臓病 10. 視覚・聴覚障害

3. がん (悪性新生物) 11. 骨折・転倒

4. 呼吸器の病気 (肺炎・肺気腫・肺炎等) 12. 骨格損傷

5. 関節の病気 (リウマチ等) 13. 高齢による衰弱

6. 認知症 (アルツハイマー病等) 14. その他 ()

7. パーキンソン病 15. 不明

8. 糖尿病

《(2)において「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ》

②主にどなたの介護・介助を受けていますか (いくつでも)

1. 配偶者(夫・妻) 4. 子の配偶者 7. 介護サービスのヘルパー

2. 息子 5. 孫 8. その他 ()

3. 娘 6. 兄弟・姉妹

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

1. 大変苦しい 4. ややゆとりがある

2. やや苦しい 5. 大変ゆとりがある

3. ぶつ

(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

1. 持家 (一戸建て) 4. 民間賃貸住宅 (一戸建て) 7. その他 ()

2. 持家 (集合住宅) 5. 民間賃貸住宅 (集合住宅)

3. 公営賃貸住宅 6. 借家

【問2 からだを動かすことについて】

(1) 階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていません 3. できない

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていません 3. できない

(3) 15分位続けて歩いていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていません 3. できない

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか

1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない

(5) 転倒に対する不安は大きいですか

1. とても不安である 3. あまり不安でない

2. やや不安である 4. 不安でない

(6) 週に1回以上は外出していますか

1. ほとんど外出しない 3. 週2~4回

2. 週1回 4. 週5回以上

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

1. とても減っている 3. あまり減っていない

2. 減っている 4. 減っていない

(8) 外出を控えていますか

1. はい 2. いいえ

《(8)で「1. はい、はい」(外出を控えている)の方のみ》

①外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも)

- 1. 病気
- 2. 障害(脳卒中の後遺症など)
- 3. 足腰などの痛み
- 4. トイレの心配(失禁など)
- 5. 耳の障害(聞こえの問題など)
- 6. 目の障害
- 7. 外での楽しみがない
- 8. 経済的に出られない
- 9. 交通手段がない
- 10. その他()

(9) 外出する際の移動手段は何ですか(いくつでも)

- 1. 徒歩
- 2. 自転車
- 3. ハイフ
- 4. 自動車(自分で運転)
- 5. 自動車(人に乗せてもらう)
- 6. 電車
- 7. 路線バス
- 8. 病院や施設のバス
- 9. 車いす
- 10. 電動車いす(カート)
- 11. 歩行器・シルバーカー
- 12. タクシー
- 13. その他()

【問3 食べることについて】

(1) 身長・体重

身長 cm 体重 kg

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

- 1. はい
- 2. いいえ

(3) お茶や汁物等でむせることがありますか

- 1. はい
- 2. いいえ

(4) 口の渾きが気になりますか

- 1. はい
- 2. いいえ

(5) 歯磨き(人にやらしてもら場合も含む)を毎日していますか

- 1. はい
- 2. いいえ

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

- 1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
- 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
- 3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
- 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

①噛み合わせは良いですか

- 1. はい
- 2. いいえ

《(6)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ》

②毎日入れ歯の手入れをしていますか

- 1. はい
- 2. いいえ

(7) 6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか

- 1. はい
- 2. いいえ

(8) どなたかと食事をともにする機会はありますか

- 1. 毎日ある
- 2. 週に何度かある
- 3. 月に何度かある
- 4. 年に何度かある
- 5. ほとんどない

【問4 毎日の生活について】

(1) 物忘れが多いと感じますか

- 1. はい
- 2. いいえ

(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

- 1. はい
- 2. いいえ

(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか

- 1. はい
- 2. いいえ

(4) バスや電車をを使って1人で外出していますか(自家用車でも可)

- 1. できるし、している
- 2. できるけどしていない
- 3. できない

(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか

- 1. できるし、している
- 2. できるけどしていない
- 3. できない

(6) 自分で食事の用意をしていますか

- 1. できるし、している
- 2. できるけどしていない
- 3. できない

(7) 自分で請求書の支払いをしていますか

1. できるし、している 2. できるけどしてない 3. できない

(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか

1. できるし、している 2. できるけどしてない 3. できない

(9) 年金などの書類（住所や病院などに出す書類）が書けますか

1. はい 2. いいえ

(10) 新聞を読んでいますか

1. はい 2. いいえ

(11) 本や雑誌を読んでいますか

1. はい 2. いいえ

(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか

1. はい 2. いいえ

(13) 友人の家を訪ねていますか

1. はい 2. いいえ

(14) 家族や友人の相談のっていますか

1. はい 2. いいえ

(15) 病人を見舞うことができますか

1. はい 2. いいえ

(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか

1. はい 2. いいえ

(17) 趣味はありますか

1. 趣味あり 2. 思いつかない

(18) 生きがいはありますか

1. 生きがいあり 2. 思いつかない

【問5 地域での活動について】

(1) 以下のような会・グループ等にとのくらの頻度で参加していますか

※① - ⑥それぞれに回答してください

	週4回 以上	週2 ~3回	週1回	月1 ~3回	年に 数回	参加して いない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 介護予防のための通いの場 ・若返るぞ！シニア体操教室 ・介護予防体操教室 ・ころぼん介護予防教室 ・梅の体操教室 ・オーラルフレイル予防教室 ・おいしく食べよう栄養教室 ※上記通いの場に複数参加している場 合は、合計数で回答してください。	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

1. 是非参加したい 3. 参加したくない
2. 参加してもよい 4. 既に参加している

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか

1. 是非参加したい 3. 参加したくない
2. 参加してもよい 4. 既に参加している

【問6 たすけあいについて】

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

1. 配偶者 5. 近隣
2. 同居の子ども 6. 友人
3. 別居の子ども 7. その他（ ）
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 8. そのような人はいない

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげてくれる人（いくつでも）

1. 配偶者	5. 近隣
2. 同居の子ども	6. 友人
3. 別居の子ども	7. その他（ ）
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	8. そのような人はいない

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

1. 配偶者	5. 近隣
2. 同居の子ども	6. 友人
3. 別居の子ども	7. その他（ ）
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	8. そのような人はいない

(4) 反対に、看病や世話をしてあげてくれる人（いくつでも）

1. 配偶者	5. 近隣
2. 同居の子ども	6. 友人
3. 別居の子ども	7. その他（ ）
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	8. そのような人はいない

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも）

1. 町会・自治会・老人クラブ	5. 地域包括支援センター・役所
2. 社会福祉協議会・民生委員	6. その他（ ）
3. ケアマネジャー	7. そのような人はいない
4. 医師・歯科医師・看護師	

(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか

1. 毎日ある	3. 月に何度かある	5. ほとんどない
2. 週に何度かある	4. 年に何度かある	

(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか
同じ人には何度かあっても1人と数えることとします

1. 0人（いない）	3. 3～5人	5. 10人以上
2. 1～2人	4. 6～9人	

(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（いくつでも）

1. 近所・同じ地域の人	5. 趣味や関心が同じ友人
2. 幼なじみ	6. ボランティア等の活動での友人
3. 学生時代の友人	7. その他（ ）
4. 仕事での同僚・元同僚	8. いない

【問7 健康について】

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか

1. とてもよい	3. あまりよくない
2. まあよい	4. よくない

(2) あなたは、現在のどの程度幸せですか
（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）

とても不幸	とても幸せ									
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(5) お酒は飲みますか

1. ほぼ毎日飲む	3. ほとんど飲まない
2. 時々飲む	4. もともと飲まない

(6) タバコは吸っていますか

1. ほぼ毎日吸っている	3. 吸っていたがやめた
2. 時々吸っている	4. もともと吸っていない

(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（いくつでも）

1. ない	11. 外傷（転倒・骨折等）
2. 高血圧	12. がん（悪性新生物）
3. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	13. 血液・免疫の病気
4. 心臓病	14. うつ病
5. 糖尿 病	15. 認知症（アルツハイマー病等）
6. 高脂血症（脂質異常）	16. パーキンソン病
7. 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	17. 目の病気
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気	18. 耳の病気
9. 腎臓・前立腺の病気	19. その他（ ）
10. 筋骨格の病気（肩こり・腰痛、関節症等）	

【問8 認知症にかかる相談窓口の把握について】

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

1. はい
2. いいえ

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

1. はい
2. いいえ

【問9 市の高齢者施策等について】

(1) 市では、地域で暮らす高齢者を保健、医療、福祉、介護など様々な面から総合的に支援するため、総合相談窓口として「地域包括支援センター」を市内に4か所設置していますが、あなたはご存知ですか。

- ・ 東部地域包括支援センターやお苑（南川崎210番地 1）
- ・ 西部地域包括支援センターヶアセンター八潮（鶴ヶ巻根 1184 番地 4）
- ・ 南部地域包括支援センター埼玉生病院（大原 455 番地）
- ・ 北部地域包括支援センターやお寿苑（八條 294 番地 4）

1. 知っている
2. 知らない

《(1)で「1. 知っている」の方のみ》

①「地域包括支援センター」を利用していますか。

1. 利用している
2. 利用していない

(2) 市では、身体的虐待、経済的虐待、介護放棄などの高齢者虐待の防止、早期発見、早期対応のため、4か所の地域包括支援センターと市の長寿介護課が高齢者虐待の相談窓口となっています。

あなたは、「相談窓口」をご存知ですか。

1. 知っている
2. 知らない

(3) 市内では、高齢者の心身の健康維持及び介護予防のため、地域での交流の場として「高齢者ふれあいの家」を7か所開設していますが、あなたはご存知ですか。

- ・ たんぽぽカフェ（八條 2835 番地 15）
- ・ カフェしおとめ（伊勢野 257 番地 シルバー人材センター内）
- ・ ハルコカフェ（緑町二丁目 25 番地 19）
- ・ ふれあいの家の茶の間（中央一丁目 5 番地 13）
- ・ ふれんど（大曾根 452 番地 5）
- ・ ボコカフェはあべの家（八潮六丁目 8 番地 12）
- ・ こうゆう（圀17番地）

1. 知っている
2. 知らない

《(3)で「1. 知っている」の方のみ》

①「高齢者ふれあいの家」を利用していますか。

1. 利用している
2. 利用していない

(4) 市では、在宅で生活する高齢者やその家族を支援するため、高齢者在宅福祉サービスを行っています。

あなたは下記サービスのうち、利用している、または利用したいサービスはどれですか。(いくつでも)

1. 救急医療情報キットの配布
2. 緊急時通報システムサービス
3. 紙おむつの給付
4. 訪問理美容サービス
5. 配食・安否確認サービス
6. 家具転倒防止器具等取付サービス
7. 日常生活用具の給付・貸与
8. 徘徊高齢者家族支援サービス

(5) あなたは、高齢者在宅福祉サービスの情報を、どこから得ていますか。(いくつでも)

1. 家族や親族
2. 友人・知人
3. 医療機関
4. 民生委員
5. 地域包括支援センター
6. ケアマネジャーなど介護職員
7. 市の広報紙
8. 市のホームページ
9. 市役所の職員
10. テレビや新聞
11. インターネット
12. その他（ ）

(6) 市では、認知症になっても、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、認知症に関する正しい知識と理解の普及、認知症の早期発見や状態に応じた相談等の認知症総合施策を推進しています。あなたは知っていますか。あなたはありますか。(いくつでも)

1. 認知症サポーター
2. オレンジカフェ（認知症カフェ）
3. 徘徊高齢者早期発見ネットワーク
4. 徘徊高齢者家族支援（位置情報システム）補助、見守りシールの配布
5. 認知症地域支援推進員
6. 成年後見制度

※5、「認知症地域支援推進員」は、認知症の方ができる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、地域の実情に応じて医療機関、介護サービス事業者等や地域の支援機関をつなぐ連携の支援や認知症の人やその家族を支援する相談業務等を行う人を行います。

※6、「成年後見制度」は、認知症、知的障がいなどの理由で判断能力が十分でない方々の財産や権利を守り、支援する制度です。

(7) 市では、多年にわたり社会に貢献してきた高齢者に敬意を表すため、80歳、88歳、100歳の方に長寿祝金を支給しています。現在、平均寿命が男性 81.47 歳、女性 87.57 歳（2022 年時点）となっています。あなたは長寿祝金を何歳に支給すべきだと考えますか。(ひとつに○)

1. 80歳
2. 88歳
3. 90歳
4. 100歳
5. 必要ない
6. その他（ ）

【問10 今後の意向や要望について】

(1) 健康維持や介護予防のために、ご自身で取り組んでいることはありますか。

(いくつでも)

1. 市の事業に参加している	5. ウォーキングやラジオ体操など自分で体を動かすようにしている
2. サークル活動などに参加している	6. その他 ()
3. 民間のサービスを利用している	
4. ボランティア活動に参加している	

(2) 市では、加齢による身体機能の低下を予防し、心身の機能向上を図る介護予防事業や、自らの健康状態をチェックすることで虚弱な状態を早期に発見し、行動変容を促進するフレイルチェック事業を行っています。

あなたは、市が行う介護予防事業やフレイルチェック事業を知っていますか。

1. 知っているし、参加している	3. 知らない
2. 知っているけど参加していない	

※「フレイル」とは、加齢による筋力、認知機能、社会とのつながりの低下により引き起こされる虚弱な状態をいいます。

《(2)で「2. 知っているけど参加していない」の方のみ》

①参加していない理由は何ですか。(いくつでも)

1. まだ必要ないと考えている	3. 市以外のサービスを利用している
2. 市が行う事業に参加したいメニューがない	4. その他 ()

(3) 市が行う介護予防事業やフレイルチェック事業の情報をどこから得ていますか。

(いくつでも)

1. 家族や親族	8. 市のホームページ
2. 友人・知人	9. 市役所の職員
3. 医療機関	10. 840メール
4. 民生委員	11. テレビや新聞
5. 地域包括支援センター	12. インターネット
6. ケアマネジャーなど介護職員	13. その他 ()
7. 市の広報紙	

(4) 介護保険料は、市全体の介護サービスの利用状況等から3年ごとに決定されており、サービスを拡大・充実させると保険料は高くなります。あなたは、介護保険のサービス水準と保険料についてどのように考えますか。(ひとつに○)

1. サービスも保険料も今の水準でよい
2. 保険料を高くしても、サービス水準を上げてほしい
3. サービス水準を下げても、保険料を安くしてほしい
4. 保険料は変えずにサービス水準を上げてほしい

(6) 仮に、あなたが住み慣れた地域で自立した在宅生活を続けていくことが難しくなった場合、どのようなことを望みますか。(ひとつに○)

1. 自宅で家族の支援や介護保険サービスの利用などにより可能な限り在宅生活を続けたい
2. 家族の家に移り、家族の支援や介護保険サービスの利用などにより可能な限り在宅生活を続けたい
3. 高齢者専用の賃貸住宅や有料の老人ホームに入居したい
4. 特別養護老人ホーム等の施設に入所したい

(6) 仮に、あなたが介護を必要とする状態になった場合、誰に介護をしてほしいですか。(ひとつに○)

1. 配偶者	6. 息子や娘など複数の人
2. 息子	7. その他の親族
3. 娘	8. 親族以外
4. 息子の配偶者	9. いない
5. 娘の配偶者	

(7) 仮に、あなたが、介護や医療を必要とする状態になっても、在宅生活を続けるために、重要だと思えるものは何ですか。(あてはまるもの3つまで○)

1. 介護してくれる家族等	7. 気軽に立ち寄って話や相談ができるところ
2. 安心して住み続けられる住まい	8. 見守りや手助けしてくれる仕組み
3. 住診してくれる医療機関	9. 食事や日用品などの宅配
4. 訪問して身の回りの介助をしてくれる仕組み	10. 安否状態を誰かに知らせてくれる仕組み
5. 必要な時に宿泊できる施設	11. 介護者の負担を軽減する仕組み
6. 体の状態を維持改善できるサービス	12. その他 ()

(8) 今後、高齢者の保健福祉や介護予防等に関する取り組みを進めていく上で、あなたは、市がどのようなことに重点を置くべきだとお考えですか。(あてはまるもの3つまで○)

1. 健康の増進や介護予防の推進	7. 医療と介護の連携
2. 社会参加の促進、教養の向上	8. 高齢者の生活支援や見守り活動への支援
3. ボランティア・地域活動の支援や参加促進	9. 緊急時の支援
4. 高齢期の住まいの基盤整備	10. 判断能力が低下した場合の支援
5. 介護保険サービスの充実	11. その他 ()
6. 高齢者を介護する家族への支援	

【問11 医療と介護の連携について】

(1) 市では、ご自身の健康状態を確認し、疾病や疾病の重症化を予防するため、市内指定医療機関で「特定健診(健康診査)」を行っています。

あなたは、この「特定健診(健康診査)」をご存知ですか。

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

《(1)で「1. 知っている」の方のみ》

①あなたは、この「特定健診（健康診査）」をどの程度受診していますか。

1. 毎年受診している
2. 数年に1度受診している
3. 人間ドックなどの健診を毎年または数年に1度受診している
4. 受診していない

(2) 市では、認知症の早期発見・早期治療のため、指定医療機関で「認知症検診」を行っています。あなたは、この「認知症検診」をご存知ですか。

1. 知っている
2. 知らない

《(2)で「1. 知っている」の方のみ》

①「認知症検診」を受診したことがありますか。

1. 受診したことがある
2. 受診したことがない

《①で「2. 受診したことがない」の方のみ》

②「認知症検診」を受診しない理由は何ですか。(いくつでも)

1. まだ必要ないと考えている
2. 検診を受けに行く時間がない
3. 内容を詳しく知らない
4. その他 ()

(3) あなたは、かかりつけ医はいますか。

1. いる
2. いない

(4) あなたは、かかりつけ歯科医はいますか。

1. いる
2. いない

(5) 毎日を健康に過ごすためには、口の状態を良好に保つことが大切です。あなたは、定期的に歯の検診を受けていますか。

1. 毎月1回以上
2. 3か月に1回以上
3. 6か月に1回以上
4. 12か月に1回以上
5. 24か月に1回以上
6. 受けていない

(6) 仮に、家族が「終末期」をむかえた場合、どこで過ごしてほしいと考えますか。(ひとつに○)

1. 自宅
2. 家族の家
3. 特別養護老人ホーム等の施設
4. 医療機関
5. まだ考えたことがない

(7) 仮に、あなたが「終末期」をむかえた場合、どこで過ごしたいと考えますか。(ひとつに○)

1. 自宅
2. 家族の家
3. 特別養護老人ホーム等の施設
4. 医療機関
5. まだ考えたことがない

《(7)で「1. 自宅」の方のみ》

①あなたは、最期まで自宅で療養できると思えますか。

1. できると思う
2. 難しいと思う

《①で「2. 難しいと思う」の方のみ》

②自宅で療養が難しいと思う理由は何ですか。(いくつでも)

1. 自宅でどのような医療・介護・看護を受けられるのかわからないから
2. 入院したほうが適切な医療を受けられるから
3. 急に具合が悪くなったときに不安だから
4. 療養のための居住環境が整っていないから
5. 家族に介護負担や手間をかけたくないから
6. 介護をしてくれる家族がいないから
7. 家族が介護できる身体状況ではないから
8. その他 ()

(8) あなたは、終末期の過ごし方や治療の方針等について、ご家族等と話し合ったことはありませんか。

1. ある
2. ない

(9) あなたは、人生の終末期に起こりうる事態に備えて、自分の希望や家族への伝言などを書き留めておく「エンディングノート」をご存知ですか。

1. 知っている
2. 知らない

《(9)で「1. 知っている」の方のみ》

①エンディングノートを持っていますか。

1. 市のエンディングノート（私と家族の安心ノート）を持っている
2. 市以外のエンディングノートを持っている
3. 持っていない

《①で「1. 2. 持っている」の方のみ》

②エンディングノートの存在を誰かに伝えてありますか。

1. 伝えている
2. 伝えていない

③エンディングノートの内容を年1回程度見直していますか。

1. 見直している
2. 見直していない

※アンケート調査は以上で終了です。
長時間のご回答・ご協力、誠にありがとうございました。

在宅介護実態調査

★ご記入にあたってのお願い★

1. 回答にあたっては、封筒のあて名ご本人についてご記入ください。回答は、できるだけご本人がご記入ください。ご本人の記入が困難な場合は、ご本人のお気持ちや、お考えをさきながら、ご家族や介護者等の方が代わってご回答ください。
2. この調査の対象の方は、令和5年1月31日現在、本市にお住まいの65歳以上の方を抽出させていただいておりますので、その後転出された方やお亡くなりになられた方あてに送付された場合はご容赦ください。
3. お答えは、あてはまる番号を○で囲んでください。「その他」にあてはまる場合は、() 内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
4. **調査票記入後は、令和5年3月31日(金)までに、同封の返信用封筒に入れて、ポスト又は※公共施設等に設置した回収箱に投函してください。切手は不要です。**

※駅前出張所、保健センター、老人福祉センター寿楽荘、老人福祉センターすえひろ荘、東部地域包括支援センターやお苑、西部地域包括支援センターケアセンター八潮、南部地域包括支援センター埼玉玉生病院、北部地域包括支援センターやお寿苑

【調査についてのお問い合わせ先】
八潮市役所長寿介護課高齢者政策係
電話 (048) 996-2111 (内線 447・490)
月～金 午前8時30分～午後5時15分
(土日・祝日は除く)

在宅介護実態調査
【調査票】

高齢者に関するアンケート調査ご協力をお願い

市民の皆さまには、日頃から八潮市の高齢者福祉行政に対してご理解・ご協力をいただき、厚く感謝申し上げます。

さて、本市では、令和6年度から令和8年度までを計画期間とする「第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」策定の基礎資料とするため、皆さまの生活実態と意向を把握するアンケート調査を実施することといたしました。

この調査の実施にあたり、介護保険の認定をいただいておりますので、個々のご回答の内容が公表されることはありませんのでご安心ください。

なお、今回の調査については、全国統一の調査項目を基本とすることとなっておりますので、調査内容によりお体の状態にそぐわない項目があった場合でも、記入できる範囲でご協力くださるようお願い申し上げます。
令和5年3月

八潮市長 大山 忍

八潮市長 大山 忍

「在宅介護実態調査」に係る
要介護認定データの活用に関する同意書

私は、「在宅介護実態調査」に係る要介護認定データ(認定調査、介護認定審査会のデータの活用)について、以下の事項を確認のうえ、同意します。

記

- 要介護認定データの利用目的について
ご本人様の要介護認定データ(認定調査、介護認定審査会のデータ)は、要介護認定及び当市における高齢者等支援施策の検討の基礎資料とすることを目的に使用させていただきます。ご本人様の許可なく、目的以外の使用は致しません。
- アンケート調査の回答内容の取扱いについて
アンケート調査でご回答頂いた内容(被保険者番号を含む)は、集計・分析を委託する株式会社社会構想研究所に預託しますが、情報は適切に管理させていただきます。

あて名の方のご署名
をお願いします

令和5年 月 日

ご署名

本人

代筆者

A票 あて名のご本人についておうかがいします

【A票にご記入いただくのは、どなたですか】 (複数選択可)

1. 調査対象者本人	4. 調査対象者のケアマネジャー
2. 主な介護者となっている家族・親族	5. その他 ()
3. 主な介護者以外の家族・親族	

問1 世帯類型について、ご回答ください (1つを選択)

1. 単身世帯	2. 夫婦のみ世帯	3. その他 ()
---------	-----------	------------

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか (同居していない子どもや親族等からの介護を含む) (1つを選択)

1. ない	問8へ
2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない	}
3. 週に1~2日ある	
4. 週に3~4日ある	
5. ほぼ毎日ある	
問3~問13へ	

問3 主な介護者の方は、どなたですか (1つを選択)

1. 配偶者	4. 孫	6. その他 ()
2. 子	5. 兄弟・姉妹	
3. 子の配偶者		

問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください (1つを選択)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください (1つを選択)

1. 20歳未満	4. 40代	7. 70代
2. 20代	5. 50代	8. 80歳以上
3. 30代	6. 60代	9. わからない

問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください (複数選択可)

1. 日中の排泄 2. 夜間の排泄 3. 食事の介助 (食べる時) 4. 入浴・洗身 5. 身だしなみ (洗顔・歯磨き等) 6. 衣服の着脱 7. 屋内の移乗・移動 8. 外出の付き添い、送迎等 9. 服薬 10. 認知症への対応	12. 食事の準備 (調理等) 13. その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等) 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き 15. その他 () 16. わからない	生活援助 その他
11. 医療面での対応 (経管栄養、ストーマ等)		

問7 ご家族やご親族の中で、あて名のご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか (現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません) (複数選択可)

1. 主な介護者が仕事を辞めた (転職除く)	2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた (転職除く)
3. 主な介護者が転職した	4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	6. わからない

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

【ここから再び、全員にお伺いします】

問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください (複数選択可)

1. 配食	7. 移送サービス (介護・福祉タクシー等)
2. 調理	8. 見守り、声かけ
3. 掃除・洗濯	9. サロンなどの定期的な通いの場
4. 買い物 (宅配は含まない)	10. その他 ()
5. ゴミ出し	11. 利用していない
6. 外出同行 (通院、買い物など)	

問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス (現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む) について、ご回答ください (複数選択可)

1. 配食	7. 移送サービス (介護・福祉タクシー等)
2. 調理	8. 見守り、声かけ
3. 掃除・洗濯	9. サロンなどの定期的な通いの場
4. 買い物 (宅配は含まない)	10. その他 ()
5. ゴミ出し	11. 特になし
6. 外出同行 (通院、買い物など)	

問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください (1つを選択)

1. 入所・入居は検討していない	3. すでに入所・入居申し込みをしている
2. 入所・入居を検討している	

※ 「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設 (有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問11 あて名のご本人が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（複数選択可）

1. 脳血管疾患（脳卒中）
2. 心疾患（心臓病）
3. 悪性新生物（がん）
4. 呼吸器疾患
5. 腎疾患（透析）
6. 筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）
7. 膠原病（関節リウマチ含む）
8. 変形性関節疾患
9. 認知症
10. パーキンソン病
11. 雑病（パーキンソン病を除く）
12. 糖尿病
13. 眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）
14. その他（ ）
15. なし
16. わからない

問12 あて名のご本人は、現在、訪問診療を利用していますか（1つを選択）

1. 利用している
2. 利用していない

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導（医師、看護師、薬剤師などが家庭を訪問し療養上の管理、指導、助言を行うサービス）等は含みません。

問13 住宅改修・福祉用具のレンタル・福祉用具購入以外の介護保険サービスを利用していますか（1つを選択）

1. 利用している
2. 利用していない → **問14へ**

問14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
9. その他（ ）

●問2で「1.」を選択された場合は、問8～問14までご回答いただきましたら調査は終了です。

●問2で「2.」～「5.」を選択された場合は、「主な介護者」の方にB票へのご回答・ご記入をお願いいたします。「主な介護者」の方のご回答・ご記入が難しい場合は、あて名のご本人様にご回答・ご記入をお願いします。

B 票 **主な介護者様についておうかがいします**

※主な介護者様にご回答・ご記入（調査票の該当する番号に○）をお願い致します。

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

1. フルタイムで働いている } **問2～5へ**
2. パートタイムで働いている } **問5へ**
3. 働いていない
4. わからない

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」、「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2 問1で「1.」、「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（複数選択可）

1. 持に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、運出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. わからない

問3 問1で「1.」、「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
3. 制度を利用しやすい職場づくり
4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）
5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. 介護をしている従業員への経済的な支援
9. その他（ ）
10. 持っていない
11. わからない

問4 問1で「1.」、「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）

1. 問題なく、続けていける
2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. 続けていくのは、やや難しい
4. 続けていくのは、かなり難しい
5. わからない

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、
 ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

身体介護	1. 日中の排泄	生活援助	12. 食事の準備（調理等）
	2. 夜間の排泄		13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）
	3. 食事の介助（食べる時）		14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
	4. 入浴・洗身		15. その他（ ）
	5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等）		16. 不安に感じていることは、特になし
	6. 衣服の着脱		17. わからない
	7. 屋内の移乗・移動		
	8. 外出の付き添い、送迎等		
	9. 服薬		
	10. 認知症状への対応		
	11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）		

※アンケート調査は以上で終了です。
 ご回答・ご協力、誠にありがとうございました。

III 介護人材実態調査

問3 貴施設等に所属している介護職員全員（非常勤含む、ボランティアの方を除く）について、お答えください。

回答方法 設問	※ 勤務形態		※ 職歴		※ 職歴記入		(5) 過去1週間の勤務時間	(6) 現在の勤務年数	(7) 現在の施設等に勤務する直前の職場 ※地域密着型を含む	(8) 直前の職場について
	(1) 資格の取得、研修の修了状況	(2) 雇用形態	(3) 性別	(4) 年齢	1. 1年以上勤務した 2. 1年以上勤務した ⇒【(7)～】	1. 現在の施設等 2. 直前の施設等 3. 直前の施設等 4. 直前の施設等 5. 直前の施設等 6. 直前の施設等 7. 直前の施設等 8. その他の施設等				
記録簿	1	1	1	3	40	2	3	1	2	
01										
02										
03										
04										
05										
06										
07										
08										
09										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										
36										
37										
38										
39										
40										
41										
42										
43										
44										
45										
46										
47										
48										
49										
50										

【介護人材実態調査票 事業所票】

※ 令和5年2月28日現在の状況について、ご回答ください。

問1 該当するサービス種別（介護予防を含む）を、ご回答ください。

※ 本調査票の送付先（郵便の宛名となっている施設等）で行うサービスについて、ご回答ください。（1つに○）

1. 施設・居住系サービス
(特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、ショートステイ、グループホーム、特定施設、サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホーム)
2. 通所系サービス
(通所介護（地域密着型含む）、通所リハビリテーション、通所型サービス（総合事業）)

問2 貴施設等（問1で○をつけたサービス種別の施設等）に所属する介護職員について、お伺いします

※ ここでの「介護職員」は、賃金の支払いを受けている方に限ります。（ボランティアの方は含みません。）
 ※ また、「正規職員」とは、期限の定めのない雇用契約による職員、「非正規職員」とは期限の定めのある有期雇用契約による職員を指します。

問2-1 介護職員の総数を、ご記入ください。（数値を記入）

正規職員 [] 人 非正規職員 [] 人

問2-2 貴施設等の開設時期について、ご記入ください。（数値を記入）

開設時期 西暦 [] 年 [] 月

問2-3 令和5年2月28日時点で、開設から1年以上を経過している施設等にお伺いします。
 過去1年間（令和4年3月1日～令和5年2月28日）の介護職員の採用者数と離職者数を
 ご記入ください。

採用者数 [] 人 離職者数 [] 人

問2-4 問2-3の採用者・離職者について、正規・非正規の別・年齢別をご記入ください。（数値を記入）

年齢 (採用、離職当時)	採用者数		離職者数	
	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員
20歳未満	[] 人	[] 人	[] 人	[] 人
20～29歳	[] 人	[] 人	[] 人	[] 人
30～39歳	[] 人	[] 人	[] 人	[] 人
40～49歳	[] 人	[] 人	[] 人	[] 人
50～59歳	[] 人	[] 人	[] 人	[] 人
60～69歳	[] 人	[] 人	[] 人	[] 人
70～79歳	[] 人	[] 人	[] 人	[] 人
年齢不明	[] 人	[] 人	[] 人	[] 人

【介護人材実態調査票 事業所票】

※ 令和5年2月28日現在の状況について、ご回答ください。

問1 該当するサービス種別（介護予防を含む）を、ご回答ください。

※ 本調査票の送付先（郵便の宛名となっている事業所）で行うサービスについて、ご回答ください。（1つに○）

1. 訪問系サービス（訪問介護、訪問型サービス（総合事業））
2. 小規模多機能型居宅介護

問2 貴事業所（問1で○をつけたサービス種別の事業所）に所属する介護職員について、お伺いします。

※ ここの「介護職員」は、賃金の支払いを受けている方に限ります。（ボランティアの方は含みません。）

※ また、「正規職員」とは、期限の定めのない雇用契約による職員、「非正規職員」とは期限の定めのある有期雇用契約による職員を指します。

問2-1 介護職員の総数を、ご記入ください。（数値を記入）

正規職員	〔 〕 人	非正規職員	〔 〕 人
------	-------	-------	-------

問2-2 貴事業所の開設時期について、ご記入ください。（数値を記入）

開設時期	西暦 〔 〕 年 〔 〕 月
------	----------------

問2-3 令和5年2月28日時点で、開設から1年以上を経過している事業所にお伺いします。

過去1年間（令和4年3月1日～令和5年2月28日）の介護職員の採用者数と離職者数を
ご記入ください。

採用者数	〔 〕 人	離職者数	〔 〕 人
------	-------	------	-------

問2-4 問2-3の採用者・離職者について、正規・非正規の別・年齢別をご記入ください。（数値を記入）

年齢 (採用、離職当時)	採用者数		離職者数	
	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員
20歳未満	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人
20～29歳	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人
30～39歳	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人
40～49歳	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人
50～59歳	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人
60～69歳	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人
70～79歳	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人
年齢不明	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人

【介護人材実態調査票 職員票】

※ この調査票は、訪問サービス・訪問介護を行う介護職員の方（非常勤含む。ボランティア除く）が対象です。

※ 令和5年2月28日現在の状況について、ご回答ください。

問1 あなたが、本調査票を受け取った事業所で提供するサービス種別（介護予防を含む）について、ご回答ください。（1つに○）

1. 訪問系サービス（訪問介護、訪問型サービス（総合事業））
2. 小規模多機能型居宅介護

問2 あなたの資格の取得、研修の修了の状況について、ご回答ください（1つに○）。

1. 介護福祉士（認定介護福祉士含む）
2. 介護職員実務者研修修了、または(旧)介護職員基礎研修修了、または(旧)ヘルパー1級
3. 介護職員初任者研修修了、または(旧)ヘルパー2級
4. 「1.」～「3.」のいずれにも該当しない

問3 あなたの雇用形態、性別、年齢、過去1週間の勤務時間等について、ご回答ください。

1) 雇用形態	1. 正規職員（※ 期限の定めのない契約） 1つに○	2. 非正規職員（※ 期限の定めのある契約）
2) 性別（1つに○）	1. 男性	2. 女性
3) 年齢（数値を記入）	〔 〕 歳	
4) 過去1週間の勤務時間（数値を記入）	〔 〕 時間	
※ 問1で回答した勤務先における時間	※ 残業時間を含む。休憩時間は除く。	
5) 現在の事業所での勤務年数（数値を記入）	1. 1年以上	⇒ 裏面に回答
	2. 1年未満	⇒ 問4と裏面に回答

問4 問3の5)で「2.」と回答された方に、お伺いします。現在の事業所に勤務する直前の職場について、以下にご回答ください（1つに○）。

1. 現在の職場が初めての勤務先⇒【裏面に回答】
 2. 介護以外の職場 ⇒【裏面に回答】
 3. 特養 老健 療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設
 4. 訪問介護・入浴、夜間対応型
 5. 小多機、看多機、定期巡回サービス
 6. 通所介護、通所リハ、認知症デイ
 7. 住宅型有料、サ高住（特定施設以外）
 8. その他の介護サービス
- ⇒【「3.」～「8.」の場合は問5へ】

問5 問4で「3.」～「8.」と回答された方に、お伺いします。ご回答いただいた直前の職場について、以下にご回答ください。

1) 場所（1つに○）	1. 現在の事業所と、同一の市区町村内 2. 現在の事業所と、別の市区町村内
2) 法人（1つに○）	1. 現在の事業所と、同一の法人・グループ 2. 現在の事業所と、別の法人・グループ

⇒ 皆様、裏面もご回答ください

【職員票（訪問介護員向け）】 裏面

この調査は、「訪問介護員」を対象とした調査です。「訪問介護」、「訪問入浴」、「夜間対応型訪問介護」、「訪問型サービス（総合事業）」、「定期巡回サービス」、「小規模多機能型居宅介護」、「看護小規模多機能型居宅介護」に従事されている方にお聞きします。

※直近の1週間（7日間）について、提供した時間（分）を記入してください。

（例：水曜日を開始日とする場合、水曜日（開始日）から次週の火曜日までの7日間の情報を記入してください）

※移動時間、待機時間は含みません。「買い物」は、店舗での買い物に要する標準的な時間及び利用者のおける訪問介護に要する標準的な時間の合算となります（移動時間は含みません）。

※障害サービスの提供は除いてください。

※介護給付による提供、介護予防給付・総合事業による提供は分けて記入してください。

※記入する時間は「5分単位」とします。（例）32分→30分と記入。

■介護給付による訪問について右詰めで記入

曜日	身体介護※		生活援助			その他の生活援助
	30分	20分	買い物 (移動時間含みません)	調理・配膳	4 5 分	
記入例	30分	20分	20分	4分	5分	20分
月	分	分	分	分	分	分
火	分	分	分	分	分	分
水	分	分	分	分	分	分
木	分	分	分	分	分	分
金	分	分	分	分	分	分
土	分	分	分	分	分	分
日	分	分	分	分	分	分
週の合計	分	分	分	分	分	分

■介護予防給付・総合事業による訪問について右詰めで記入

曜日	身体介護※		生活援助			その他の生活援助
	30分	20分	買い物 (移動時間含みません)	調理・配膳	4 5 分	
月	分	分	分	分	分	分
火	分	分	分	分	分	分
水	分	分	分	分	分	分
木	分	分	分	分	分	分
金	分	分	分	分	分	分
土	分	分	分	分	分	分
日	分	分	分	分	分	分
週の合計	分	分	分	分	分	分

※自立生活支援・重度化防止のための見守り的援助（自立支援・ADL・IADL・QOL向上の観点から安全を確保しつつ常時介助できる状態で行う見守り等）は、身体介護に含む

居所変更実態調査

※ **令和5年2月28日現在の状況**について、ご回答ください。

問1 該当するサービス種別を、ご回答ください。(1つに○)

※ 本調査では、以下のサービス種別をまとめて「施設等」と表記します。

1. 住宅型有料老人ホーム
2. 軽費老人ホーム (特定施設除く)
3. サービス付き高齢者向け住宅 (特定施設除く)
4. グループホーム
5. 特定施設
6. 地域密着型特定施設
7. 介護療養型医療施設・介護医療院
8. 介護療養型特別養護老人ホーム
9. 特別養護老人ホーム
10. 地域密着型特別養護老人ホーム

問2 貴施設等の概要について、以下にご記入ください。

1) 施設等の名称	〔 〕
2) 定員数など	〔 〕 [人・戸・室] ※該当する単位に○
3) 入所・入居者数	〔 〕 人
4) (貴施設等の) 待機者数	〔 〕 人
5) 特別養護老人ホームの待機者数 (申込者数)	〔 〕 人 ※特養・地域密着型特養は回答不要

※ 「2) 定員数など」は、サービス付き高齢者向け住宅の場合は「住宅戸数」、住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームの場合は「居室数」、その他の施設等の場合は「定員数」をご回答ください。
 ※ 4)と5)は、該当がない場合は「0」を、不明の場合は「-」を記載してください。

問3 現在の入所・入居者の要支援・要介護度について、ご記入ください。(数値を記入)

※ ここでご記入いただいた合計人数と、問2でご記入いただいた「3) 入所・入居者数」が一致することを
 ご確認ください。

自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中・不明
〔 〕人	〔 〕人	〔 〕人	〔 〕人	〔 〕人	〔 〕人	〔 〕人	〔 〕人	〔 〕人

問4 以下の医療処置を受けている人数について、ご記入ください。(数値を記入)

1) 点滴の管理	〔 〕 人	2) 中心静脈栄養	〔 〕 人
3) 透析	〔 〕 人	4) ストーマの処置	〔 〕 人
5) 酸素療法	〔 〕 人	6) レスビレーター	〔 〕 人
7) 気管切開の処置	〔 〕 人	8) 疼痛の看護	〔 〕 人
9) 経管栄養	〔 〕 人	10) モニター測定	〔 〕 人
11) 褥瘡の処置	〔 〕 人	12) カテーテル	〔 〕 人
13) 喀痰吸引	〔 〕 人	14) インスリン注射	〔 〕 人

ここからは、**過去1年間の新規の入所・入居者**についてお伺いします。

問5 過去1年間 (令和4年3月1日～令和5年2月28日) に、貴施設等に新規で入所・入居した人の人数をご記入ください。

※ 貴施設等に入所・入居している方で、一時的な入院等で貴施設等に戻った方は含めなideてください。

新規の入所・入居者数 (合計)	〔 〕 人 ★
-----------------	---------

問6 問5でご記入いただいた過去1年間の新規の入所・入居者について、入所・入居する前の居場所別の人数をご記入ください。

※ ここでご記入いただいた「14) 合計」と、問5でご記入いただいた「新規の入所・入居者数 (合計)」(★欄) が一致することをご確認ください。

※ 一旦入院し、退院後に貴施設等に入所・入居した場合は入居前の居場所をご記入ください。

	市 (区町村) 内	市 (区町村) 外
1) 自宅 (※ 兄弟・子ども・親戚等の家含む)	〔 〕 人	〔 〕 人
2) 住宅型有料老人ホーム	〔 〕 人	〔 〕 人
3) 軽費老人ホーム (特定施設除く)	〔 〕 人	〔 〕 人
4) サービス付き高齢者向け住宅 (特定施設除く)	〔 〕 人	〔 〕 人
5) グループホーム	〔 〕 人	〔 〕 人
6) 特定施設	〔 〕 人	〔 〕 人
7) 地域密着型特定施設	〔 〕 人	〔 〕 人
8) 介護老人保健施設	〔 〕 人	〔 〕 人
9) 療養型・介護医療院	〔 〕 人	〔 〕 人
10) 特別養護老人ホーム	〔 〕 人	〔 〕 人
11) 地域密着型特別養護老人ホーム	〔 〕 人	〔 〕 人
12) その他	〔 〕 人	〔 〕 人
13) 入居・入所する前の居場所を把握していない	〔 〕 人	
14) 合計	〔 〕 人 ★	

問10 貴施設等の入居・入所者が、退去する理由は何ですか。退去理由として多いものを上位3つまで選んで、該当する口に✓を付けてください。

	退居理由「上位3つ」に✓		
	第1位	第2位	第3位
1) 必要な生活支援が発生・増大したから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2) 必要な身体介護が発生・増大したから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3) 認知症の症状が悪化したから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4) 医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5) 「1」～「4」以外の状態像が悪化したから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6) 入所・入居者の状態等が改善したから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7) 入所・入居者が、必要な居宅サービスの利用を望まなかったから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8) 費用負担が重くなったから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9) その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ここからは、**過去1年間の退去者**についてお伺いします。

問7 過去1年間（令和4年3月1日～令和5年2月28日）に、貴施設等を退去した人の人数をご記入ください。

※ なお、一時的な入院等で貴施設等に戻った方、現在一時的に入院中の方（貴施設等との契約が継続している方）は含めないでください。

退去者数（合計）（※死亡・搬送先での死亡を含む） [] 人 ☆

問8 問7でご記入いただいた過去1年間の退去者について、要介護度別の人数をご記入ください。

※ 死亡（搬送先での死亡を含む）した人については、「死亡」欄にその人数をご記入ください。

※ ここでご記入いただいた合計人数と、問7でご記入いただいた「退去者数（合計）」（☆欄）が一致することをご確認ください。

自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3
[] 人	[] 人	[] 人	[] 人	[] 人	[] 人
要介護4	要介護5	新規申請中	死亡	合計	
[] 人	[] 人	[] 人	[] 人	[] 人	[] 人 ☆

問9 問7でご記入いただいた過去1年間の退居者について、退去先別の人数をご記入ください。

※ ここでご記入いただいた「16」合計」と、問7でご記入いただいた「退去者数（合計）」（☆欄）が一致することをご確認ください。

※ 一時的に入院して貴施設等以外の居場所に移った場合は、退院後の居場所をご記入ください。

	市（区町村）内	市（区町村）外
1) 自宅（※ 兄弟・子ども・親戚等の家含む）	[] 人	[] 人
2) 住宅型有料老人ホーム	[] 人	[] 人
3) 軽費老人ホーム（特定施設除く）	[] 人	[] 人
4) サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	[] 人	[] 人
5) グループホーム	[] 人	[] 人
6) 特定施設	[] 人	[] 人
7) 地域密着型特定施設	[] 人	[] 人
8) 介護老人保健施設	[] 人	[] 人
9) 療養型・介護医療院	[] 人	[] 人
10) 「9」を除く病院・診療所（一時的な入院を除く）	[] 人	[] 人
11) 特別養護老人ホーム	[] 人	[] 人
12) 地域密着型特別養護老人ホーム	[] 人	[] 人
13) その他	[] 人	[] 人
14) 行先を把握していない	[] 人	[] 人
15) 死亡（※ 搬送先での死亡を含む）	[] 人	[] 人
16) 合計	[] 人 ☆	[] 人 ☆

V 在宅生活改善調査

在宅生活改善調査 利用者票

「自宅」、「サ高住」、「住宅型有料」、「軽費老人ホーム」にお住まいの方のうち、「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」が対象です。

例えば「頻回な身体介護が必要となったため、現在の訪問介護の利用では対応が困難であり、定額満額サービスの利用がより適切と思う利用者」、「認知症に伴う周辺症状の悪化により、介護者の負担が重くなったため、グループホームへの入居がより適切と思う方」が対象です。

1. 対象となる利用者の状況について、お伺いします。		2. 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お伺いします。										3. 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている」状況を改善するための、サービス利用の変更等について、お伺いします。							
問1-1	問1-2	問1-3	問2-1		問2-2		問2-3	問2-4	問2-5		問2-6	問3-1		問3-2		問3-3	問3-4		問3-5
世帯類型	現在の居所	要支援・要介護度	現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由についてお答えください。		現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由についてお答えください。		現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由についてお答えください。	現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由についてお答えください。	現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由についてお答えください。		現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由についてお答えください。	現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由についてお答えください。		現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由についてお答えください。		現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由についてお答えください。	現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由についてお答えください。		現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由についてお答えください。
番号1つ選択記入	番号1つ選択記入	番号1つ選択記入	あてはまる番号すべて選択記入		あてはまる番号すべて選択記入		あてはまる番号すべて選択記入	あてはまる番号すべて選択記入	あてはまる番号すべて選択記入		あてはまる番号すべて選択記入	あてはまる番号すべて選択記入		あてはまる番号すべて選択記入		番号1つ選択記入	あてはまる番号すべて選択記入		番号1つ選択記入
1. 単居	1. 自宅等(持ち家)	1. 要支援1	1. 該当なし	1. 該当なし	1. 該当なし	1. 見守り・付き添い	1. 家事に支障がある	1. 点検の管理	1. より適切な「在宅サービス」に変更する	1. 緊急性が高い		1. まだ、申込をしていない		1. まだ、申込をしていない	1. まだ、申込をしていない	1. まだ、申込をしていない	1. まだ、申込をしていない	1. まだ、申込をしていない	1. まだ、申込をしていない
2. 夫婦のみ	2. 自宅等(借家)	2. 要支援2	2. 必要な生活支援の発生・増大	2. 本人が、一部の居宅サービスの利用を望まないから	2. 介護者の介護に係る不安・負担量の増大	2. 移乗・移動	2. 一人での外出が困難	2. 中心静脈栄養	2. より適切な「在宅サービス」に変更する	2. 入所が望ましいが、上記以外の「在宅サービス」で対応		2. 申込済みだが、空きがない		2. 申込済みだが、空きがない	2. 申込済みだが、空きがない	2. 申込済みだが、空きがない	2. 申込済みだが、空きがない	2. 申込済みだが、空きがない	2. 申込済みだが、空きがない
3. 身寄りの同居	3. 住宅型有料	3. 要介護1	3. 必要ない身体介護の増大	3. 認知症の悪化	3. 介護者が、一部の居宅サービスの利用を望まないから	3. 食事摂取	3. 薬の飲み忘れ	3. 通折	3. より適切な「在宅サービス」に変更する	3. 費用負担が重いから		3. 申込済みだが、希望の施設に空きがない		3. 申込済みだが、希望の施設に空きがない	3. 申込済みだが、希望の施設に空きがない	3. 申込済みだが、希望の施設に空きがない	3. 申込済みだが、希望の施設に空きがない	3. 申込済みだが、希望の施設に空きがない	3. 申込済みだが、希望の施設に空きがない
4. その他の同居	4. サ高住	4. 要介護2	4. 認知症の悪化	4. 認知症の悪化	4. 家族等の介護等技術では対応が困難	4. 排泄(夜間)	4. 金銭管理が困難	4. ストーマの処置	4. より適切な「在宅サービス」に変更する	4. その他、本人の意向等があるから		4. 申込済みだが、理由により入所・入居できない		4. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	4. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	4. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	4. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	4. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	4. 申込済みだが、理由により入所・入居できない
5. 軽費老人ホーム	5. 要介護3	5. 要介護3	5. 医療的ケア/医療処置の必要の高まり	5. 医療的ケア/医療処置の必要の高まり	5. 費用負担が重いから	5. 入浴	5. 意欲の低下	5. 酸素療法	5. より適切な「在宅サービス」に変更する	5. その他、本人の意向等があるから		5. 申込済みだが、理由により入所・入居できない		5. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	5. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	5. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	5. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	5. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	5. 申込済みだが、理由により入所・入居できない
6. 新規申請中	6. 要介護4	6. 要介護4	6. その他、本人の状況等の悪化	6. その他、本人の状況等の悪化	6. 費用負担が重いから	6. 更衣・整容	6. 徘徊がある	6. レスビレーター	6. より適切な「在宅サービス」に変更する	6. その他、本人の意向等があるから		6. 申込済みだが、理由により入所・入居できない		6. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	6. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	6. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	6. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	6. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	6. 申込済みだが、理由により入所・入居できない
7. 要介護5	7. 要介護5	7. 要介護5	7. 本人の状況等の改善	7. 本人の状況等の改善	7. 費用負担が重いから	7. 認知症(日中)	7. 強い介護拒否がある	7. 気管切開の処置	7. より適切な「在宅サービス」に変更する	7. その他、本人の意向等があるから		7. 申込済みだが、理由により入所・入居できない		7. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	7. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	7. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	7. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	7. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	7. 申込済みだが、理由により入所・入居できない
8. 新規申請中	8. 要介護6	8. 要介護6	8. 本人の状況等の改善	8. 本人の状況等の改善	8. 費用負担が重いから	8. その他	8. その他	8. 疼痛の看護	8. より適切な「在宅サービス」に変更する	8. その他、本人の意向等があるから		8. 申込済みだが、理由により入所・入居できない		8. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	8. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	8. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	8. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	8. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	8. 申込済みだが、理由により入所・入居できない
9. 要介護7	9. 要介護7	9. 要介護7	9. 本人の状況等の改善	9. 本人の状況等の改善	9. 費用負担が重いから	9. その他	9. その他	9. 呼吸吸引	9. より適切な「在宅サービス」に変更する	9. その他、本人の意向等があるから		9. 申込済みだが、理由により入所・入居できない		9. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	9. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	9. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	9. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	9. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	9. 申込済みだが、理由により入所・入居できない
10. 要介護8	10. 要介護8	10. 要介護8	10. 本人の状況等の改善	10. 本人の状況等の改善	10. 費用負担が重いから	10. その他	10. その他	10. インスリン注射	10. より適切な「在宅サービス」に変更する	10. その他、本人の意向等があるから		10. 申込済みだが、理由により入所・入居できない		10. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	10. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	10. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	10. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	10. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	10. 申込済みだが、理由により入所・入居できない
11. 要介護9	11. 要介護9	11. 要介護9	11. 本人の状況等の改善	11. 本人の状況等の改善	11. 費用負担が重いから	11. その他	11. その他	11. その他	11. より適切な「在宅サービス」に変更する	11. その他、本人の意向等があるから		11. 申込済みだが、理由により入所・入居できない		11. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	11. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	11. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	11. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	11. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	11. 申込済みだが、理由により入所・入居できない
12. 要介護10	12. 要介護10	12. 要介護10	12. 本人の状況等の改善	12. 本人の状況等の改善	12. 費用負担が重いから	12. その他	12. その他	12. その他	12. より適切な「在宅サービス」に変更する	12. その他、本人の意向等があるから		12. 申込済みだが、理由により入所・入居できない		12. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	12. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	12. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	12. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	12. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	12. 申込済みだが、理由により入所・入居できない
13. 要介護11	13. 要介護11	13. 要介護11	13. 本人の状況等の改善	13. 本人の状況等の改善	13. 費用負担が重いから	13. その他	13. その他	13. その他	13. より適切な「在宅サービス」に変更する	13. その他、本人の意向等があるから		13. 申込済みだが、理由により入所・入居できない		13. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	13. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	13. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	13. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	13. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	13. 申込済みだが、理由により入所・入居できない
14. 要介護12	14. 要介護12	14. 要介護12	14. 本人の状況等の改善	14. 本人の状況等の改善	14. 費用負担が重いから	14. その他	14. その他	14. その他	14. より適切な「在宅サービス」に変更する	14. その他、本人の意向等があるから		14. 申込済みだが、理由により入所・入居できない		14. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	14. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	14. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	14. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	14. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	14. 申込済みだが、理由により入所・入居できない
15. 要介護13	15. 要介護13	15. 要介護13	15. 本人の状況等の改善	15. 本人の状況等の改善	15. 費用負担が重いから	15. その他	15. その他	15. その他	15. より適切な「在宅サービス」に変更する	15. その他、本人の意向等があるから		15. 申込済みだが、理由により入所・入居できない		15. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	15. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	15. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	15. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	15. 申込済みだが、理由により入所・入居できない	15. 申込済みだが、理由により入所・入居できない

※ 令和5年2月28日現在の状況について、ご回答ください。

問1 貴事業所に所属するケアマネジャーの人数、および利用者数について、ご記入ください。

1) 所属するケアマネジャーの人数	() 人
2) 「自宅等(3)を除く」にお住まいの利用者数	() 人
3) 「サ高住」・「住宅型有料」・「軽費老人ホーム」にお住まいの利用者数	() 人

問2 貴事業所において、過去1年の間(令和4年3月1日～令和5年2月28日)に「自宅等(※サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く)から、居場所を変更した利用者数(要介護度別)」をご記入ください。

※ 一時的に入院して自宅に戻った方、現在入院中の方は含めなないでください。

要支援1	要支援2	要支援3	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
() 人	() 人	() 人	() 人	() 人	() 人	() 人	() 人	() 人

問3 貴事業所において、過去1年の間(令和4年3月1日～令和5年2月28日)に「自宅等(※サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く)から居場所を変更した利用者数(行き先別)」をご記入ください。

※ 一時的に入院して自宅等以外の居場所に移った場合は退院後の居場所をご記入ください。

※ ここでご記入いただいた1)～13)の合計と、問2でご記入いただいた合計人数(★欄)が一致することを確認ください。

	市(区町村)内	市(区町村)外
1) 兄弟・子ども・親戚等の家	() 人	() 人
2) 住宅型有料老人ホーム	() 人	() 人
3) 軽費老人ホーム(特定施設除く)	() 人	() 人
4) サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)	() 人	() 人
5) グループホーム	() 人	() 人
6) 特定施設	() 人	() 人
7) 地域密着型特定施設	() 人	() 人
8) 介護老人保健施設	() 人	() 人
9) 療養型・介護医療院	() 人	() 人
10) 特別養護老人ホーム	() 人	() 人
11) 地域密着型特別養護老人ホーム	() 人	() 人
12) その他	() 人	() 人
13) 行先を把握していない	() 人	() 人
14) 死亡(※搬送先の死亡を含む)	() 人	() 人

「第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」策定のための
【高齢者実態調査】報告書

令和5年7月発行

編集・発行 八潮市役所 長寿介護課 高齢者政策係
〒340-8588 埼玉県八潮市中央一丁目2番地1
電話：048-996-2111（代表）
URL：<https://www.city.yashio.lg.jp/>

